

基本計画書

基本計画									
事項		記入欄						備考	
計画の区分		学部・学科の設置							
フリガナ設置者		ガッコウホリジン ウェクサガクエン 学校法人 植草学園							
フリガナ大学の名称		ウェクサガクエンダイガク 植草学園大学（Uekusagakuen University）							
大学本部の位置		千葉県千葉市若葉区小倉町1639番3							
大学の目的		植草学園大学は、我が国の伝統と文化に基づく徳育を教育の根幹とする学園建学の精神に則り、広く知識を授け、人格の陶冶を図るとともに、深く専門の学芸を教授研究し、もって我が国の文化の進展及び共生社会の実現に寄与する有為な人材を養成することを目的とする。							
新設学部等の目的		ア．人間性の尊重を基本に、保健医療福祉の科学的知識と技術を追求し、より豊かな社会の創造的担い手となる医療専門職を育成する。 イ．医療の基本的な授業から、実習形式および臨床体験授業に発展させることにより、障害を持つすべての人を支え、機能回復およびQOL（生活の質）向上のための知識と技術の習得、さらに臨床実習教育を通して応用的な知識・技術・態度を習得することを、教育研究上の目的とする。 ウ．卒業後の進路は医療と福祉の現場が中心になるが、地域リハビリテーションに関与する施設等も重要である。いずれにおいても、これからの社会における保健・医療・福祉の向上に寄与することを期している。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	保健医療学部 [Faculty of Health Sciences]	年	人	年次人	人		年 月 第 年次	千葉県千葉市若葉区小倉町1639番3	
	リハビリテーション学科 [Department of Rehabilitation]								
	理学療法専攻 [Physical Therapy Major]	4	40	-	160	学士 (理学療法学) 【Bachelor of physical therapy】	令和2年4月 第1年次	同上	
	作業療法専攻 [Occupational Therapy Major]	4	40	-	160	学士 (作業療法学) 【Bachelor of occupational therapy】	令和2年4月 第1年次	同上	
	計		80	-	320				
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)		保健医療学部リハビリテーション学科〔定員増〕 (80) (平成31年3月認可申請) 保健医療学部理学療法学科(廃止) (△40) ※令和2年4月学生募集停止 植草学園短期大学 福祉学科 地域介護福祉専攻(廃止) (△40) ※令和2年4月学生募集停止							

教育課程	新設学部等の名称		開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		
			講義	演習	実験・実習	計			
	保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻	77科目	23科目	24科目	124科目	127単位			
	保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	85科目	25科目	15科目	125科目	127単位			
教員組織の概要	学 部 等 の 名 称		専任教員等						兼 任 教 員 等
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
	新設分	保健医療学部　リハビリテーション学科	9人 (8)	3人 (3)	4人 (3)	4人 (4)	20人 (18)	2人 (1)	65人 (40)
		計	9 (8)	3 (3)	4 (3)	4 (4)	20 (18)	2 (1)	- (-)
	分設	発達教育学部　発達支援教育学科	10 (10)	9 (9)	2 (2)	3 (3)	24 (24)	0 (0)	61 (61)
		計	10 (10)	9 (9)	2 (2)	3 (3)	24 (24)	0 (0)	- (-)
	合　　計		19 (18)	12 (12)	6 (5)	7 (7)	44 (42)	2 (1)	- (-)
	教員以外の職員の概要	職　　種		専　　任		兼　　任		計	
事　務　　員		32人 (32)		17人 (17)		49人 (49)			
技　術　　員		0 (0)		0 (0)		0 (0)			
図　書　館　専　門　職　員		1 (1)		1 (1)		2 (2)			
そ　の　他　の　職　員		0 (0)		0 (0)		0 (0)			
計		33 (33)		18 (18)		51 (51)			
校地等	区　　分	専　　用	共　　用		共用する他の学校等の専用		計		植草学園短期大学（必要面積2,800㎡）と共用（収容定員：280人） 〔借用地〕 運動場 借用面積：2,758㎡ 借用期間：購入予定のため期間なし
	校　舎　敷　地	5,010　㎡	7,058　㎡		0　㎡		12,068　㎡		
	運　動　場　用　地	0　㎡	18,758　㎡		0　㎡		18,758　㎡		
	小　　計	5,010　㎡	25,816　㎡		0　㎡		30,826　㎡		
	そ　の　他	0　㎡	39,064　㎡		0　㎡		39,064　㎡		
	合　　計	5,010　㎡	64,880　㎡		0　㎡		69,890　㎡		
校　　舎		専　　用	共　　用		共用する他の学校等の専用		計		植草学園短期大学（必要面積3,350㎡）と共用（収容定員：280人）
		11,712.50　㎡ (11,712.50　㎡)	3,196.50　㎡ (3,196.50　㎡)		3,945.22　㎡ (3,945.22　㎡)		18,854.22　㎡ (18,854.22　㎡)		
教室等	講義室	演習室	実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設		大学全体 語学学習室は、情報処理学習施設と兼ねる。
	26室	30室	16室		1室 (補助職員0人)		1室 (補助職員0人)		

専任教員研究室			新設学部等の名称				室数			
			保健医療学部リハビリテーション学科				19 室			
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数		
	保健医療学部 リハビリテーション学科	55,200 [1,700] (53,900 [1,600])	380 [10] (360 [10])	20,834 [19,500] (20,834 [19,500])	2,150 (2,140)	300 (300)	53 (53)			
	計	55,200 [1,700] (53,900 [1,600])	380 [10] (360 [10])	20,834 [19,500] (20,834 [19,500])	2,150 (2,140)	300 (300)	53 (53)			
図書館		面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			大学全体	
		1,076.86 m ²		248		57,000				
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
		940.21 m ²		フットサルコート		3on3コート				
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	届出学科全体
		教員1人当り研究費等		390千円	390千円	390千円	390千円	-	-	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		共同研究費等		2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	-	-	
		図書購入費	11,600千円	9,700千円	9,900千円	10,000千円	10,200千円	-	-	
	設備購入費	58,000千円	35,000千円	16,000千円	5,000千円	5,000千円	-	-		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
1,870千円		1,600千円	1,600千円	1,600千円	- 千円	- 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常経費補助金, 雑収入 等							
既設大学等の状況	大 学 の 名 称	植草学園大学								※令和2年度より学生募集停止(理学療法学科)
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所 在 地	
	保健医療学部 理学療法学科	年	人	年次人	人		倍		千葉県千葉市若葉区小倉町1639番3	
	発達教育学部 発達支援教育学科	4	40	-	160	学士 (理学療法学)	1.02	平成20年度		
既設大学等の状況	大 学 の 名 称	植草学園短期大学								※令和2年度より学生募集停止(地域介護福祉専攻)
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所 在 地	
	福祉学科 地域介護福祉専攻	年	人	年次人	人		倍		千葉県千葉市若葉区小倉町1639番3	
	児童障害福祉専攻	2	-	-	-	短期大学士 (介護福祉学)	-	平成11年度		
既設大学等の状況	福祉学科 児童障害福祉専攻	2	100	-	200	短期大学士 (幼児福祉学)	0.95	平成11年度	同上	

附属施設の概要	1. 名 称:植草学園大学附属弁天こども園 2. 目 的:植草学園大学における幼児の教育又は保育に関する研究に協力し,かつ,植草学園大学の計画に従い学生の教育実習を行う。 3.所在地:千葉市中央区弁天2丁目7番1号 4.設置年月:平成28年4月 5.規模等:建物1,303.14㎡ 1. 名 称:植草学園大学附属美浜幼稚園 2. 目 的:植草学園大学における幼児の教育又は保育に関する研究に協力し,かつ,植草学園大学の計画に従い学生の教育実習を行う。 3.所在地:千葉市美浜区高洲1丁目17番8号 4.設置年月:平成20年4月 5.規模等:建物1,260.46㎡ 1. 名 称:植草学園大学・植草学園短期大学子育て支援・教育実践センター（こいっくおぐ・こいっくべん） 2. 目 的:地域の児童・幼児,障害等のある子どものための保育・教育相談。 植草学園大学における幼児の教育又は保育に関する研究に協力。 3.所在地:こいっくおぐ千葉市若葉区小倉町1639番3 こいっくべん千葉市中央区弁天2丁目7番1号 4.設置年月:植草学園大学附属地域教育相談センター平成22年4月（平成27年5月こいっくおぐに名称変更） こいっくべん平成27年5月 5.規模等:こいっくおぐ建物252.00㎡ こいっくべん建物154.06㎡	
----------------	---	--

教 育 課 程 等 の 概 要															
（保健医療学部 リハビリテーション学科）															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人間と道徳	1前	2			○								兼1	隔年
	哲学入門	1・2後		2		○								兼1	
	倫理学入門	1・2後		2		○								兼1	隔年
	心理学	1・2前	2			○								兼1	
	教育学入門	1・2前		2		○								兼1	隔年
	文学の世界	1・2前		2		○								兼1	
	音楽の世界	1・2後		2		○								兼1	隔年
	歴史学	1・2前		2		○								兼1	
	法学入門	1・2後		2		○								兼1	隔年
	日本国憲法	1前		2		○								兼1	
	政治学	1・2前		2		○								兼1	隔年
	経済学入門	1・2前		2		○								兼1	
	社会学入門	1・2前		2		○								兼1	隔年
	基礎物理学	1・2前		2		○								兼1	
	基礎化学	1・2前		2		○								兼1	隔年
	基礎生物学	1・2前		2		○								兼1	
	統計学入門	1・2後	2			○								兼1	隔年
	人間関係論	1・2前	2			○								兼1	
	国際関係論	1・2後		2		○								兼1	隔年
	コミュニケーション論	1・2後	2			○								兼1	
	環境科学	1・2後		2		○								兼1	隔年
	障害インクルージョン論	1・2後		2		○								兼1	
	基礎科目 小計（22科目）	—	10	4	34	—			0	0	0	0	0	兼22	—
	スポーツ・レクリエーションⅠ（実技）	1後		1				○						兼1	隔年
	スポーツ・レクリエーションⅡ（理論）	1後		2		○								兼1	
	スポーツ健康科学基礎理論	1後		1		○								兼1	隔年
	体育（ソフトボール）	1・2前		1				○						兼1	
	体育（バドミントン）	1・2後		1				○						兼1	隔年
	体育（テニス）	1・2前		1				○						兼1	
	体育（弓道）	1・2前		1				○						兼1	隔年
	体育（ダンス）	1・2後		1				○						兼1	
	体育（水泳）	1・2前		1				○						兼2	隔年
	体育・スポーツ科目 小計（9科目）	—	0	2	10	—			0	0	0	0	0	兼10	—
	英語Ⅰ	1前	2				○			1				兼2	隔年
	英語Ⅱ	1後	2				○			1				兼1	
	英会話	1・2前・後		2			○							兼1	隔年
	実践英語	1・2後		2			○			1				兼1	
	中国語入門	1・2前		2			○							兼1	隔年
	フランス語入門	1・2前		2			○							兼1	
	ドイツ語入門	1・2後		2			○							兼1	隔年
	国際コミュニケーション科目 小計（7科目）	—	4	2	10	—			0	3	0	0	0	兼8	—
	情報機器演習	1・2前・後		2			○							兼1	隔年
	文章表現演習	1前		2			○							兼2	
	読書技術演習	1・2前・後		2			○							兼2	隔年
	自然科学基礎演習	1前	2				○		1						
	海外福祉研修	1・2・3・4		1			○		1						集中
	基礎演習科目 小計（5科目）	—	2	2	7	—			2	0	0	0	0	兼5	
	教養教育科目 合計（43科目）	—	16	10	61	—			2	3	0	0	0	兼45	—

教 育 課 程 等 の 概 要																
(保健医療学部 リハビリテーション学科)																
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	専門 基礎 科目	解剖学	1前	2			○			1					兼1 オムニバス オムニバス オムニバス	
		解剖学実習	1後	1					○	1						
		生理学	1前	2			○			1						
		生理学実習	1後	1					○	1						
		人体機能構造学演習	1前	1					○						兼1 オムニバス オムニバス オムニバス	
		運動学Ⅰ	1後	1			○			2						
		運動学Ⅱ	2前	1			○			2						
		運動学実習	2後	1					○	2						
		臨床心理学	2前	1			○								兼1 オムニバス オムニバス オムニバス	
		人間発達学	2後	1			○									
		病理学	2前	1			○									
		一般臨床医学	2前	1			○			1					兼1 オムニバス オムニバス オムニバス	
		内科学	2通	2			○			1						
		整形外科	2通	2			○									
		神経内科学	2通	2			○			1					兼1 オムニバス オムニバス オムニバス	
		精神医学	2前	1			○									
		小児科学	2前	1			○			1						
		薬理学	2・3前	1			○								兼1 オムニバス オムニバス オムニバス	
		リハビリテーション概論	1前	1			○			1						
		リハビリテーション医学	2後	1			○			1						
		チーム医療演習	3後	1					○				2			兼1 オムニバス オムニバス オムニバス
		社会福祉学	1・2前		2		○									
		特別支援教育概論	1・2・3前		1		○									
		障害者・高齢者の福祉	1・2後		1		○								兼1 オムニバス オムニバス オムニバス	
		障害者・高齢者の心理	1・2後		1		○									
		生命倫理学	2・3前	1			○									
		言語聴覚学概論	2・3前		2		○								兼1 オムニバス オムニバス オムニバス	
		救命救急医学	2・3前	1			○									
		栄養学	2・3前	1			○									
		予防医学	3前	1			○								兼1 オムニバス オムニバス オムニバス	
		病原微生物学	2・3後	1			○									
		生化学	2・3前		2		○									
		看護学	2・3後		1		○								兼1 オムニバス オムニバス オムニバス	
		画像診断学	3前	1			○									
専門基礎科目 小計(34科目)			—	32	5	10	—			16	0	2	0	0		兼24

3

4

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
I 卒業要件 教養教育科目 26 単位(基礎科目 14 単位(必修科目計 10 単位を含む。), 体育・スポーツ科目 2 単位, 国際コミュニケーション科目 6 単位(必修科目 4 単位を含む。))及び基礎演習科目 4 単位(必修科目 2 単位を含む。))を基礎として, 理学療法学専攻は, 専門教育科目 101 単位(専門基礎科目 37 単位及び専門科目 64 単位), 合計 127 単位以上を修得, 作業療法学専攻は, 専門教育科目 101 単位(専門基礎科目 37 単位及び専門科目 64 単位), 合計 127 単位以上を修得する。 II 履修方法等 1. 教養教育科目の履修方法は, 次のとおりとする。 一 基礎科目は, 人間と道德 2 単位, 心理学 2 単位, 統計学入門 2 単位, 人間関係論 2 単位及びコミュニケーション論 2 単位, 計 10 単位を必修し, 同科目区分のその他の科目の中から計 4 単位を修得し, 合計 14 単位を修得する。 二 体育・スポーツ科目は, 同科目区分の全科目の中から合計 2 単位を修得する。 三 国際コミュニケーション科目は, 英語 I 2 単位及び英語 II 2 単位を必修し, 同科目区分のその他の科目の中から計 2 単位, 合計 6 単位を修得する。 四 基礎演習科目は, 自然科学基礎演習 2 単位を必修し, 同科目区分のその他の科目の中から計 2 単位, 合計 4 単位を修得する。 2. 専門教育科目の履修方法は, 次のとおりとする。 一 専門基礎科目は, 必修科目の計 32 単位のほか, 選択科目の中から計 5 単位を修得し, 合計 37 単位を修得する。 二 専門科目は, 理学療法学専攻は, 必修科目の計 60 単位のほか, 選択科目の中から計 4 単位を修得し, 合計 64 単位を修得する。作業療法学専攻は, 必修科目の計 62 単位のほか, 選択科目の中から計 2 単位を修得し, 合計 64 単位を修得する。 3. 前項 1 及び 2 に定める単位数を超えて修得した単位は, 余剰単位として取り扱う。 (履修科目の登録の上限: 1 年次及び 2 年次 48 単位 (年間) 3 年次 45 単位 (年間) 4 年次 40 単位 (年間))	1 学年の学期区分	2 学期	
			1 学期の授業期間
			15 週
	1 時限の授業時間	90 分	

(注)

- 学部等, 研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には, 授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等, 研究科等若しくは高等専門学校の学科 (学位の種類及び分野の変更等に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)) についても作成すること。
- 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合, 大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は, この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて, 適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には, 実技も含むこと。

授 業 科 目 の 概 要			
（保健医療学部リハビリテーション学科）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
教養 教育科目	基礎 科目	人間と道徳	徳育を教育の根幹とする学園建学の精神を学ぶとともに、日本や世界の思想、文化に触れ、人間としての在り方を考える。生命倫理について、多面的・多角的に捉え人間の尊厳について考えるなど、様々な道徳性について考え議論することにより、人間理解、価値理解、自己理解を深め、自己の道徳性を向上させることを目的とする。また、国際社会に生きる日本人として、自己実現に向けて力強く行動できるよう自身の在り方、生き方を考えられるよう展開していく。
		哲学入門	哲学史に名を残してきた様々な哲学者の思考を追思することにより、自己を取りまく人間、世界、自然などについてより深く思考すること、それによって自己自身を知ることとする。授業では、哲学という学問の基礎である「考えるということ」を考えるために、西洋の哲学思想を古代から現代にわたって概観する。哲学史的知識の教授に留まらず、抽象的な思考が私たちの生活にどのように関係するのか、受講者との対話を適宜行いながら実践的な授業を進めていく。
		倫理学入門	「正しさ」や善悪の基準が混沌とする現代において、倫理的諸問題に主体的に取り組む上での知識の習得と、意見を他者と交換する経験を持つこと、また、異なる意見を持つ立場とコミュニケーションを取る方法を身につけることを目的とする。道徳や徳目の教授ではなく、現実の倫理的課題を題材にして、その倫理的意義を検討する形で授業を進めてゆく。古代から現代までの代表的な倫理思想を概説しながら、私たちの人生に起こる具体的な倫理的問題を適宜議論の対象として扱い、倫理そのものに対する意識を深めながら授業を展開していく。
		心理学	複雑で、時には不可解な人間の行動を理解するために、現代の心理学研究の成果を活用する。様々な具体的なエピソードの分析をキッカケとして、認知（知覚、記憶、推理等）、パーソナリティ（情緒、性格、適応行動）、社会（社会的認知、対人行動、集団力動）など基本的概念や原理、現実への対応についての理解を深める。講義が中心であるが、その他に、ロールプレイや回想、討論などを用いて、多面的で能動的な人間の心や行動の理解を進める。
		教育学入門	「ヒトは教育によって人間になる」といわれるが、本講義では、人間の発達・成長に必要なものとして教育をとらえた上で、学校教育のみに限定することなく、幅広い視点から教育について概説する。授業計画：1)教育の場としての家庭・学校・幼稚園・地域社会における教育的・社会的機能 2)現代日本の教育の現状と教育問題の諸相などをとりあげ、教育に対する広範な関心を高めたい。受講者との双方向の授業展開になるよう配慮し、授業カードなどを有効活用する。
		文学の世界	文学とは何かについて述べた後、前半は日本文学、後半は外国文学を中心に講義する。前半は、上代からの日本文学の歩みを概観し、近代（明治、大正）の文学および現代の文学について主要作家と潮流を中心に学んでゆく。後半の外国文学は、古代、中世、近代の文学の歴史を解説し、世界の主要文学である英・仏・独・米・露・中国等の文学を概観し、それらの主要作家たちの文学を中心に考察してゆく。文学がそれぞれの国や時代に人間をいかに表現してきたかを検討、文学についての知識と人間理解を深めるよう努める。

教養教育科目	基礎科目	音楽の世界	プラトンは『国家』で音楽の重要性を説き、その教育的価値を論じたが、古代ギリシャ時代に音楽は社会教育の一環として体系化されていた。豊かな感性と情操を持った人間性を育む上で、音楽がいかに重要な役割を果たすと考えられていたかを西洋音楽史を通して考察し、明治期の洋楽移入の状況や明治以来の唱歌についても検討する。内容 1) 古代・中世の音楽の役割 2) キリスト教と音楽 3) 16世紀以降のオスベダーレ(孤児院)の音楽教育 4) ルソーの音楽の考え方 5) 近代の音楽教育 6) 明治の洋楽移入	
		歴史学	歴史的な事実が、我々の日常生活に大きなかわりを持っていることを理解する。ヨーロッパの成立について、共和制時代、帝政前期の五賢帝時代、キリスト教の成立と公認、ゲルマン民族の大移動、帝政後期の西ローマ帝国の滅亡まで、教養としてローマ史の知識を修得し、ヨーロッパの成立について理解していく。	
		法学入門	憲法の意義とその特徴を知る他、民事法、刑事法、行政法の三法に分類し、領域ごとの特性に触れる。各領域の中から主な法律について、内容を理解させる。また、法律が社会や日常生活において身近な問題であることを知り、その上で基礎的な法の理念、法の目的や特徴、法の分類、法の具体的な適用と解釈、法の効力などを学ぶ。法律を学ぶことが、幸福や権利を科学的に見出す手段となることについても触れていきたい。	
		日本国憲法	憲法の理念や歴史をふまえて、国民主権という考え方、基本的人権や平和主義についての意味や内容など、憲法の概要について基礎的な内容が理解できるようにしていく。また、具体的に身近な事例を扱いながら憲法の発展的課題についても触れ、考察することで今後の展開に自らの考えをもつことができるようにする。	
		政治学	本授業では、政治的に本質的で身近な問題である自由や平等、制度、相互理解といった問題を世論や政党、選挙さらには戦争と平和などといった一般的な政治現象に関連させつつ、一緒に考えていく。政治・政治学とは何なのかを説明した後、自由や平等は両立するのか？、制度は必要なのか？、相互理解は可能なのか？など、身近な政治の本質論を考えつつ、一般的な政治現象に触れる。したがって本講義は、学生一人一人が一般的な政治現象を自分と関わりのあることとして認識し、問題意識を持ちかつ自分なりの答えを持つことを目標としている。	
		経済学入門	経済の基本となる仕組み、具体的には、①経済と三つの経済主体、②GDPと経済成長率、③市場メカニズム、④インフレとデフレ、⑤金融市場と外国為替市場、⑥政府と日本銀行の役割について講義する。次にマクロ経済学の基本的なモデルを紹介・講義し、現代経済学の初歩的な手引きを与える。本講義の教育目標は、新聞やテレビニュースなどで報道されている現在の日本の経済問題を理解でき、そのような日々の経済の動きを自己の生活と結びつけて考えられるようになるレベルに到達することである。	

教養教育科目	基礎科目	社会学入門	本授業では、社会学の基本的な概念や分析枠組を、都市化社会、消費社会、情報社会、労働、医療などの幅広いテーマに即して講義する。具体的には、①行為・相互作用・集団、②アイデンティティと消費、③コミュニケーションとメディア、④医療と社会の関係などについて論じる。この講義を通じて、自己や他者、それをとりまく人間関係や組織・制度を、「近代/社会とはなにか？」という社会学の根本問題を軸にしながら、適切な概念や枠組みを用いて観察し、思考する態度を養う。	
		基礎物理学	力学・電磁気学・熱学・光学・量子論などの分野での基本的事実と法則を講義と実験の形態で授業を行い、物理の基礎的概念である時間、空間、質量、力(運動・電気・磁気)、エネルギー、波動、熱、温度、光などを理解させる。基本的事実のいくつかはデモ実験やグループ実験により体験し、その根拠を示し、法則との関係をより深く認識させ、感覚的に理解させる。実験としては、力の合成の検証、物質の密度の測定、平衡天秤の製作、物質の熱容量の測定、オームの法則の検証、電磁誘導現象の測定、光の反射屈折現象の測定などを行う。	
		基礎化学	本講義では、高校で化学を履修しなかった者でも化学の基本概念や物質の性質等を効率的に学び、着実に身につくようにする。具体的には、化学の基礎的な原理法則を身近な化学現象や物質と関連付けながら学習する。原子・分子、化学結合、化学量論等の物質の構造、気体、溶液の性質等の状態、反応熱、酸・塩基、酸化・還元反応等、単体と無機化合物の性質、有機化合物の性質と反応、タンパク質等の天然高分子から合成高分子まで、医薬品、物質と環境等について学習する。	
		基礎生物学	専門科目の履修に必要な基礎知識について理解を深める。分子遺伝学について理解し、遺伝子診断、遺伝子治療、遺伝子組換え、クローン生物の技術を理解する。感染と感染生物の知識を深め、感染防御について理解を深める。生物とその諸機能や諸現象に興味と不思議さを感じ、その本質を追究する素養を培う。個体レベルから細胞レベルの生物の動的側面の理解を深める。生物の形態や構造と系統進化や機能との関連について、その習得を目指す。生体構成諸成分の物理化学的性質や生物学的機能について、生物現象との関連で理解を深める。	
		統計学入門	記述統計(代表値、散布度、度数分布、相関係数)と確率論(確率の概念、確率分布)では、必要な計算方式と、行動の規則として明確に理解させる。 次にそれを踏まえて、推測統計(標本抽出、標本分布、推定と仮説検定、適合度の検定)では、統計的現象と統計理論との結びつきに注意させる。 具体的には、実験や観察、調査によって得られた資料を整理し、そこから確率論を基礎として、論理的・科学的に情報を引き出す原理・法則を理解し、その手法を体得させる。	
		人間関係論	社会的体験の不足や個性重視、情報化社会の進展などで、対人関係の希薄化や回避が増加している現代では、よりよい人間関係を構築するための能力向上が重視されている。このような社会的背景を考慮しつつ、社会心理学や臨床心理学の研究成果について講義を行う。特に、(自己概念、自我の形成、自己評価)、他者(対人認知、対人感情、対人行動等)、集団(集団のタイプ、集団の力学、集団と個人等)、対人関係のトラブルと解決(非社会的行動、反社会的行動、心理療法等)について理解を深める。	
		国際関係論	本授業では、国際関係のあり方を私達に身近な文化の問題として考える。国際関係では、国家間関係に加え、東アジア、東南アジア、北米、中南米、欧州、アフリカや中近東、さらには東欧などで、さまざまな地域内、地域間の政治的、経済的、国際法的な紛争が絶えない。そこで、こうした国際関係の諸問題及び国際社会において日本が置かれた状況に関して理解を深める。本講義は、学生一人一人が一般的な国際関係の諸問題を自分と関わりのあることとして識し、問題意識を持ちかつ自分なりの答えを持つことを目標としている。	

教養教育科目	基礎科目	コミュニケーション論	コミュニケーションの定義・機能・特徴を概観したのち、コミュニケーションの諸要素について論じる。具体的にはコミュニケーションの方法(言語的・非言語的)、タイプ(パーソナルコミュニケーション、小集団におけるコミュニケーション、マスコミュニケーション)、コミュニケーションの場(家庭、学校、職場、近隣社会など)から考える。特に、医療の場において対象となる病者役割行動などを理解したうえで、患者及びその家族とのコミュニケーションを効果的にアプローチできる技能について検討する。	
		環境科学	授業は基本的に講義形式で行い、1コマで1テーマを深く掘り下げる。環境について幅広い視野を持つために、地球温暖化、オゾン層の破壊、砂漠化の進行、野生生物の減少、エネルギー資源の枯渇などの地球規模の問題から、シックハウス症候群、農薬、遺伝子組換え作物などの身近な問題まで、実態を正しく把握し、その原因を理解することを目標とする。合わせて、「持続可能な開発」「環境論理」「共存」などの考え方も理解し、21世紀の環境対策を考える。	
		障害インクルージョン論	現実の社会をリアルに知ること、実践的な障害理解と支援スキルを身につけること、学ぶことの楽しさを知ることを授業のねらいとする。障害のある子どもや人のコミュニケーション特性、虐待の構造、権利擁護の基本知識を学ぶ。	
	体育・スポーツ科目	スポーツ・レクリエーションⅠ(実技)	現代社会における心身の健康を考えると、運動の生活化が重要といわれる。特に長寿社会となった今、運動をどうとらえるかは重要な問題である。心身の活性という視点から見ると、いわゆる競技スポーツではなくニュースポーツやレクリエーション活動などは生きがいづくりや健康づくりなどの重要な要素となっている。そこで本授業では、これらの活動を実際に行うとともに計画・実施支援の側面も経験するなど福祉領域における運動を考える。	
		スポーツ・レクリエーションⅡ(理論)	レクリエーションは、全ての人の人生を心身共に豊かに送るために不可欠な社会的重要な課題である。そこで本授業では、福祉的・保育的な視点を持ちつつ、レクリエーションの理論的な側面について学習する。内容は、レクリエーションの基礎理論、レクリエーション支援の理論、レクリエーション組織の経営論、レクリエーション事業の計画・実施・評価などからなる。	
		スポーツ健康科学基礎理論	生涯スポーツの実践のために必要な運動やスポーツの効果について科学的知見に基づいて概説し、運動やスポーツは、余暇活動のひとつとして人生を充実させることとともに、体力を向上させることや生活習慣病の危険性を抑えることなどの効果をもたらす、発育発達や健康の保持増進に必要であることを理解することをねらいとする。	
		体育(ソフトボール)	生涯スポーツとして実践するソフトボールに必要な基礎的な運動技能の修得とルールや戦術の学習を目指す。 また、生きがいや健康づくりの観点に立ち、自らスポーツを実践するための知識と体力を身につけ、運動やスポーツに対する好意的態度を養う。さらに、運動やスポーツを通してコミュニケーション・スキルを高め、仲間と協調し、社会人として貢献できる能力を身につける。	
		体育(バドミントン)	生涯スポーツとして実践するバドミントンに必要な基礎的な運動技能の修得とルールや戦術の学習を目指す。 また、生きがいや健康づくりの観点に立ち、自らスポーツを実践するための知識と体力を身につけ、運動やスポーツに対する好意的態度を養う。さらに、運動やスポーツを通してコミュニケーション・スキルを高め、仲間と協調し、社会人として貢献できる能力を身につける。	

教養教育科目	体育・スポーツ科目	体育(テニス)	体育のうち「テニス」の領域について、基礎的なラケットの持ち方、ボールの打ち方に慣れ、ルールを理解し、ゲームを展開することを通して、運動能力の向上を図る。 また、対戦相手との戦術、仲間との協調性、審判の役割、運動と栄養、競技者の心理、指導の際の運営と管理など、関連事項の学習を通して理解と諸能力の向上を図る。併せて子どもに指導する際の指導方法や留意点に関する理解を持ち、実践できるようにする。	
		体育(弓道)	日本の武道のうち「弓道」について、その歴史や精神についての理解を持ち、弓具の扱い方や基本の動作を身に付けることを主なねらいとする。また、射術の練習を通して、その能力の向上を図る。併せて、学校で弓道を扱う場合の留意点や用具や道場の条件棟について理解を持ち、子どもに指導する際の指導方法や留意点に関する理解と実践力を養う。	
		体育(ダンス)	体育のうち「ダンス」の領域について、体の各部位の動きを理解し、リズムに合わせた動きや他者と協力した動き、あるいはイメージに基づいた表現など、ダンスに関する基本的な能力を養い、ダンスの美しさや楽しさを体得する。 また、子どもにダンスをさせる際の指導方法や留意点に関する理解を持ち、実践できるようにする。	
		体育(水泳)	体育のうち「水泳」の領域について、基礎的な泳ぎができること及びクロールや平泳ぎなど泳法ごとの技能の習得を通して、自身の水泳能力の向上を図るとともに、水泳を行う際の衛生管理、安全確保等に関する理解と実践力を養う。 また、子どもに水泳をさせる際の監督や指導上の留意点に関する理解を持ち、実践する態度を養う。	
	国際コミュニケーション科目	英語Ⅰ	中学校や高等学校で学んだ英語の知識を基礎として、英語の4技能、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの力を総合的に高めていくことを目標とする。4技能においては、以下にあげた事柄を中心に学習していく。(1)リーディング:英語の短いトピックを、内容を充分理解した後、音読練習をおこなう (2)ライティング:日常生活に関連したトピックで英作文の練習を行う (3)リスニング:簡単な対話やニュースを理解する力を身につける (4)スピーキング:ロールプレーを通して話すことに慣れる	
		英語Ⅱ	英語Ⅰで獲得した英語力をもとに、文法力と語彙力を増強させながら、読解力と聴解力の伸長を目指す。リーディングでは、健康や医療に関するトピックのほか、環境、時事関連や身近な生活など幅広い分野の教材を用い、精読、速読などを行いながら、様々なリーディングスキルを身に付け、読解力を伸ばしてゆく。また、リスニングでは、TOEIC、TOEFLや英検タイプのもものと医療関連の英語の教材を用い、オーセンティックな英語力の内容を素早く正確に聞き取る力を身につける。	
		英会話	英語による会話の基礎力として、英語による挨拶等、日常的な場面において、他人の言葉を聞く能力および態度、並びに自らの意思や考えを明瞭端的に伝える能力を身に付けることを目標とする。また、この科目の学習を通して、社会において、英語による会話や議論の場に積極的に参加しようとする態度を養う。	
		実践英語	英語による読み書き能力の基礎力を身につけることをねらいとし、英字新聞を読むなど、社会における通常の英文を読む力及び英文作成の基礎的な能力を養う。また、言語としての英語と日本語の特性や違いを理解し、言語に関する視野を広げるとともに、専攻分野に関連する英語文献を読むための基礎力を養い、併せて、これからの社会で求められる国際感覚を養う。	

教養教育科目	国際コミュニケーション科目	中国語入門	中国語を初めて学ぶ者を対象として、中国語の発音の基本を身につけ、日常生活で使われることが多い語彙を用いて、初歩的な会話ができる能力を養うことを狙いとする。 また、基本的な語彙と基本的な文型の学習を通して、子ども向けの絵本程度のやさしい文章を朗読できる力を養う。併せて、中国語の学習を通して、中国文化と日本文化との違いや類似点について理解を深める。	
		フランス語入門	フランス語を初めて学ぶ者を対象として、フランス語の発音の基本を身につけ、フランス語に特有な仕組みを理解し、日常的に用いる簡単な会話の聞き取りとそれに応答できる能力を養う。 また、英語以外の外国語としてフランス語を学ぶことを通して、フランス語の特徴やフランス語圏の文化に関する理解を深め、日本におけるフランス語の影響や日本文化と世界の文化に関する理解を深める。	
		ドイツ語入門	ドイツ語を初めて学ぶ者を対象として、ドイツ語の発音と挨拶などの基礎的な会話能力を身につけ、ドイツ語圏の生活や文化に親しむことを目標とする。 また、英語以外の外国語としてドイツ語を学ぶことを通して、ドイツ語の特徴やドイツ語圏の文化に関する理解を深め、日本におけるドイツ語の影響や日本文化と世界の文化に関する理解を深める。	
	基礎演習科目	情報機器演習	コンピュータの本体・周辺機器の基本動作を理解し、各種アプリケーションソフトウェアを用いて、情報の収集と整理から、発信とプレゼンテーションまでを演習によって習得する。あわせて、ネットワークの基本的な仕組みと活用法、インターネットと関連するサービスの基本的概念を理解し、ネットワークに接続されたコンピュータを主体的に活用するために必要な情報収集とデータ共有の技能を体得する。また、教育関係者や医療関連職に必要なICT活用の方策と、一般的なセキュリティ確保のための考え方と具体的な対策を身につける。	
		文章表現演習	正しい表記ルールに則り、適切な文章表現ができるということは必ずしも容易ではない。本科目では、文章表現の基本原則、特性を理解した上で、様々な文章類型の特色に適った文章作法を習得させる。演習の趣意を具現すべく、努めて実作、多作の機会を保障し、文章表現の適否長短を相互に分析、批評し合う検討の場を多く設ける。指導の力点は、説明的文章表現力の育成に置き、分かりやすく、読みやすい表現力を育てる。また、自己表現としての表現法も扱う。	
		読書技術演習	速読法は、人間の持っている文字情報の知覚・認知機能を基本とした読書行為に関する心理学的知見を活用し、文章の速読能力を身につけ、情報処理能力を高めることを目的とする。本授業では、速読法の理論と基礎技術について学び、演習で技術を身につけていく。 また、スペインで生まれた読書教育法アニメーションを取り入れ、読書に対しての興味関心を育成することを目的とし、読書指導として使用できる技術について演習していく。読書座談会を含む読書体験の共有化は、読書を実施し、得た情報を聞き手に伝えることにより、読書経験を相互に積むことを目的とする。共有化によって、多くの本に触れられるようにする。	
		自然科学基礎演習	本演習は、一般教養として科学的判断力を身につけることを目的とする。本学の受講者は人を対象とする職業に就くので、豊かな人間性や倫理性に加え、人間を科学的に分析する能力が必要となってくる。これらの能力を身につけるため、本演習では、高校の物理・化学・生物の基礎的知識を確認したのち、それらの知識が人体や人の行動あるいはそれを取り巻く環境を理解する上でどのように使われているかを学ぶ。	
		海外福祉研修	海外における医療福祉に関する取組について、体験を通じて理解を深めることをねらいとする。海外の先進的な医療機関のリハビリテーション現場を訪問し、治療手技等も含めて海外のリハビリテーションがどのように実施されているかを体感する。帰国後に、学んだこと、体験したことを総括・発表会を通じ、目標をどれほど達成できたか評価し、今後の自らの学修意欲及び資質の向上へと繋げていく。	

専門教育科目	専門基礎科目	解剖学	人体を構成する諸器官を骨格、靱帯、筋、関節、消化器、呼吸器、泌尿生殖器、循環器、内分泌器、中枢神経、末梢神経、感覚器の諸系統に分けて、系統ごとに主として肉眼解剖学的な講義を行う。また、分子生物学、組織学や発生学といった細胞やその集団、人間生物学に重点をおいた広い分野の事柄の講義を行う。いずれにしても、広く人間学そしてその背景となる人体の構造を理解することに主眼をおく。顕微鏡レベルでの理解も行う。	
		解剖学実習	系統解剖学で学んだことについて、その形態や構造を解剖学実習(骨学、組織学、人間解剖学、コンピューターグラフィックス、MRI画像など)によって体験的に学ぶ。人間の構造、人間とは何か、生死学など実習を通じ正確にイメージするのが肉眼解剖学の実習の本質であるが、現在の医療系大学では非常に困難なため、人体解剖実習の代替として、他の大学医学部に於ける見学実習とか、人体実物プラスティネーション標本の導入、CPUグラフィックス(A. D. A. M)の使用などで実習を行う。	
		生理学	生体の生理現象を理解するための基礎知識(研究方法、専門用語、研究成果、原則や法則)を解説し、人体の諸機能(下記15項目等)について総合的に解説する。①生理機能と水や熱との関係、②細胞と膜の生理、③神経細胞と神経系の生理、④感覚細胞と感覚系の生理、⑤生体の情報処理機構、⑥筋肉細胞と運動器官の生理、⑦心臓と循環系の生理、⑧呼吸器官の機序とその発達、⑨消化器官と肝臓の機能、⑩栄養と代謝の生理、⑪腎臓と排泄器官の機能、⑫内分泌系の機能的役割、⑬免疫系の機能、⑭体温調節と恒常性の維持機構、⑮脳の統合機能。	
		生理学実習	生理学講義と関連して、生きた材料を用い、生理現象を実体験する実験と実験のデータの処理についての演習を行う。また、医療機器や生理実験用の機器の作動原理や取り扱い方法を実習する。 実習項目は、①生理実験の方法と、機器・器具の扱い方、②生理的塩類溶液の調整と温度、酸素、CO ₂ 、pHの測定、③感覚の生理実験、④呼吸と体温の観測、⑤血圧、血流の観測、⑥骨格筋と平滑筋の収縮と活動電位の記録、⑦末梢神経の活動の観測、⑧自律神経系の生理実験、⑨心臓生理実験、⑩中枢神経系の自発性についての実験など。	
		人体機能構造学演習	リハビリテーション領域では身体の動きを脳神経系、感覚器系、運動器系の働きから科学的に分析することが重要である。この授業の目的は、人体諸器官の中でとくに運動と密接に関わっている脳神経系、感覚器系、運動器系を解剖学と生理学の両面から統合して学習する。さらに、理学療法および作業療法の対象となる疾患は脳神経系、感覚器系、運動器系の機能および構造の障害によるものが多いため、それらの疾患と関連付けて学習する。	
		運動学 I	理学療法および作業療法では身体運動を科学的に観察し考察する方法を習得する必要がある。そのため、身体運動に関わる力学的側面、解剖学および生理学的側面の知識を統合しながら正常人の身体運動について学習する。運動学 I では、運動学に必要な力学として狭義の運動学(幾何学的な運動のとらえ方)と運動力学の基礎を修得し、生体としての運動器の構造と機能一般を学習した上で、上肢の運動について学習する。上肢の運動は上肢帯と肩関節、肘関節と前腕、手の関節と手に分けて各部位およびそれぞれの運動性について理解し記憶する。 (オムニバス方式/全15回) (7 池田 恭敏/11回) 力学の基礎、骨格筋の基礎、上肢帯・肩関節・肘関節・手関節・手指の運動学 (8 三浦 達浩/4回) 顔面・頭部・体幹の運動学	オムニバス

専門 教育 科目	専門 基礎 科目	運動学Ⅱ	理学療法および作業療法では身体運動を科学的に観察し考察する方法を習得する必要がある。そのため、身体運動に関わる力学的側面、解剖学および生理学的側面の知識を統合しながら正常人の身体運動について学習する。運動学Ⅱでは、下肢の各関節の運動、体幹の運動、顔面および頭部の運動を学習した上で、姿勢とその調節のしくみ、歩行および身体運動と重力の関係について学習する。体幹と下肢の運動は体幹と骨盤、骨盤と股関節、膝関節および足関節と足部分けて各部位およびそれぞれの運動性について理解し記憶する。姿勢と歩行では、身体運動と重力を含む力学的な理解ができるように学習する。 (オムニバス方式/全15回) (8 三浦 達浩/第1回～第8回) 下肢帯・股関節・膝関節・足関節・足部の運動学 (7 池田 恭敏/第9回～第10回) 姿勢 (8 三浦 達浩/第11回～第15回) 歩行、運動学習	オムニバス
		運動学実習	人間の正常運動を観察、計測、記録、解析することを目指す。また、計測機器を用いて動作を確認し、運動学の理解を深める。具体的には、筋骨格と関節運動(頭頸部・体幹・上肢・下肢)、静止姿勢、姿勢の変換、立ち直りと平衡、手の動作、上肢の動作、筋活動、動作のテンポ・スキル、歩行など。 (オムニバス方式/全15回) (7 池田 恭敏/7回) 上肢帯・上肢の機能解剖、関節運動、姿勢分析 (8 三浦 達浩/8回) 下肢帯・下肢・体幹の機能解剖、関節運動、筋力と筋活動、歩行分析	オムニバス
		臨床心理学	形式は講義やグループ体験学習や討論や話し合い等を交えて実施。①既存のパラダイムとしての行動療法、精神分析、来談者中心療法等の理論と技法は、人の心を科学的客観的に捉える方法であり、②新しいパラダイムとしての精神統合(psyche synthesis)、実存分析、現象学的人間学、反精神医学等の理論と技法は人間の「こころ」を現象学的実存的に捉える方法である。①と②の両方を習得することで、今、ここに生きている人間の心との関係性を結び合うことが出来る。障害「障碍」者、老人、病者弱者の「こころ」に意味ある関係性を作り上げる力量を育む。各種心理テスト等の技術を磨く。	
		人間発達学	この授業では、人間の発達を進化論的、身体的、心理的、社会的側面など様々な面から考察する。様々な要素の関連を知ることで、人間を絶えず学習し、変化するダイナミックな存在、大きな可能性を秘めた存在として理解できるようにする。特に、初期の認知的情緒的機能の発達を、最新の脳発達に関する知見を活用して理解する。このように、行動や思考の形成の道筋や心理的適応のメカニズムを理解することで、心の健全な成長のために必要な条件とは何かを学べるようにする。	
		病理学	生体に発生する疾患がどのような原因によって生じ、どのような形態的变化を示すか、これらの疾患や病質がどのような経過を経て治癒或いは悪化するかについて学習する。いわば人間の疾病理解の基本となる病理発症、進展転帰、病因等、疾病概念の本質を学習する。具体的には循環障害、炎症論、免疫病理、腫瘍病理などを中心に学習する。 (オムニバス方式/全15回) (57 馬場 健/8回) 病理学の概要、代謝異常、進行性病変、免疫病理、腫瘍病理、放射線障害 (56 山口 直人/7回) 循環障害、呼吸器障害、消化器障害、神経系障害、運動器系障害、泌尿器・生殖器障害	オムニバス
		一般臨床医学	現代医学における診療・検査方法は広範であり、正確な知識を持って対応することが求められる。診療学(視診、問診、触診、聴診)の基礎と応用、検査法(理学的検査、画像診断)の基礎と応用、治療学(薬物療法、外科的治療法)の基礎と応用及び臨床での患者の心理について広く解説する。また、外科一般、脳神経外科の疾患についても学習する。	

専門教育科目	専門基礎科目	内科学	基本的な内科学的知識について学習する。人体の全身諸臓器に生ずる各種疾患について、その本態と病因、診断法について学習する。総論として診断概論、治療概論の各論として循環器、呼吸器、消化器、血液、造血器、代謝、内分泌、腎、泌尿器、膠原病・アレルギー、感染症、中毒・物理的原因によるものなど。 (オムニバス方式/全30回) (58 湯口 恭利/15回) 内科診断学、臨床検査、薬物療法、循環器疾患、呼吸器疾患 (5 前田 仁士/15回) 血液・造血器疾患、消化器系疾患、内分泌・代謝性疾患、腎・泌尿器系疾患、膠原病・アレルギー疾患、感染症、中毒および環境要因による疾患、内科疾患と関連する他領域の疾患との関係	オムニバス
		整形外科学	人体の運動器官にかかわる疾患の診断と治療、リハビリテーションについて学習する。各論として骨系統疾患、骨端症、外傷学、骨・軟骨腫瘍、骨関節感染、脊椎、四肢・体幹、関節の疾病、神経・筋疾患、スポーツ整形外科学、骨髄損傷・切断とそのリハビリテーションについて述べる。	
		神経内科学	神経症候群の基礎を学習する。神経解剖学、神経生理学の知識を必要とする各種神経疾患に対し、病理、症候、診断などを学習する。総論として意識障害、運動麻痺や失調の病態、高次機能障害などを、各論として、脳血管障害、神経変性疾患、脱髄疾患、末梢神経障害、筋疾患、感染症、認知症、老化などを対象とする。リハビリテーションの対象とする疾患を重視する。	
		精神医学	精神医学の総論的知識として、精神障害の原因、分類、精神障害の見方、症状と診断の仕方、疫学、治療とリハビリテーションなどについて学ぶ。各論的には、精神作用物質による精神・行動の障害、機能性精神病、外因性(器質性)精神病、心因性精神病などを解説する。さらに児童期、青年期における人格の発達障害、環境との間における心理的反応、情緒障害、適応障害などのさまざまな問題行動をとりあげる。理解を深めるため事例を引用する。	
		小児科学	小児期の成長・発達と小児期にみられる疾患についての学習を行う。総論として、成長と発達、栄養、保健、診断と治療の概要を講義する。各論として、循環器、呼吸器、消化器、血液、造血器代謝・内分泌、腎・泌尿器、アレルギー感染症、神経に関する疾患について学習する。	
		薬理学	薬理学とは薬物が生体に及ぼす種々の反応およびその作用機序について学び、薬物療法の基盤を確かなものとする事を目的としており、既習の生理学・解剖学・生化学等の知識を基に、正常および病的状態にある生体が薬物に対してどのような反応を現すかを理解し、薬物の効果・臨床応用・副作用についての知識を習得する。 講義では薬の定義・薬に関する法律および自律神経系・中枢神経系・循環系・痛み・炎症・代謝性疾患・感染症・悪性腫瘍等の治療薬の作用機序・臨床応用・副作用等について学ぶ。これらの事より、薬物療法の基盤を学習する。	
		リハビリテーション概論	リハビリテーションとは何か、その理念、概要と計画、患者へのアプローチの手法を解説する。リハビリテーションは大きく、医学的、心理的、教育的、職業的などに分かれるが、それぞれについての解説を行う。最終的には一人の人間として家庭復帰・社会復帰を目的とするので目的に向かってどのようにしたらよいか、個人としての対応とともに社会的資源の活用についてもふれる。	

専門 教育 科目	専門 基礎 科目	リハビリテーション 医学	神経系・骨・関節系・循環器系などの機能障害とこれにもとづく能力障害や社会的不利を理解し、これらの障害に対する医学的リハビリテーションについて講義を行う。具体的には、脳卒中後片麻痺、頭部外傷、脊髄損傷及び、骨折、脱臼その他の関節障害、末梢神経損傷、関節リウマチ、進行性神経・筋疾患、切断、脳性麻痺、二分脊椎その他の小児疾患、重症心身障害等のリハビリテーションについて概説する。	
		チーム医療演習	地域包括システムを理解し、理学療法士・作業療法士が果たすべき役割、他職種連携(チーム医療)について学ぶ。チーム医療を行っていく上で、専門職の立場から、患者、障害者、高齢者に対して、どのような援助ができるかを、外来患者・病院入院患者の治療、地域在宅障害者の訪問指導などを通して考える。チーム医療を構成する一員としての基本的姿勢を考え、地域包括システムおよび他の専門職に対する理解を深めるために必要に応じてゲストスピーカーが講義する。①チーム医療の基本的知識を説明、②地域包括ケアにおける医療現場の実験を経験する、③他のチームメンバーの専門性を理解する。具体的に他の専門職の対象、評価法、アプローチ方法の理解を深める。	共同
		社会福祉学	現代社会における社会福祉の意義、理念について、社会福祉の発展過程と関連づけて解説を行う。またその法体系として社会福祉のサービス実施体系やサービス評価、社会福祉財政と費用負担等の概要を取り上げる。さらに、社会保障および関連制度や、社会福祉援助技術と社会福祉専門職の概要について学ぶと同時にリハビリテーションを含む保健・医療領域の専門職との連携等や自立支援・労支援についてもあわせて学習する。	
		特別支援教育概論	はじめに、特別支援教育の我が国における歴史的な流れについて学ぶ。その後、特別支援教育の対象となる視覚障害教育、聴覚障害教育、知的障害教育、肢体不自由教育、病弱虚弱教育、言語障害教育、情緒障害教育、軽度発達障害教育(学習障害、注意欠陥・多動、軽度自閉症)について、それぞれの障害の我が国および外国における教育の歴史、各障害児の特性(心理・生理)、各障害児教育の基本的特性、各障害における教科指導と生活指導などを理解する。現在、特別支援教育において理学療法士・作業療法士の参画が必要とされており、将来学科の卒業生が特別支援教育関係の職を奉ずる者もあるので、その面を考慮して授業を展開する。なお、特別支援教育の行政面などについても学ぶ。	
		障害者・高齢者の 福祉	視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者、内部障害者など身体障害者の福祉問題からはじめ、知的障害者、精神障害者の福祉について述べ、その後高齢者の福祉問題にアプローチする。身体障害者、精神障害者、高齢者の福祉に関する法律、行政からはじめ、それぞれの福祉援助に関する実際的方法にアプローチする。	
		障害者・高齢者の 心理	障害者の心理については視覚障害者、聴覚障害者、言語障害者、肢体不自由者、内部障害者など身体障害者の心理から始め知的障害者、精神障害者の心理について述べる。それぞれの障害者について感覚、知覚、知的特性、パーソナリティ、人間関係と社会性、適応と精神衛生などについて述べる。その後高齢者の心理について述べる。	
		生命倫理学	「誕生」から「死」へといった「生命」をめぐる生起している、現代の倫理的問題について理解を深めることを目的とする。授業では、「生命」理解に対する様々な立場を紹介する。また、立場の対立が生じた場合にどのように取り組むべきか、多くの事例を交えて検討するとともに、ロールプレイを通して実際に受講者にも意見を主張してもらう。具体的には、生命倫理の知識を学習した後、出生前診断、人工中絶、クローン技術、終末医療、安楽死、脳死等の問題を取り上げ検討する。	

専門 教育 科目	専門 基礎 科目	言語聴覚学概論	言語障害として、吃音、言語発達障害、構音障害、失語症をとり上げる。それぞれに、VTRを使って、より鮮明にイメージがわく様に示す。聴覚障害は、その生理、病理、症状指導方法について述べる。その他、現在現場で問題となっている学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)についても触れる。言語聴覚士の役割についても講義する予定である。	
		救命救急医学	医療従事者は患者の救命のために、何時でも救急医療ができるように研修・研鑽をつまなければいけない。そこで、心肺蘇生法における救命の連鎖を理解し、実践できるように学習する。また救命救急医学について理解する。講義内容は ①救急医学の理解 ②一次心肺蘇生法の理解の実施〔気道の確保、人工呼吸、心臓マッサージ、自動体外式除細動器(AED)の使用〕 ③救急医薬品、救急処置、輸液・輸血 ④救急患者管理 ⑤救急疾患の理解(ショック状態、心筋梗塞、脳血管障害、外傷、熱傷、急性中毒など)である。	
		栄養学	栄養素とその働きや消化吸収を学び、栄養について理解する。健康維持増進や疾病治療における栄養の意義を理解するために、健康と栄養、ライフステージ(妊娠・授乳期、乳幼児期、学童・思春期、成人老年期)と栄養、食品と栄養、食生活と栄養、生活習慣病と食事療法を学習する。さらに、栄養に関する知識を実践の場で生かすために、食事摂取基準や栄養状態の判定の基礎、病院の栄養サポートチームによる栄養管理について学び、臨床応用のための栄養学の基本的な知識と役割について理解する。授業は講義方式で行い、パワーポイントを用いて説明する。	
		予防医学	衛生学・公衆衛生学の目的とする疾病の予防・健康の保持とその増進を達成するためには、地域・職種において患者・家族・地域住民及び行政・医療などの専門家が相互に参加し保健・医療・福祉活動を総合的に展開することが必要である。その必要性和問題解決に必要な基礎事項について講義する。①公衆衛生学の概要、②我が国の健康レベルの現状、③疫学の基礎、④健康保持・増進、適切な栄養摂取、運動や休養、健康教育、⑤疾病の早期発見と早期治療、⑥疾病の増悪予防、リハビリテーション、⑦健康寿命と介護予防、⑧精神保健、⑨環境と人、⑩公害その1、⑪公害その2、⑫健康の管理、⑬学校保険・介護保険、⑭社会保障などについて学習する。	
		病原微生物学	感染症の原因となる微生物に関する基礎的知識を学習する。病原体を殺す薬や発病を防ぐワクチンなどが開発され、現在は感染症で死ぬ乳幼児の危険はかなり減少したが、近年いくつかの新しい感染症の出現や、既に解決済みの感染症の復活、薬剤耐性菌による院内感染、臓器移植や免疫不全症に伴う日和見感染症など、感染症の対策は容易ではないといわれる。感染症とその対策を理解するための知識を学習する。	
		生化学	医療職に必要とされる生命科学について生化学領域すなわち、人体の構成成分の種類とそれらの分子構造及び機能を学ぶ。これらの分子の代謝経路及びその調節機能を理解させ生命現象の基本を学ぶ。また生合成機構、分解経路、エネルギー代謝、遺伝情報発現機構を学び、それらの異常に起因する疾患についても分子レベルから原因と症状を理解し、治療方針の基本について理解する。薬物の作用機序について、代謝経路の作用部位や作用発現の形式を各器官別の疾患と関連させて理解する。	
		看護学	看護とは何か、看護の目的、方法、対象を知り、保健医療福祉分野における看護の役割や今後の方向性について学ぶ。また、看護学とは何か、成人、老人、母性、小児等の各分野の特徴、看護学の変遷、教育の現状と課題に触れる。さらに、施設や地域など多様な場において、家族を含めた患者や利用者を中心とした保健医療福祉専門職の連携の重要性について学ぶとともに、専門職種が連携を図るにはどのようにしていったらよいかを考える。	

専門教育科目	専門基礎科目	画像診断学	医用画像技術および放射線治療技術などの放射線関連知識は、理学療法士・作業療法士にとって必要不可欠になってきている。本科目では、医療人として必要な放射線医学の基礎知識を学んだのち、理学療法士・作業療法士として必要な画像診断技術、放射線治療、放射線安全利用などの知識を学ぶ。 (オムニバス方式/全8回) (70 阿部 慎司/第1回) 放射線および放射線医学の基礎知識 (72 布施 拓/第2回～第3回) X線による画像診断 (71 石森 佳幸/第4回～第5回) 磁気共鳴映像法による画像診断 (70 阿部 慎司/第6回) 核医学 (72 布施 拓/第7回) 放射線治療 (70 阿部 慎司/第8回) 超音波検査	オムニバス
		リスク管理学	医療現場では医療事故(医療過誤、過失のない事故など)が発生する頻度が高い、重大な事故に発展しかねないヒヤリ・ハットは日常業務で遭遇することが多い。医療、保健、福祉活動において発生しやすい状況などを分析して、その場合の対処方法、発生予防対策などの基本的知識と技術を学ぶ。事例を通じて、その原因の分析と再発防止の方策を学ぶ。	
	専門科目	リハビリテーション管理学	理学療法学、作業療法学に共通する診療報酬・介護報酬の申請、スタッフの配置と勤務体制、物品管理、新人教育、内部の勉強会、外部との研修会、共同研究、研究費の申請、他職種との調整など、職場管理に必要な体系と知識と技術を学ぶ。また、医療保険制度、介護保険制度など制度の全体像や理学療法士・作業療法士法についても学ぶ。 (オムニバス方式/全15回) (16 大平 雅弘/10回) 職業倫理、職場管理、理学・作業療法教育 (8 三浦 達浩/5回) 医療保険制度、介護保険制度、関連法規	オムニバス
		エレメンタリーセミナー	理学療法士・作業療法士の従事する医療機関・施設の全体像を理解し、医療人としての基本的態度、マナー、姿勢の習得を目的とする。また、今後の講義や実習などの学習意欲を高めるためのレポート作成方法や口述発表に必要な基礎知識や技能を習得する。 (オムニバス方式/全15回) (1 桑名 俊一/第1回) 建学の精神、保健医療学部の3つのポリシーの理解 (2 鷲田 孝保/第2回) 医療従事者としての心構え、職業倫理 (13 大塚 栄子/第3回～第5回) 専門職に求められるコミュニケーション能力、倫理、礼節、接遇 (19 千葉 諭/第6回～第9回) 医療専門職、理学療法士・作業療法士、保健・医療・福祉関連施設の役割 (19 千葉 諭/第10回～第11回) 施設見学ガイダンス (18 舘岡 周平/第12回～第13回) 施設見学の準備 (19 千葉 諭/第14回) 施設見学 (18 舘岡 周平/第15回) 施設見学	オムニバス
		インターメディエイトセミナー	基礎理学療法学見学実習、基礎作業療法学見学実習の内容を効果的に習得するための科目である。それぞれの病院・施設におけるリハビリテーションのありかたやお互いの医療職者との関わり方、その施設の特徴などの情報交換を行う。臨床現場で行う検査・測定を体験するために、その必要性を確認し、個々の検査測定から得られる情報について学ぶ。	共同

専門教育科目	専門科目	理学療法・作業療法 共通科目	リハビリテーション研究法	理学療法及び作業療法の研究の必要性やそのために必要な知識を習得し、研究の基本的な心構え・研究心を養うことを目標とする。文献研究、調査研究、実験研究、事例研究などについて説明する。量的研究、質的研究の違いを説明する。統計解析と検定法について基礎知識を学ぶ。論文の書き方、発表の手続きを学ぶ。研究論文を使って、論文批判をする。理学療法、作業療法の研究の動向を説明する。	共同
			リハビリテーション英文購読	理学療法士、作業療法士が臨床上、および研究に必要な情報を入手するためには日本語の文献のみならず、海外の情報を得るために英文文献を読むことは重要である。本講義ではまずその検索方法、入手方法を学び、英文文献を実際に購読する中でその内容を理解し、どのように情報を入手するかを習得する。	
			アドバンスセミナー	理学療法・作業療法の技術を習得するために、骨・筋・腱・関節など運動器を中心に、身体表面から観察・触診して形状や筋の走行などがわかるようにする。特に筋のわずかな収縮により触知できることは重要である。評価学で必要な身体の指標を指示および筋収縮を触知できるようになること等を目的として実践を通じて学習する。また、臨床実習に参加する準備として、実習前OSCEを行う。	共同
			福祉工学	リハビリテーションにおける工学の関わりについて学習する。理学療法・作業療法を行う上で有用である。内容としては、身体運動、義肢装具および車いすのバイオメカニクス、評価機器を使用した歩行や手指の運動、日常生活の動作分析、代行機器、生活支援と介護支援のための機器について講義し、工学的な考え方、捉え方および技術の理学療法・作業療法分野における応用について学習する。	
			リハビリテーションとロボットテクノロジー	ロボットテクノロジーは、上肢の機能回復訓練、歩行訓練、ADLの介助に活用されている。情報通信技術(ICT)は、就労や就学困難な障害児・者に、社会参加の機会を創出している。人工知能(AI)は、人の話す言葉や表情の認識を可能にし、大量のデータ(ビッグデータ)の中から一つの特徴を抽出することも可能にしている。これらの新しい最先端分野の技術に関心をもった理学療法士・作業療法士を育てるために、リハビリテーションとの関連で、知識と技術など基本的な学習をする。 (オムニバス方式/全15回) (7 池田 恭敏/8回) 総論、作業療法分野でのロボットテクノロジーの応用 (11 倉山 太一/7回) 理学療法分野でのロボットテクノロジーの応用	オムニバス
			医用画像特論	理学療法・作業療法が対象とする疾患は多様化してきており、より安全にかつ効果的な理学療法・作業療法を提供するためには、画像情報を利用することが有用である。理学療法・作業療法の系統別に画像情報の利用の仕方を学び、また、基本的・応用的動作や歩行、ADL動作に関する動画を使用した評価について学ぶ。	
			ステップアップ演習	運動器系・神経系・内部障害系の理学療法・作業療法で必須となる基礎医学(解剖学・生理学)と運動学を理学療法の視点から学習する。特に運動器系および神経系の知識について、機能障害との関係を含めて整理する。機能障害と関連付けることにより解剖学・生理学・運動学と理学療法・作業療法の知識をより深く学習する。 (オムニバス方式/全15回) (6 山本 雅哉/6回) 解剖学と理学療法・作業療法 (1 桑名 俊一/5回) 生理学と理学療法・作業療法 (8 三浦 達浩/2回) 運動学と理学療法 (7 池田 恭敏/2回) 運動学と作業療法	オムニバス

専門教育科目	理学療法学・作業療法学 共通科目	プロフェッショナル セミナー	学内授業、学内実習などで習得した知識・技術を統合し、解剖学・生理学・運動学等の基礎的知識を基に、疾患と障害との関係や総合的な治療アプローチについて再確認し、学外臨床実習に十分対応できるよう学習する。また、さらに深めておきたい領域の臨床的技能や知識を深める。さらに、総合臨床実習で十分達成できなかった内容(問題点抽出、プログラミング、リスク管理、未経験な障害領域へのアプローチなど)をもう一度見直し、臨床スキルを向上させ、理学療法・作業療法を卒業後臨床の現場で実際に応用できるように学習する。	共同
		生活環境学	日常生活活動(ADL)の周辺をなす生活関連動作(APDL)と生活環境全般について学ぶ。在宅でのQOLの充実を図るために必要な生活環境を、住宅環境、法律、諸制度、社会環境、在宅サービス、リハ関連機器などの側面から理解する。障害者、高齢者が自立した主体的生活が保障されるための生活環境整備・改善の支援について学習する。 (オムニバス方式/全15回) (12 千田 直人/8回) ADLとAPDL, QOL, 住宅環境・社会環境について (15 角 正美/7回) 法律・諸制度、在宅サービス、リハ関連機器について	オムニバス
		プロフェッショナル スキル	理学療法・作業療法の対象となる代表的疾患に関するレビューを行い、障害の評価から具体的介入の実際についてまでの包括的な演習を行う。問題基盤型学習(PBLテュートリアル)の導入により、患者の事例の中から問題を見出し、その問題を手がかりに、学習をすすめていく学習方法を体験する。ここでは、医療面接(能力)を含む臨床思考過程、すなわち、問題発見能力、情報収集のスキル、臨床推論等について習得することが目標となる。さらに、4年次の総合臨床実習を想定した客観的臨床能力試験(OSCE)を実施する。	共同
		理学療法学概論	理学療法の全体像が把握できるように、総合的・体系的に学習する。理学療法の定義、歴史、分類、対象などについて述べる。特に医療における理学療法の位置づけ、原理、対象と治療手段、業務内容、治療の原理、理学療法教育、理学療法関係法規、行政、理学療法と倫理について学習する。また、理学療法の基礎となる知識、技術、態度などを学習する。理学療法の中核をなす運動療法の概念を理解し、治療手技や治療体系の基本的考え方を学習する。特に、あらゆる疾患・障害に対しての基本的手技である、関節可動域練習、筋力増強練習などの理論と方法を理解し、模擬できるようにする。	
	理学療法学専門科目	高齢者理学療法学	日本は高齢社会となり、高齢者の特徴を捉えて理学療法を施行することが重要となっている。また、介護予防の観点から虚弱高齢者の理学療法も注目されている。本講義は、高齢者に対する理学療法の枠組みを知ること、障害の階層と関連づけて理解できることを目的とする。身体の高齢変化の特徴、および健康高齢者と障害を有する高齢者との相違を概説し、加齢を考慮した理学療法の特徴を学習する。これらのことを踏まえ、高齢者に対応した中枢神経系疾患、骨関節疾患および内部障害系疾患等の理学療法評価の進め方、評価実施上の考慮点と工夫、抽出される問題点の特徴、理学療法プログラム立案の要点およびリスク管理について講義する。また、介護予防の観点から虚弱高齢者の理学療法についても学習する。	
		運動療法学	各種の疾患によって障害を受けた身体機能の回復のために、運動を科学的に用いる治療法で医学的リハビリテーションの中核的な治療法として発展してきた。本講義では、運動療法を適切に行うための基礎的な知識と技術を習得することを目的として以下の項目について学習する。総論として定義、歴史、対象、理論、種類、機器、各論として、各種運動療法(関節可動域練習、筋力増強、持久力増大、協調性改善練習、機能動作練習)などを学習する。	

専門教育科目	専門科目	理学療法学専門科目	運動療法学実習	運動療法学実習は、運動療法学で学んだ知識をもとに、運動療法に 適応される基本的運動療法の技能を、学生モデルによる実技練習を通 じて習得する。主な内容としては、1) 関節可動域訓練、2) 伸張運動、3) 筋力増強・維持訓練、4) 持久力増強訓練、5) 全身調整訓練、6) 協調性 の改善訓練、7) 徒手療法・関節モビライゼーション、8) 松葉杖・杖歩行訓 練、9) その他。これらの技能を、臨床の場で実施する際の注意点につい ても学ぶ。	
			基礎理学療法学見 学実習	学内で学んだ理学療法の基礎知識を基に、病院・施設での見学実習 を通じてリハビリテーションの位置づけや各医療スタッフの業務内容・連 携、また理学療法士の具体的な業務を学習する。さらに臨床現場にお いて、これまで学んだ検査・測定を体験する。これにより今後専門分野の 知識・技術を学ぶための動機付けを図る。	
			理学療法評価学Ⅰ	理学療法を進めるために必要な理学療法評価法の基礎的知識、技術 を理解するために、理学療法評価の意義、目的、評価の過程、評価の 対象、理学療法評価の種類、各種検査・測定等について学習する。	
			理学療法評価学Ⅱ	理学療法評価学Ⅰで学んだ知識や技術を基に、検査結果の解釈、介 入目標の設定、介入方針並びに具体的プログラムの立案、介入選択基 準の根拠、臨床意思決定、等の理学療法における臨床思考過程につい て理解する。特に、理学療法の対象となる代表的疾患に対する評価から 具体的介入への展開について、具体例を通して学ぶ事を目的とする。	
			理学療法評価学実 習Ⅰ	効果的な理学療法を遂行するためには的確な理学療法評価を実行で きることが必須である。本実習では、四肢長、周径、関節可動域テスト、 徒手筋力検査、反射、感覚など理学療法施行上必要とされる基本的な 検査・測定を中心に行い、その結果に基づいて理学療法対象者の障害 構造を分析する能力を養うことを目的とする。	
			理学療法評価学実 習Ⅱ	理学療法評価学実習Ⅰで習得した基本的検査・測定をふまえ、呼吸・ 循環機能評価、代謝機能評価、心機能評価、片麻痺機能評価、整形外 科学的検査法等疾患に応じた検査・測定を学習し、その結果に基づい て理学療法対象者の障害構造を分析する能力を養うことを目的とする。	
			動作分析学	人間の行動は、運動・動作・行為の3つの階層から分析することができ る。機器を用いた運動分析の基礎を学ぶとともに、臨床的に用いられる 観察を中心とした運動分析、動作分析を講義・演習を通して学習する。	
			運動器系疾患理学 療法学	運動器疾患、主として骨折、リウマチ、関節炎などの整形外科(脊髄損 傷・切断を含む)疾患ならびに熱傷に関して、理学療法を行う上で必要 な疾患の特徴、診断(検査・測定)治療、評価について学習し、物理療 法、運動療法の手技を学習する。併せて、急性期におけるベッドサイド 治療の注意点、リスク管理を学ぶ。	
			運動器系疾患理学 療法学実習	運動器系疾患理学療法学で習得した知識・技術を統合し、臨床の場 で運動器系疾患に対する評価＝目標設定＝治療計画＝治療＝効果判 定という系統的な理学療法を実践できるよう実習を行う。	
			成人中枢神経系 疾患理学療法学	種々の中枢神経疾患の中でも、特に理学療法の対象として頻度の高 い脳血管障害を中心に、神経難病(パーキンソン病、脊髄小脳変性 症)、認知症、その他の神経筋疾患に対する理学療法について各病期 (急性期、回復期、維持(慢性)期)に分けて学習する。各疾患の病態、 治療、検査・測定、評価、基本的な理学療法の進め方に理解することを 目標とする。	
			成人中枢神経系 疾患理学療法学実 習	神経系理学療法学で学んだ治療体系について技術面の実習を行う。 具体的には脳血管障害の急性期・回復期・慢性期それぞれにおける治 療アプローチの習得をはじめ、進行性の神経難病に対して理学療法を 実施できる能力等の習得を目的とする。	

専門教育科目	理学療法学専門科目	小児中枢神経系疾患理学療法学	多種にわたる小児中枢系疾患を理解した上で、新生児からの発達の過程でこれらの疾患に伴う障害がどのように阻止要因となるかを理解する。それを前提に疾患別理学療法治療について学ぶ。また、脳性麻痺に関してはその障害分類を理解し、タイプ別の治療法について理解を深める。	
		小児中枢神経系疾患理学療法学実習	小児中枢神経系疾患理学療法学で学んだ基礎的知識を基に、実際の治療を実習を通じて習得する。また同時に障害児の発達を促すための支援(座位保持装置などの生活環境改善)についても実習で、学んでいく。	
		内部障害系疾患理学療法学	いわゆる内部障害の疾患でリハビリテーションに関係の深い代謝疾患・呼吸器疾患・循環器疾患等について、その疾患の特徴・基礎にはじまり、理学療法を行う上での注意事項、実際の理学療法の進め方を学習する。具体的には、代謝疾患では主に糖尿病の病態生理、運動の重要性を学び、また生活習慣病の新しいカテゴリとしてのメタボリック・シンドロームの病態等についても理解する。呼吸器疾患では呼吸の生理、呼吸器の病態生理、各呼吸器疾患の特徴を、循環器疾患では心疾患の病態生理、心電図について理解し、リスク管理の基礎を学ぶ。またその他として廃用症候群、過用症候群、誤用症候群のそれぞれの成因を理解し、どう対処すればそれを防げるかを学ぶことを目的とする。	共同
		内部障害系疾患理学療法学実習	呼吸・循環器系疾患理学療法学で学んだ基礎的な知識・技術を統合し、各疾患に対する具体的な理学療法を学ぶ。代謝疾患では、具体的なカロリー消費やそれに対応する運動の種類や運動量の決定を実践を通して理解する。呼吸器疾患ではスパイロメータやパルスオキシメータ等の各種検査機器を使用し、これらの評価を行えるようになる。また心疾患については安静時心電図・負荷心電図の測定を通して心疾患のリスク管理の重要性を学ぶ。肺理学療法の手技については、呼吸介助・体位排痰法・徒手拡張伸張法・各種呼吸訓練・喀痰等の吸引が行えるように実技を中心に臨床的な理解を深める。	
		物理療法学	物理療法の定義及び分類、リハビリテーションにおける位置づけを述べた後、①熱の物理学及び生理学、②皮膚の構造と痛みのメカニズム、③水の特性と寒冷による生理的反応、④極超短波療法及び超短波治療法、⑤光線療法(紫外線・赤外線・レーザー)、⑥湿熱及び乾熱治療(ホットパック・渦流浴・パラフィン浴などの湿熱療法)、⑦寒冷療法、⑧超音波療法、⑨水治療法、⑩牽引療法、⑪徒手療法などについて学習する。	共同
		物理療法学実習	物理療法のうち、マッサージ・水治療法・電気刺激療法・超短波・極超短波療法などについて学習する。各種物理療法の物理的・生理学的効果を理解し、安全に施行できることを授業の目標とする。	
		日常生活活動学	日常生活活動(ひとりの人間が独立して生活するための基本的な、共通して毎日繰り返される一連の身体活動:ADL)の「概念」「分類」「評価」「基本的技術」「適応」について学ぶ。障害を持つ人々の「基本的ADL」「生活関連活動」「ADLと自助具」「ADLとQOL」について学ぶ。	
		日常生活活動学実習	日常生活活動学で学習した知識と技能について、リハビリテーション医療の代表的な疾患別、障害別に体験的に実習する。学生同士が模擬症例を演じる。脳卒中片麻痺、脊髄損傷対麻痺・四肢麻痺、切断、慢性関節リウマチ、脳性麻痺、筋ジストロフィー症、慢性呼吸疾患等の障害特性、ADL特性を理解し、ADL評価、ADL訓練プログラムを体験的に学習する。	

専門教育科目	理学療法学専門科目	スポーツ理学療法学	スポーツ選手がおかれる環境を理解し、チーム医療の中で理学療法士が果たす役割を学習する。スポーツ選手の体調を管理し、外傷・障害を予防するための理学療法を学習する。医療機関におけるリハビリテーション、およびスポーツ現場におけるアスレティックリハビリテーションを実践するために必要な知識と技術を習得する。スポーツ外傷・障害に限らず、骨・関節疾患の評価を学習し、理学療法プログラムを立案・実施する技術を学習する。	
		高次脳機能障害学	成人から老年期における疾病および障害は極めて広範囲にわたるが、とりわけ血管障害、腫瘍、外傷などによって引き起こされる脳損傷(brain damage)症例に対する評価と治療は理学療法士にとって最大かつ主要な課題である。これらの症例の一次的な障害すなわち運動麻痺や感覚障害に対する理学療法についてはすでに講じられているので、この講義では更なる課題である意識、言語、認知、行為、知能などの所謂高次神経機能障害に焦点をあてて述べていく。本講義の目標は、高次神経障害の主要な症候に関する評価の実際と基本的治療理論の理解を確立することである。	
		地域理学療法学	地域を基盤として行われる理学療法の専門的知識・技術について習得する。地域で生活している障害者・高齢者の生活自立支援について、保健・医療・福祉の制度・サービス内容を知り、関連の必要性、ケアマネジメントについて学ぶ 家庭訪問による訪問リハビリテーションサービスや、施設における入所・通所リハビリテーションサービスに携わる理学療法士に必要な知識・評価・実施方法を学ぶ。在宅生活支援を実践する専門家としての基本的姿勢・態度についても習得する。	
		地域理学療法学実習	保健・医療・福祉におけるサービス実施機関・施設[市町村保健センター、訪問看護ステーション、老人保健施設、医療機関の在宅訪問指導、NPO法人等]での見学実習を通して、地域を基盤として行われる理学療法の知識・技術の活用について学ぶ。	
		地域理学療法学実習セミナー	地域を基盤として行われる理学療法の専門的知識・技術について、演習を通して学ぶ。地域包括ケアシステムの構築における理学療法の関わりについて考え、医療・介護・福祉・予防分野での理学療法士の役割について学ぶ。また、ケアマネジメントにおける多職種の役割、連携やケアマネジメントの過程について学ぶ。	
		義肢学	下肢切断の評価と切断原因疾患別に理学療法の注意点を理解する。各種の義肢の特徴と障害適応を理解し、処方、作成、チェックアウトの過程を学習する。また義肢の調整が、姿勢、歩行動作に与える影響を学習する。支給システム、活用技術について学習する。	共同
		装具学	各種の装具の特徴・障害適応を理解し、処方、作成、チェックアウトの過程を学習する。支給システム、活用技術について学習する。特に疾患別(脳卒中片麻痺、整形外科疾患、関節リウマチ、対麻痺、小児)に選択できるよう学習する。	共同
		理学療法評価学臨床実習	この実習では学内で習得した検査、測定方法について実際の臨床の場で体験して、学内授業と臨床の場での違いについて具体的に学習することを目的とし、病院・施設で5週間の実習を行う。指導は本学教員と連携をとりながら、他の病院、または施設の指導者が行う。実習後は症例検討会、症例発表会を通して、評価についての理解を深める。	
		総合臨床実習 I	この実習では検査・測定を統合し、問題点の抽出、ゴール設定など具体的に学習する。また、疾患に応じた評価項目を選択し、その評価の意義についても理解できるようにする。実習先は指定病院・施設等であり、6週間の実習を実施する。実習終了後は症例検討会、発表会を行い疾患と理学療法に関する理解を深める。	

専門教育科目	理学療法学専門科目	総合臨床実習Ⅱ	理学療法の評価、治療及び経過からみた効果判定について具体的に臨床実習を行なう。実習先は指定病院・施設等であり、6週間の実習を実施する。実習後は症例検討会、発表会を通じて、疾患と理学療法に関する理解を深める学習を行う。	
		卒業研究	卒業後、自ら研究する姿勢と能力を養うことを目的に研究の必要性、研究課題の設定、文献検索、研究方法の選択、研究計画書の作成などを行い、データの収集・集計・分析・考察、論文作成を行う。	
		作業療法学概論	リハビリテーションの歴史の中で、作業療法の原理、作業療法の位置づけ、ICFとの関連を学ぶ。作業療法の対象、領域別作業療法実践の流れを学ぶ。世界の作業療法と日本の作業療法との関係を知る。作業療法の教育体系、医療倫理、多職種連携によるチームアプローチを学ぶ。地域包括ケアシステムについての知識を学ぶ。作業療法の評価と問題点の抽出、援助計画の立案、フォローアップの原理を学ぶ。身体機能、精神機能、認知機能、発達機能と作業療法との関係を学ぶ。	
		音楽療法概論	音楽療法について概観する。ヨーロッパ、アメリカをはじめとする諸外国の音楽療法の歴史、日本の音楽療法の歴史について学習する。また、発展し続ける音楽療法の現在の実践と研究の現状についての知識を身につける。	
		作業学	作業学の名称の由来、作業の定義、分類、理論を学ぶ。人間作業モデル、カナダ作業遂行モデル、作業療法介入プロセス・モデル、作業科学などの理論について学ぶ。作業と運動学、作業と神経生理学、作業と心理学、作業分析と作業分析の実践について、演習を通して実際に方法を身につける。ライフステージの中で、発達期、青年期、高齢期における作業の意味を考える。	
		作業学演習Ⅰ：木工	手づくり玩具を制作する。製図、切断、切削、組み立て、塗装などの工程を通じて、木の性質、道具、工具、電動工具の使い方、使用上の注意などを学ぶ。 完成した手作りおもちゃと既存のおもちゃを用いて遊び方の展開を皆の前で発表し、意見を理解する。 作業療法への応用について自分の意見を述べる。 (オムニバス方式/全15回) (76 小松 和人/10回) おもちゃの制作 (77 岡田 哲也/3回) おもちゃの展開 (2 鷲田 孝保/2回) 作業療法への応用	オムニバス
		作業学演習Ⅱ：織物・園芸	この演習では、織物と園芸作業を行う。 ”さをり”を通して、織機の構造、成経、経糸通し、緯糸通し、織などの工程を実習する。身体的側面の分析、精神的側面の分析を体験する。 大学の農園を使って、農作業の知識と技術を学ぶ。プランターを使って、種まき床、種の撒き方、手入れ、育成などを体験する。園芸作業を協働で行い、作物の収穫の喜びによる治療効果を考察する。身体的、精神的側面への治療的意味を分析し、学習する。 (オムニバス方式/全15回) (79 表 千恵子/7回)さをりの指導 (78 武田 英之/7回)園芸作業の講義と実技指導 (2 鷲田 孝保/1回)作業療法への応用	オムニバス

専門教育科目	専門科目	作業療法学専門科目	作業学実習Ⅲ:陶芸・手工芸	演習時間の前半は陶芸、後半は手工芸を行う。陶芸の基本知識と技能を身につける。演習を通して、身体的側面の分析、精神的側面の分析を体験する。 手工芸として、切り絵、貼り絵、タイルモザイク、革細工、マクラメなどの手工芸作業を行う。身体的、精神的側面への治療的意味を分析し、確認する。将来臨床現場で治療的作業として、活用できるように学習する。	
			作業療法評価学総論	対象者の背景情報・医学的情報の収集に始まり、患者の問題点ニーズの知るために評価を行う。その評価に基づいて、作業療法の治療が組み立てられる。個人情報保護等についての重要性を伝える。評価の対象、評価の種類、基本技術を学ぶ。	
			作業療法治療学総論Ⅰ	対象者に応じた作業療法の治療ができるようになるために、評価-治療の方式を説明する。トップダウン・アプローチと、ボトムアップ・アプローチのメリットとデメリットを説明できる。根拠に基づく作業療法(EBOT)とナラティブに基づく作業療法(NBOT)のメリットとデメリットを説明する。治療理論の紹介と治療プログラムの立案、実施の方法、臨床的推論、リスク管理などについて理解する。	
			作業療法治療学総論Ⅱ	身体機能と作業療法の治療原理を理解する。対象者とセラピストのためのボデイメカニク運動制御理論と運動学習、関節可動域の維持、拡大、筋力と筋持久力の維持・増強、筋緊張異常とその治療、不随運動とその治療、協調運動障害とその治療、感覚知覚再教育、廃用症候群とその治療などの理論を説明する。統合モデル、作業的存在と生活の構築、社会参加の促進、協業、共同による問題解決法を学習する。作業療法治療学の総括。	
			身体機能と作業療法評価学	脳血管障害、頭部外傷、脊髄損傷、上肢の滑翔神経損傷、関節リウマチ(全身性エリテマトーデス、多発性筋炎、皮膚筋炎他)その他の神経疾患、神経・筋疾患などの評価の方法、評価器具の取り扱いとメンテナンス、問題点の抽出と評価のまとめ方を症例を通して学習する。ボトムアップ評価とトップダウン評価の方法について学習する。	
			身体機能と作業療法治療学Ⅰ	中枢神経疾患患者の病態、障害像、機能回復のメカニズム、機能的予後、医学的治療と作業療法の関連について説明できる。作業療法の評価、各病期に応じた作業療法目標を設定できる。上肢機能回復、知的・認知機能、ADL、地域生活、社会参加支援等の作業療法プログラムを計画できる。骨関節疾患(骨折、関節リウマチ、熱傷、切断、腰痛他)病態、障害像、機能回復のメカニズム、機能的予後、医学的治療と作業療法の関連について説明する。	

専門教育科目	専門科目	作業療法学専門科目	身体機能と作業療法治療学Ⅱ	神経筋疾患者の病態、障害像、機能回復のメカニズム、機能的予後、医学的治療と作業療法の関連について説明する。内部疾患(心疾患、呼吸器疾患、糖尿病)者の病態、障害像、機能回復のメカニズム、機能的予後、医学的治療と作業療法の関連について説明できる。悪性腫瘍者の病態、障害像、機能回復のメカニズム、機能的予後、医学的治療と作業療法の関連について説明する。 (オムニバス方式/全15回) (81 福澤 恵/2回)障害像を紹介し、機能回復のメカニズムを説明する。(7 池田 恭敏/13回)それぞれの症例における医学的治療と作業療法治療について説明する。	オムニバス
			精神機能と作業療法治療学Ⅱ	精神機能評価の目的と留意点、精神機能評価のプロセスを学習する。情報収集の目的と留意点、情報収集の方法、観察の目的と留意点、観察の方法、面接の目的と留意点、面接の方法を症例を通して学ぶ。検査、調査の目的と留意点、検査の種類と方法、調査の目的と留意点、調査の種類と方法などを症例を通じて学ぶ。疾患別(統合失調症、抑うつ障害および双極性障害、神経症性障害、パーソナリティ障害)評価の方法を症例を通じて学ぶ。	
			精神機能と作業療法治療学Ⅰ	統合失調症に対する作業療法に必要な知識と技術について理解を深める。統合失調症の特徴と障害構造、回復過程に沿った作業療法、環境調整について説明する。気分障害に対する作業療法に必要な知識と技術について理解を深める。特徴と障害構造、治療理論と留意点、各病相における作業選択と作業療法士の役割について説明する。	
			精神機能と作業療法治療学Ⅲ	神経症性障害、パーソナリティ障害、知的障害他に対する作業療法に必要な知識と技術について理解を深める。特徴と障害構造、治療理論と留意点、各病相における作業選択と作業療法士の役割について説明する。	
			認知機能と作業療法治療学Ⅱ	知能と認知機能について評価の目的と留意点、認知機能評価のプロセスを学習する。脳の機能分布、認知の機能、思考と記憶、言語機能について評価の目的と留意点、情報収集の方法を症例を通じて学ぶ。	
			認知機能と作業療法治療学Ⅰ	失語症、失行症(運動、行為の障害)、失認(対象認知の障害)半側空間無視、記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行為障害、認知症などの治療プログラムの立案、治療の方法を説明する。症例報告を理解する。	
			発達機能と作業療法治療学Ⅱ	発達機能と作業療法評価の基本的なとらえ方ができるようになるために、その関連事項についての理解を深める。発達機能と作業療法が行われている現場の職務内容について十分に理解する。有効に実践できるようにするためにその実践課程に関連する事項について十分に理解する。記録を作成するためにその捉える視点を理解して実施する。	共同

専門教育科目	専門科目	作業療法学専門科目	発達機能と作業療法治療学	新生児疾患, 脳性麻痺児, 知的発達障害児, 進行性筋ジストロフィー児, 重症心身障害児, 骨関節疾患児, 二分脊椎症児, 自閉症スペクトラム児, 学習障害児, 注意欠陥多動障害児, 頭部外傷等に伴う高次脳機能障害児に作業療法を実践できるようになるために, 必要な知識技術を身につけ, 役割を認識する。	共同
			加齢と作業療法学	高齢化社会, 高齢期の課題, 社会制度について学ぶ。高齢期に多い疾患, 認知症について理解を深める。病期に応じた作業療法, 介護予防の作業療法, 認知症高齢者の作業療法などについて, 作業療法を実践できるようになるために, 必要な知識技術を身につけ, 作業療法士の役割を学ぶ。 (オムニバス方式/全15回) (81 福澤 恵/4回) 認知症の症例を紹介し, 作業療法の評価と介入について説明する。 (9 百田 貴洋/11回) 認知症以外の症例報告を紹介し, 作業療法の評価と介入について説明する。	オムニバス
			内部障害と作業療法学	内部障害(心疾患・腎疾患)を持つ人に作業療法を実践できるようになるために, 必要な知識技術を身につけ, 作業療法士の役割を学ぶ。	
			摂食嚥下の作業療法	ADLのなかでも最も生命にかかわる摂食・嚥下機能の知識は非常に大切である。姿勢と摂食嚥下機能, 呼吸と摂食嚥下機能, 食物形態と摂食嚥下機能, 食器らの自助具などについて正しく観察し, 評価に応じた対応ができることが食事を扱う作業療法士にとって大切な技能である。喀痰等の吸引の実技指導も含め, 画像などを使いながら, 必要な知識と技能を身につける。 (オムニバス方式/全15回) (82 布施 千草/2回) 喀痰の講義と実技 (9 百田 貴洋/13回) 摂食嚥下の講義と演習	オムニバス
			日常生活活動と作業療法Ⅰ	日常生活活動の概念と作業療法の役割, 日常生活活動別の問題点と援助の視点, 日常生活活動の評価について学ぶ。ライフステージから見たADLの自立について学ぶ。評価の目的と方法, 評価の結果の解釈と目標設定を行う。活動分析の知識と技術を学ぶ。生活行為向上マネジメント(MTDLP)の知識と技術を学ぶ。	
			日常生活活動と作業療法Ⅱ	日常生活活動制限に対する作業療法援助法, 作業療法援助の基本的な考え方, 直接的な援助と効果判定, 観察と記憶, 障害別日常生活活動の実際, 発達障害, 身体障害, 精神障害, 老年期の援助法について症例を通して学ぶ。	
			義肢学・装具学	リハビリテーション機器は国際標準化機構で共通の規格が統一化されている。その内容について理解する。 義手の歴史, 義手の分類, 電動義手等について学ぶ。 適応疾患例(小児切断, 前腕切断, 上腕切断, 他)の症例を理解する。作業療法で使用するスプリントの制作をする。 装具の歴史, 装具の分類, 下肢装具, 体幹装具についての作業療法士の役割, 適応疾患例などについて学習する。 (オムニバス方式/全15回) (83 吉野 智佳子/10回) 義手の種類, 電動義手の説明と使用法実技体験, 事例の映像, スプリント他の制作を行う。 (17 松岡 瑞雄/5回) 下肢装具・体幹装具について, 症例の映像を通して学習する。	オムニバス

専門教育科目	作業療法学専門科目	就労支援と作業療法学	障害者の就労支援を行うために、関係する法律、制度を確認し、具体的な評価方法を学習する。作業療法士の役割、実践する上での視点とポイントを学ぶ。一般就労、福祉就労、中間的就労、在宅就労などの雇用形態について学ぶ。行動観察、職業準備性の評価、社会生活技能の評価、一般職業適性検査など対象者個人の評価と職場環境、雇用状況などの評価についての知識と検査法の実技を習得する。症例を通して学ぶ。 (オムニバス方式/全15回) (9 百田 貴洋/12回) 外来講師以外の講義と実技を担当する。 (85 高橋 健/3回) 就労形態と雇用状況などの事例を紹介する。	オムニバス
		地域作業療法学Ⅰ	地域作業療法の基盤と背景について、地域概念、地域づくりのための制度、施策について学び、地域リハビリテーションの概念と歴史を学ぶ。地域作業療法と生活障害、生活障害の評価、社会生活支援、多職種連携と協働を理解する。地域包括ケアシステムの知識と推進するための技術を学ぶ。	
		地域作業療法学Ⅱ	身体機能領域、精神機能領域、診療所、介護老人保健施設、デイサービスセンター、デイケアセンター、訪問作業療法、地域包括支援センター、特別養護老人ホーム、発達支援、教育支援、精神障害者の地域生活支援、高次脳機能障害者の就労支援、認知症支援、終末期在宅支援などにおける実践事例を通して作業療法士の活動内容と役割について学び、地域との連携について理解する。地域包括ケアシステムの症例を通して再学習する。 (オムニバス方式/全15回) (84 芝井 孝祐/4回) 具体的な症例を通して地域包括ケアシステムの有用性を説明する。 (9 百田 貴洋/11回) 地域ケアシステムにおける作業療法士の活動と内容について学習する。	オムニバス
		基礎作業療法学見学実習	2学年の9月に行う実習で、一般病院、リハビリテーション病院、リハビリテーションセンター、精神障害者、発達障害児施設などで、2か所(5日間)見学を主体に行う。事前のオリエンテーション、事後セミナーを行う。前後にOSCEを行う。	
		地域作業療法学実習	3学年の9月に、介護老人保健施設、通所リハビリテーション、訪問リハの施設で1か所(5日間)見学を主体に行う。事前のオリエンテーション、事後セミナーを行う。前後にOSCEを行う。	
		作業療法評価学臨床実習	3学年の2～3月に、一般病院、リハビリテーション病院、リハビリテーションセンター、精神障害者、発達障害児施設、認知症専門病院などで、2か所(2週間+2週間)評価を主体に行う。事前のオリエンテーション、事後セミナーを行う。前後にOSCEを行う。	
		総合臨床実習Ⅰ	この実習では検査・測定を統合し、問題点の抽出、ゴール設定など具体的に学習する。また、疾患に応じた評価項目を選択し、その評価の意義についても理解できるようにする。実習先は指定病院・施設等であり、8週間の実習を実施する。実習終了後は症例検討会、発表会を行い疾患と作業療法に関する理解を深める。	
		総合臨床実習Ⅱ	作業療法の評価、治療及び経過からみた効果判定について具体的に臨床実習を行なう。実習先は指定病院・施設等であり、8週間の実習を実施する。実習後は症例検討会、発表会を通じて、疾患と作業療法に関する理解を深める学習を行う。	
		卒業研究	卒業後、自ら研究する姿勢と能力を養うことを目的に研究の必要性、研究課題の設定、文献検索、研究方法の選択、研究計画書の作成などを行い、データの収集・集計・分析・考察、論文作成を行う。	

学校法人植草学園 設置認可等に関わる組織の移行表

平成31年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	平成32年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
植草学園大学				植草学園大学				
発達教育学部				発達教育学部				
発達支援教育学科	140	—	560	発達支援教育学科	140	—	560	
保健医療学部				保健医療学部		—		
理学療法学科	40	—	160	<u>理学療法学科</u>	<u>0</u>	—	<u>0</u>	令和2年4月学生募集停止
				<u>リハビリテーション学科</u>		—		学科の設置（届出）
				<u>理学療法学専攻</u>	<u>40</u>	—	<u>160</u>	
				<u>作業療法学専攻</u>	<u>40</u>	—	<u>160</u>	
計	180	—	720	計	<u>220</u>	—	<u>880</u>	
植草学園短期大学				植草学園短期大学				
福祉学科				福祉学科				
地域介護福祉専攻	40	—	80	<u>0</u>	—	<u>0</u>	令和2年4月学生募集停止	
児童障害福祉専攻	100	—	200	児童障害福祉専攻	100	—	200	
計	140	—	280	計	<u>100</u>	—	<u>200</u>	

目 次

I 設置の趣旨及び必要性

1. 植草学園建学の精神と学園ビジョン.....1
2. 学科設置の趣旨及び必要性.....1
3. 養成する人材像と学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）.....5
4. 研究対象とする中心的な学問分野.....6
5. 教育研究上の具体的な到達目標.....6
6. 学生に修得させる資質・能力等.....7
7. 既設短期大学の計画.....7

II 学部・学科等の特色

1. リハビリテーション学科の特色.....8
2. 既設の学部・学科と新たな学科との関係.....9

III 学部・学科等の名称及び学位の名称

1. 学部・学科の名称.....10
2. 学位の名称及び学位に付記する専門分野の名称.....10

IV 教育課程の編成の考え方及び特色

1. 教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）.....11
2. リハビリテーション学科の教育課程.....13

V 教員組織の編成の考え方及び特色

1. 教員配置及び教員の学位・業績.....18
2. 研究対象となる学問分野.....20
3. 年齢構成.....20
4. 採用計画.....21

VI 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

1. 教育方法、履修指導方法.....23
2. 卒業要件.....25
3. 卒業研究.....25
4. 履修モデル.....25
5. 履修科目の年間登録上限.....25

6. 他大学における授業科目の履修等	26
VII 施設、設備等の整備計画	
1. 校地、運動場の整備計画	27
2. 校舎等施設の整備計画	28
3. 図書等の資料及び図書館の整備計画	30
VIII 入学者選抜の概要	
1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	33
2. 入学者選抜方法	33
3. 選抜体制	34
4. 募集人員（リハビリテーション学科）	34
5. 社会人、留学生及び帰国生徒の受け入れ	34
6. 科目等履修生、聴講生の受け入れ	34
IX 取得可能な資格	35
X 実習の具体的計画	
1. 実習の目的	35
2. 実習先の確保の状況	36
3. 実習先との契約内容	37
4. 実習水準の確保の方策	38
5. 実習先との連携体制	39
6. 実習前の準備状況	40
7. 事前・事後における指導計画	40
8. 教員及び助手の配置並びに巡回指導計画	41
9. 実習施設における指導者の配置計画	43
10. 成績評価体制及び単位認定方法	44
リハビリテーションに関する実習の詳細説明	44
XI 管理運営	
1. 大学運営協議会	73
2. 教授会	73
3. 各種委員会	74

X II 自己点検・評価

1. 自己点検・評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・75
2. 認証評価，外部評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・76

X III 情報の公表

1. 大学の教育研究上の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・77
2. 教育研究上の基本組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・78
3. 教員組織，教員の数，各教員が有する学位及び業績・・・・・・・・78
4. 入学者受入れ方針，入学者数，収容定員，在学生数，卒業又は修了者数，進学者数，就職者数，その他進学就職等の状況・・・・・・・・78
5. 授業科目，授業の方法及び内容，年間授業計画・・・・・・・・79
6. 学修の成果に係る評価，卒業の認定基準・・・・・・・・79
7. 校地・校舎等の施設及び設備，その他学生の教育環境・・・・・・・・79
8. 授業料，入学料その他大学が徴収する費用・・・・・・・・79
9. 学生の修学，進路選択，心身の健康等に係る支援・・・・・・・・80
10. その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・80

X IV 教育内容の改善を図るための組織的な研修

1. ファカルティ・ディベロップメント（FD）の取組・・・・・・・・81
2. スタッフ・ディベロップメント（SD）の取組・・・・・・・・83
3. 研究支援の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・84
4. その他の組織的研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・85

X V 社会的・職業的自立に関する指導及び体制

1. 教育課程内の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・87
2. 教育課程外の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・88

設置の趣旨等を記載した書類

I 設置の趣旨及び必要性

1. 植草学園建学の精神と学園ビジョン

本学の建学の精神は「徳育を教育の根幹として、国を愛し、心の豊かな、たくましい人間の形成をめざすとともに、誠実で道徳的実践力のある人材を育成する。」ことである。創立者植草たけは、明治 37 年に、社会的な要請に応えるため裁縫技術を教える千葉和洋裁縫女学校を立ち上げた。女性の社会的進出がまだ低い時代にあって、技術と教養（修身などを含む）を身につけた優れた女性の育成は、女性の自立を目指した植草たけの教育の原点であった。

以来、この精神を受け継ぎ、平成 11 年に短期大学を開設して男女共学とし、平成 20 年に大学を開設して、幼児教育、特別支援教育及び保健医療の分野に特色を発揮してきた。

また、建学の精神を具現化していく上で、学園のあるべき姿を「学園ビジョン」として次のように示している。（資料 1 学校法人植草学園中期計画（UGPlan 2018-2023））

一 学生一人ひとりの人間性を大切にした教育を通じて、自立心と思いやりの心を育むことにより、誰をも優しく包み込む共生社会を実現する拠点となる。

二 地域社会における信頼を確かなものとし、安定的で特色ある教育機関としての地位を確立する。

植草学園大学、植草学園短期大学では、多くの卒業生が教育、福祉、保健医療などの分野において、その専門性を活かし、人に寄り添い、着実に地域社会で活躍しており、今後もこの役割を担い続ける教育機関としての発展を期している。

特に、これからの我が国においては、若年人口の減少と高齢人口の増加が一層顕著になることが見込まれているなかで、乳幼児から高齢者まで、すべての人が健康で安心して生きることができる社会（共生社会）を実現することが重要である。

学園として、このような社会の実現に向けて歩を進めているところであり、今回、保健医療学部の充実を図ることもその一環として位置づけている。

2. 学科設置の趣旨及び必要性

本学は、我が国の社会の将来に対する見通しと当学園のこれまでの経験と特色を生かして、①幼児期

から児童期の保育と教育の質的向上，②障害や生活上・学習上困難性等のある幼児・児童への教育及び支援の充実，③障害を持つ人や高齢者等を対象とした保健医療の高度化と充実の3分野に教育研究の重点を置いた大学として，平成20年に発達教育学部と保健医療学部の2学部で開学した。これら3分野の教育研究を通じて，乳幼児から高齢者まで，すべての人が健康で安心して生きることができる社会（共生社会）を実現することを目指している。

その目的を果たすべく保健医療学部においては，障害を持つ人に対して身体的，精神的，社会的側面から自立生活支援及びQOL（生活の質）の向上を支援するため必要な専門知識・技術・態度を備えた理学療法士を養成してきた。このたび，理学療法士養成を継続するとともに，作業療法士養成を加えて，学部の人材養成体制を強化することを計画した。新たな学科の設置の趣旨及び必要性は，以下のとおりである。

（１）学科の名称，入学定員等

＊学部の名称 「保健医療学部」 名称は，変更しない。

＊学科の名称 「理学療法学科」を「リハビリテーション学科」に改める。

従来の「理学療法学科」の名称では，理学療法と作業療法の二つの療法士養成に適合しないため，両方を含めることができる名称として「リハビリテーション学科」に改める。

「リハビリテーション学科」に理学療法士養成と作業療法士養成の教育課程を置く。

理学療法士を養成するコースを「理学療法学専攻」，作業療法士を養成するコースを「作業療法学専攻」と称する。

＊入学定員

理学療法学専攻の入学定員 1学年 40名（従来の理学療法学科と同数）

作業療法学専攻の入学定員 1学年 40名（新規に設定）

＊学科を設置する時期

2020年（令和2年）4月

＊校地・校舎の位置

千葉県若葉区小倉町1639番3

理学療法士養成の教育に必要な教室等は，従来の施設設備を使用する。

作業療法士養成の教育に必要な教室等は，現有の校舎の一部を使用し，一部は校地内に増設する。

（２）リハビリテーション学科設置の趣旨

保健医療学部リハビリテーション学科は，建学の精神に基づいた豊かな人間性と高度な知識及び高い倫理性を備えた人材養成を推進し，保健医療福祉の現場において，リハビリテーションの専門家として地域社会の発展に寄与する人材養成を目指すものである。

平成20年の開学時において、千葉県はもとより全国的に理学療法士が不足している状態にあったが、現時点においても、地域住民の高齢化がますます進み、地域包括ケアにおける地域リハビリテーションの専門家の育成がますます必要とされ、理学療法士のみならず、生活支援の中心的役割を担う作業療法士の育成が求められている。

このような社会状況を考慮して、従来の理学療法学科を廃止し、新たにリハビリテーション学科を設置して、理学療法学と作業療法学の2専攻を置くことにより、リハビリテーションの需要に幅広く対応できる体制を築くこととした。

発達障害及び多様な精神障害のリハビリテーションの担い手である作業療法士を養成することは、大学の使命である「共生社会」の実現に向けての新たな一歩である。

1学科内に2専攻を配置するのは、リハビリテーションにおけるチーム医療の中心的役割を担うために、1学科内で互いの専門性を理解し尊重し合える教育体制とすることが、人材養成上有効であると考えられるからである。臨床現場においてリハビリテーション業務を遂行する上で、理学療法士と作業療法士がそれぞれの専門性を生かし、協調して円滑に支援することが必要である。

（３）理学療法士・作業療法士を養成する必要性

ア．社会的ニーズの多様化に対応

医療における問題は、社会の急激な高齢化のみならず、日進月歩で進む医療の高度化に対応する医療人の養成であり、リハビリテーション分野においても例外ではない。

リハビリテーションには、①障害のある人（子どもを含む）や高齢者の機能低下を予防する予防的リハビリテーション、②各種疾病に対して医療機関が実施する急性期・回復期リハビリテーション、③主に介護保険で対応する地域生活期リハビリテーションがある。これらを患者の症状に応じて適切な時期に行うことが必要である。

例えば、脳梗塞を含む脳血管疾患は後遺症をもたらし、リハビリテーション及び介護が必要となる原因疾患の上位に挙げられる。疾患による機能障害への対応や生活の再構築のためには、急性期病院における早期からのリハビリテーションが重要であるとともに、回復期のリハビリテーションが効果的に実施され、地域生活期においても回復した機能を維持・向上させていくために、回復期リハビリテーション病棟や地域生活期を担うリハビリテーション関係機関の質と量の充実、急性期から回復期、地域生活期のリハビリテーションを担う各医療機関及び当事者・家族の生活に関わる各種の機関との情報共有と連携が重要である。いずれのステージにおいても、専門教育を受けた理学療法士・作業療法士による質の高いリハビリテーションを実施する必要がある。

また、現在、介護職の不足が深刻な社会問題となっている。これまで「喀痰等の吸引」は介護業務に含まれていたが、2020（令和2）年度から施行される「理学療法士作業療法士養成施設指導ガイドライン」において、「喀痰等の吸引」が理学療法士・作業療法士養成の必修科目となることが決定している。これにより、介護領域において、理学療法士・作業療法士の職域拡大が進むことが予想される。

作業療法士に関しては、発達障害及び多様な精神障害のリハビリテーションの担い手となって、その

専門性を生かし、精神障害者の社会復帰の促進、自立と社会経済活動への参加促進、精神疾患発生予防等の領域に必要な人材である。

以上の社会的ニーズの多様化に対応するために、理学療法士・作業療法士を養成する必要性がある。

イ. 日本国内及び千葉県内における需要に対応

独立行政法人労働政策研究・研修機構「平成 27 年 労働力需給の推計」によると、現在起こりつつある AI、ロボット、IOT 等の第 4 次産業革命は、経済社会に大きなインパクトをもって産業構造に変化をもたらすことが予想されている。2030（令和 12）年における産業別就業者数はほとんどの業種で縮小するが、情報通信業や医療・福祉関連の業種では拡大することが予想されている。リハビリテーションを含む医療・福祉分野では高等教育修了者の割合が高く、大学における専門家養成の必要性がある。

「千葉県保健医療計画（平成 30 年度～平成 35 年度）」によると、千葉県の 75 歳以上の人口は平成 27 年には約 70 万人であったが、今後 10 年間で約 110 万人（平成 27 年の約 1.5 倍）に増加し、その後しばらくはその人口が継続すると予想されている。

厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会 第 2 回 理学療法士・作業療法士需給分科会」の報告によると、千葉県の人口 10 万人当たりの理学療法士・作業療法士数は近隣の東京都、神奈川県、埼玉県とともに全国平均より低くなっている。特に作業療法士数は約 30 人と全国ワースト 5 位である。したがって、「千葉県保健医療計画」では、地域リハビリテーション支援体制の整備、総合リハビリテーションセンター機能の確保、高次脳機能障害支援体制の整備を重点項目に挙げており、リハビリテーションスタッフを含む医療従事者の安定した確保と定着化を目指している。

平成 30 年 8 月時点で、千葉県内には、理学療法士を養成する 4 年制大学が 6 校、専門学校が 5 校あり、入学定員は合わせて 685 人である。また、作業療法士を養成する 4 年制大学が 3 校、専門学校が 3 校あり、入学定員は合わせて 175 人である。本学における平成 30 年度の理学療法士の求人数は 784 施設に上り、開学以来、新規卒業生の就職率は 100%を維持している。

四病院協議会が平成 28 年に調査した結果では、全国の病院において理学療法士数は 89.6%と基準上充足しているが、採算上は 60.4%、運営上は 45.5%と充足率が減少している。病院以外の介護老人福祉施設、介護老人保健施設、訪問看護ステーションなどの需要を含めると、今後も理学療法士の求人が見込まれる。作業療法士の充足率においても、基準上 90.6%、採算上は 59.0%、運営上は 42.9%と減少している。作業療法士については、養成施設が少なく、卒業生が少ないために理学療法士以上に需要が見込まれている。

本学の県内就職率は 75%と近隣の大学に比較して高くなっている。（ちば産学官連携プラットフォーム構築会議）このことは、本学の卒業生が地域に定着していることを示すものである。したがって、本学リハビリテーション学科は、上記の需要に応え、地域リハビリテーションの構築に貢献できる人材養成施設となることができる。上述のように、国内及び千葉県内の需要に応えるために、理学療法士・作業療法士を養成する必要性がある。

ウ. 地域との連携及び貢献

本学が所在する千葉市若葉区は、区や保健福祉センター、社会福祉協議会等の関係機関が積極的に住民支援を展開している地域である。若葉区の高齢化率は、2020（令和 2）年 34.5%，2030（令和 12）年 37.6%と予測されている。

平成 24 年 9 月 29 日に、若葉区と本学との間で、地域の福祉、教育、健康等の増進に貢献するため、相互連携に関する協定を締結した。その内容は、①本学の福祉、教育、保健等の専門性を生かした地域貢献に関すること。②若葉区の施策の推進や地域の課題解決のために大学の知的資源、人的資源及び物的資源の活用に関すること。③大学における教育研究及び人材育成に関すること。④地域と連携した防災対策に関すること。⑤学生のボランティア活動に関すること。⑥生涯学習に関することである。

若葉区の課題として、千葉市の中で最も高齢化率が高く、認知症高齢者・独居高齢者世帯の増加に加え、精神疾患や経済的困窮などの複合的な問題を抱えるケースが多くなっていることがある。また、若葉区には 4 つの保健福祉センターがあり、それぞれ管轄する地域においても高齢化率や、地域課題の内容や特徴に大きな差異がある。なかでも認知症高齢者・精神疾患などは、理学療法だけでは十分な対応ができず、作業療法士のニーズが高い。作業療法士養成を通じて、連携の効果的かつ効率的な推進を図り、地域社会の発展に一層積極的に貢献していく考えである。

以上のように、若葉区を中心とした近隣地域のリハビリテーション環境を充実するために理学療法士・作業療法士を養成する必要性がある。

3. 養成する人材像と学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

（１）教育上の目的

学部の教育上の目的は、「植草学園大学保健医療学部規程」第 2 条に「人間性の尊重を基本に、保健医療福祉の科学的知識と技術を追求し、より豊かな社会の創造的担い手となる医療専門職を育成する」と定めている。

（２）養成する人材像

建学の精神及び学部規程に基づいて、次の人材を養成する。

1. 人間性の尊重を基本に、保健医療福祉の科学的知識と技術を追求し、より豊かな社会の創造的担い手となる医療専門職を養成する。
2. 幅広い教養と倫理観を持ち、医療に対する高度な知識、技術を備えた、医療、保健分野における実践能力の高い人材を養成する。
3. 身体的、精神的、社会的側面から自立生活の支援及び QOL の向上を支援するために必要な専門知識・技術・態度を備えたリハビリテーション専門家を養成する。

4. 循環型地域医療連携システム及びチーム医療において協調性を持ち、リハビリテーション専門家として地域社会の発展に寄与する人材を養成する。

(3) 学位授与の方針

学科名を改め、2 専攻体制になるが、ディプロマ・ポリシーは、変更する必要がなく、従来どおりである。保健医療学部ディプロマ・ポリシーは、以下のように定めている。

〈保健医療学部ディプロマ・ポリシー〉

保健医療学部では、以下に掲げる資質及び能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に、学位を授与する。

1. [徳育・教養] 人間や社会に対する理解や生命の尊厳について深く認識し、高い道德心と倫理観を有すること
2. [障害支援] 共生社会の実現を目指し、障害や困難性のある人を支援できる力を有すること
3. [知識・技能・実践力] 保健・医療について広い視野を持ち、リハビリテーション領域における正しい知識・確かな技能及び知識・技能に基づいた実践力を有すること
4. [チーム医療・地域連携] チーム医療を発展させるとともに関連する諸機関や人々との連携を保ち地域社会に貢献する能力を有すること
5. [科学的思考の形成と発展] リハビリテーションの発展に寄与できる科学的思考・論理的解析能力を有すること
6. [生涯探究心の育成] 生涯にわたり医療専門職として成長できる能力を有すること

4. 研究対象とする中心的な学問分野

リハビリテーション学科が研究対象とする中心的な学問分野は、リハビリテーション科学・福祉工学である。リハビリテーション分野の研究者と基礎医学、臨床医学の研究者が相互に刺激し合いながら研究できる体制（学内共同研究体制）によって研究の深化を図り、EBM（根拠に基づいた医療）を実践するための研究に力点を置いて進める。このような方策を活用して、健康の維持・増進等も含む高度化、多様化する理学療法及び作業療法の研究を推進する。

5. 教育研究上の具体的な到達目標

2024（令和6）年3月に第1回卒業生を送り出すが、それ以降毎年度、理学療法士・作業療法士それぞれ40名を養成する。このうち75%が千葉県内で就職すると想定すると、千葉県内の理学療法士・作

業療法士をそれぞれ 30 名ずつ増加させることができる。これを到達目標とする。

6. 学生に修得させる資質・能力等

ディプロマ・ポリシーに対応して、人間性、知識、能力、研鑽継続力等の観点から次の資質・能力等を学生に修得させる。

1. 社会に対する理解を深め、ノーマライゼーションの考え方、広い視野を持ち、隣接職種と協調して自らの役割と責任を担う心構え
2. 患者、対象者を理解し、相手の立場からリハビリテーションを提供する心構え
3. 地域リハビリテーションに関する知識、技術を身に着け、生涯にわたる心身機能の維持と改善、QOL の向上、地域における自立支援を実施する能力
4. 国際化に対応し得る幅広い見識、行動力
5. 多様化する保健医療の要求や医学、医療技術の進歩に対応し、常にリハビリテーションに関する新たな知識・技術の修得に励む等、継続して学習する能力

7. 既設短期大学の計画

本法人が設置している植草学園短期大学には福祉学科に地域介護福祉専攻（入学定員 40 名）と児童障害福祉専攻（入学定員 100 名）の 2 専攻がある。このうち、地域介護福祉専攻においては、入学希望者の減少により定員充足が困難となっているため、2020 年（令和 2 年）3 月に募集停止の予定である。なお、児童障害福祉専攻は継続する予定である。

Ⅱ 学部・学科等の特色

1. リハビリテーション学科の特色

平成 17 年 1 月 28 日、中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の提言する「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」の方向付けを踏まえ、平成 20 年に本学は「幅広い職業人養成」並びに「特定の専門分野の教育・研究」に対応する機能を重点的に担うことを目指して開学した。この方針に基づいて、人間の成長発達及び発達上の障害に関する教育研究と人間の諸機能の回復を図るリハビリテーションに関する教育研究並びにその人材養成を行ってきており、これらの分野の教育と研究の充実・高度化を図るよう運営してきた。これらの分野は、これからの我が国の教育及び高度福祉社会を支えていくために重要かつ不可欠の分野であり、これらの教育・福祉と保健医療に焦点を当てているところに本学の特色がある。

平成 24 年度の中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」において、少子高齢化社会の中で誰もが必要な医療・介護・保育等を安心して受けられる社会システムの構築と維持、そのために必要な人材の育成などの必要性が提言された。本学においては、リハビリテーション領域を対象として、これまで身体的な自立を中心に支援を行う理学療法士の養成を行ってきた。

学科設置の趣旨と必要性に述べたように、リハビリテーションの社会的ニーズの多様性に対応するため、更なる応用的作業や社会適応能力改善の任務を遂行できる作業療法士の養成が必要とされている。このような観点に立ち、当学科では、身体的、精神的、社会的側面から自立生活の支援及び QOL の向上を支援するリハビリテーションの向上に貢献できる人材を養成することを目指している。この考えに基づいて下記の特色を設定している。以上の状況とともに、平成 30 年 3 月 8 日の中央教育審議会答申「第 3 期教育振興基本計画について」の方向付けを踏まえ、以下の特色を持つリハビリテーション学科とする。

- ① 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を持つ理学療法士・作業療法士を養成する。
- ② 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を持つ理学療法士・作業療法士を育成する。
- ③ 共生社会を意識し、その実現に向けて寄与する力を持つ理学療法士・作業療法士を養成する。
- ④ 高度化、多様化するリハビリテーションの業務に対応可能であり、現場において医療・福祉関係職員との適切な連携がとれ、リハビリテーションに関して指導的役割を果たせる理学療法士・作業療法士を養成する。

なお、新たに開設する作業療法学専攻については、以下のような特色を具備する計画である。

- ① 実践能力の高い作業療法士を養成する。

従来の木工、陶芸、織物、手工芸など作業療法の高い実践能力を養うとともに、玩具や音楽

を用いた療法を身体障害，精神障害等に応用するなど，多彩な技法を身に着けた作業療法士を養成する。

② 最新の知識・技術を持つ作業療法士を養成する。

上肢の機能回復訓練や ADL の介助に活用されているロボットテクノロジー，あるいは障害児・者に社会参加の機会を創出する情報通信技術（ICT）などの最先端分野の知識・技術を応用できる作業療法士を養成する。

③ 発達障害児支援能力を持つ作業療法士を養成する。

発達教育学部と連携し，特別支援教育への支援能力を持つ作業療法士を養成する。

2. 既設の学部・学科と新たな学科との関係

これまで，保健医療学部開設していたのは，理学療法学科のみであった。今回，作業療法学専攻を開設することによって，リハビリテーション分野における人材養成の幅を広げることができるようになるが，これまでの学部学科の教育目標や教育方法等，従来の体制を継続し，変更するところはない。

Ⅲ 学部・学科等の名称及び学位の名称

1. 学部・学科の名称

学部の名称は、従来の名称を継承する。学科の名称は、従来の「理学療法学科」を改め、「リハビリテーション学科」とする。学科の名称を改めるのは、1学科内に理学療法士養成と作業療法士養成の教育課程を置き、教育課程の一部を共通にして協力し合う意識や態度を養いつつ、それぞれの専門領域について知識や能力を高め、相互に理解し合う教育を推進するためである。したがって、理学療法士養成にも作業療法士養成にも適合する名称として「リハビリテーション学科」とするものである。

このような考えの基に2学科とせず、1学科として設置し、それぞれを「専攻」と位置付ける。

学部の名称	保健医療学部	Faculty of Health Sciences
学科の名称	リハビリテーション学科	Department of Rehabilitation
専攻の名称	理学療法学専攻	Physical Therapy Major
	作業療法学専攻	Occupational Therapy Major

2. 学位の名称及び学位に付記する専門分野の名称

学位の名称は、リハビリテーション領域における理学療法学と作業療法学を識別し、それぞれの分野における知識・技術を修得したものであることを明確にするため、下記のように専攻別に専門分野を付記する。

学位の名称	
学士	Bachelor

付記する専門分野の名称

理学療法学専攻	理学療法学	Physical Therapy
作業療法学専攻	作業療法学	Occupational Therapy

IV 教育課程の編成の考え方及び特色

1. 教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）

「学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）に掲げた知識・技能、資質などを修得させ、教育上の目的を達成するために、また、学部・学科の特色を発揮するために「科目の構成と学修内容、学修方法、学修成果の評価、育成する資質・能力等と授業科目との関係」の各事項についてカリキュラム・ポリシーを以下のように定める。

〈保健医療学部のカリキュラム・ポリシー〉

□ 科目の構成と学修内容

ア. 教養教育科目

建学の精神を学修する科目として「人間と道徳」を必修とする。学部の専門教育科目の基礎知識として「心理学」「人間関係論」「統計学入門」及び「コミュニケーション論」を必修科目とする。

その他の教養教育科目においては広い教養を身につけ、体育スポーツ科目においては心身の健康を保ち、国際コミュニケーション科目においてはグローバルコミュニケーション能力を高める。基礎演習科目においては、初年次教育及びリメディアル教育の内容を含め、大学における学修の基盤を形成する。これらの科目群を学修することにより、社会の持続的な発展を牽引するための多様な能力を身につける。

イ. 専門教育科目

「エレメンタリーセミナー」などのキャリア科目を必修化し、夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要な能力を身につける。この科目区分は、基礎医学、臨床医学及び社会医学を学ぶ専門基礎科目と理学療法及び作業療法の知識と実践を学ぶ専門科目に区分する。これらは領域と学修の体系に応じて必修科目、選択科目に区分し、履修の順序に応じて履修学年を指定する。

ウ. 臨床実習科目

専門的職業人としての資質・能力を育成するために、臨床実習科目を配置する。これにより臨床における問題解決力及び主体的な学修力を高める。

エ. 卒業研究

医療専門職として科学的思考の形成及び生涯探究心の育成を目指し、保健医療・リハビリテーションの発展に寄与する卒業研究を必修とする。

□ 学修方法

・学内における授業は、講義、演習、実習として行う。これらの授業においては、教育機器や ICT 技術を用いて、学生の主体的な学修を促し、学修効果を高める。

- ・学外においては医療施設において臨床実習を行い、職業人としての実践的な能力を高める。

□ 学修成果の評価

- ・学生個人の評価

科目の修得状況について修得単位数及び GPA 値によって評価する。

- ・学部・学科の教育成果

授業科目に関しては、授業評価アンケートにより学生の評価を受ける。

学部・学科全体の教育成果の評価としては国家試験結果等を参照する。

□ 育成する資質・能力等と授業科目との関係

1. 【徳育・教養】 基本的人権を尊重し、保健・医療・福祉を受ける人の生活感や価値観を理解し、豊かな人間性に基づく道徳心と高い倫理観をもつ人材を育成するために「人間と道徳」「生命倫理」などの科目を学修する。
2. 【障害支援】 人間を取り巻く環境と健康、病気、障害へのメカニズムや回復過程を総合的に学び、障害や困難性のある人を支援できる人材を育成するために「解剖学」「生理学」「運動学」「神経内科学」「リハビリテーション医学」などの科目を学修する。
3. 【知識・技能・実践力】 理学療法士あるいは作業療法士としての職業的アイデンティティを育成するために、早期実習を実施し、専門的学習を系統的に学修する。専攻ごとに評価学、治療学、生活支援の学理と実践を統合的に学修し、臨床実践能力を養う。これらの資質・能力を育成するために「基礎理学療法学見学実習」「基礎作業療法学見学実習」等の見学実習等、「理学療法評価学Ⅰ，Ⅱ」「身体機能と作業療法評価学」等の評価学、「総合臨床実習Ⅰ，Ⅱ」などの科目を学修する。
4. 【臨床実践能力評価】 理学療法学臨床実践能力及び作業療法学臨床実践能力の評価としては、客観的臨床能力試験(OSCE：Objective Structured Clinical Examination)により客観性を担保して行う。「アドバンストセミナー」「プロフェッショナルスキル」などの科目を学修する。
5. 【チーム医療・地域貢献】 保健医療活動の社会における意義や重要性を理解し、リハビリテーションの地域における役割を修得する。「チーム医療演習」「地域理学療法学」「地域作業療法学Ⅰ，Ⅱ」などの科目を学修する。
6. 【科学的思考の形成と発展】 卒業研究により、理論的、研究的能力を養う。「リハビリテーション研究法」「卒業研究」などの科目を学修する。
7. 【生涯探究心の育成】 保健・医療・福祉の専門職としての問題解決能力及び生涯学習の資質を養い、卒業後も自己研鑽への能力を養う。「総合臨床実習Ⅰ，Ⅱ」などの科目を学修する。

2. リハビリテーション学科の教育課程

(1) 科目区分の設定及びその理由（概要）

リハビリテーション学科の教育課程は、学校教育法及び大学設置基準に基づき、リハビリテーションに関わる専門職業人として必要な能力を育成するだけでなく、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するための教育課程とした。

また、同時に理学療法士及び作業療法士の国家試験受験資格を取得させるため、「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則」（以下、指定規則と略す）に準拠して編成した。

（資料 2 教育課程と指定規則との対比表）

大きな科目区分として、教養教育科目と専門教育科目の 2 群をもって構成する。

教養教育科目においては、人類に共通に求められる知識や思考法を養う教養教育と専門分野の学修への橋渡しとなる基礎的学力を養う。

専門教育科目においては、リハビリテーション学科の教育研究領域を充足するための専門の科目を配置する。専門教育科目には、専門分野における基礎的・基本的な内容の科目を配置する専門基礎科目の区分と、より高度で専門的な内容の科目を配置する専門科目の区分とを設ける。これによって、基礎的・基本的な科目から専門性の高い科目へと学修できるようにする。

専門基礎科目においては、人間関係や行動について、専門職として必要な援助の原理と方法に関する科目及び基礎医学、臨床医学、社会医学に関する科目等を配置して、専門科目学修の基盤を形成する。具体的な科目としては、「解剖学」「生理学」「整形外科学」「神経内科学」などリハビリテーションに関する基礎的な科目及び「障害者・高齢者の福祉」などの科目を配置する。これらの科目は理学療法学専攻及び作業療法学専攻における共通に履修する科目とする。

専門科目においては、理学療法及び作業療法を実践するための知識、技術を身につけることができるように、各専攻の専門分野に関する理論、実習、研究法、セミナー、評価学などの科目を配置する。専門科目及び実習関係科目の学修を通して、専門に関する知識を豊かにするとともに、実践力を高めるための配置とする。また、学修上、理学療法学専攻と作業療法学専攻の両者に共通する科目と専攻に特有の科目を配置するため、理学療法学・作業療法学共通科目、理学療法学専門科目、作業療法学専門科目の区分を設ける。

また、学生の実践力を高めるため、客観的臨床能力試験 OSCE を導入することとし、理学療法士・作業療法士の国家資格の取得や、臨床の実践に役立てる。また、学生が専門分野に関する研究を深め、研究力を身につけるため、「卒業研究」を必修科目として設ける。卒業研究は、学生が自ら専門分野に関する研究テーマを設定し、自主的に研究を進め、その成果をまとめる科目として配置する。卒業研究には、理論的研究、実践的研究のほか、理論と実践の融合的な研究を含める。

(2) 科目区分の設定及びその理由(詳細説明)

1. 教養教育科目

科目区分	授業科目	配置の理由	設置の趣旨との関係	学部学科の特色との関係
基礎科目	〔必修科目〕 人間と道徳、心理学、統計学入門、人間関係論、コミュニケーション論 〔選択科目〕 哲学入門、倫理学入門、教育学入門、文学の世界、音楽の世界、歴史学、法学入門、日本国憲法、政治学、経済学入門、社会学入門、基礎物理学、基礎化学、基礎生物学、国際関係論、環境科学、障害インクルージョン論	人間の在り方や生き方に関して洞察する力、激しく変化する社会において現実を正しく理解する力などの涵養に努め、社会人として共通に求められる教養を養うために基礎科目を配置する。	本学の建学の精神である「徳育を教育の根幹として、国を愛し、心の豊かな、たくましい人間の形成をめざすとともに、誠実で道徳的実践力のある人材を育成する」を踏まえ「人間と道徳」は必修科目として初年時教育の要として位置付ける。 基礎科目は社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を養成するための科目として配置する。	人文科学、社会科学、自然科学の各分野について概括的な理解を持つ科目とともに、「人間関係論」、「環境科学」、「コミュニケーション論」のような専門分野の枠を超えたテーマの科目を設定し、現代社会への理解を深め、これからの社会をよりよいものにしていくために機能する教養を養うようにする。
体育・スポーツ科目	〔選択科目〕 スポーツ・レクリエーションⅠ(実技)、スポーツ・レクリエーションⅡ(理論)、スポーツ健康科学基礎理論、体育(ソフトボール)、体育(バドミントン)、体育(テニス)、体育(弓道)、体育(ダンス)、体育(水泳)	学生自身の健康維持とともに、健康に関する知的理解の面で必要な教養を養うために開設する。	地域の福祉、教育、健康等の増進に貢献するため、科目「スポーツ・レクリエーションⅠ及びⅡ(実技及び理論)」を配置する。	将来、リハビリテーションの業務に就く者として健康の維持・増進及び健康管理の重要性を認識させる科目として配置する。
国際コミュニケーション科目	〔必修科目〕 英語Ⅰ、英語Ⅱ 〔選択科目〕 英会話、実践英語、中国語入門、フランス語入門、ドイツ語入門	外国語の理解あるいは会話能力の基礎を養い、国際的な視野に立つて考えることのできる人材を養成するために、この科目を配置する。	地域において外国人の居住者が増加しており、外国人に対してもリハビリテーションができる語学力と国際感覚を身に着けるための科目を配置する。	海外での活躍を含め、その可能性に挑戦することができる語学力を備えるための科目として配置する。英語だけでなく中国語、フランス語、ドイツ語を配置する。
基礎演習科目	〔必修科目〕 自然科学基礎演習 〔選択科目〕 情報機器演習、文章表現演習、読書技術演習、海外福祉研修	大学における学問の体系や修学の方法を身につけ、言葉や文の理解、課題の発見・把握・解決能力等を養うことが大学における学習の基盤をなす学力である。「文章表現演習」と「読書技術演習」の科目には、そのねらいを確保するという意図を含めて配置している。	情報化社会に対応するための情報の収集、処理、発信能力を確保することをねらいとして「情報機器演習」を配置する。今後の更なるグローバル化に備えリハビリテーション領域の「海外福祉研修」も行う。	医療人として必要な自然科学知識をアクティブ・ラーニングによって学修する「自然科学演習」を必修科目として配置する。

2. 専門教育科目

2-1 専門基礎科目

科目区分	授業科目	配置の理由	設置の趣旨との関係	学部学科の特色との関係
専門基礎科目	〔必修科目〕 解剖学，解剖学実習，生理学，生理学実習，人体機能構造学演習，運動学Ⅰ，運動学Ⅱ，運動学実習，臨床心理学，人間発達学，病理学，一般臨床医学，内科学，整形外科，神経内科学，精神医学，小児科学，薬理学，リハビリテーション概論，リハビリテーション医学，チーム医療演習，生命倫理学，救命救急医学，栄養学，予防医学，病原微生物学，画像診断学 〔選択科目〕 社会福祉学，特別支援教育概論，障害者・高齢者の福祉，障害者・高齢者の心理，言語聴覚学概論，生化学，看護学	「専門基礎科目」には，2020(令和2)年度より施行される指定規則に指定されている理学療法及び作業療法に関する基礎的な科目として，「解剖学」，「生理学」，「病理学」，「運動学」，「臨床心理学」，「リハビリテーション概論」及び臨床医学系の科目や社会医学系の科目などを配置するとともに，「人間発達学」，「社会福祉学」，「生命倫理学」，「言語聴覚学概論」などのリハビリテーション領域に隣接する科目を配置して広い視野を持った人材を養成するようにする。	医療の専門家として，基礎医学，臨床医学を学修し，様々な疾病に対応できる人材を養成する。さらに，リハビリテーションの専門家として，チーム医療の中心的役割を担うために「チーム医療演習」を学修する。	障害児・者のリハビリテーションについては，「特別支援教育概論」，「障害者・高齢者の福祉」，「障害者・高齢者の心理」の3科目を置いて本学部の特色に対応している。これらの科目を学修することにより「共生社会」を意識する医療人を養成する。

2-2 専門科目

ア. 理学療法学・作業療法学共通科目

科目区分	授業科目	配置の理由	設置の趣旨との関係	学部学科の特色との関係
理学療法学・作業療法学共通科目	〔必修科目〕 リスク管理学，リハビリテーション管理学，エレメンタリーセミナー，インターメディエイトセミナー，リハビリテーション研究法，アドバンストセミナー，リハビリテーションとロボットテクノロジー，医用画像特論，プロフェッショナルセミナー，生活環境学，プロフェッショナルスキル 〔選択科目〕 リハビリテーション英文講読，福祉工学，ステップアップ演習	2020(令和2)年度より施行される指定規則に指定されている理学療法及び作業療法に関する専門科目とし両専攻の学生が同時に履修する科目である。医療人としての高い倫理性及び自主性を学修するため「リスク管理学」「リハビリテーション管理学」を配置する。	リハビリテーションに関する高度な専門的知識を持った人材，高度な技術を備えた人材を養成するため「リハビリテーションとロボットテクノロジー」「福祉工学」を配置する。生活支援を理学療法士及び作業療法士が共同で行うように，「生活環境学」を共通科目に配置する。	「エレメンタリーセミナー」を学部の初年時教育の要として設定しており，建学の精神，障害の理解，リハビリテーション施設の見学等から将来の専門職を目指す動機付けをねらいとしている。「インターメディエイトセミナー」「アドバンストセミナー」「プロフェッショナルセミナー」においては，臨床実践能力の向上を目指す。

イ. 理学療法学専門科目

科目区分	授業科目	配置の理由	設置の趣旨との関係	学部学科の特色との関係
理学療法学専門科目	〔必修科目〕 理学療法学概論，高齢者理学療法学，運動療法学，運動療法学実習，基礎理学療法学見学実習，理学療法評価学Ⅰ，理学療法評価学Ⅱ，理学療法評価学実習Ⅰ，理学療法評価学実習Ⅱ，動作分析学，運動器系疾患理学療法学，運動器系疾患理学療法学実習，成人中枢神経系疾患理学療法学，成人中枢神経系疾患理学療法学実習，小児中枢神経系疾患理学療法学，小児中枢神経系疾患理学療法学実習，内部障害系疾患理学療法学実習，物理療法学，物理療法学実習，日常生活活動学，日常生活活動学実習，地域理学療法学，地域理学療法学実習，地域理学療法学実習セミナー，義肢学，装具学，理学療法評価学臨床実習，総合臨床実習Ⅰ，総合臨床実習Ⅱ，卒業研究 〔選択科目〕 スポーツ理学療法学，高次脳機能障害学	平成 20 年度の開学時から理学療法の基本から応用までの幅広い知識と技術を学修する科目を配置している。理学療法学概論を始めとして理学療法に関する理論科目や実習，評価学に関する科目，運動療法学，物理療法学，疾患の系列別の科目などを配置している。開学時に配置したこれらの科目は，2020(令和 2)年度より施行される指定規則に対応しているため，大幅な変更は必要としない。	開学時から地域包括ケアにおける地域リハビリテーションの専門家の育成を目指している。「地域理学療法学」「地域理学療法学実習」「地域理学療法学実習セミナー」を配置する。作業療法学専攻の新設に伴い，「小児中枢神経系疾患理学療法学」「小児中枢神経系疾患理学療法学実習」をさらに充実させる。	開学時から地域理学療法学，地域理学療法学実習を置いて，地域の理学療法に関する知見を養い，理解を深めてきた。2020(令和 2)年度より施行される指定規則に新たに設定される科目であるが，本学ですでに確立しており特色となっている。

ウ. 作業療法学専門科目

科目区分	授業科目	配置の理由	設置の趣旨との関係	学部学科の特色との関係
作業療法学専門科目	〔必修科目〕 作業療法学概論，作業学，作業学演習Ⅰ：木工，作業療法評価学総論，作業療法治療学総論Ⅰ，作業療法治療学総論Ⅱ，身体機能と作業療法評価学，身体機能と作業療法治療学Ⅰ，身体機能と作業療法治療学Ⅱ，精神機能と作業療法評価学，精神機能と作業療法治療学Ⅰ，精神機能と作業療法治療学Ⅱ，認知機能と作業療法評価学，認知機能と作業療法治療学，発達機能と作業療法評価学，発達機能と作業療法治療学，加齢と作業療法学，内部障害と作業療法学，摂食嚥下の作業療法，日常生活活動と作業療法Ⅰ，日常生活活動と作業療法Ⅱ，義肢学・装具学，就労支援と作業療法学，地域作業療法学Ⅰ，地域作業療法学Ⅱ，基礎作業療法学見学実習，地域作業療法学実習，作業療法評価学臨床実習，総合臨床実習Ⅰ，総合臨床実習Ⅱ，卒業研究 〔選択科目〕 音楽療法概論，作業学演習Ⅱ：織物・園芸，作業学演習Ⅲ：陶芸・手工芸	2020(令和2)年度より施行される指定規則に対応して作業療法の基本から応用までの幅広い知識と技術を学修する科目を配置している。作業療法学概論を始めとして作業療法に関する理論科目や実習，評価学，治療学及び地域作業療法に関する科目を配置する。作業療法学専攻においては，身体機能，精神機能，認知機能，発達機能の4領域に評価学と治療学をそれぞれ配置するが，幅広い知識・技術を修得するため「加齢と作業療法学」「内部障害と作業療法学」「摂食嚥下の作業療法」等の科目を配置する。	平成20年の開学時から地域包括ケアにおける地域リハビリテーションの専門家の育成を目指している。新たな作業療法学専攻設置においても「地域作業療法学Ⅰ・Ⅱ」「地域作業療法学実習」「地域理学療法学実習セミナー」「就労支援と作業療法学」を配置し，地域のリハビリテーションに寄与する作業療法士を養成する。	実践能力の高い作業療法士を養成するため，従来の木工，陶芸，織物，手工芸等の作業活動に加え，「音楽療法概論」「作業学演習Ⅱ：織物・園芸」の科目を配置する。これにより多彩な技法を身に着けた作業療法士を養成する。

(3) 授業の内容と授業方法及び配当年次の設定

授業の内容に関しては，各科目とも当該分野に関して普遍的な知識を修得できるようにするとともに，最新の学術成果や研究動向に留意して展開することを基本的な方針とする。

授業方法は，科目の内容及び性格を考慮して，講義のほか，演習あるいは実習・実験などの形態によって行う。また，学生の自主的な学修を促すことに努め，双方向的な授業展開となるように工夫する。

授業科目の配当年次については，基礎・基本に関わる科目を1年次又は2年次に配置し，専門性の高い科目を2年次以降に配置して，段階的，系統的な学習ができるようにする。

例えば，実習関係科目は，1年次に施設見学を行って現場を見るという経験をさせ，次の段階で事前指導を行って，現場への対応の素地を作り，その次に本格的な実習を行う。さらに，事後指導によって総括して，実践力として身につくようにするというように組み立てている。

V 教員組織の編成の考え方及び特色

1. 教員配置及び教員の学位・業績

大学設置の趣旨に基づき、保健医療学部リハビリテーション学科の特色を発揮し、教育課程に適切に対応できるように専任教員を配置する。科目の区分ごとの専任教員配置は、次のとおりである。

表1 科目区分ごと教員配置

	教授	准教授	講師	助教	計
教養教育科目	0名	1名	0名	0名	1名
専門基礎科目	3名	0名	0名	0名	3名
専門科目（理学療法学専攻）	2名	1名	3名	2名	8名
専門科目（作業療法学専攻）	4名	1名	2名	1名	8名
計	9名	3名	5名	3名	20名

リハビリテーション学科として、教授9名、准教授3名、講師5名、助教3名の計20名を配置する。このうち、理学療法士免許を有する教員が8名、作業療法士免許を有する教員が8名である。

ア. 教養教育科目の担当教員

開学以来開講している科目が多く、すでに経験豊かな教員が担当している。また、これからのグローバルな人材育成のため、英語を専門とする教員を保健医療学部配置している。

イ. 専門基礎科目の担当教員

専門科目を学修するために必要な基礎医学や臨床医学等を配置している。それぞれの科目に対して、その分野における豊富な研究業績と教育実績あるいは臨床経験を有し、博士号を有している教授を配置している。

特に、「解剖学」「解剖学実習」及び「生理学」「生理学実習」に対しては、その分野における豊富な研究業績と教育実績を有し、博士号を有している教授をそれぞれ1名ずつ配置している。「リハビリテーション医学」「一般臨床医学」「神経内科学」等の臨床医学に関しても神経科学の研究業績と教育実績及び臨床経験の豊富な教授1名を配置、リハビリテーションの基礎となる「リハビリテーション概論」「運動学Ⅰ・Ⅱ」「運動学実習」においても豊富な研究業績と教育実績及び臨床経験の豊富な教授2名を配置している。学科を特色付ける「チーム医療演習」においても開設時より設置されている科目であり、学科の専任教員2名を配置し、学生にチーム医療においてリハビリテーション領域の指導的役割を果たす能力を持たせる。

さらに、本学の特色である特別支援教育概論並びに障害者・高齢者の福祉や心理に関する科目については、教育経験の豊かな発達教育学部の専任教員を配置している。

ウ. 専門科目（理学療法学専攻、作業療法学専攻）の担当教員

専門科目は、理学療法学及び作業療法学に特化した科目群であり、リハビリテーションの実践に必要な知識と技術を養うことを目的としている。このため、理学療法学及び作業療法学の分野における研究業績と教育実績及び理学療法士・作業療法士として5年以上の臨床経験を有する専任教員を配置している。また、これらの教員はすべて博士号か修士号を有している。

<共通科目>

最先端のリハビリテーションを学修する科目「リハビリテーションとロボットテクノロジー」及び「福祉工学」においては、教授1名と准教授1名を配置している。初年次教育を行う「エレメンタリーセミナー」、臨床実践能力の向上を目指す「インターメディエイトセミナー」「アドバンストセミナー」「プロフェッショナルセミナー」においては、教授、准教授あるいは講師を配置している。

<理学療法学専攻>

理学療法学専攻の専門科目の47科目中44科目（94%）は専任教員が担当する。特に、本学の趣旨に関連する地域リハビリテーションの担い手を育成するための科目「地域理学療法学」「地域理学療法学実習」は、開学以来開設している科目であり、この分野で教育実績のある教授2名と講師以下の専任教員3名を配置している。小児のリハビリテーションに関する「小児中枢神経系疾患理学療法学」「小児中枢神経系疾患理学療法学実習」においては、この分野で教育実績のある教授1名を配置している。理学療法の主要な科目である「運動療法学」「理学療法評価学Ⅰ・Ⅱ」「成人中枢神経系疾患理学療法学」「内部障害系疾患理学療法学」においては教授、准教授、講師を配置している。

<作業療法学専攻>

作業療法学専攻の専門科目の48科目中45科目（94%）は専任教員が担当する。地域リハビリテーションの担い手を育成するための科目「地域作業療法学Ⅰ・Ⅱ」「地域作業療法学実習」には教授2名及び准教授以下4名を配置している。発達障害児のリハビリテーションに関する「発達機能と作業療法評価学」「発達機能と作業療法治療学」においては、この分野の研究業績と教育実績を有する教授1名と臨床実績のある講師1名を配置している。作業療法に関する主要な科目群「身体機能と作業療法治療学Ⅰ・Ⅱ」「精神機能と作業療法治療学Ⅰ・Ⅱ」「認知機能と作業療法評価学・治療学」「日常生活活動と作業療法Ⅰ・Ⅱ」においては、教授、准教授、講師を配置している。

2. 研究対象となる学問分野

本学科が研究対象とする中心的な学問分野は、リハビリテーション科学・福祉工学である。開学以来、次のような研究が行われており、今後はこれらの研究を一層深化させることが可能である。

- (ア) 地域保健活動（高齢者の健康増進）
- (イ) 認知症予防プログラム
- (ウ) 実験動物を用いた基礎的研究

研究結果公表促進のため「植草学園大学紀要」を毎年発刊している。研究を進めるに当たっては、個人研究費が支給される。また、他分野の学内研究者と行う共同研究に対しては、審査の上、共同研究費が支給される。研究委員会及び研究倫理委員会等の研究支援体制及び科学研究費補助金等の競争的外部資金を申請、獲得できる体制を確立している。また、動物実験委員会を設置しており、動物を使った基礎的実験が実施可能である。

3. 年齢構成

教員の年齢構成は、教育研究の水準及び活性化が図れるように配慮している。完成年度における教員の年齢構成は、表 2 に記載のとおり、30～39 歳が 3 名、40～49 歳が 7 名、50～59 歳が 4 名、60～69 歳が 4 名、70 歳以上が 2 名である。

この内、植草学園職員定年規程で定める定年の年齢 65 歳（教授 67 歳）を超す教員は 4 名である。この 4 名の教員は、リハビリテーション学に関する研究業績が顕著であり、豊富な教育経験と臨床経験を有していることから、若手の指導や学科運営を軌道に乗せる上で不可欠な教員である。

この 4 名の教員については、1 名は「学校法人植草学園定年規程」の附則に定める大学等設置時の特例として、規程に定める定年年齢を超えて、大学が完成する年度まで採用することができることに基づくものである。2 名は、「学校法人植草学園保健医療学部改組に伴う教員の定年に関する特例規程」により、定年に関する特例措置として採用時に定年規程に定める年齢を超える教員を雇用できることに基づくものである。1 名は、完成年度までに定年規程に定める年齢を超えるが「植草学園大学・植草学園短期大学特別教員就業規程」において、必要な手続を経て理事長の決定により特別教員として任用することができることに基づき、定年年齢後も引き続き配置することを予定している。

なお、「学校法人植草学園定年規程」及び「学校法人植草学園大学保健医療学部改組に伴う教員の定年に関する特例規程」、「植草学園大学・植草学園短期大学特別教員就業規程」は（資料 3「学校法人植草学園定年規程」「学校法人植草学園大学保健医療学部改組に伴う教員の定年に関する特例規程」「植草学園大学・植草学園短期大学特別教員就業規程」）のとおりである。

表 2 教員の年齢構成表（完成年度）

専 攻	職 位	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳～	計
理 学 療 法 学	教 授				1	3		4
	准教授			1				1
	講 師			2				2
	助 教		2	1				3
	計		2	4	1	3		10
	助 手			1				1
作 業 療 法 学	教 授			1	2		2	5
	准教授			1		1		2
	講 師			1	1			2
	助 教		1					1
	計		1	3	3	1	2	10
	助 手			1				1

4. 採用計画

教員の採用計画は表 3 に示したとおりである。年度ごとの採用計画は、学生の教育に支障がないように配慮し、初年度は教授 4 名、准教授 1 名、講師 1 名、助教 2 名を採用し、第 2 年度は教授 1 名、講師 1 名を採用する。

教員数は初年度に 18 名で、完成年度までに 2 名採用し 20 名の体制とする。なお、助手に関しては、1 名を採用する。

また、定年年齢を超えて採用する 4 名の教員の内、学部長を除く 3 名については、学科完成後に同分野を担当できる教員に引き継ぎ、教育研究の継続性を確保する。

教員の採用は、以下に示す方針で行う。

- （１）教育研究の継続を図るため、既存の科目内容は変更せずその科目を担当するに適した教員を採用する。
- （２）教育研究の水準の維持・向上のため、原則として公募により候補者を求め適任者を確保する。
- （３）教員の年齢が偏ることのないようにバランスのとれた年齢構成を目指す。

表 3 年度ごとの専任教員等の計画

年度	2019		2020		2021		2022		2023	
専攻	理学	作業	理学	作業	理学	作業	理学	作業	理学	作業
教授	6		5	3	4	5	4	5	4	5
准教授	2		1	2	1	2	1	2	1	2
講師	2		2	1	2	2	2	2	2	2
助教	2		3	1	3	1	3	1	3	1
計	12	0	11	7	10	10	10	10	10	10
	12		18		20		20		20	
助手	1		1		1		2		2	

VI 教育方法，履修指導方法及び卒業要件

1. 教育方法，履修指導方法

(1) 授業内容，授業方法及び配当年次の設定

授業内容に関しては，各科目とも当該分野に関して普遍的な知識を把握できるようにするとともに，最新の学術成果や研究動向に留意して展開することを基本的な方針とする。

授業方法は，科目の内容及び性格を考慮して，講義のほか，演習あるいは実習・実験などの形態によって行う。また，学生の主体的・能動的な学修（アクティブ・ラーニング）を促すことに配慮して，双方向的な授業展開となるように工夫する。

授業科目の配当年次については，基礎・基本に関わる科目を1年次又は2年次に配置し，専門性の高い科目を2年次以降に配置して，段階的，系統的な学修ができるようにしている。例えば，臨床実習科目は，1年次に施設見学を行って現場を見るという経験をさせる。2年次には施設において見学実習を行い，施設の業務内容や役割，理学療法士・作業療法士の役割や位置づけを学修し，体験する。3年次には，地域理学療法学実習・地域作業療法学実習において地域におけるリハビリテーションの重要性を学修する。3年次の後期より評価学臨床実習，4年次には総合臨床実習を配置し，それぞれの臨床施設において評価，治療，ゴール設定までを含めた理学療法・作業療法全般にわたる実習を行う。これらの臨床実習に際しては，事前指導を行って，現場への対応の素地を作り，その上で本格的な実習を行う。さらに，事後指導によって総括して，実践力として身につくようにするというように組み立てている。

特に「教育の質」保証の観点から，3年次の実習前と4年次の実習後には，外部評価者を招き客観的臨床能力試験（OSCE）を行い，臨床実習に必要な技術の評価及び卒業までに到達すべき臨床技術の評価とフィードバックを行う。

また，「エレメンタリーセミナー」を初年次教育の最重要科目に位置づけ，障害の理解，リハビリテーション施設の見学，グループディスカッション等を通して，主体的・能動的な学修の支援を行う。

(2) 学生数とクラス編成制の導入及び少人数授業

学生一人ひとりに，きめ細かく，行き届いた教育的対応ができるように，学年専攻ごとの2クラス編成（1クラス40名程度）とする。クラス担任教員は2名とし，同じ教員が4年間受け持つ。1，2年次はクラス担任が，3，4年次はクラス担任とゼミナール担任が共同で，学生の修学上，生活上の相談等に対応できるようにする。

教養教育科目の「人間と道徳」「心理学」「統計学入門」「人間関係論」「コミュニケーション論」等の必修科目については，リハビリテーション学科（80名）単位で科目を開講する。国際コミュニケーション科目の必修科目「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」，基礎演習科目の「文章表現演習」においては，入学時に英語及

び国語の試験を行い、能力別クラス分けを行い1クラス25～30名で開講する。また、1年次で学ぶ専門基礎科目「解剖学」「解剖学実習」「生理学」「生理学実習」「人体機能構造学演習」「運動学実習」は、リハビリテーションを学ぶ上で基礎となる学問であるので、それぞれ40名のクラス単位で開講する。2年次から3年次で学ぶ「チーム医療演習」等を含む専門基礎科目においては、リハビリテーション学科（80名）単位で授業を行う。専門科目の「リハビリテーションとロボットテクノロジー」「リハビリテーション研究法」等もリハビリテーション学科の単位で開講する。すでに述べたように、リハビリテーションにおけるチーム医療の中心的役割を担うために、一つの科目を学修しながら互いの専門性を理解し尊重し合える教育体制とすることが、人材養成上有効である。その他の専門科目においては、専攻（40名）単位で開講する。

（3）アセスメント・ポリシー

徳育を教育の根幹とする学園建学の精神、学則第1条及び保健医療学部規程に定める教育目的を達成することを基本方針とし、学年ごとに、あるいは科目ごとに、以下の指針に則って多面的に評価する。

1. 講義・演習科目では、知識とその応用力を評価する。実習科目では、技能・態度・コミュニケーション能力等を評価する。
2. 知識とその応用については、筆記試験や課題レポート等によって評価する。また、技能については実技試験によって評価する。さらに、態度・コミュニケーション能力等の総合的な能力は客観的臨床能力試験（OSCE）及び臨床実習で評価する。
3. 筆記試験・実技試験・客観的臨床能力試験では数値化して達成度を評価する。また、臨床実習評価では可能な限り数値化できる評価法を用いて達成度を評価する。
4. リハビリテーション教育における順序性を考慮し、原則として年度ごとに進級判定あるいは卒業判定といった総括的評価を行う。
5. 科目の可否判定や総括的評価に加えて、形成的評価を随時行うことにより、到達目標に至る道程を明示する。
6. 定期試験で所定の到達目標に達しなかった場合は、再試験を行うことがある。また、病気など正当な事由で定期試験を受験できなかった場合は、追試験を行うことがある。
7. 定期試験問題、正答及び判定基準については、学生からの照会に応じる体制を整備する。
8. 科目履修は出席することが前提なので出席点等の加算点はなく、所定の回数以上を出席しなければ試験を受けることはできない。
9. 各学年の進級要件や卒業要件は、学年当初のガイダンスで学生に周知する。また、各科目の可否基準の詳細は、シラバスに明示する。
10. 評価方法と可否基準の設定については、妥当性・客観性を考慮して担当教員が定期的に見直しを行う。
11. 各科目の評価をもとにGPA（Grade Point Average）を算出し、学修や進路等について助言する。

2. 卒業要件

卒業に必要な単位数は、卒業研究を含めて 127 単位とする。

必修科目、選択科目の詳細は、様式第 2 号（その 2）教育課程等の概要及び資料 4 に記載のとおりである。

科目区分別修得単位数及び卒業要件単位数（リハビリテーション学科）

科目区分 専攻	教養教育科目				専門教育科目		卒業単位数
	基礎科目	体育・スポーツ科目	国際コミュニケーション科目	基礎演習科目	専門基礎科目	専門科目	
理学療法学専攻	14	2	6	4	37	64	127
作業療法学専攻	14	2	6	4	37	64	127

（資料 4 リハビリテーション学科カリキュラム表）

3. 卒業研究

卒業研究に関しては、学生自身が関心の高いテーマについて、自主的に研究を進め、学部における勉学の成果となるような科目として配置している。卒業研究は本学部のディプロマ・ポリシーの「リハビリテーションの発展に寄与できる科学的態度・能力の育成」「生涯にわたり医療専門職として成長できる能力の育成」に必要な科目である。その指導には、リハビリテーション学科に所属する教員全員が担当することとしている。リハビリテーション学科の卒業研究に必要な時間は120時間程度であるので、大学設置基準第21条等を踏まえ4単位とする。

4. 履修モデル

保健医療学部の履修モデルを別添に示す。（資料 5 保健医療学部履修モデル）

理学療法学専攻、作業療法学専攻は、それぞれ理学療法士、作業療法士の国家試験受験資格を取得することを目指したモデルである。

5. 履修科目の年間登録上限

学生が計画的に学修を進め、学修の質を確保し、かつ学修内容が実質的に身に付くようにするため、

学生ごとに履修登録できる単位数の上限を設定する。登録できる単位数の上限は、下記のように規定している。

本学部では、大学設置基準（昭和 31 年 10 月 22 日、文部省令第 28 号）に基づいて、単位数や時間数を定めている。原則として 45 時間の学修を必要とする内容をもって 1 単位とする。学修時間には、授業時間及び事前・事後の学修時間を含むものであり、学修の質保証の観点から、単位制度の実質化に沿って十分な学修量を確保する必要がある。ただし、学生に過度の負担がかからないようなカリキュラム編成及び履修登録上の配慮が必要である。そこで、植草学園大学保健医療学部規程第 7 条第 3 項の規定に基づき、履修登録単位数の上限を、年次区分に応じて、次のとおりとしている。

表 4 リハビリテーション学科履修登録単位数の上限

学科名	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
リハビリテーション学科	48 単位	48 単位	45 単位	40 単位

6. 他大学における授業科目の履修等

平成 9 年に千葉県私立大学（短期大学を含む）間の単位互換に関する包括協定を結んでいる。千葉県内の 26 私立大学及び 10 私立短期大学において「特別聴講学生」として授業科目を履修することが可能である。

Ⅶ 施設、設備等の整備計画

1. 校地、運動場の整備計画

本学の小倉キャンパスには、植草学園大学、植草学園短期大学、植草学園大学附属高等学校の校地があり、内訳は次のとおりである。

表 5 小倉キャンパス校地面積

種 別		共用区分	面 積
校舎敷地		大学専用	5,010 m ²
		大学・短大共用	7,058 m ²
運動場敷地	3on3 コート	大学・短大共用	418 m ²
	フットサル場	大学・短大共用	5,275 m ²
	グラウンド	大学・短大・高校共用	13,065 m ²
共生の森		大学・短大共用	21,979 m ²
その他敷地		大学・短大共用	17,085 m ²
合 計			69,890 m ²

植草学園大学専用の校舎敷地は 5,010 m²、短期大学との共用の校舎敷地は 7,058 m²である。運動場敷地の合計は 18,758 m²であり、その内訳は、グラウンドが 13,065 m²、バスケットボールの 3on3 コート 1 面 418 m²、フットサル場 2 面 5,275 m²となっている。

グラウンドは附属高校と共用であるが、附属高校がグラウンドを使用するのは週 6 時間の体育の授業だけであり、大学の授業や課外活動に支障はない。

小倉キャンパスには 21,979 m²の「共生の森」があり、学生や教職員の憩いの場になっている。共生の森の中には、ビオトープ、水田、車いすでも散策できる遊歩道があり、学生の自然科学系の研究やリフレッシュに役立つのはもとより、各種の近隣施設や住民の自然散策や小学生の科学サークルの観察など地域貢献の場にもなっている。

その他、花壇、駐車場、バスロータリー等 17,085 m²の敷地があり、小倉キャンパスの敷地面積の総合計は 69,890 m²である。現在の植草学園大学の収容定員 720 名に新設の作業療法学専攻の収容定員 160 名を加えた 880 名には十分な面積を有している。

2. 校舎等施設の整備計画

小倉キャンパスには、現在、授業で使用している校舎は、L棟、A棟、B棟、G棟（体育館）、M棟、K棟の6棟があるが、これらに加え、リハビリテーション学科作業療法学専攻開設に伴い、新たにT棟を建設する。

各校舎の校舎面積は、L棟 10364.84 m²、A棟 3012.99 m²、B棟 2302.28 m²、G棟 940.21 m²、M棟 2164.03 m²、K棟 225.00 m²、T棟 785.08 m²となっている。

実技を伴う授業で使用する教室は、（表6 実技を伴う授業で使用する教室）のように計画している。

新築する校舎T棟は、作業療法学専攻専用の建物となる。T棟以外の使用教室は、大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻、発達教育学部及び植草学園短期大学との共用となる。

実技を伴わない授業に関しては、発達教育学部と共用のL棟を中心に実施する計画である。

（資料6 保健医療学部リハビリテーション学科時間割）

表6 実技を伴う授業で使用する教室

建物	階	教室名	面積 (m ²)	部屋 数	実技を伴う科目名	
					理学療法学専攻	作業療法学専攻
L棟	1階	多目的演習室1（基礎作業実習室）	144.00	1		作業学演習Ⅱ（織物・園芸）
		保育技術演習室	199.99	1		摂食嚥下の作業療法
	2階	美術造形演習室（基礎作業実習室）	144.00	1		作業学演習Ⅲ（陶芸・手工芸）
		治療室（治療実習室）	231.40	1	理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法学評価学Ⅱ 理学療法学評価学実習Ⅱ 物理療法学実習 内部障害系疾患理学療法学実習 小児中枢神経系疾患理学療法学 小児中枢神経系疾患理学療法学実習 アドバンスセミナー 動作分析学	内部障害と作業療法学
		日常動作訓練室（日常生活活動訓練室）	176.23	1	日常生活活動学実習	日常生活活動と作業療法Ⅰ 日常生活活動と作業療法Ⅱ 就労支援と作業療法学
		水治室	104.69	1	物理療法学実習	
	3階	基礎医学実習室	207.00	1	生理学実習 解剖学実習	生理学実習 解剖学実習
		義肢装具加工室（補装具室）	131.50	1	義肢学 装具学	義肢学・装具学
		評価測定室（評価実習室）	149.46	1	卒業研究	卒業研究
		運動療法室	300.49	1	運動学実習 日常生活活動学実習 運動器系疾患理学療法学	運動学実習

					運動器系疾患理学療法学実習 運動療法学実習 成人中枢神経系疾患理学療法学実習 内部障害系疾患理学療法学実習 小児中枢神経系疾患理学療法学実習	
A棟	2階	PC室	139.50	1	解剖学	解剖学
B棟	2階	被服工芸室（基礎作業実習室）	105.10	1		作業学演習Ⅰ（木工） 作業学演習Ⅲ（陶芸・手工芸）
G棟		体育館	940.21	1	スポーツ・レクリエーションⅠ 体育（バトミントン） 体育（ソフトボール）	スポーツ・レクリエーションⅠ 体育（バトミントン） 体育（ソフトボール）
T棟	1階	アートラボ（基礎作業実習室）	181.94	1		作業療法学概論 音楽療法概論 作業学 精神機能と作業療法評価学 精神機能と作業療法治療学Ⅰ 精神機能と作業療法治療学Ⅱ 認知機能と作業療法評価学 認知機能と作業療法治療学 発達機能と作業療法評価学 発達機能と作業療法治療学
	2階	サイエンスラボ（測定室 評価室）	181.94	1	リハビリテーションとロボットテクノロジー 福祉工学 作業療法治療学総論Ⅰ 作業療法治療学総論Ⅱ 身体機能と作業療法評価学 身体機能と作業療法治療学Ⅰ 身体機能と作業療法治療学Ⅱ 加齢と作業療法学 日常生活活動と作業療法Ⅰ 日常生活活動と作業療法Ⅱ 地域作業療法学Ⅰ 地域作業療法学Ⅱ	リハビリテーションとロボットテクノロジー 福祉工学 作業療法治療学総論Ⅰ 作業療法治療学総論Ⅱ 身体機能と作業療法評価学 身体機能と作業療法治療学Ⅰ 身体機能と作業療法治療学Ⅱ 加齢と作業療法学 日常生活活動と作業療法Ⅰ 日常生活活動と作業療法Ⅱ 地域作業療法学Ⅰ 地域作業療法学Ⅱ

※ 教室名は平成30年度現在の名称。（ ）内は作業療法学専攻による名称。

T棟については、2020（令和2）年2月完成予定。

教育上必要な機械器具・標本及び模型は、「理学療法士作業療法士養成施設指導ガイドラインについて」（平成30年10月5日）にしたがって整備する。

ア．基礎医学実習室

人体骨格標本を含む模型及び標本数は、すでに十分な数をそろえている。生理学実習や理学療法学及び作業療法学の実習で使用する多機能記録装置、筋電図計測装置、呼吸機能計測装置等の機器を10台整備している。作業療法学専攻の40名定員増に対応可能である。

イ．治療室（治療実習室）・運動療法室

主に理学療法学専攻の学生が使用する自習室においては、すでに検査測定・治療台を60台整備している。超短波治療器、超音波治療器、光線療法治療機器等も備えている。理学療法評価学実習をはじめ種々の実習が可能であり、臨床実習に臨む前に、実際の治療室の模擬体験を行う。運動療

法室においては自転車エルゴメーター、バランスボール等を備え、運動療法実習を行う。

ウ．評価測定室（評価実習室）

すでに三次元動作解析装置、重心動揺分析装置、床反力計を備えている。学生の卒業研究及び教員の研究にも使える先端の機器類である。

エ．日常動作訓練室（日常生活活動訓練室）

すでに調理道具、台所ユニット、車椅子等を備えているが、作業療法学で使用する自助具を充実させる計画である。

オ．義肢装具加工室（補装具室）

すでに義肢・義手及びその部品を備えている。作業療法学で使用する義手の充実を図る。

カ．基礎作業実習室（多目的演習室1など）

織物・手工芸・木工・陶芸等の実習を行うため、手織機・木工用具・陶工用道具一式を整備する予定である。

キ．新設校舎（T棟）

アートラボ（基礎作業実習室）には、作業療法用音響再生装置、玩具一式等の機器に加え音楽療法に関する楽器類を整備する予定である。サイエンスラボ（評価測定室）には、リハビリテーション用ロボットを始め脳波計、筋電図計測装置一式、神経検査器具一式を備え、作業療法学における評価・測定に関する機器を充実させる予定である。

ケ．学生ロッカー室

実習は運動着や医療用ケシー白衣で行うことから、更衣を行うための全学生分のロッカーを備える。

コ．インターネット環境

大学敷地内の各棟においては、すでに無線 LAN が整備されている。

3. 図書等の資料及び図書館の整備計画

（1）図書等の資料の整備計画

リハビリテーション学科として、理学療法士に加えて作業療法士を養成する大学として必要な図書・学術雑誌・電子ジャーナル・データベース・視聴覚資料等の整備については、以下のとおりに計画している。

ア．図 書

既に本学では、教育上必要な医学等の専門図書を約 7,000 冊（洋書を含む）所蔵しており、作業療法関連図書を約 220 冊整備している。

今回、作業療法学専攻開設に伴って、作業療法学分野の専門図書約 290 冊を（資料 7 作業療法学専攻 図書館資料新規購入リスト（2019(令和元)年度））のとおりに開設年度までに新規購入する。その後、

作業療法学分野・理学療法学分野・リハビリテーション関連図書として、各年度約 50 冊ずつ、カリキュラムに沿って整備を進める。

なお、本学図書館の総蔵書数（楽譜・児童書を含む）は以下のとおりである。

表 7

蔵書（冊）	和書	洋書	計
（雑誌・視聴覚資料を除く）	50,711	1,532	52,243

（平成 31 年 3 月末）

イ．学術雑誌，電子ジャーナル，データベース

現在購読中の雑誌タイトル数は、下記のとおりであり（表 8）、そのうち、作業療法関連・リハビリテーション分野は、国内雑誌 13 誌、外国雑誌は 1 誌である。

表 8

冊子体雑誌（誌）	国内	外国	計
	350	10	360

また、契約中の電子ジャーナル・データベースは以下のとおりである。

電子ジャーナルでは、国内雑誌は「メディカルオンライン」を契約しており、関連雑誌が約 110 誌含まれている。また、外国雑誌では ProQuest Central を契約しており、少なくとも約 85 誌が関連雑誌であるので、十分整備されている。

表 9

電子ジャーナル（誌）		
メディカルオンライン	1,334	国内医学電子ジャーナルパッケージ
ProQuest Central	19,500	海外電子ジャーナルパッケージ

データベース（収録誌）		
医中誌 Web	3,401	国内医学文献データベース
聞蔵ビジュアル II	3	朝日新聞データベース

その他のコンテンツ	
Primal Pictures	人体 3 次元立体画像・動画による、解剖学・生理学の臨床・教育支援ツール

（平成 31 年 3 月末）

ウ．視聴覚資料

視聴覚資料に関して、下記は本学図書館の既設の点数である。

そのうち、作業療法学・リハビリテーション関連の DVD 等を約 60 点所蔵しており、年次的に追加充

実させていく。

表 10

視聴覚資料（点）	映像資料	音響資料	計
	1,800	334	2,134

（平成 31 年 3 月末）

（２）図書館の整備計画

ア．図書館施設・環境

本学図書館は、植草学園大学及び植草学園短期大学の双方の図書館として機能しており、大学生・短大生及び教職員が利用できる。施設詳細は、以下のとおりである。

表 11

面積（㎡）	席数	図書収容能力 （冊）	パソコン設置台数	
			デスクトップ	ノート
1,076	248	57,000	84	16

（平成 31 年 3 月末）

図書館のある M 棟は、無線 LAN が完備している。また、ラーニングコモンズ、コラボレーションエリアを設置し、グループワークやプレゼンテーション、個人での利用など、多様な学修に対応できる施設及び環境を整えている。

イ．他大学図書館等との連携・協力

国立情報学研究所の NACSIS-CAT/ILL に参加し、書誌データ登録・所蔵データ登録、文献複写、相互貸借等の大学図書館間共同利用を進めている。大学図書館コンソーシアム連合（Japan Alliance of University Library Consortia for E-Resources : JUSTICE）、オープンアクセスリポジトリ推進協会（Japan Consortium for Open Access Repository : JPCOAR）の参加機関となり、大学間情報共有や協力を努めている。

また、日本図書館協会、私立大学図書館協会、千葉県大学図書館協議会、千葉市図書館情報ネットワーク協議会に加盟し、他館とのネットワークを構築し、相互利用環境の整備を推進している。

VIII 入学者選抜の概要

1. 入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

これまでの保健医療学部のアドミSSION・ポリシーを継承する。

1. 医療職をめざす者としてふさわしい品格、礼節、モラル、思いやりを備えている人
2. 生命や人間の健康に関心があり、保健医療の発展に貢献する意志がある人
3. 人間の身体の動きの仕組み、その疾病や障害及び治療方法に関心がある人
4. 専門的教育を受けるにふさわしい基礎学力を備えている人
5. より高い知識・技術を修得するため、自主的・積極的に学ぶ意欲と情熱がある人
6. 勉学・学修上の困難に直面したとき、それを乗り越えるための努力ができる人
7. 自身の生活や健康の管理を行い、心身ともに健やかに学生生活を送ることができる人

2. 入学者選抜方法

試験区分	選考方法
AO	面接(15分程度)・基礎学力試験(小論文)・書類審査 小論文は、問題文(図表を含む)を読んで小問 2～3 問に答え、さらに最後の設問に対して自分の考えを 400～600 字で書く。 問題文は、自然・環境・保健・医療・福祉等に関する一般的な内容 *出願前にオープンキャンパス、入試説明会で事前説明・相談を受けてください。
推薦 (指定校)	面接(10分)
推薦 (公募制)	面接(10分)・基礎学力試験(小論文) 小論文は、問題文(図表を含む)を読んで小問 2～3 問に答え、さらに最後の設問に対して自分の考えを 400～600 字で書く。 問題文は、自然・環境・保健・医療・福祉等に関する一般的な内容 評定平均値 3.1 以上の者
附属高校 特別選抜	面接(10分)・書類審査
一般	国語(近代以降の文章)、英語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ)、数学(数学Ⅰ・数学A)、理科(生物基礎)から2教科 面接(10分)
センター 試験利用	国語(近代以降の文章)、数学(数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情報)、理科(物理基礎、物理、化学基礎、化学、生物基礎、生物、地学基礎、地学)・外国語(英、独、仏)から2教科・2科目 *理科の基礎を付した科目は、2科目を1科目分として扱う。 *英語はリスニングなし。 *本学における個別試験は課さない。
社会人特別選抜	小論文・面接(10分)・書類審査

面接においては、アドミッション・ポリシーに則り、理学療法士あるいは作業療法士となる資質・能力、医療専門職をめざす明確な意思、職業への適格性などを評価する。

3. 選抜体制

入学者選抜は、中立・公平に実施することを旨とし、学長を本部長とした副学長、学部長、学科主任、専攻代表、入試委員及び入試・広報課職員による試験本部を組織して行う。

入試問題の作成と採点は、教科等別に任命された委員（委員名は非公表）が専用室内で作成し、漏えいなど入学者選抜の信頼性を損なう事態が生じないようにしている。

入試関係業務の処理は、「入学者選抜試験運営要項」「面接要領」「合否判定基準」等に基づいて、教員及び職員が一体となり、全学的な連携体制のもとに実施する。

合否の判定については、試験ごとに教授会において成績データに基づいて判定を行い、選抜の透明性を確保している。

4. 募集人員（リハビリテーション学科）

	入学定員	A O	推薦試	附属高校特別選抜	一般	センター利用	社会人
理学療法学専攻	40	13	10	若干名	8	8	若干名
作業療法学専攻	40	13	10	若干名	8	8	若干名
合計	80	26	20	若干名	16	16	若干名

5. 社会人、留学生及び帰国生徒の受け入れ

「本学入学時に満 21 歳以上の者であって、社会において 1 年以上の就業経験がある者」を出願資格とする「社会人特別選抜試験」を実施する。

留学生及び帰国生徒を対象とした入学試験は実施していないが、AO 入試、一般入試、センター利用入試の受験が可能である。

6. 科目等履修生、聴講生の受け入れ

科目等履修生については、学則第 66 条、聴講生については学則第 67 条の規程に基づき、受け入れ

ることが可能である。

IX 取得可能な資格

専攻	資格等名称	資格の種類	取得条件
理学療法学専攻	理学療法士 (国家試験受験資格)	国家資格	卒業要件を満たすこと
作業療法学専攻	作業療法士 (国家試験受験資格)	国家資格	卒業要件を満たすこと

X 実習の具体的計画

学外の施設で行う実習科目については、学科の授業期間を考慮し、両専攻ができるだけ同一時期に行えるように計画している。なお、2020（令和2）年度から、新しい指定規則（理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則）により理学療法学専攻の臨床実習は20単位以上、作業療法学専攻の臨床実習は22単位以上実施することが必要となる。

1. 実習の目的

A. 理学療法学専攻の実習の目的

臨床実習は、学内で学修した知識や技能及び態度を臨床現場で実践することを通して、リハビリテーションの専門職としての基本的・総合的能力を修得することを目的としている。学位授与の方針に対応して、臨床実習では学生に以下の具体的能力を獲得させる。

- ① 人間や社会に対する理解を深め、ノーマライゼーションの考え方、広い視野を持ち、隣接職種と協調して自らの役割と責任を担う心構え。
- ② 患者、対象者を理解し、相手の立場を考えてリハビリテーションを提供する心構え。
- ③ リハビリテーションに関する知識、技術を身に付け、生涯にわたる心身機能の維持と改善、QOLの向上、地域における自立の支援ができる能力。

- ④ 多様化する保健医療の要求や医学、医療技術の進歩に対応し、常にリハビリテーションに関する新たな知識・技術の修得に励む等、継続して学修する能力。

B. 作業療法学専攻の実習の目的

作業療法学専攻の実習の目的は、上記の理学療法学専攻の目的と同様である。

ただし、実習が身体障害、精神障害、老年期障害、発達障害の各領域を区分して実施されることから、科目ごとに教育目標（GIO）を設定し、その教育目標を実現するための具体的な行動目標（SBO）を設定する。

2. 実習先の確保の状況

A. 理学療法学専攻の実習先の確保の状況

理学療法学専攻の実習施設は、千葉県の病院・施設を中心（100 施設、全実習施設の 79%に当たる）に、一部の病院・施設は茨城県（11 施設）、東京都（8 施設）、埼玉県（4 施設）、神奈川県（1 施設）、山梨県（1 施設）に、合計 126 施設を確保している。実習施設は、全実習施設の 98%が関東地方の近隣県（茨城県、東京都、埼玉県を含む）にある。

（資料 8 理学療法学専攻実習施設一覧表）

実習施設は実習内容に対応できるように施設の特性を勘案し、急性期・回復期・生活期の病院・施設など幅広く選定している。特に「地域理学療法学実習」においては、通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーションの実習が行える施設を確保している。なお、個々の学生の施設選定に際しては、学生の居住地から公共交通機関を利用して 90 分以内に通勤できるように考慮している。特殊性を持つ実習施設を使用する場合など、通勤に時間がかかる実習施設を使用する必要がある場合には、学生の宿泊先や移動手段について大学が支援する。

B. 作業療法学専攻の実習先の確保の状況

作業療法学専攻では、次の条件を満たす実習施設を確保している。

- ① 多様な臨床体験ができるように、身体障害領域、精神障害領域、発達障害領域、老年期障害領域での実習施設を確保する。
- ② 通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーションに関する実習を 1 単位以上行える実習施設を確保する。
- ③ 千葉地域の作業療法士養成への要望と学生の負担軽減のために、千葉県内を中心に確保する。

（資料 9 作業療法学専攻実習施設一覧表）

作業療法学専攻の全臨床実習施設数は 176 施設（身体障害領域 78 施設、精神障害領域 40 施設、老年期障害領域 44 施設、発達障害領域 14 施設）である。また、通所リハビリテーション 100 施

設、訪問リハビリテーション 54 施設である。

全実習施設の 70%が千葉県内にあり、東京都と茨城県を含めると関東地方の近隣県で 92%になる。

表 12 作業療法学専攻臨床実習施設の障害領域ごとの地域別、通所リハ、訪問リハ一覧表

領域	総数	千葉県	東京都	茨城県	埼玉県	その他	通所リハ	訪問リハ
身体障害領域	78	56	5	10	6	1	39	36
精神障害領域	40	18	4	13	3	2	23	2
老年期障害領域	44	39	1	2	1	1	38	16
発達障害領域	14	10	2	2	0		0	0
合計 (%)	176	123 (70%)	12 (7%)	27 (15%)	10 (6%)	4 (2%)	100	54

実習受入承諾書

上記の施設の実習受入承諾書は、別添（資料 10）のとおりである。
（資料 10 実習承諾書）

実習先が遠隔地の場合の考え方と支援方策

実習施設は、学生の居住地から公共交通機関を利用して 90 分以内になるように配慮するが、遠隔地であっても特殊性を持つ施設であったり、作業療法学の水準確保のためであったり、当該施設を使用する必要がある場合は、学生の宿泊先や移動手段について支援する。

3. 実習先との契約内容

（1）実習施設との契約内容

実習施設に対して、実習の種類・配当年次・期間・日時・目的・実施方法・指導体制・実習費と支払い方法等を明示し、施設の承認を得た上で、実習承諾書をもって承諾を得ている。

（資料 11 実習依頼文書）（資料 10 実習承諾書）

（2）個人情報の保護、感染症対策、事故防止に関する取決め

本学及び実習施設の責務を以下のように、明確にしている。

1) 個人情報保護

実習開始前に実習学生が署名捺印した（資料 12 臨床実習に関わる個人情報保護に関する誓約書）を実習施設に提出する。

原則として本学書式の誓約書を提出するが、実習施設独自の書式の誓約書がある場合は、大学と内容を協議の上、その書式を使用する。

2) 感染症対策

入学時 4 月に麻疹の抗体検査を実施する。加えて 2 年次から 3 年次に進級する直前の 3 月に、麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎・B 型肝炎（HBs）の抗体検査を実施する。

抗体検査の結果、抗体価が陰性（－）あるいは疑陽性（±）であった学生に対してはワクチン接種を推奨し、ワクチンの接種状況を追調査し抗体価を確認する。なお、各実習施設に施設独自の抗体価基準等を確認し、施設独自の基準がある場合は、それに対応した検査やワクチン接種の必要性を該当学生に説明し、同意の上で任意に実施する。

3) 事故対応

実習中の事故に備え、学生全員が学生保険（被害損失，加害損失双方に有効）に加入する。加入する保険は「学研災付帯賠償責任保険（医学生教育研究賠償責任保険）」と「学生教育研究災害障害保険」の 2 つである。

なお、事故等何らかの問題が生じた場合に直ちに対応できるよう、連絡・問合せ先は実習支援室に一本化している。ただし、休日・夜間については、教員が 2 名体制で緊急連絡用携帯電話を携帯し対応に当たる。事故発生時は実習施設及び大学の責任者で連携を取りながら速やかに対処する。

4. 実習水準の確保の方策

実習施設における実習は、学んだ原理や方法論を実際の技術に生かし、その経験を通して、更に高度な技術を修得し、専門家としての自己を成長・実現させる教育方法である。実習水準の確保のために、実践現場における重要な知識と専門技術を十分に身につけられるよう、教育課程の編成、実習先との連携、実習指導体制、実習計画などに基づいて学部として組織的計画的に実施する。

また、実習先の指導者に対しては、本学の実習教育の目的・内容等を十分に理解してもらい、本学の実習教育の目的が達成できるようにするため、本学の教員及び実習指導者が持つ知識や技術の情報交換会、研修会等を行う。

5. 実習先との連携体制

(1) 実習先との実習前の協議

本学の教員と臨床実習指導者で組織する「臨床実習指導者会議」を大学で年1回（理学療法評価学臨床実習，作業療法評価学臨床実習を開始する約1か月前），開催する。臨床実習指導者に，本学の実習教育の目的・内容・指導の方針などを十分に説明し，臨床実習教育の目的が達成できるようにする。この会議では，臨床実習の目的・目標及び学生の評価方法を明確にし，本学の実習指導教員と臨床実習指導者との間で共通の理解を得る。また，学生の実習前の知識・技能の到達度について確認する。

(2) 実習実施時の連絡体制

本学の教員は，担当する実習施設について，実習期間を通じて臨床実習指導者と情報交換を行って実習の進行状況や問題点を把握し，その調整を行う。また，直接施設を訪問して実習生の支援・指導を行い，臨床実習指導が円滑に進むように臨床実習指導者をサポートする。実習施設への訪問については，実習期間中に最低1回は行い，必要に応じて複数回の訪問を行う。なお，実習施設への訪問は，理学療法評価学臨床実習，作業療法評価学臨床実習，総合臨床実習Ⅰ・Ⅱにおいて実施する。訪問の時期は原則として実習期間の中間時点とする。

(3) 実習における指導の方針

実習における指導の方針については，指導のポイントを記載した「学外実習実施要項」を臨床実習指導者に配布し，臨床実習指導者会議において説明する。主な内容は以下のとおりである。

- ① 担当症例の選択においては，学修に適した症例，あるいは，一定期間の中で指導者と学生のやりとりが可能な症例について臨床実習を行えるよう配慮する。
- ② レポートなどの内容については，学生自身の考え方を尊重した上で，重要事項，誤り，欠落等を補うよう指導する。
- ③ 課題等の量及び頻度は，学生の実習進捗を考慮して過重にならないよう配慮する。特に，実習終了日間近になって報告書作成に追われないようにする。
- ④ 実習中に生じた疑問点は，その都度解決できるよう助言し，対象患者に即した解決方法を一緒に考える機会を作る。

6. 実習前の準備状況

(1) 感染予防対策

入学時 4 月に麻疹の抗体検査を実施する。加えて 2 年次から 3 年次に進級する直前の 3 月に、麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎・B 型肝炎（HBs）の抗体検査を実施する。

抗体検査の結果、抗体価が陰性（－）あるいは疑陽性（±）であった学生に対してはワクチン接種を推奨し、ワクチンの接種状況を追調査し抗体価を確認する。なお、各実習施設に施設独自の抗体価基準等を確認し、施設独自の基準がある場合は、それに対応した検査やワクチン接種の必要性を該当学生に説明し、同意の上で任意に実施する。

学内の授業においては、「予防医学」、「病原微生物学」、「リスク管理学」の学修を通じて感染症に関する知識を深め、予防の基本となる標準予防策（スタンダード・プリコーション）を修得する。

(2) 保険等への加入

前述したように、実習中の事故に備え、学生全員が学生保険（被害損失，加害損失双方に有効）に加入する。加入する保険は「学研災付帯賠償責任保険（医学生教育研究賠償責任保険）」と「学生教育研究災害障害保険」の 2 つである。

(3) 守秘義務や SNS の利用に係る注意点

実習における守秘義務について、事前オリエンテーションで（資料 13 個人情報保護に関する注意事項）の内容を理解させた上で、（資料 12 臨床実習に関わる個人情報保護に関する誓約書）を提出させる。加えて、実習開始前後に（資料 14 個人情報保護に関する注意事項 確認書・報告書）を使用し履行状況を確認する。

SNS（Instagram, Twitter, LINE , Facebook など）の利用に関しては特に注意喚起し、実習施設・臨床実習指導者並びに患者・利用者について、SNS を介した情報の公開・交換は、実習期間のみならず実習終了後においても使用を禁止する。

7. 事前・事後における指導計画

- (1) 事前・事後指導は、基礎理学療法学見学実習・基礎作業療法学見学実習、地域理学療法学実習・地域作業療法学実習、理学療法評価学臨床実習・作業療法評価学臨床実習及び総合臨床実習Ⅰ・Ⅱのそれぞれについて、当該実習の実施年度ごとに具体的なスケジュールを設定して行う。各実習の事前・事後指導は、主に実習担当教員が行う。
- (2) 事前指導では、実習の目的・内容・方法、施設の概要、実習中の課題・記録の書き方、実習の心構えや態度などについて理解と確認を図る。
- (3) 事後指導として、実習セミナーの開催と、ケースサマリー又はプレゼンテーション資料の作成指

導を行う。実習セミナーは、10～20名のグループで実習での体験報告や症例発表を行い質疑・意見を述べ合い今後の課題を明確にする。

- (4) 客観的臨床能力試験（OSCE）を、3年次の理学療法評価学臨床実習・作業療法評価学臨床実習の前（実習前 OSCE）と、4年次の総合臨床実習の後（実習後 OSCE）に行う。実習前 OSCE では、臨床実習で学生が直接患者に接するに当たり、総合的知識及び基本的技能・態度を備えているかどうか確認する。また、実習後 OSCE では、総合臨床実習での学修の効果を判定し、不足している知識・技能を学内教育で指導する。

8. 教員及び助手の配置並びに巡回指導計画

A. 理学療法学専攻

理学療法学専攻所属教員のうち、理学療法士免許取得後5年以上の臨床経験を有する者を臨床実習担当者に当てる。理学療法学専攻の臨床実習担当教員は8名であり、40名の学生に対して、各教員は約5名の学生を担当する（資料15 2021～2023年度理学療法学専攻臨床実習一覧表）。

理学療法評価学臨床実習及び総合臨床実習Ⅰ・Ⅱの実習期間中において、臨床実習担当者は少なくとも1回以上実習施設を訪問し、実習指導者との協議、学生に対する指導を行う。臨床実習担当教員は授業も担当しているが、（表13 教員別の担当授業コマ数及び巡回指導の担当施設数）に示すとおり、巡回指導計画は教員の負担の観点から、無理のないものとなっている。前期の担当授業コマ数は2～5コマに対し、巡回指導の担当施設は、総合臨床実習Ⅰ・Ⅱそれぞれで5施設である。原則として、実習期間の中間時点に施設訪問を行うため、総合臨床実習（6週間）では実習開始後3～4週目に訪問することとなる。各教員とも2週間の期間で5施設を巡回訪問することは、無理がなく十分に可能である。また、基礎理学療法学見学実習、地域理学療法学実習は夏期休業期間に行い、理学療法評価学臨床実習の施設訪問は春期休業期間に行うため、巡回指導計画は教員の負担の観点から無理はない。

なお、臨床実習の質の向上をはかるため、臨床実習担当者のうち1名を「実習調整者」として配置する。実習調整者の役割は、臨床実習全体の計画の作成、実習施設との調整、臨床実習の進捗管理等である。

表 13 教員別の担当授業コマ数及び巡回指導の担当施設数

巡回担当教員	前期の担当授業コマ数 (1週間につき)	総合臨床実習Ⅰ・Ⅱにおける 巡回指導の担当施設数
水江年城	4コマ	それぞれ5施設
三浦達浩	1コマ	それぞれ5施設
倉山太一	2コマ	それぞれ5施設
上倉將太	4コマ	それぞれ5施設

角正美	2 コマ	それぞれ 5 施設
松岡瑞雄	3 コマ	それぞれ 5 施設
千葉諭	5 コマ	それぞれ 5 施設
植草泰憲	2 コマ	それぞれ 5 施設

B. 作業療法学専攻

作業療法学専攻所属教員のうち、作業療法士免許取得後 5 年以上の実務経験を有する者を臨床実習担当者に当てる。作業療法学専攻の臨床実習担当教員は 8 名であり 40 名の学生に対して、各教員は約 5 名の学生を担当する（資料 16 2021～2023 年度作業療法学専攻臨床実習一覧表）。

作業療法評価学臨床実習及び総合臨床実習Ⅰ・Ⅱの実習期間中において、臨床実習担当者は少なくとも 1 回以上実習施設を訪問し、実習指導者との協議、学生に対する指導を行う。臨床実習担当教員は授業も担当しているが、（表 14 教員別の担当授業コマ数及び巡回指導の担当施設数）に示すとおり、巡回指導計画は教員の負担の観点から、無理のないものとなっている。

（表 14）から、前期の担当授業コマ数は 1～5 コマに対し、巡回指導の担当施設は、総合臨床実習Ⅰ・Ⅱそれぞれ 5 施設である。原則として、実習期間の中間時点に施設訪問を行うため、総合臨床実習（8 週間）では実習開始後 4～5 週目に訪問することとなる。各教員とも 2 週間の期間で 5 施設を巡回訪問することは、無理がなく十分に可能である。また、基礎作業療法学見学実習、地域作業療法学実習は夏期休業期間に行い、作業療法評価学臨床実習の施設訪問は春期休業期間に行うため、巡回指導計画は教員の負担の観点から、無理はない。

なお、臨床実習の質の向上をはかるため、臨床実習担当者のうち 1 名を「実習調整者」として配置する。実習調整者の役割は、臨床実習全体の計画の作成、実習施設との調整、臨床実習の進捗管理等である。

表 14 教員別の担当授業コマ数及び巡回指導の担当施設数

巡回担当教員	前期の担当授業コマ数 (1 週間につき)	総合臨床実習Ⅰ・Ⅱにおける 巡回指導の担当施設数
鷲田孝保	4 コマ	それぞれ 5 施設
山崎郁子	1 コマ	それぞれ 5 施設
池田恭敏	2 コマ	それぞれ 5 施設
百田貴洋	4 コマ	それぞれ 5 施設
千田直人	2 コマ	それぞれ 5 施設
大塚（山崎）栄子	3 コマ	それぞれ 5 施設
大平雅弘	5 コマ	それぞれ 5 施設
舘岡周平	2 コマ	それぞれ 5 施設

9. 実習施設における指導者の配置計画

理学療法学専攻・作業療法学専攻とも、以下のように同一基準で指導者の配置計画を立てている。

実習内容や受け入れ学生数に応じた実習指導者が置かれているか否かについては、実習受け入れの可否を打診する際に確認している。受け入れの内諾を得た上で、承諾手続を行っている。

A. 理学療法学専攻

総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ及び理学療法評価学臨床実習は原則として1実習施設に学生1名を配属し、基礎理学療法学見学実習は原則として1実習施設に学生1～2名を配属し、地域理学療法学実習は原則として1実習施設に学生1～3名を配属する。いずれの実習においても実習内容や学生数に応じて1名以上の実習指導者を確保している。

実習指導者の能力を担保するために、実習指導者の要件を以下のとおりとしている。

「実習指導者は理学療法に関し相当の経験を有する理学療法士とし、免許を受けた後5年以上業務に従事した者であり、かつ次のいずれかの講習会を修了した者」

- ① 厚生労働省が指定した臨床実習指導者講習会
- ② 厚生労働省及び公益財団法人医療研修推進財団が実施する理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会

実習先における実習指導者の選任基準は、上記の実習指導者の要件と同じである。また、実習指導者に対する研修は、上記①又は②の講習会に加えて前述した「臨床実習指導者会議」において実施する。さらに、実習の達成目標等の共有については「臨床実習指導者会議」において実施する。

B. 作業療法学専攻

総合臨床実習Ⅰ・Ⅱは原則として1実習施設に学生1名を配属し、作業療法評価学臨床実習及び地域作業療法学実習は原則として1実習施設に学生2名を配属し、基礎作業療法学見学実習は原則として1実習施設に学生4名を配属する。いずれの実習においても実習内容や学生数に応じて1名以上の実習指導者を確保している。

実習指導者の能力を担保するために、実習指導者の要件を以下のとおりとしている。

「実習指導者は作業療法に関し相当の経験を有する作業療法士とし、免許を受けた後5年以上業務に従事した者であり、かつ次のいずれかの講習会を修了した者」とする。

- ① 厚生労働省が指定した臨床実習指導者講習会
- ② 厚生労働省及び公益財団法人医療研修推進財団が実施する理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会
- ③ 一般社団法人日本作業療法士協会が実施する臨床実習指導者中級・上級研修

実習先における実習指導者の選任基準は、上記の実習指導者の要件と同じである。また、実習指導者に対する研修は、上記①又は②の講習会に加えて「臨床実習指導者会議」において実施する。さら

に、実習の達成目標等の共有については「臨床実習指導者会議」において実施する。

10. 成績評価体制及び単位認定方法

成績評価は、理学療法学専攻・作業療法学専攻とも、臨床実習指導者による総合評定、実習終了後に学内で開催する実習セミナーの成績を総合して判定する。

成績評価は、各専攻において科目責任者がまとめ、実習運営委員会及び実習委員会で検討した上で、教授会において単位を認定する。

(リハビリテーションに関する実習の詳細説明)

[概要]

4年間の臨床実習の全体像は以下のとおりである（図1 4年間の臨床実習の流れ）。

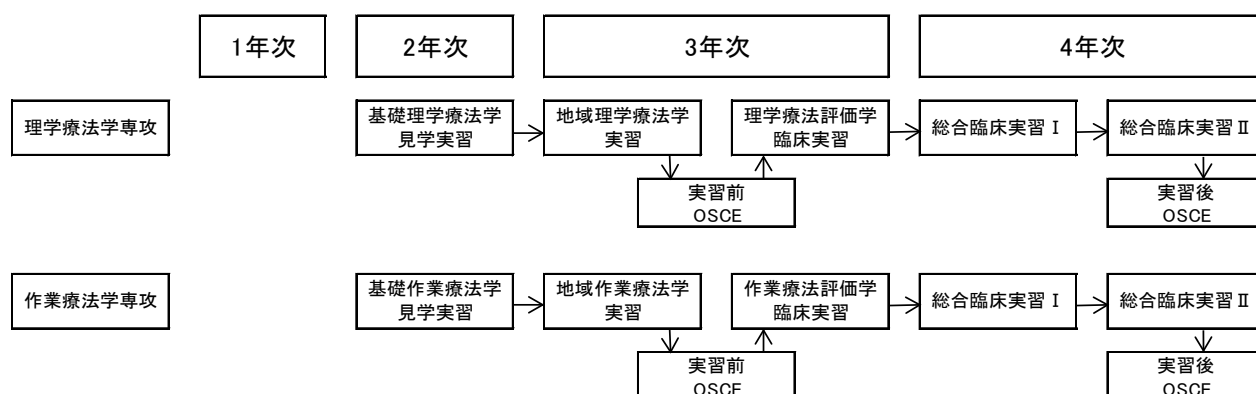
2年次前期に「基礎理学療法学見学実習」（1単位）・「基礎作業療法学見学実習」（1単位）を履修し、病院・施設での見学体験を通じてリハビリテーションの位置付けや各医療スタッフの業務・連携、また、理学療法士・作業療法士の具体的な業務を学修する。

3年次前期に「地域理学療法学実習」（1単位）・「地域作業療法学実習」（1単位）を履修し、地域を基盤として行われる理学療法・作業療法の専門的支援の知識・技術を、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、医療機関などでの支援サービス活動（特に、訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーション）に参加して学ぶ。

3年次後期に「理学療法評価学臨床実習」（5単位）・「作業療法評価学臨床実習」（4単位）を履修し、臨床の場において個々の症例が有する問題点の解決のため、情報収集、評価の計画と実践、問題点の分析、目標の設定、実際の技術など基本的な理学療法・作業療法の過程を修得する。なお、3年次後期には、「アドバンストセミナー」を履修して実習前 OSCE（0.5単位）を受験する。

4年次前期に理学療法学専攻の「総合臨床実習Ⅰ」（6単位）及び「総合臨床実習Ⅱ」（6単位）・作業療法学専攻の「総合臨床実習Ⅰ」（8単位）及び「総合臨床実習Ⅱ」（8単位）を履修し、個々の症状に即した疾患と障害の把握、評価の実施と問題点の分析、目標の設定、治療の計画と実施、変化に対する適切な治療内容の変更、経過及び治療結果に対する考察などを学修する。なお、「プロフェッショナルスキル」を履修して実習後 OSCE（0.5単位）を受験する。

図1 4年間の臨床実習の流れ



[各実習における共通項目]

ア 実習計画の概要

1) 問題対応、きめ細かな指導を行うための実習委員会等の設置等

以下の2つの委員会を設置する。

① 実習委員会

教授会のもとに「実習委員会」を置く。実習委員会は、学部長、学科の教員及び担当事務職員をもって構成し、実習教育の基本的方針、基本計画の立案、予算、実習先との連携強化、実習指導者講習会の開催など実習教育に関する基本方策を協議する。

② 実習運営委員会

「実習委員会」のもとに「実習運営委員会」を置く。実習運営委員会は、学科主任、臨床実習担当教員で構成し、それぞれの実習の実施計画を策定し、実習依頼、実習生及び実習指導教員の配置、実習生の評価など実習の運営全般の業務に当たる。

2) 学生へのオリエンテーションの内容、方法

実習オリエンテーションの主な内容は、以下のとおりである。

- ① 実習の目的とスケジュール
- ② 実習時の緊急時連絡先及び実習施設への連絡方法
- ③ 身だしなみ及び体調管理
- ④ 個人情報保護、守秘義務
- ⑤ レポートと実習報告会

実習オリエンテーションは、「実習の手引き（学外実習実施要項）」を配布し、複数回にわたって内容を説明し、各自が熟読する方法によって実施する。

3) 実習までの抗体検査、予防接種等

入学時4月に麻疹の抗体検査を実施する。加えて2年次から3年次に進級する直前の3月に、麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎・B型肝炎（HBs）の抗体検査を実施する。

抗体検査の結果、抗体価が陰性（－）あるいは疑陽性（±）であった学生に対してはワクチン接種を推奨し、ワクチンの接種状況を追調査し抗体価を確認する。なお、各実習施設に施設独自の抗体価基準等を確認し、施設独自の基準がある場合は、それに対応した検査やワクチン接種の必要性を該当学生に説明し、同意の上で任意に実施する。

4) 損害賠償責任保険、障害保険等の対策

実習中の事故に備え、学生全員が学生保険（被害損失，加害損失双方に有効）に加入する。加入する保険は「学研災付帯賠償責任保険（医学生教育研究賠償責任保険）」と「学生教育研究災害障害保険」の2つである。

イ 実習指導体制と方法

1) 各段階における学生へのフィードバック、アドバイスの方法等

基礎理学療法学見学実習、基礎作業療法学見学実習、地域理学療法学実習、地域作業療法学実習においては、実習終了後、実習報告書を提出させるとともに、グループごとの発表会において指導を行う。

理学療法評価学臨床実習、作業療法評価学臨床実習、総合臨床実習Ⅰ・Ⅱにおいては、実習期間中、教員は少なくとも1回、施設を訪問し臨床実習指導者と情報交換を行い実習の進行状況，問題点を把握して、学生の指導に当たる。また、実習終了後は、ケースレポート又はパワーポイント資料の作成指導を行い、症例報告会（実習セミナー）での発表において指導を行う。

ウ 大学と実習施設との連携体制と方法

1) 実習前、実習中、実習後における調整・連携の具体的方法

実習前に本学の教員と臨床実習指導者で組織する「臨床実習指導者会議」を大学で年1回開催する。臨床実習指導者に、本学の実習教育の目的・内容・指導の方針などを十分に説明し、臨床実習教育の目的が達成できるようにする。この会議では、臨床実習の目的・目標及び学生の評価方法を明確にし、本学の実習指導教員と臨床実習指導者との間で共通の理解を得る。また、学生の実習前の教育内容の到達度について確認する。

実習中には本学の教員が担当する実習施設の臨床実習指導者と情報交換を行って実習の進行状況や問題点を把握し、その調整を行う。また、直接施設を訪問して実習生の支援・指導を行い、臨床実習指導が円滑に進むように臨床実習指導者をサポートする。実習施設への訪問については、実習期間中に最低1回は行い、必要に応じて複数回の訪問を行う。なお、実習施設への訪問は、理学療法評価学臨床実習、作業療法評価学臨床実習、総合臨床実習Ⅰ・Ⅱにおいて実施する。訪問の時期は原則として実習期間の中間時点とする。

実習後には学内での実習後指導状況や発表会の結果について、臨床実習指導者に報告にする。

2) 各施設での指導者の配置状況と連携会議等の開催計画

理学療法学専攻の総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ及び理学療法評価学臨床実習は原則として1実習施設に学生1名を配属し、基礎理学療法学見学実習は原則として1実習施設に学生1～2名を配属し、地域

理学療法学実習は原則として1実習施設に学生1～3名を配属する。いずれの実習においても実習内容や学生数に応じて1名以上の実習指導者を確保している。

作業療法学専攻の総合臨床実習Ⅰ・Ⅱは原則として1実習施設に学生1名を配属し、作業療法評価学臨床実習及び地域作業療法学実習は原則として1実習施設に学生2名を配属し、基礎作業療法学見学実習は原則として1実習施設に学生4名を配属する。いずれの実習においても実習内容や学生数に応じて1名以上の実習指導者を確保している。

本学の教員と臨床実習指導者で組織する「臨床実習指導者会議」を理学療法評価学臨床実習、作業療法評価学臨床実習を開始する約1か月前に大学で開催する。

3) 緊急時の連絡体制等

緊急時に直ちに対応できるよう、連絡・問合せ先は実習支援室に一本化し、休日・夜間については教員が2名体制で緊急連絡用携帯電話を携帯し対応に当たる。実習施設及び大学の責任者で連携を取りながら速やかに対処する。

エ 単位認定等評価方法

1) 各施設の指導者と大学側の指導者との評価方法・連携

各施設の臨床実習指導者からは「学生状況報告書」あるいは「実習評価表」を提出してもらい、大学側の実習担当者は実習終了後に提出される実習報告書あるいはケースレポートの内容と、学内で開催する実習発表会の内容で成績をつける。これらをもとに科目責任者が成績評価をまとめる。

2) 大学における具体的な成績評価体制、単位認定方法・基準

成績評価は、臨床実習指導者による「学生状況報告書」あるいは「実習評価表」、実習終了後に提出する実習報告書あるいはケースレポートの内容、及び学内で開催する実習発表会の成績を総合して判定する。成績評価は科目責任者がまとめ、実習運営委員会及び実習委員会で検討した上で教授会において単位を認定する。総合判定の段階は、秀・優・良・可・不可の5段階とし、秀・優・良・可を合格、不可を不合格とする。なお、秀は100～90点、優は89～80点、良は79～70点、可は69～60点、不可は0～59点の評価区分である。

A. 理学療法学専攻の実習の詳細説明

(1) 基礎理学療法学見学実習

ア 実習計画の概要

1) 実習の目標（実習のねらい）

基礎理学療法学見学実習は、学内で学んだ理学療法の基礎知識を基に、病院・施設での見学体験を通じてリハビリテーションの位置付けや各医療スタッフの業務・連携、また、理学療法士の具体的な業務を学修するものである。この実習は2年次前期に配置しているため、学内で修得している理学療法士が実施する検査・測定の一部を、臨床現場にて体験することを目的に

している。この実習はその後の学修意欲の向上、将来像の構築及び理学療法士としての資質を養うための機会として位置づけられる。

2) 実習単位、主な内容、実習施設、時期、学生の配置、週間計画等

実習単位は1単位である。主な内容としては、学生は実習施設に5日間通い、同一施設においてオリエンテーション、施設内見学後、理学療法・作業療法・言語聴覚訓練・外来診察・回診等の見学をする。実習の後半には、理学療法士が実施する検査・測定の一部（ROMテスト、MMT等）を臨床現場で体験する。さらに、見学終了後、見学実習レポートを提出する。

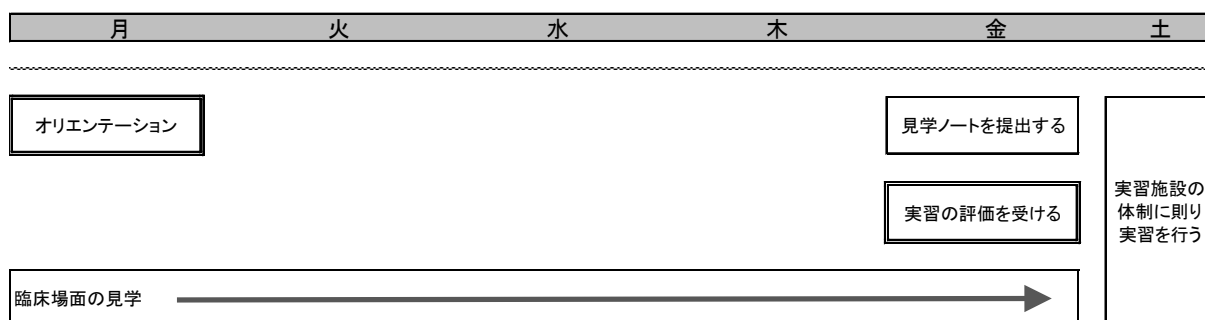
具体的内容

1～2日目：施設見学，チーム医療等の見学

3～5日目：バイタルサインのチェック，検査・測定の体験

実習施設，時期，学生の配置は，（資料13 2021～2023年度理学療法学専攻臨床実習一覧表）のとおりである。また，実習計画の概要は（図2 基礎理学療法学見学実習の流れ）のとおりである。

図2 基礎理学療法学見学実習の流れ



3) 問題対応，きめ細かな指導を行うための実習委員会等の設置等

共通項目に記載のとおり

4) 学生へのオリエンテーションの内容，方法

共通項目に記載のとおり

5) 学生の参加基準・要件等

学生の参加基準・要件はない。

6) 実習までの抗体検査，予防接種等

共通項目に記載のとおり

7) 損害賠償責任保険，障害保険等の対策

共通項目に記載のとおり

イ 実習指導体制と方法

1) 実習スケジュール

実習計画の概要は（図2 基礎理学療法学見学実習の流れ）のとおりである。また，実習ス

スケジュールは9月の第2週である。(資料15 2021～2023年度理学療法学専攻臨床実習一覧表)

2) 担当専任教員の配置と指導計画（巡回指導回数，巡回スケジュール）

担当専任教員の配置は(資料15 2021～2023年度理学療法学専攻臨床実習一覧表)のとおりである。臨床実習担当教員1名当たり3～5施設を担当し，実習先の指導者と連携を取る。巡回指導は原則として実施しない。

3) 各段階における学生へのフィードバック，アドバイスの方法等

共通項目に記載のとおり

4) 学生の実習中，実習後のレポート作成・提出等

学生は実習終了後に実習報告書を提出する。見学報告書には，見学を行った施設の概要・機能等，見学の内容及び説明を受けた事項を記載し，感想を書く。また，臨床において，検査・測定を行った上で気づいたことや，指導を受けたことについてまとめる。

ウ 大学と実習施設との連携体制と方法

1) 実習前，実習中，実習後における調整・連携の具体的方法

共通項目に記載のとおり

2) 各施設での指導者の配置状況と連携会議等の開催計画

共通項目に記載のとおり

3) 緊急時の連絡体制等

共通項目に記載のとおり

エ 単位認定等評価方法

1) 各施設の指導者と大学側の指導者との評価方法・連携

共通項目に記載のとおり

2) 大学における具体的な成績評価体制，単位認定方法・基準

共通項目に記載のとおり

(2) 地域理学療法学実習

ア 実習計画の概要

1) 実習の目標（実習のねらい）

地域を基盤として行われる理学療法の専門的支援の知識・技術を修得する。地域における保健，医療・福祉機関のサービス内容を知り，そこで理学療法の知識・技術がどのように活用できるかを，訪問看護ステーション，介護老人保健施設，医療機関などでの支援サービス活動（特に，訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーション）に参加して学ぶ。

2) 実習単位，主な内容，実習施設，時期，学生の配置，週間計画等

実習単位は1単位である。主な内容としては，学生は1～3名の小グループで，介護老人保

健施設、訪問看護ステーション等(同一施設で5日間)で訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションの見学体験実習を行う。学生は地域理学療法学実習セミナーで、互いに訪問した施設での実習について報告し合い、異なる施設についての体験を共有する。

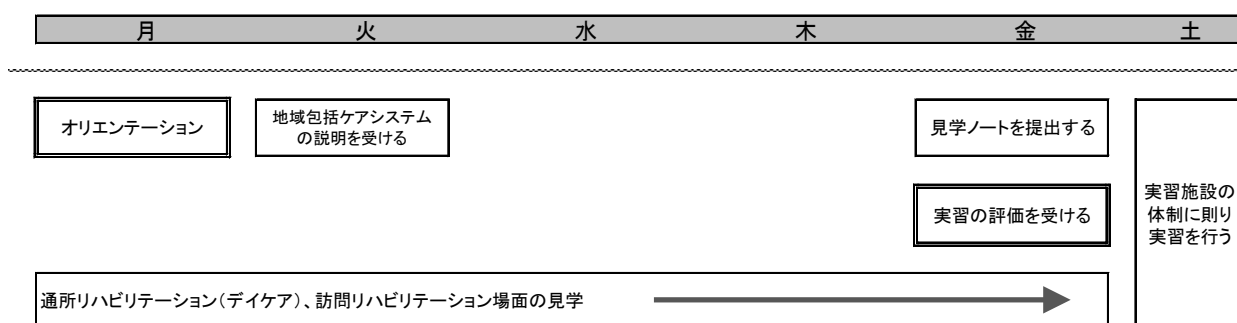
具体的内容

1～2日目：地域包括ケアの概要説明，チーム医療等の見学

3～5日目：訪問リハビリテーション，通所リハビリテーション場面の見学

実習施設，時期，学生の配置は，(資料15 2021～2023年度理学療法学専攻臨床実習一覧表)のとおりである。また，実習計画の概要は(図3 地域理学療法学実習の流れ)のとおりである。

図3 地域理学療法学実習の流れ



3) 問題対応，きめ細かな指導を行うための実習委員会等の設置等

共通項目に記載のとおり

4) 学生へのオリエンテーションの内容，方法

共通項目に記載のとおり

5) 学生の参加基準・要件等

学生の参加基準・要件はない。

6) 実習までの抗体検査，予防接種等

共通項目に記載のとおり

7) 損害賠償責任保険，障害保険等の対策

共通項目に記載のとおり

イ 実習指導体制と方法

1) 実習スケジュール

実習計画の概要は(図3 地域理学療法学実習の流れ)の中に記述している。また，実習スケジュールは9月の第3週である。(資料15 2021～2023年度理学療法学専攻臨床実習一覧表)

2) 担当専任教員の配置と指導計画(巡回指導回数，巡回スケジュール)

担当専任教員の配置は(資料15 2021～2023年度理学療法学専攻臨床実習一覧表)のとおり

りである。臨床実習担当教員 1 名当たり 2～3 施設を担当し、実習先の指導者と連携を取る。巡回指導は原則として実施しない。

3) 各段階における学生へのフィードバック，アドバイスの方法等

共通項目に記載のとおり

4) 学生の実習中，実習後のレポート作成・提出等

学生は，実習中はデイリーノートを毎日作成し，実習終了後に実習報告書を提出する。実習報告書には，実習中に見学・体験した内容，理学療法士の役割，リハビリテーションの内容，感想等を書く。また，臨床において指導を受けたことについてまとめる。

ウ 大学と実習施設との連携体制と方法

1) 実習前，実習中，実習後における調整・連携の具体的方法

共通項目に記載のとおり

2) 各施設での指導者の配置状況と連携会議等の開催計画

共通項目に記載のとおり

3) 緊急時の連絡体制等

共通項目に記載のとおり

エ 単位認定等評価方法

1) 各施設の指導者と大学側の指導者との評価方法・連携

共通項目に記載のとおり

2) 大学における具体的な成績評価体制，単位認定方法・基準

共通項目に記載のとおり

(3) 理学療法評価学臨床実習

ア 実習計画の概要

1) 実習の目標（実習のねらい）

理学療法評価学臨床実習は，学内で修得した検査・測定方法を臨床の場で体験して，学内授業と臨床の場での違いを具体的に学修するものである。この実習の意図するところは，臨床の場での個々の症例が有する問題点の解決のため，情報収集，評価の計画と実践，問題点の分析，目標の設定，実際の技術など基本的な理学療法の過程を修得することである。

2) 実習単位，主な内容，実習施設，時期，学生の配置，週間計画等

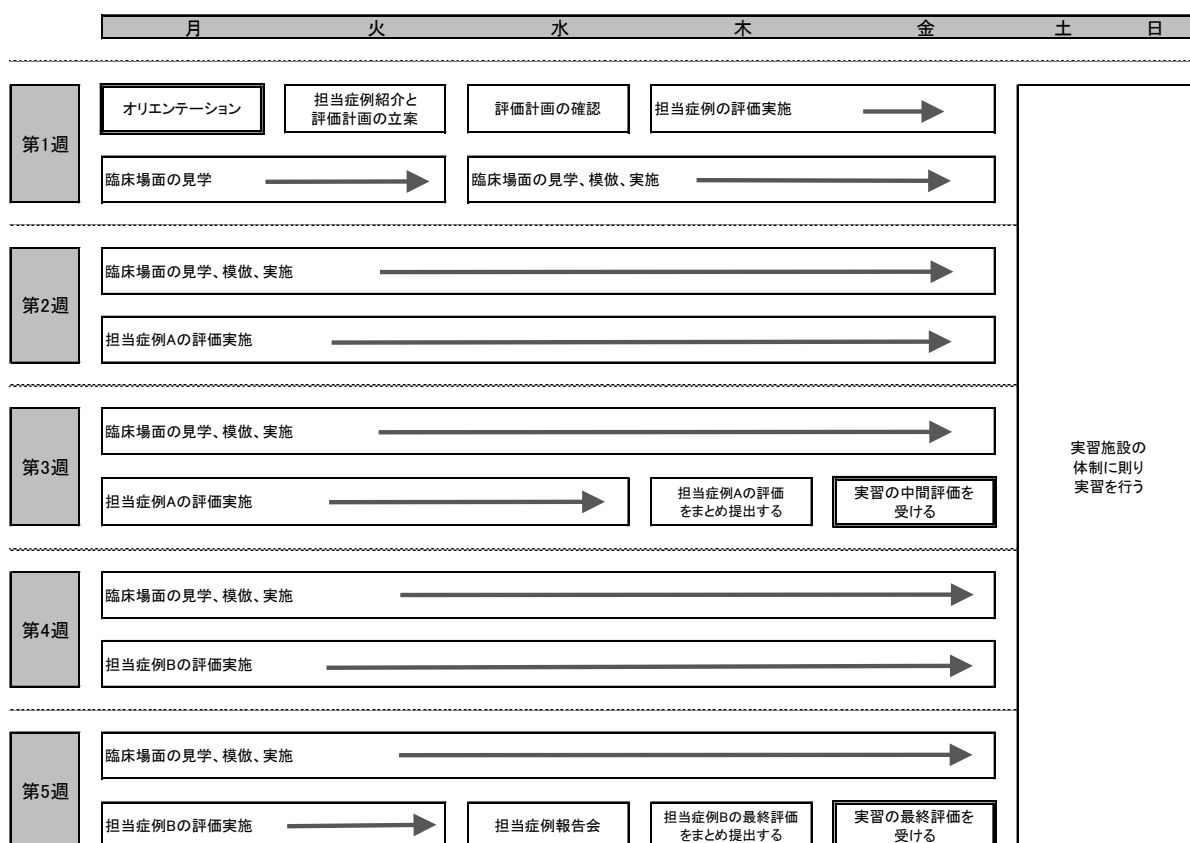
実習単位は 5 単位である。主な内容としては，学生は同一施設において，オリエンテーション，施設見学後，実習先の臨床実習指導者の監督・指導の下に，理学療法等見学，担当症例決定と評価開始，評価実施と評価結果・内容の検討，ケースレポート準備・発表・修正を行う。実習施設のスケジュール終了後，学生は実習評価の説明を受け，実習感想文を提出する。実習

開始後1週間は、特に臨床現場における検査測定について学ぶ。

具体的内容

- 1 週目：評価計画の立案，臨床現場における検査測定について学ぶ。
- 2 週目：担当症例決定と評価開始
- 3 週目：評価実施と評価結果の解釈並びに内容の検討
- 4 週目：評価の追加項目の実施とまとめ
- 5 週目：ケースレポート準備・発表・修正

図4 理学療法評価学臨床実習の流れ



実習施設、時期、学生の配置は、(資料 15 2021～2023 年度理学療法学専攻臨床実習一覧表)のとおりである。また、週間計画は(図4 理学療法評価学臨床実習の流れ)のとおりである。

3) 問題対応、きめ細かな指導を行うための実習委員会等の設置等

共通項目に記載のとおり

4) 学生へのオリエンテーションの内容、方法

共通項目に記載のとおり

5) 学生の参加基準・要件等

3年次後期期末試験終了時に、3年次後期までの必修科目(「理学療法評価学臨床実習」を除く。)のすべてを修得していない者は、「理学療法評価学臨床実習」の履修を認めない。これは、「植草学園大学保健医療学部進級基準及び学外実習履修資格に関する規程」第3条に基づく参加要件

(履修要件)である。

6) 実習までの抗体検査，予防接種等

共通項目に記載のとおり

7) 損害賠償責任保険，障害保険等の対策

共通項目に記載のとおり

イ 実習指導体制と方法

1) 実習スケジュール

実習計画の概要は(図4 理学療法評価学臨床実習の流れ)のとおりである。また，実習スケジュールは1月の第5週～3月の第1週である。(資料15 2021～2023年度理学療法専攻臨床実習一覧表)

2) 担当専任教員の配置と指導計画(巡回指導回数，巡回スケジュール)

担当専任教員の配置は(資料15 2021～2023年度理学療法専攻臨床実習一覧表)のとおりである。臨床実習担当教員1名当たり5施設を担当し，実習先の指導者と連携をとる。巡回指導として，臨床実習担当者は少なくとも1回以上実習施設を訪問し，実習指導者との協議，学生に対する指導を行う。訪問の時期は原則として実習期間の中間時点とする。

3) 各段階における学生へのフィードバック，アドバイスの方法等

共通項目に記載のとおり

4) 学生の実習中，実習後のレポート作成・提出等

必須課題ではないが，学生は実習中にデイリーノートを作成することが推奨される。また，学生は実習終了後に必須課題としてケースレポートを提出する。ケースレポートには，症例の基本情報，理学療法評価，理学療法プログラム等を記載する。

ウ 大学と実習施設との連携体制と方法

1) 実習前，実習中，実習後における調整・連携の具体的方法

共通項目に記載のとおり

2) 各施設での指導者の配置状況と連携会議等の開催計画

共通項目に記載のとおり

3) 緊急時の連絡体制等

共通項目に記載のとおり

エ 単位認定等評価方法

1) 各施設の指導者と大学側の指導者との評価方法・連携

共通項目に記載のとおり

2) 大学における具体的な成績評価体制，単位認定方法・基準

共通項目に記載のとおり

(4) 総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ

ア 実習計画の概要

1) 実習の目標（実習のねらい）

総合臨床実習は、臨床実習指導者の監督・指導の下に、個々の症状に即した疾患と障害の把握、評価の実施と問題点の分析、目標の設定、治療の計画と実施、変化に対する適切な治療内容の変更、経過及び治療結果に対する考察などを学修するものである。総合臨床実習Ⅰでは、検査・測定を統合し、問題点の抽出、ゴール設定など具体的に学修する。総合臨床実習Ⅱでは、それまでの学修成果を基に、理学療法の評価、治療及び経過からみた効果判定について具体的な臨床実習を行う。

2) 実習単位、主な内容、実習施設、時期、学生の配置、週間計画等

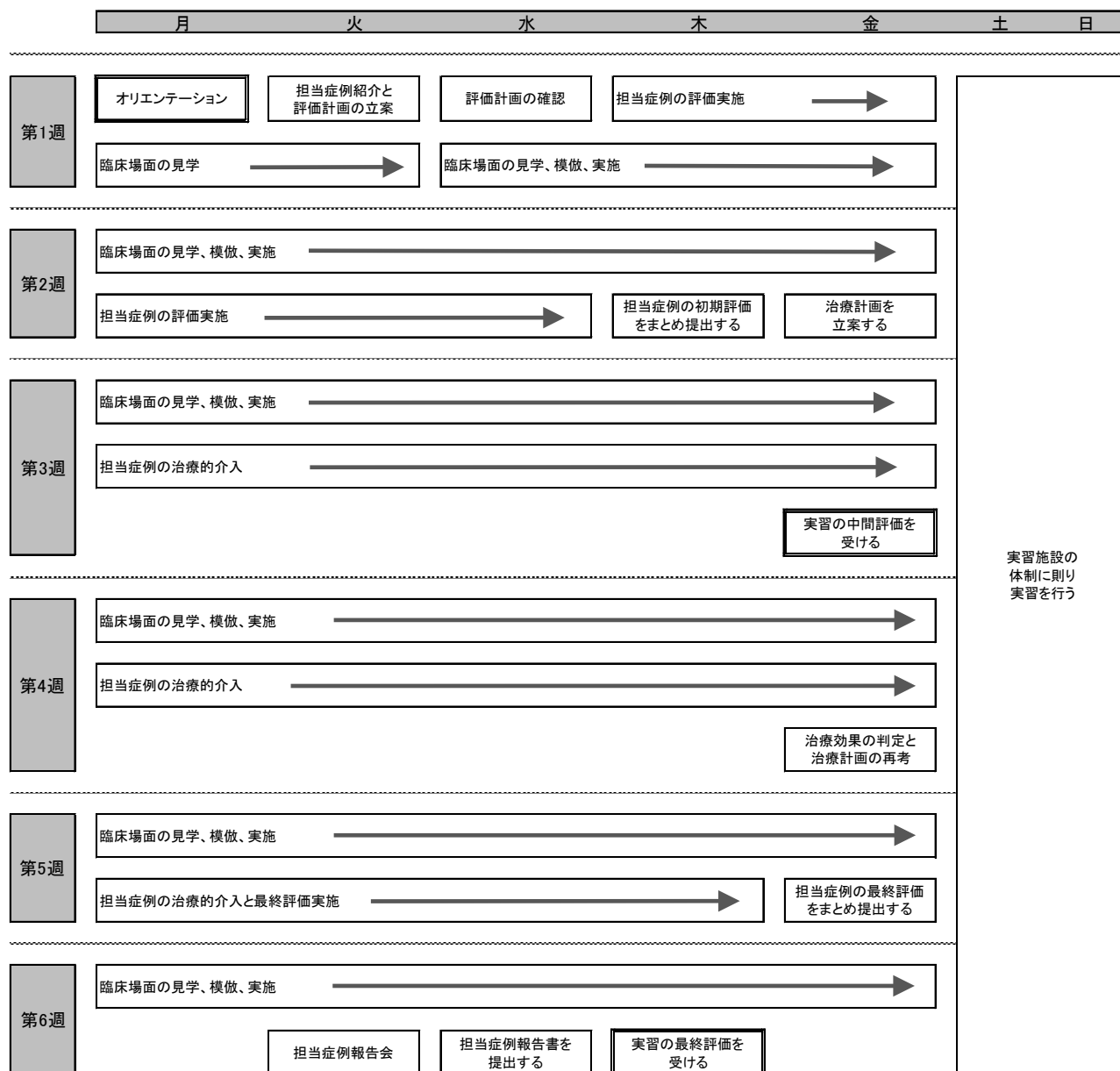
実習単位は総合臨床実習Ⅰ・Ⅱそれぞれ6単位で、合計12単位である。主な内容としては、臨床実習指導者の指導監督の下、個々の症状に即した疾患と障害の把握、評価の実施と問題点の分析、目標の設定、治療の計画と実施、変化に対する適切な治療内容の変更、経過及び治療結果に対する考察などを学修する。これらの学修を通して多様な疾患・障害に対応できる実践能力を養う。

具体的内容

- 1 週目：評価計画の立案、担当症例決定と初期評価開始
- 2 週目：評価実施と評価結果の統合と解釈、目標設定、プログラム立案
- 3 週目：治療的介入（理学療法プログラム）の実施
- 4 週目：症例の状況変化に応じてプログラム追加修正及び実施
- 5 週目：最終評価の実施と結果のまとめ
- 6 週目：ケースレポート準備・発表・修正

実習施設、時期、学生の配置は、（資料 15 2021～2023 年度理学療法学専攻臨床実習一覧表）のとおりである。また、週間計画は（図 5 総合臨床実習Ⅰ・Ⅱの流れ）のとおりである。

図5 総合臨床実習Ⅰ・Ⅱの流れ



3) 問題対応，きめ細かな指導を行うための実習委員会等の設置等

共通項目に記載のとおり

4) 学生へのオリエンテーションの内容，方法

共通項目に記載のとおり

5) 学生の参加基準・要件等

学生の参加基準・要件はない。

6) 実習までの抗体検査，予防接種等

共通項目に記載のとおり

7) 損害賠償責任保険，障害保険等の対策

共通項目に記載のとおり

イ 実習指導体制と方法

1) 実習スケジュール

実習計画の概要は（図 5 総合臨床実習Ⅰ・Ⅱの流れ）のとおりである。また，実習スケジュールは4月の第3週～9月の第2週のうち，6週間を2回である（資料 15 2021～2023 年度理学療法学専攻臨床実習一覧表）

2) 担当専任教員の配置と指導計画（巡回指導回数，巡回スケジュール）

担当専任教員の配置は（資料 15 2021～2023 年度理学療法学専攻臨床実習一覧表）のとおりである。総合臨床実習Ⅰ・Ⅱのそれぞれにおいて，臨床実習担当教員1名当たり5施設を担当し実習先の指導者と連携をとる。巡回指導として，臨床実習担当者は少なくとも1回以上実習施設を訪問し，実習指導者との協議，学生に対する指導を行う。訪問の時期は原則として実習期間の中間時点とする。

3) 各段階における学生へのフィードバック，アドバイスの方法等

共通項目に記載のとおり

4) 学生の実習中，実習後のレポート作成・提出等

必須課題ではないが，学生は実習中にデイリーノートを作成することが推奨される。また，学生は実習終了後に必須課題としてケースレポートを提出する。ケースレポートには，症例の基本情報，理学療法評価（初期・最終），理学療法プログラム等を記載する。

ウ 大学と実習施設との連携体制と方法

1) 実習前，実習中，実習後における調整・連携の具体的方法

共通項目に記載のとおり

2) 各施設での指導者の配置状況と連携会議等の開催計画

共通項目に記載のとおり

3) 緊急時の連絡体制等

共通項目に記載のとおり

エ 単位認定等評価方法

1) 各施設の指導者と大学側の指導者との評価方法・連携

共通項目に記載のとおり

2) 大学における具体的な成績評価体制，単位認定方法・基準

共通項目に記載のとおり

B. 作業療法学専攻の実習の詳細説明

(1) 基礎作業療法学見学実習

ア 実習計画の概要

1) 実習の目標(実習のねらい)

(教育目標)

作業療法と医療・保健・福祉に対する理解を深め、専門職種としての行動と視野を身につける。

(行動目標)

- ① 見学施設についてあらかじめ学修し、他の人にその内容を伝えることができる。
- ② 見学施設で求められている学生としての行動上の留意点を守る。
- ③ 対象者やその家族と好ましい人間関係をとることができる。
- ④ 見学施設の職員と好ましい対人関係をとることができる。
- ⑤ 見学場面での観察とその報告ができる。
- ⑥ 作業療法及び作業療法士の活動について記録に残すことができる。
- ⑦ 医療、福祉、他の専門職 障害領域などを理解し、記録に残すことができる。
- ⑧ 作業療法及び作業療法士の活動について実習セミナーで意見交換ができる。
- ⑨ 見学場面の観察記録や経験を、実習セミナーで共有し、討論できる。
- ⑩ 実習とセミナーを通して得た経験や知識をまとめ考察できる。

2) 実習単位, 主な内容, 実習施設, 時期, 学生の配置, 週間計画等

実習単位は1単位である。学生の配置は、4名を1グループとする。

主な内容は以下のとおりである。

身体障害領域、精神障害領域、発達障害領域、老年期障害領域の中から2施設の見学実習を行う。実習後にセミナーを実施し、実習で得た経験の情報交換、学修した知識、技術、態度について整理と確認を行い、今後の学修に役立てる。実習時期は2年次、9月中旬の1週間である。実習施設及び学生の配置は（資料16 2021～2023年度の作業療法学専攻実習一覧表）のとおりである。

具体的内容（図6 基礎作業療法学見学実習の流れ）

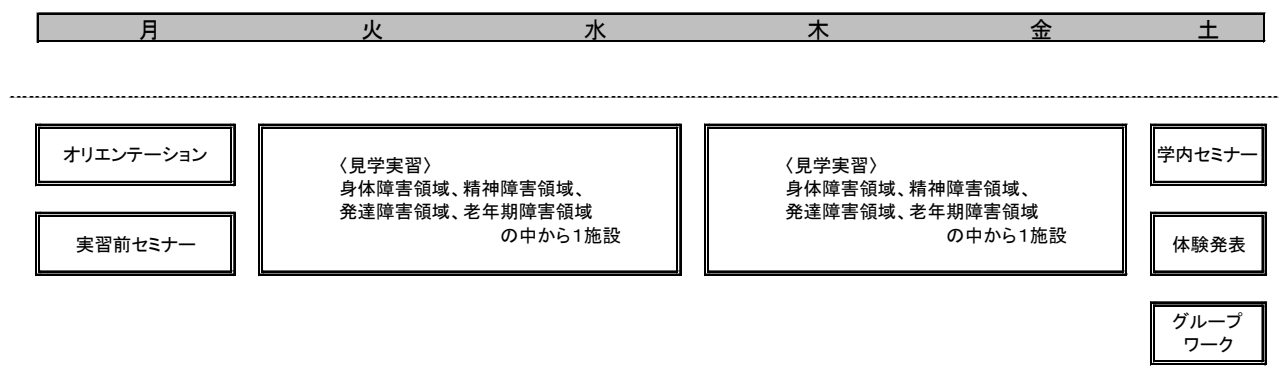
1日目：オリエンテーション・実習前セミナー

2～5日目：見学実習（2施設）

6日目：学内セミナー

身体障害領域、精神障害領域、発達障害領域、老年期障害領域の作業療法の違いと共通点を考察する。

図6 基礎作業療法学見学実習の流れ



3) 問題対応, きめ細かな指導を行うための実習委員会等の設置等

共通項目に記載のとおり

4) 学生へのオリエンテーションの内容, 方法等

共通項目に記載のとおり

5) 学生の参加基準・要件等

学生の参加基準・要件はない。

6) 実習までの抗体検査, 予防接種等

共通項目に記載のとおり

7) 損害賠償責任保険, 障害保険等の対策

共通項目に記載のとおり

イ 実習指導体制と方法

1) 実習スケジュール

実習計画の概要は, (図6 基礎作業療法学見学実習の流れ) のとおりである。また, 実習スケジュールは, 9月の第2週である。(資料16 2021~2023年度作業療法学専攻臨床実習一覧表)

2) 担当専任教員の配置と指導計画(巡回指導回数, 巡回スケジュール)

担当教員の配置は, (資料16 2021~2023年度作業療法学専攻臨床実習一覧表) のとおりである。臨床実習担当教員1名あたり2~5施設を担当し, 実習先の指導者と連携をとる。巡回指導は原則として行わない。

3) 各段階における学生へのフィードバック, アドバイスの方法等

共通項目に記載のとおり

4) 学生の実習中, 実習後のレポート作成・提出等

学生は実習終了後の学内セミナー(体験発表, グループワーク)において, 身体障害領域, 精神障害領域, 発達障害領域, 老年期障害領域の作業療法の違いと共通点を考察し, 対象者について気づいたことや, 指導を受けたことについてまとめる。

ウ 大学と実習施設との連携体制と方法

1) 実習前，実習中，実習後における調整・連携の具体的方法

共通項目に記載のとおり

2) 各施設での指導者の配置状況と連携会議等の開催計画

共通項目に記載のとおり

3) 緊急時の連絡体制等

共通項目に記載のとおり

エ 単位認定等評価方法

1) 各施設の指導者と大学側の指導者との評価方法・連携

共通項目に記載のとおり

2) 大学における具体的な成績評価体制，単位認定方法・基準

共通項目に記載のとおり

(2) 地域作業療法学実習

ア 実習計画の概要

1) 実習の目標（実習のねらい）

(教育目標)

介護老人保健施設等での訪問リハビリテーション，通所リハビリテーションの見学体験実習を通して，地域における作業療法と医療・保健・福祉に対する理解を深め，専門職種としての行動と視野を身につける。

(行動目標)

- ① 見学施設についてあらかじめ学修し，他の人にその内容を伝える。
- ② 見学施設で求められている学生としての行動上の留意点を守る。
- ③ 訪問リハビリテーションを通じて，地域診断の項目について説明できる。
- ④ 生活構造の評価項目について説明できる。
- ⑤ 見学場面での観察とその報告する。
- ⑥ 日常生活行為向上アセスメントシートについて説明できる。
- ⑦ 作業療法及び作業療法士の活動について記録に残す。
- ⑧ 医療，保健，福祉の専門職・障害領域などを理解し，記録に残す。
- ⑨ 作業療法及び作業療法士の活動について実習セミナーで意見交換する。
- ⑩ 見学場面の観察記録や経験を，実習セミナーで共有し，討論する。
- ⑪ 実習とセミナーを通して得た経験や知識をまとめ考察する。

2) 実習単位、主な内容、実習施設、時期、学生の配置、週間計画等

実習単位は1単位。学生の配置は、2名を1グループとする。主な内容は、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション施設が併設されている介護老人保健施設等で見学体験実習を行う。実習時期は3年次、9月中旬の1週間である。実習施設及び学生配置は（資料16 2021～2023年度作業療法学専攻臨床実習一覧表）のとおりである。

具体的内容（図7 地域作業療法学実習の流れ）

1日目：オリエンテーション（学内）

2日目：実習施設内オリエンテーション（臨床実習指導者）、施設内見学

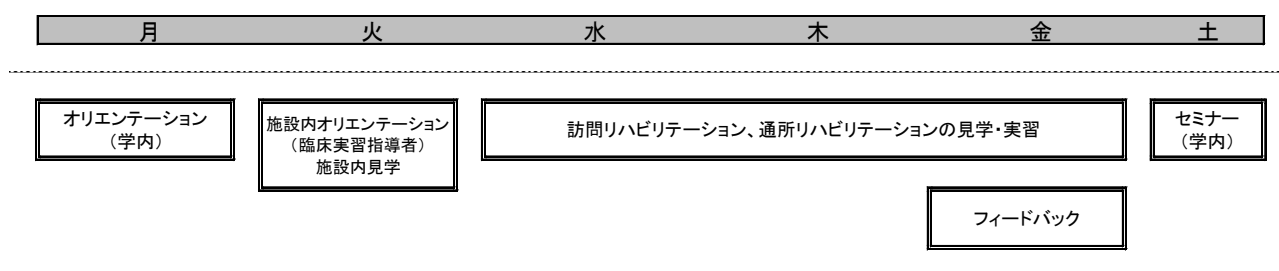
3～5日目：訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションの見学実習

フィードバックとまとめ

6日目：セミナー（学内）

実習で得た経験の情報交換、学修した知識、技術、態度について整理と確認を行い今後の作業療法専門科目の学修に役立てる。

図7 地域作業療法学実習の流れ



3) 問題対応、きめ細かな指導を行うための実習委員会等の設置等

共通項目に記載のとおり

4) 学生へのオリエンテーションの内容、方法

共通項目に記載のとおり

5) 学生の参加基準・要件等

学生の参加基準・要件はない。

6) 実習までの抗体検査、予防接種等

共通項目に記載のとおり

7) 損害賠償責任保険、障害保険等の対策

共通項目に記載のとおり

イ 実習指導体制と方法

1) 実習スケジュール

実習計画の概要は、「図7 地域作業療法学実習の流れ」の中に記述している。実習スケジュー

ールは9月の第3週である。(資料16 2021～2023年度作業療法学専攻臨床実習一覧表)

2) 担当専任教員の配置と指導計画(巡回指導回数, 巡回スケジュール)

担当専任教員の配置は(資料16 2021～2023年度作業療法学専攻臨床実習一覧表)のとおりである。臨床実習担当教員1名あたり2～3施設を担当し、実習先の指導者と連携をとる。巡回指導は原則として実施しない。

3) 各段階における学生へのフィードバック, アドバイスの方法等

共通項目に記載のとおり

4) 学生の実習中, 実習後のレポート作成, 提出等

学生は、実習中はデイリーノートを毎日作成し、見学・体験した内容、作業療法士の役割、感想等を書く。実習後のセミナーでは、実習で得た情報や経験の交換、学修した知識、技術、態度について整理と確認を行う。

ウ 大学と実習施設との連携体制と方法

1) 実習前, 実習中, 実習後における調整・連携の具体的方法

共通項目に記載のとおり

2) 各施設での指導者の配置状況と連携会議等の開催計画

共通項目に記載のとおり

3) 緊急時の連絡体制等

共通項目に記載のとおり

エ 単位認定等評価方法

1) 各施設の指導者と大学側の指導者との評価方法・連携

共通項目に記載のとおり

2) 大学における具体的な成績評価体制, 単位認定方法・基準

共通項目に記載のとおり

(3) 作業療法評価学臨床実習

ア 実習計画の概要

1) 実習の目標(実習のねらい)

(教育目標)

臨床実習指導者の指導と対象者の協力を受けながら、学生が適切な評価を実施し、結果を整理し検討を加え、その説明と報告を行うことで、作業療法学生としての評価技能を修得する。

(行動目標)

- ① 作業療法士を目指す上で必要な基本的態度を身につけて示すことができる。
- ② 臨床実習施設職員並びに作業療法対象者と良好な関係を築くことができる。

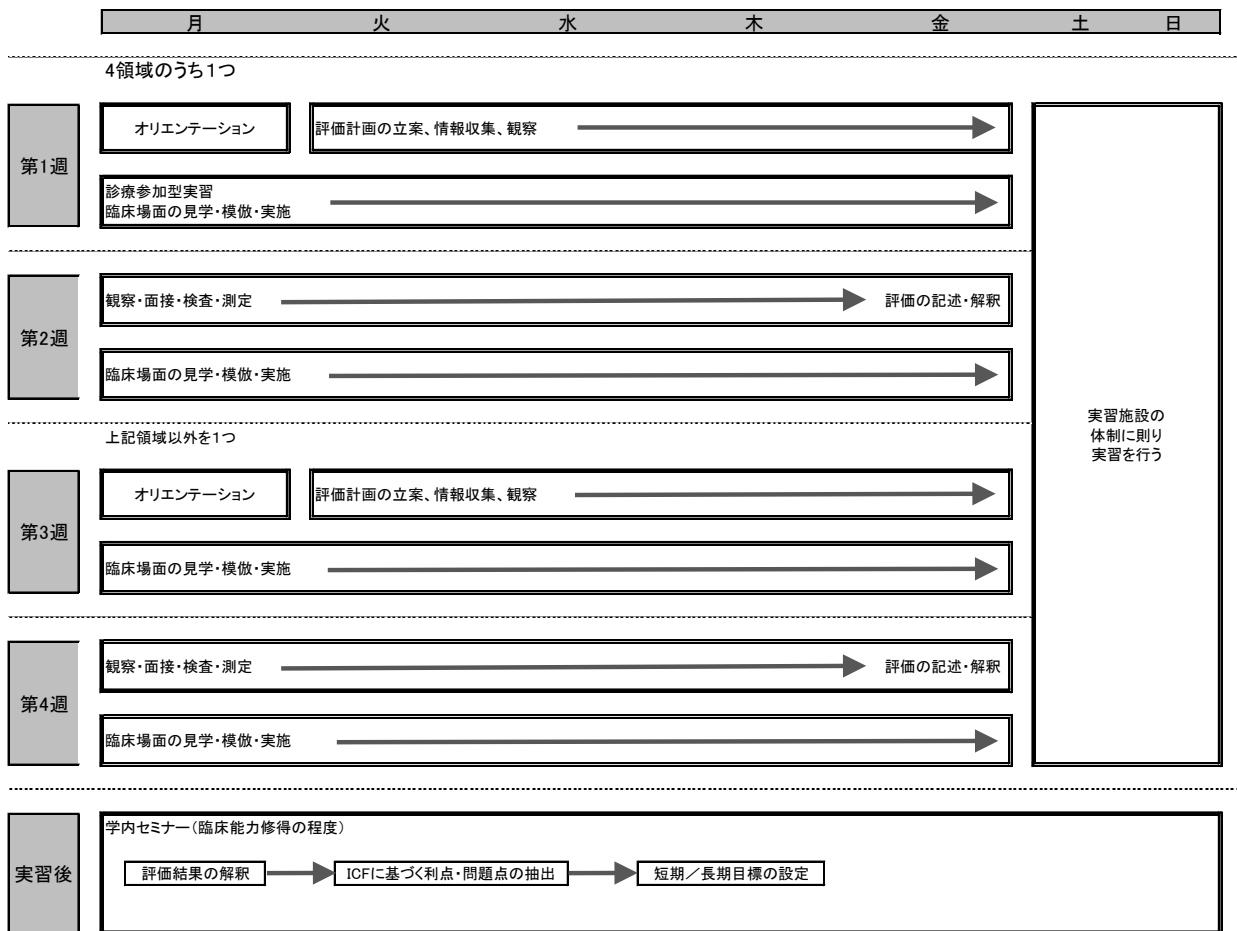
- ③ 臨床実習施設やリハビリテーション部門並びに作業療法部門の組織を理解し説明できる。
- ④ 臨床実習施設における作業療法士と他職種の役割を理解して説明できる。
- ⑤ 各種活動に参加し活動の意義を理解して説明できる。
- ⑥ 担当事例に必要な基本的評価項目を選択して示すことができる。
- ⑦ 対象者や家族に評価上必要な説明と指導を行うことができる。
- ⑧ 選択した評価を正しい順序で適切に実施してみせられる。
- ⑨ 評価実施の際、安全性を考慮して行うことができる。
- ⑩ 評価結果を整理して説明若しくは記録ができる。
- ⑪ 与えられた課題を責任をもって遂行することができる。
- ⑫ 実習の経験をセミナーで発表し討論できる。

2) 実習単位、主な内容、実習施設、時期、学生の配置、週間計画表

実習単位は4単位である。実習施設は、身体障害領域、精神障害領域、老年期障害領域、発達障害領域から、2領域を選んでそれぞれ2週間行う。(図8 作業療法評価学臨床実習の流れ) 実習時期は3年次、1～3月の2週間とする。実習施設及び学生の配置は(資料16 2021～2023年度作業療法学専攻臨床実習一覧表)のとおりとする。それぞれの領域において共通した内容は、次のものである。

作業療法士として修得すべき基本的態度・臨床技能・臨床思考を育成すべく、実習指導者の指導監督の下で臨床チームの一員(助手)として参加する。指導方法は、実習指導者を手本とした見学・模倣・実施のプロセスを経て許容範囲の臨床体験を重ねる診療参加型実習(クリニカルクラクシップ:CCS)とする。基本的態度・臨床技能・臨床思考過程の各項目が示されたチェックリストを用い、学生と指導者が実習で経験したことを共有する。また、評価計画の立案から評価の実施までを実習施設にて経験する。実習後の学内セミナーでは、経験した1例における評価結果の解釈や問題点の整理、目標設定を教員とともに行う。

図8 作業療法評価学臨床実習の流れ



※それぞれの領域の評価計画、情報収集、観察、面接等の詳細については、本文参照。

4 領域の具体的内容

○身体障害領域の実習計画

1 週目：情報収集や面接，観察，検査/測定等の評価計画の立案，評価の実施

- ① 情報収集－現病歴や画像所見等のカルテからの医学的情報
看護師や理学療法士等の他部門からの情報など
- ② 面接－病前生活の状況や今後したい・しなければならないことなど
- ③ 観察－基本動作や ADL 等の生活行為

2 週目：評価の実施

- ④ 検査/測定－関節可動域制限や運動麻痺，高次脳機能障害など

実習後の学内セミナー：得られた各評価間の関連性などの評価結果の解釈，ICF や生活行為向上マネジメントに基づく問題点の整理，問題点の優先性を加味した短期目標並びにその後の生活を見据えた長期目標の設定。

○精神障害領域の実習計画

精神障害領域では、評価計画の立案を基に、情報収集、面接、検査/測定を精神科領域の臨床思考の流れに沿って、精神科領域で重要な観察力などの臨床技能を用いて評価を行う。その結果の解釈は臨床実習後のセミナーを使って、教員が ICF に基づく利点・問題点の抽出と短期/長期目標の設定までの指導をする。

1 週目：情報収集や面接、観察、検査/測定等の評価計画の立案、評価の実施

- ① 情報収集－現病歴、生育歴、画像所見、家族状況等のカルテからの医学的情報
医師、看護師、理学療法士、臨床心理士、精神保健福祉士、
薬剤師、栄養士等の他部門からの情報など
- ② 面接－本人、家族、支援者から発症前の状況、趣味嗜好、希望など
- ③ 観察－外観、話し方、表情、視線、姿勢、態度など

2 週目：評価の実施

- ④ 検査/測定－症状評価、社会機能評価、人格検査、知的機能検査など

実習後の学内セミナー：得られた各評価間の関連性などの評価結果の解釈、ICF に基づく利点・問題点の抽出利点と問題点の優先性を加味した短期目標（即時効果の得られる目標設定）並びにその後の生活を見据えた長期目標（転帰先での自立した生活を視野に入れた目標設定）。

○老年期障害領域の実習計画

1 週目：情報収集や面接、観察、検査/測定等の評価計画の立案、評価の実施

- ① 情報収集－現病歴や画像所見等のカルテからの医学的情報
看護師や理学療法士等の他部門からの情報など
- ② 面接－病前生活の状況や今後したい・しなければならないことなど
- ③ 観察－基本動作や ADL 等の生活行為

2 週目：評価の実施

- ④ 検査/測定－関節可動域制限や運動麻痺、高次脳機能障害など

実習後の学内セミナー：得られた各評価間の関連性などの評価結果の解釈、ICF や生活行為向上マネジメントに基づく問題点の整理、問題点の優先性を加味した短期目標並びにその後の生活を見据えた長期目標の設定。

○発達障害領域の実習計画

発達障害領域の特性から評価順番に関しては柔軟に行う。発達障害領域では、評価計画の立案を基に、情報収集、面接、検査/測定を発達領域の臨床思考の流れに沿って、発達障害領域で重要な観察力などの臨床技能を用いて評価を行う。その結果の解釈は臨床実習後にセミナーを使って、教員が ICF に基づく長所・問題点の抽出と短期/長期目標の設定までの指導をする。

1 週目：観察、検査/測定等、情報収集の評価計画の立案、評価の実施

- ① 観察(1)－姿勢（座位や立位など）や動作観察（寝返りや起き上がり・立ち上がりなど），上肢機能や巧緻動作
- ② 情報収集－現病歴や生育歴・家族状況等のカルテ情報，Dr/Ns/PT/ST/SW/心理士/保育士等の他部門情報など
- ③ 検査/測定－触診（筋緊張など），関節可動域制限（ROM）など

2 週目：評価の実施

- ④ 観察(2)－行動観察（感覚特性や行動特性など），日常生活動作や遊び・学修等の生活行為，興味嗜好など
 - ⑤ 面接(本人や家族に可能な場合実施)－興味嗜好や得意不得意，希望や困りごとなど
- 実習後の学内セミナー：得られた各評価間の関連性などの評価結果の解釈，ICFに基づく問題点や利点の整理，優先性を加味した短期目標並びに環境やその後の生活を見据えた長期目標の設定。

3) 問題対応，きめ細かな指導を行うための実習委員会等の設置等

共通項目に記載のとおり

4) 学生へのオリエンテーションの内容，方法等

共通項目に記載のとおり

5) 学生の実習参加基準・要件等

実習参加の基準は，作業療法評価学臨床実習以前に受講したすべての必修科目を合格していること。

6) 実習までの抗体検査，予防接種等

共通項目に記載のとおり

7) 損害賠償責任保険，傷害保険等の対策等

共通項目に記載のとおり

イ 実習指導体制と方法

1) 実習スケジュール

実習計画の概要は，（図 8 作業療法評価学臨床実習の流れ）の中に記述している。実習スケジュールは1月第5週から3月第1週である。

2) 担当専任教員の配置と指導計画（巡回指導回数，巡回スケジュール）

担当教員配置は，（資料 16 2021～2023 年度作業療法学専攻臨床実習一覧表）のとおりである。臨床実習担当教員 1 名当たり 10 施設を担当し，実習先の指導者と連携をとる。巡回指導として，臨床実習担当者は少なくとも 1 回以上実習施設を訪問し，実習指導者との協議，学生に対する指導を行う。訪問時期は原則として，実習期間の中間時点とする。

3) 各段階における学生へのフィードバック，アドバイスの方法

共通項目に記載のとおり

4) 学生の実習中，実習後のレポート作成，提出等

必須課題ではないが，学生は実習中にデイリーノートを作成することが推奨される。また，学生は実習終了後に事例報告書（A4 2 枚程度）をまとめる。

ウ 大学と実習施設との連携体制と方法

1) 実習前，実習中，実習後における調整，連携の具体的方法

共通項目に記載のとおり

2) 各施設での指導者の配置状況と連携会議等の開催計画

共通項目に記載のとおり

3) 緊急時の連絡体制等

共通項目に記載のとおり

エ 単位認定等評価方法

1) 各施設の指導者と大学側の指導者との評価方法・連携

共通項目に記載のとおり

2) 大学における具体的な成績評価体制，単位認定方法・基準

共通項目に記載のとおり

(4) 総合臨床実習 I，II

ア 実習計画の概要

1) 実習の目標（実習のねらい）

（教育目標）

- ① 病院・施設における総合臨床実習を通して，作業療法の知識・技術・医療専門職としての態度を統合しながら，作業療法士に必要な臨床技能，臨床思考を身につける。
- ② 作業療法の有効性を確認し，作業療法士としてのアイデンティティを確立し，将来の作業療法士としての役割と責務を自覚する。
- ③ 職業人，医療人としての基本的な態度を身につけるとともに，対象者の人権を保証することの重要性を学ぶ。
- ④ 対象者へのサービスを通して，自己の人間性を自覚し，生涯を通して自己啓発への持続的な努力の必要性を実感する。

（行動目標）

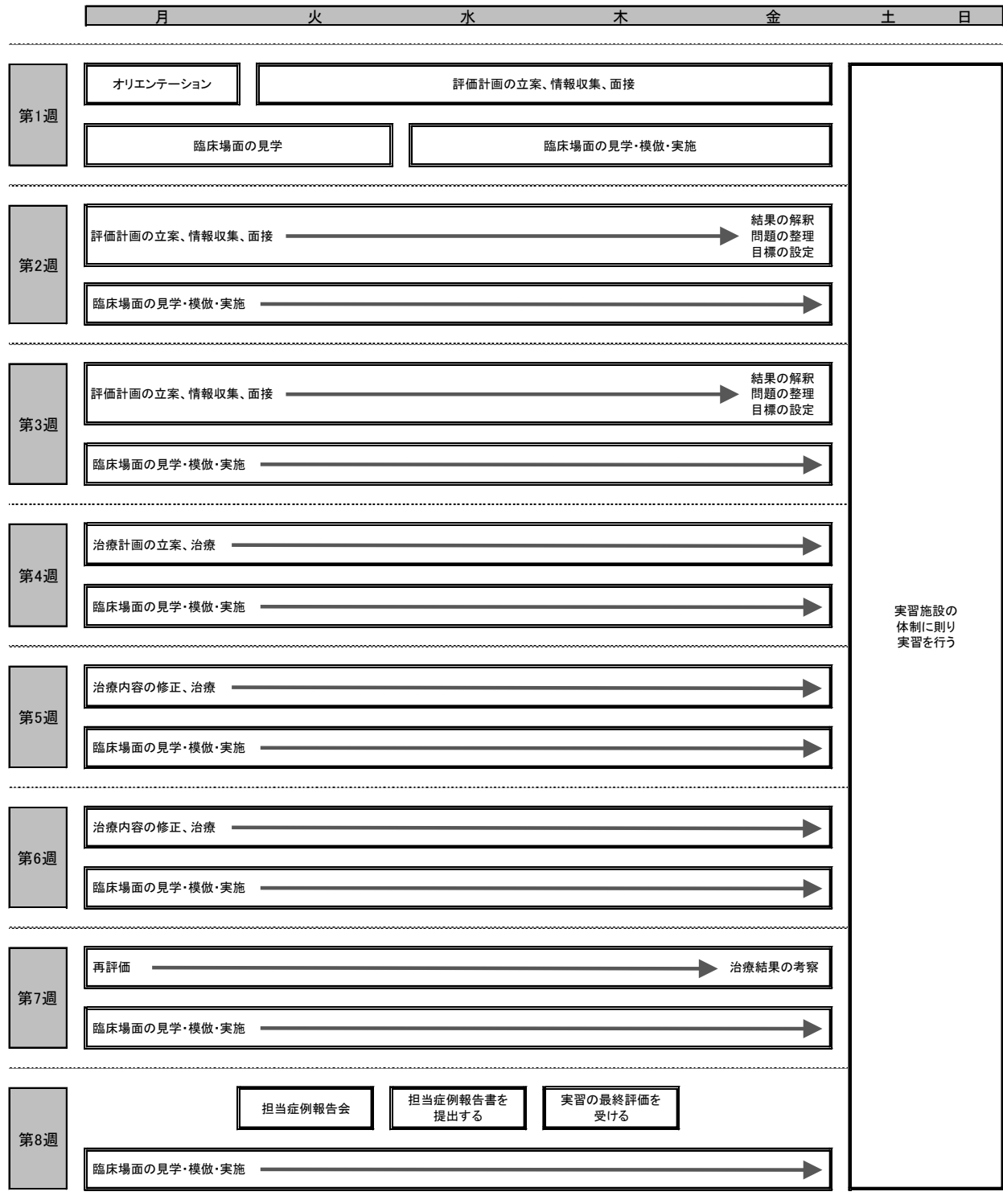
- ① 適切な情報収集を行う。
- ② 評価計画を立案し，それに基づいた評価を実施する。
- ③ 評価の結果を解釈し，問題点を把握する。
- ④ 評価に関する記録，報告をする。

- ⑤ 介入・指導・援助計画を立案する。
- ⑥ 介入・指導・援助計画に基づき作業療法介入を実施する。
- ⑦ 介入・指導・援助に関する記録，報告をする。
- ⑧ 作業療法部門（室）の業務内容を把握し，一部を実行する。
- ⑨ 職業人としての倫理観を持つ。
- ⑩ 職業人としての人間関係を保つ。
- ⑪ 職業人としての自己啓発に努力する。

2) 実習単位，主な内容，実習施設，時期，学生の配置，週間計画表

実習単位は合計16単位である。身体障害領域，精神障害領域，老年期障害領域，発達障害領域の中から2か所の施設を選択する。実習時期は4年次，4月から9月の間で8週間行う（図9 総合臨床実習Ⅰ・Ⅱの流れ）。実習施設及び学生配置は（資料16 2021～2023年度作業療法学専攻臨床実習一覧表）のとおりである。

図9 総合臨床実習Ⅰ・Ⅱの流れ



※4領域のうち2つの領域で実習を行う。それぞれの領域の具体的内容については、本文参照。

4 領域の具体的内容

○身体障害領域の実習計画

1 週目：評価計画の立案，評価の実施

- ① 現病歴や画像所見等のカルテ情報，リハビリテーションチームの各部門情報等の情報収集
- ② 病前生活の聴取や主訴・希望等の面接
- ③ 基本動作や ADL 等の生活行為の観察

2 週目：評価の実施

- ④ 運動麻痺や高次脳機能等の検査/測定，得られた各評価間の関連性などの評価結果の解釈

3 週目：ICF や生活行為向上マネジメントに基づく問題点の整理，心身機能や ADL 等の早期に向上できる短期目標及び転帰先での生活を視野に入れた長期目標の設定

4 週目：運動機能/高次脳機能の回復練習や ADL/IADL 能力の向上練習等の治療プログラムの立案，治療の実施

5 週目：治療の実施，難易度の段階づけや優先順位の見直し等の治療プログラムの修正

6 週目：治療の実施

7 週目：再評価

8 週目：治療的变化の要因分析や今後の展望等の治療結果に対する考察，事例報告書の作成

○精神障害領域の実習計画

1 週目：観察，検査/測定等，情報収集の評価計画の立案，評価の実施

- ① 観察：外観（体系，身長，皮膚，髪）話し方（速さ，声量，語調）視線（合う，合うとそらす，凝視する）姿勢（無動，常時動かす，こわばり）態度（従順，反抗的）
- ② 情報収集－現病歴，生育歴，画像所見，家族状況等のカルテ情報，医師，看護師，理学療法士，臨床心理士，精神保健福祉士，薬剤師，栄養士等の他部門情報など
- ③ 検査/測定－症状評価，社会機能評価，人格検査，知的機能検査

2 週目：評価の実施

- ④ 観察
- ⑤ 面接(本人，家族，支援者に可能な場合実施)－発症前の状況，興味嗜好，希望など
- ⑥ 検査/測定－症状評価，社会機能評価，人格検査，知的機能検査

3 週目：評価の実施 ①～⑥の評価継続

4 週目：評価のまとめ ICF に基づく利点と問題点の抽出・整理，統合と解釈，目標設定・治療プログラムの立案－対象者の特性や興味関心・日常生活・社会生活や長期的展望を踏

まえた短期目標(即時効果の得られる目標設定)・長期目標(転帰先での自立生活を視野に入れた目標設定)の設定と治療プログラムの立案

5 週目：治療の実施，段階づけや優先順位の見直し等の治療プログラムの修正

6 週目：治療の実施，治療内容の修正(再評価)

7 週目：治療の実施及び治療内容の修正と最終評価実施，治療的变化の要因分析や対象者の興味嗜好，自立(最大限の自立)と適応，社会資源の活用を踏まえた社会生活・社会参加に対する今後の展望などの分析

8 週目：治療的变化の要因分析や今後の展望の再考察・事例報告書の作成

○老年期障害領域の実習計画

1 週目：評価計画の立案，評価の実施

- ① 現病歴や画像所見等のカルテ情報，リハビリテーションチームの各部門情報等の情報収集
- ② 病前生活の聴取や主訴・希望等の面接
- ③ 基本動作や ADL 等の生活行為の観察

2 週目：評価の実施

- ④ 運動麻痺や高次脳機能等の検査/測定，得られた各評価間の関連性などの評価結果の解釈

3 週目：ICF や生活行為向上マネジメントに基づく問題点の整理，心身機能や ADL 等の早期に向上できる短期目標及び転帰先での生活を視野に入れた長期目標の設定

4 週目：運動機能/高次脳機能の回復練習や ADL/IADL 能力の向上練習等の治療プログラムの立案，治療の実施

5 週目：治療の実施，難易度の段階づけや優先順位の見直し等の治療プログラムの修正

6 週目：治療の実施

7 週目：再評価

8 週目：治療的变化の要因分析や今後の展望等の治療結果に対する考察，事例報告書の作成

○発達障害領域の実習計画

1 週目：観察，検査/測定等，情報収集の評価計画の立案，評価の実施

- ① 観察(1)ー姿勢(座位や立位など)や基本動作(寝返りや起き上がり・立ち上がりなど)，上肢機能や巧緻動作
- ② 情報収集ー現病歴や生育歴・家族状況等のカルテ情報，Dr/Ns/PT/ST/SW/心理士/保育士等の他部門情報など
- ③ 検査/測定ー触診(姿勢筋緊張など)，関節可動域制限(ROM)など

2 週目：評価の実施

④ 観察(1)に加え(2) 行動観察（感覚特性や行動特性など），日常生活動作，遊び・学修等の生活行為，興味嗜好など

⑤ 面接(本人や家族に可能な場合実施)―興味嗜好や得意不得意，希望や困りごとなど

3 週目：評価の実施 ①～⑤の評価継続

4 週目：評価のまとめ ICF に基づく問題点と利点の整理，統合と解釈，目標設定・治療プログラムの立案―対象児者の特性や興味関心・日常生活・学校生活や長期的展望を踏まえた長期目標・短期目標の設定と治療プログラムの立案

5 週目：治療の実施，段階づけや優先順位の見直し等の治療プログラムの修正

6 週目：治療の実施及び治療内容の修正(再評価)

7 週目：治療の実施及び治療内容の修正と最終評価実施，治療的变化の要因分析や対象児者の興味関心・得意不得意・生活環境等を踏まえた今後の展望などの分析

8 週目：治療的变化の要因分析や今後の展望の再考察・事例報告書の作成

3) 問題対応，きめ細かな指導を行うための実習委員会等の設置等

共通項目に記載のとおり

4) 学生へのオリエンテーションの内容，方法等

共通項目に記載のとおり

5) 学生の実習参加基準・要件等

総合臨床実習参加の基準は，総合臨床実習以前に受講したすべての必修科目を合格していること。

6) 実習までの抗体検査，予防接種等

共通項目に記載のとおり

7) 損害賠償責任保険，傷害保険等の対策等

共通項目に記載のとおり

イ 実習指導体制と方法

1) 実習スケジュール

実習計画の概要は，(図9 総合臨床実習 I・II の流れ)の中に記述している。実習スケジュールは4月の第3週から9月の第5週のうち，8週間を2回である。(資料16 2021～2023年度作業療法学専攻臨床実習一覧表)

2) 担当専任教員の配置と指導計画（巡回指導回数，巡回スケジュール）

担当教員配置は，(資料 16 2021～2023 年度作業療法学専攻臨床実習一覧表)のとおりである。総合臨床実習 I・II のそれぞれにおいて，臨床実習担当教員 1 名当たり 5 施設を担当し実習先の指導者と連携をとる。巡回指導として，臨床実習担当者は少なくとも 1 回以上実習施設を訪問し，実習指導者との協議，学生に対する指導を行う。訪問時期は原則として，実習期間の中間時点とする。

3)各段階における学生へのフィードバック，アドバイスの方法等

共通項目に記載のとおり

4)学生の実習中，実習後のレポート作成・提出等

共通項目に記載のとおり

ウ 大学と実習施設との連携体制と方法

1)実習前，実習中，実習後における調整・連携の具体的方法

共通項目に記載のとおり

2)各施設での指導者の配置状況と連携会議等の開催計画

共通項目に記載のとおり

3)緊急時の連絡体制等

共通項目に記載のとおり

エ 単位認定等評価方法

1)各施設の指導者と大学側の指導者との評価方法・連携

共通項目に記載のとおり

2)大学における具体的な成績評価体制，単位認定方法・基準

共通項目に記載のとおり

X I 管理運営

新設学科が設置される小倉キャンパスは、従来、2 学部、各 1 学科で完成年度における総収容定員数も 880 名と少なく、専門的な分担化による運営よりも総合的な教育指導体制が望ましいので、教授会、大学運営協議会等での意思統一を図る運営としてきた。新設学科が設置される 2020（令和 2）年度以降も、基本的にこの方針を継承するものとする。

1. 大学運営協議会

「学校法人植草学園組織規程」及び「植草学園大学学則」に基づき、学長が大学運営に関する方針、計画等を策定するに当たり必要とする下記の事項について協議する会議で、学園長、学長、副学長、各学部長、各学部の学科主任、学園事務局長及び大学事務局長で構成し、毎月 1 回開催することを原則としている。

- ・大学の中・長期計画に係る方針に関すること。
- ・教育課程の編成に係る方針に関すること。
- ・学生の入学、卒業、学位及び修学等の支援に係る方針に関すること。
- ・大学の自己点検評価、相互評価及び認証評価に係る方針に関すること。
- ・研究活動、地域連携及びファカルティ・ディベロップメント等に係る方針に関すること。
- ・学則その他の教育研究に係る規則の制定又は改廃に係る方針に関すること。
- ・その他学長が意見を求めたこと。

2. 教授会

「植草学園大学学則」第 12 条に規定する教授会の運営について、「植草学園大学教授会規程」に基づき学部教授会を設置し、下記の事項について審議している。

同教授会は、専任の助教以上の職位にある者をもって構成している。学長は、原則として夏季休業期間を除き毎月 1 回教授会を開催し、必要があると認める場合は臨時に招集することができる。教授会の審議事項は以下のとおりである。

- ・入学、卒業及び課程の修了に関する事項
- ・学位の授与に関する事項
- ・教育課程の編成
- ・入学試験
- ・教育研究組織の設置及び改廃
- ・教員の教育研究業績の審査
- ・復学及び転入学に関する事項

- ・退学，除籍（懲戒処分による除籍を除く），転学，留学及び休学（懲戒処分による休学を除く）に関する事項（状況により学長は，教授会の意見を求めないで行う場合がある。）
- ・学生募集に関する事項
- ・その他学長が諮問した事項

3. 各種委員会

各種委員会には，学部を横断して置かれている全学委員会，学長の下に置かれている委員会，学部に置かれている委員会がある。新学科に移行しても基本的に同様の体制を維持する考えである。ただし，新たな専攻が関与する委員会については，委員配置を見直し，運営に支障のないようにする。

全学の委員会としては，学長の下に置かれている人事委員会，自己点検評価委員会，FD 委員会，将来構想検討委員会がある。学部を横断して置かれている委員会には，教務委員会，学生委員会，研究委員会，研究倫理委員会，国際交流委員会，キャリア支援委員会，ハラスメント防止委員会，入試広報専門委員会，入試委員会，動物実験委員会等がある。

保健医療学部には置かれている委員会は，教授会の諮問機関として置かれており，教務委員会，実習委員会，実習運営委員会，キャリア支援委員会等がある。

同一キャンパスにある植草学園短期大学と協同して運営している委員会等（情報委員会，環境委員会，図書館運営委員会，健康管理委員会，地域連携推進委員会，障害等のある学生支援会議，公開講座委員会等）がある。

また，その他学園全体に関わる委員会（将来構想検討委員会，危機管理委員会，附属高校連絡会議，衛生委員会等）がある。

X II 自己点検・評価

1. 自己点検・評価

(1) 実施方針

本学の自己点検・評価は「植草学園大学学則」第3条第3項の規定に基づき、自己点検評価委員会を組織し、全学の教育研究、管理運営状況の点検・評価活動に取り組んでいる。また、点検と評価を毎年実施し、改革のPDCAサイクルを機能させている。

新設するリハビリテーション学科においても、これまでと同様の点検・評価活動を行い、教育研究水準の維持・向上に努め、教育の質保証に積極的に取り組む方針に変わりはない。(資料17「植草学園大学点検評価規程」)

(2) 実施体制

平成29年に定めた「植草学園大学点検評価規程」(平成20年制定の「植草学園大学自己点検評価に関する規程」を廃止し新たに制定)に基づき、自己点検・評価及び外部評価並びに認証評価の体制を整備し、点検評価を行う自己点検評価委員会を設置し、恒常的に現状を点検評価し、改善・改革を常に推し進める体制を整えた。

自己点検評価委員会の構成は、以下のとおり全学部学科、附属図書館及び事務局の全部局が対応する体制となっている。

- ・ 副学長
- ・ 各学部長
- ・ 図書館長
- ・ 各学部の学科主任
- ・ 全学の学生委員会及び入試委員会の長
- ・ 各学部の教務委員会及びキャリア支援委員会の長
- ・ 学園事務局長
- ・ 大学事務局長
- ・ 学園事務局及び大学事務局の各課・室の長
- ・ 学長の指名したもの

また、「植草学園大学点検評価規程」に定めている審議事項は、次のとおりである。

- 一 自己点検評価の基本方針に関する事項
- 二 自己点検評価の実施計画に関する事項
- 三 自己点検評価項目に関する事項
- 四 認証評価に関する事項

- 五 学外者による評価（認証評価を除く。）に関する事項
- 六 自己点検評価及び外部評価の結果並びに認証評価により改善が必要と認められる事項の整理及びその結果の活用等に関する事項
- 七 自己点検評価の結果の公表に関する事項
- 八 その他自己点検評価に関し必要な事項

（３）点検評価事項

本学が実施する点検評価事項は、公益財団法人日本高等教育評価機構が定める評価基準に準拠し、「植草学園大学点検評価規程」に以下のとおり定めている。

- 一 大学（学部）のあり方、目標及び教育研究上の目的に関する事項
- 二 学生の受け入れに関する事項
- 三 教育活動に関する事項
- 四 研究活動に関する事項
- 五 学生支援に関する事項
- 六 管理運営、組織及び機構に関する事項
- 七 教員組織に関する事項
- 八 国際交流に関する事項
- 九 社会との連携及び社会への貢献に関する事項
- 十 施設設備及び環境に関する事項
- 十一 図書及び学術情報に関する事項
- 十二 その他委員会が必要と認める事項

（４）結果の活用・公表

毎年度実施される点検評価結果は教授会において教職員に報告されている。点検評価結果をもとに、学長は各部局・委員会に改善方策を指示する。各部局・委員会は達成状況を再確認するとともに、必要な改善策を策定し、次年度以降の事業計画に反映させている。

なお、点検評価結果は、高等教育機関としての本学の教育研究の質を保証し向上させるとともに、社会並びに学生、保護者、地域社会など本学のステークホルダーに対する説明責任を果たすため、毎年度報告書を作成し、学園ホームページに公表している。

2. 認証評価，外部評価

（１）認証評価の受審

本学の教育研究の質を保証する上で外部評価機関による評価は重要である。本学は公益財団法人日本高等教育評価機構による認証評価を平成 25 年度に受審し、同機構から「適合認定」を受けた。

認証評価結果における指摘事項については、改善とさらなる充実に継続的に取り組んでいる。なお、2020 年（令和 2 年）度に再び認証評価を受審する予定である。

（２）外部評価の推進

本学の教育研究の質を保証し、向上させるためには、自己点検・評価結果について外部評価を受け、教育研究に持続的に反映させていくことが不可欠である。平成 29 年度に制定した「植草学園大学点検評価規程」において「自己点検評価の結果について客観的・公平性を担保し、教育研究活動及び管理運営等の水準向上に資するため、学外者による外部評価を行う」と定め、学外の有識者による「外部評価委員会」に評価を付託することとした。これに基づき、本年度、平成 29 年度の自己点検評価に対する外部評価を受ける予定である。これは、本学教育研究の社会に対する説明責任を果たすとともに、学生、保護者、地域社会等本学のステークホルダーからの意見聴取による改革を推進しようとするものである。

XⅢ 情報の公表

1. 大学の教育研究上の目的

http://www.uekusa.ac.jp/education_research/information_public_education/the-purpose-of-the-study

（トップ＞教育・研究活動＞教育情報等の公表＞学部，学科，課程，研究科，専攻ごとの名称及び教育研究上の目的）

学則，学部規程に明文化してあり，学位授与方針，教育課程の編成方針に具体化して示している。これらの情報は，ホームページ等を通じて公表している。

植草学園大学学則

（教育研究上の目的）

第 5 条 本学は，前条第 1 項第 1 号に定める目的を公表するに当たっては，学部又は学科ごとに，人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を各学部規程に定めるものとする。

植草学園大学発達教育学部規程

（教育研究上の目的）

第 2 条 本学部は，幼児及び児童等の保育と教育に関し，専門的な知見と能力を備え，特に生活上学修上の障害や困難性に関する理解と対応能力又は知的障害等発達障害，肢体不自

由及び病弱に関する専門的な知見と支援能力を備え、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭等として、保育及び教育の向上に寄与する人材を養成するとともに、幼児及び児童等の成長と発達並びに障害や学修上生活上の困難性等に関する研究及びそれらの関連領域に関する研究を推進することを目的とする。

植草学園大学保健医療学部規程

(教育研究上の目的)

第2条 本学部は、人間性の尊重を基本に、保健医療福祉の科学的知識と技術を追求し、より豊かな社会の創造的担い手となる医療専門職を育成するとともに、医療に関する学術研究を推進し、医療技術の進歩に寄与することを目的とする。

2. 教育研究上の基本組織

<http://www.uekusa.ac.jp/introduction/chart>

(トップ>学園について>植草学園組織図)

植草学園大学 発達教育学部 発達支援教育学科

保健医療学部 リハビリテーション学科 (現状は、理学療法学科)

3. 教員組織、教員の数、各教員が有する学位及び業績

http://www.uekusa.ac.jp/education_research/information_public_education

(トップ>教育・研究活動>教育情報等の公表>教員組織、各教員が有する学位及び業績>

大学 保健医療学部教員紹介及び業績>各教員のリンク「くわしく見る」から、学位、業績の記載ページを表示する。)

4. 入学者受入れ方針、入学者数、収容定員、在学生数、卒業又は修了者数、進学者数、就職者数、その他進学就職等の状況

○入学者受け入れ方針 http://www.uekusa.ac.jp/entrance_exam/admission_policy

(トップ>入試情報>アドミッション・ポリシー)

保健医療学部 理学療法学科のアドミッション・ポリシー

1. 医療職をめざす者としてふさわしい品格、礼節、モラル、思いやりを備えている人
2. 生命や人間の健康に関心があり、保健医療の発展に貢献する意志がある人
3. 人間の身体の動きの仕組み、その疾病や障害及び治療方法に関心がある人
4. 専門的教育を受けるにふさわしい基礎学力を備えている人
5. より高い知識・技術を修得するため、自主的・積極的に学ぶ意欲と情熱がある人
6. 勉学・学修上の困難に直面したとき、それを乗り越えるための努力ができる人
7. 自身の生活や健康の管理を行い、心身ともに健やかに学生生活を送ることができる人

(リハビリテーション学科になっても変更はない。)

5. 授業科目, 授業の方法及び内容, 年間授業計画

○シラバス ※検索画面より「対象学科」に「理学療法学科」と入力

https://220.220.255.17/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx

(トップ>大学>授業内容(植草学園大学シラバス))

○年間授業計画

http://www.uekusa.ac.jp/university/college_syllabus_year

(トップ>大学>植草学園学年暦)

6. 学修の成果に係る評価, 卒業の認定基準

○学修成果の評価 <http://www.uekusa.ac.jp/university/policy>

(トップ>大学>学位授与方針及び教育課程編成・実施方針)

学生個人の評価

科目の修得状況について修得単位数及び GPA 値によって評価する。

学部・学科の教育成果

授業科目に関しては, 授業評価アンケートにより学生の評価を受ける。

学部・学科全体の教育成果の評価としては国家試験結果等を参照する。

○卒業の認定基準

http://www.uekusa.ac.jp/education_research/information_public_education/accreditation-criteria

(トップ>教育・研究活動>教育情報等の公表>卒業(修了)の認定に当たっての基準)

7. 校地・校舎等の施設及び設備, その他学生の教育環境

○校地, 校舎等の施設及び設備等(平成 30 年 5 月 1 日)

http://www.uekusa.ac.jp/education_research/information_public_education/facilities-and-equipment-etc

(トップ>教育・研究活動>教育情報等の公表>校地, 校舎等の施設及び設備等)

8. 授業料, 入学料その他大学が徴収する費用

http://www.uekusa.ac.jp/entrance_exam/tuition

(トップ>入試情報>入学金・授業料)

9. 学生の修学，進路選択，心身の健康等に係る支援

http://www.uekusa.ac.jp/education_research/information_public_education/student-support-organization-2012

（トップ＞教育・研究活動＞教育情報等の公表＞学生支援組織）

10. その他

- ・教育上の目的に応じた学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

http://www.uekusa.ac.jp/education_research/information_public_education

履修モデル，主要科目，科目ごとの目標（シラバスにリンク）

（トップ＞教育・研究活動＞教育情報等の公表）

<http://www.uekusa.ac.jp/university/policy>

学位授与方針及び教育課程編成方針

（トップ＞大学＞学位授与方針及び教育課程編成・実施方針）

- ・学則等各種規程

大学学則

http://www.uekusa.ac.jp/education_research/information_public_education

（トップ＞教育・研究活動＞教育情報等の公表）

- ・設置認可申請書

http://www.uekusa.ac.jp/introduction/edu_info

（トップ＞学園について＞情報公開）

- ・設置届出書

なし

- ・設置計画履行状況等報告書

http://www.uekusa.ac.jp/introduction/edu_info

（トップ＞学園について＞情報公開）

- ・自己点検・評価報告書

http://www.uekusa.ac.jp/introduction/edu_info

平成 28 年度（2016 年度） 植草学園大学 自己点検評価書 PDF

（トップ＞学園について＞情報公開）

- ・認証評価の結果

http://www.uekusa.ac.jp/introduction/edu_info

平成 25 年度評価報告書（公益財団法人日本高等教育評価機構）PDF

（トップ＞学園について＞情報公開＞自己点検評価「機関別認証評価」）

等

XIV 教育内容の改善を図るための組織的な研修

1. ファカルティ・ディベロップメント（FD）の取組

本学では、開学年度の平成 20 年 4 月に組織された FD 委員会が主体となって、教育内容・教育方法等を改善する組織的取り組みを開始した。

現時点では、平成 28 年 8 月に改正した「植草学園大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程」によって、FD 活動を進めている。取り組んでいる主な内容は、以下の 7 項目に集約できる。

①授業評価、②新任教員研修、③FD に関する講演会・シンポジウム等の開催、④教員の教授活動相互研鑽、⑤教育効果を上げるための教授法改善、シラバスの工夫、成績評価、教材開発、⑥FD に関する広報活動、⑦その他教育方法等の改善に関する事項。

これらの項目に現れているように、本学の FD 活動は、授業改善、教育方法の改善に重点を置いている。

（1）学生による授業評価と授業改善の取組

毎年度、前・後期末の 14 回目の授業日を目安に、すべての専任教員と非常勤講師の授業を対象として「学生による授業改善のための実態調査」（以下、授業アンケートと略記）を実施している。

授業アンケートは、5 段階の選択式で回答する形式である。

調査事項は、全学共通で次の 4 項目から構成されている。1) シラバス（1 問）、2) 授業内容・方法（3 問）、3) 授業の成果（3 問、うち 1 問については 6 項目から自由に授業者が回答項目を指定する方式）、4) 授業に関する質問や自由意見・感想欄の 4 項目である。

授業アンケートの説明と回収等は受講学生の代表が取りまとめ、集計部署に直接持参する。集計結果は、2～3 日後に授業アンケート用紙とともに担当教員に返却され、自由記述意見とアンケート結果を踏まえて、受講学生にフィードバックする。また、教員は期末に「授業報告書」にアンケート結果について対応状況を記載して報告するとともに、以後の授業に反映させるシステムとなっている。

また、全調査授業の集計結果を、教授会等を通じて報告し、専任教員間で共有している。このように、教員個人及び学科単位等で、授業アンケートの結果を授業改善に活用する努力を重ねるとともに、教員間で分析結果を共有し、次年度以降の改善に役立てている。

（2）FD 研修会

全学的な研修会は、原則として年に 2 回実施している。教員の参加率は、100%である。平

成 28 年度以降の研修内容は下記のとおりである。なお、例年 3 月に開催している研修会では、「非常勤講師との懇談会」と同日に実施することによって、非常勤講師も FD 研修会に参加できるようにしている。

○平成 28 年度

- (1) 8 月 a「大学教員の教育活動・教育能力及び FD 活動に関する調査」の実施
b「平成 28 年度私立大学ブランディング事業について」
- (2) 3 月 a「植草学園大学におけるアクティブ・ラーニング（ICT 利用を含む）の推進」
教員 8 人による 8 事例の紹介
b「授業アンケート実施方法の改善について」

○平成 29 年度

- (1) 8 月「主体的な学修を促進するための授業の在り方」をテーマにグループ討議を実施。「授業態度・意欲に関する課題」「学力・資質に関する課題」「教育環境に関する課題」「予習、復習に関する課題」の 4 グループに分かれて課題の探究と対応方策が話し合った。その結果を整理して、全教員で共有を図った。
- (2) 3 月「教育の内部質保証システムの構築」をテーマとして、山梨県立大学理事長学長清水一彦氏の講演会を開催し、今後の高等教育の教育体制の方向性に関する意識を高めた。

○平成 30 年度

- (1) 9 月 a「シラバスの作成方法について」
b「アセスメント・ポリシーを踏まえた成績評価について」
大学・短大合同で開催し、学生の学修成果の評価等に関して教員間の意識の共有を図った。
- (2) 10 月 a「ICT を活用した教育内容の改善」
千葉県総合教育センター訪問報告（教育における最新 ICT 機器の活用方法等）
b「学修成果の可視化—可視化にどのように取り組んでいるか—」
教員グループ討議により情報の共有化、相互理解を図り、まとめとしてグループごとに発表を行った。
- (3) 3 月「学修成果の可視化と質保証」をテーマとし、今年度理解を図ってきた“学修成果の可視化”の深化を目的として、高等教育研究の第一人者でもある外部講師による講演を開催し、理解を深めるため全教員にレポート提出を求めた。

2019 年（令和元年）度についても、年度当初に年間開催計画を立てており、6 月に本学の特色でもある“特別支援”への理解を深めるため、平成 29 年度に希望者参加型の ICT 研修として実施した“コミュニケーション支援・会話の見える化アプリ”『UD トーク』の活用方法について、大学・短大合同の FD 研修会として、アプリ開発者を招聘し講習会を行う予定となっている。その後も、教育内容の充実を図るため、一層充実した研修会を企画・実施していく予定である。

（３）研究研修

毎年 9 月に科学研究費についての説明会を行っている。また、教員は日本学術振興会の研究倫理に関するインターネット講座を全員受講し、最終テストを受けることを義務としている。

各教員の個人的な研究とは別に、専任教員が共同で行う研究(最長 3 年間)を支援している(「植草学園共同研究規程」平成 20 年制定)。毎年 11 月に申請し、認められた研究グループは次年度末に報告書を提出するとともに、研究成果の発表会を行うこととしている。

（４）今後の取組について

FD 研修会で、学内でのアクティブ・ラーニングの普及を促進するために、アクティブ・ラーニングを積極的に実践し効果を上げている他大学関係者を招いて講演会を行っている。このほか、学内におけるアクティブ・ラーニングのグッドプラクティスを見つけ、授業公開等を通じて、学内で共有する試みも始めている。

平成 31 年 3 月開催の FD 研修会においては、教育改革の重点課題である高等教育の質保証、学修成果の把握について研修を実施した。

今後、研修会の実施計画を早い段階で教員に徹底し、高い参加率を維持していく考えである。

2. スタッフ・ディベロップメント（SD）の取組

SD に関しては、法人本部課が所轄し、「植草学園職員研修規程」に職員研修に関する必要な事項を定めてある。研修の趣旨は、「職務遂行に必要な知識・技能等の修得と資質能力を高め、業務能率の向上、自己啓発と資質向上に努めること」にある。

（１）SD 研修会

SD 研修会は、年 2 回実施している。平成 28 年度以降の研修内容は以下のとおりである。

○平成 28 年度

- (1)8 月 a「大学教員の教育力と組織的取組み」(浦野俊則大学前学長)
- b「人事考課について」(手塚学園事務局長)
- c「障害のある人も、ない人も、ともに生きる社会へ 障害者差別法」(本学客員教授野沢和弘氏)
- (2)12 月 a「事務局長講話」
- b「フレッシュメンバー事務研修会報告」
- c「3 つのポリシーに関するグループ討議」

○平成 29 年度

- (1) 8 月 a 講話「植草学園短期大学における 3 つのポリシーと教育の質保証」(中澤潤短期大学長)

- b 講話「働きやすい職場作りのコミュニケーションについて」（相談員 阿子島茂美氏）

(2)12 月 a 講話「IR を通じた教学マネジメントの教化」（浦野俊則大学前学長）

- b 自己研修発表

- c グループ討議「インクルーシブの実践について」・発表

○平成 30 年度

教員と職員が課題を共有し、協働して学生の教育、生活支援に当たることの重要性に鑑み、下記の内容で FD・SD 合同での研修会を実施した。

- (1) 8 月 21 日（火）講演研修「知と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略」近畿大学広報課課長代理 高橋智子氏

- (2) 12 月 26 日（水）全教職員研修

研修①：講演「アカデミックハラスメントの防止について」千葉大学名誉教授・弁護士 鈴木康夫氏

研修②：IR の活用について→グループ討議後発表
受講者に対して研修アンケート実施。

○ 今後の取組について

教職協働の視点から、FD 委員会と内容の共通理解を図りながら、FD と SD 合同での研修会を企画し、教職協働を進めていく考えである。

（２）課室別課題改善の取組

本学事務部署には、教務課、学生課等の課と実習支援室等 3 つの室がある。教育・研究や組織の管理・運営に関して、事務職員が果たす役割の重要性が高まっていることから、これまでの課室単位での目標設定に加えて、平成 30 年度から、個々の専任職員が職務上の課題を解決する計画について、事務局長と課室長との面接を経て、年度当初に「業務に関わる重点目標」を立てることとしている。年度の途中でその進捗状況を確認し、年度末には目標達成の成果を文書で提出する。これは、業務の可視化の取組として推進している。

なお、課題対応を進める手法を身につけるため、職員研修の内容に、現状把握・課題分析手法を盛り込み、職員が学べる機会を設けている。

3. 研究支援の取組

以下のように教員の研究活動を支援することを通じて、研究力の向上を期している。

（１）科学研究費補助金への応募支援

毎年 9 月に科学研究費応募についての説明会や申請書の書き方の研修を行っている。また、教員は日本学術振興会の研究倫理に関するインターネット講座を全員受講し、最終テストを受けることを義務としている。

科研費補助金取得者には研究支援費，また不採択者で評価がAであった者には次年度の科研費申請を条件に研究支援費を支給している。後者の科研費申請にあたっては，学内の科研費取得者による事前の申請書のチェックを行うこととしている。

(2) 学内共同研究の支援

専任教員が共同で行う研究(最長 3 年間)を支援している。(「植草学園共同研究規程」平成 20 年制定)毎年 11 月に申請し，認められた研究グループは年度末に報告書を提出するとともに，年度末に一堂に会して研究成果の発表会を行っている。

4. その他の組織的研修

(1) 教員対象の研修

ア. コンプライアンス研修

年度当初の「学園教職員の集い」において，教員対象のコンプライアンス研修を毎年度実施している。法人本部課が主催し，服務や科学研究費補助金の取扱い等を扱った研修を行っている。

イ. ICT 研修

平成 29 年度 9 月に，附属特別支援教育研究センター主催の「UD トーク活用のための研修会」を実施した。UD トークは，話し言葉が文字化され画面に表示できるシステムであり，個人のスマートフォンやタブレットと連動できる。多言語の翻訳機能を備えており，聴覚障害学生の会話や講義の文字化だけでなく外国人次対応や議事録の作成など，そのバリアフリー機能を幅広く活用できる。

平成 30 年度は，UD トークの活用に関する拡大版研修（講師：開発者による）を，多くの参加者のもと，実施した。

(2) 職員対象の研修

ア. FM 研修（フレッシュメンバー研修）

20 代・30 代の若手職員が，課室の理解を得て実のある研修・協議を行っている。平成 29 年度から，学修支援に繋げるための「古本募金」の事業取組みを開始した。

(3) 教員及び職員対象の研修

ア. 新任教員・職員のための研修

新年度採用予定教職員に対し，採用年度直前の毎年 2 月に，本学の教育システムや大学業務を理解し，教員は円滑な教育活動を，事務職員は教育活動の支援に取り組むことができる良い機会になることを目的として，「新任教員・職員のための集い」を実施している。

内容は、理事長による本学の沿革と歩み、また建学の精神を理解するための講話等を行っている。午後の部では、附属幼稚園・こども園、高等学校などの附属施設を巡ることをとおして、学園全体を知る機会を提供し、的確な業務遂行に役立てている。

イ．ハラスメント研修

毎年度はじめに行っている「学園教職員の集い」の一部として、全教職員を対象としたハラスメント研修を実施している。学園ハラスメント担当者が、ハラスメントの定義、ハラスメントの判例、ハラスメント事例、防止策などの研修を実施している。適切で風通しのよい職場環境の重要性の認識を高めるため、この研修は今後も継続実施の予定である。

ウ．教職員カフェ

平成 29 年度の FD・SD 教職員研修会(非常勤講師を含む)では、研修の中間に、教職員間のコミュニケーション強化及び教職協働の促進を狙いとして、ワールドカフェ方式の「教職員カフェ(モグモグタイム)」を実施した。新年度の授業開始を間近に控えた時期に開催される教職員研究会は、大学・大学人としての教育目標についての意識を新たにする 1 日となっている。2020 年(令和 2 年)度以降も、当年度及び中期的課題に応じたテーマを設定し、一層充実した研修会を企画・開催していく。

エ．外部研修

文部科学省が主催する「研究活動における不正行為への対応等に関する説明会」、文部科学省と独立行政法人日本学生支援機構共催の「全国キャリア・就職ガイダンス」、高等教育質保証学会の「高等教育質保証学会大会」、千葉大学アカデミック・リンク・セミナーによる「第 3 期認証評価からみた教育・学修支援の在り方ー認証評価機関の新たな評価基準から考えるー」等外部機関が実施する研修に参加している。これら外部機関の研修に参加することによって、事務的側面のみならず教学・研究・社会貢献等の大学活動を含めた運営改善を担えるようにしている。

X V 社会的・職業的自立に関する指導及び体制

1. 教育課程内の取組

リハビリテーション学科の教育課程にあつては、社会人として、また、医療職としての多様なキャリア形成の基盤となる授業科目を配置し、社会で活躍できる医療人としての自立を図るための教育に努める。

1. 教養教育科目

建学の精神を学ぶ科目として「人間と道德」を必修とし、平和で安全な社会の形成者として、他者への思いやりの心を持った人格形成を促し、医療従事者としての基礎的な資質をもった人材の養成に資する。

また、「心理学」「統計学入門」「人間関係論」及び「コミュニケーション論」を必修科目とし、学部の専門教育科目を学ぶための知識や能力の基盤を形成する。

2. 専門教育科目

医療領域に関わる職業人としての資質や能力を養うキャリア形成の科目としては、1年次から4年次までを見通して、以下のように組み立てている。

1年次においては、「エレメンタリーセミナー」を必修科目として配置し、授業の一環として「施設見学」を行い、アーリー・エクスポージャー（早期体験学修）を実施することとしている。また、同セミナーでは、初年時教育として、「建学の精神」及び障害を持つ人の体験談を聴講させ、「共生社会」についての理解を得させ、社会人、職業人としての資質の養成を進める。

2年次においては、専門的な臨床実習として「基礎理学療法学見学実習」「基礎作業療法学見学実習」を、3年次においては、「地域理学療法学実習」「地域作業療法学実習」を行う。3年次後期にはそれぞれの専攻の「評価学臨床実習」、4年次には「総合臨床実習Ⅰ」「総合臨床実習Ⅱ」を通して、臨床現場での経験を深める。これらに臨床実習と並行して「インターメディエイトセミナー」「アドバンストセミナー」「プロフェッショナルセミナー」等の科目を配置し、社会人及び医療人としてのマナー及びコミュニケーション能力の向上を図る。

また、4年次配当「プロフェッショナルスキル」においては、就職前のリハビリテーション知識・技術力の更なる向上及び就職後の職場におけるモラル等を確認する。

これらの臨床実習、セミナー、スキル科目を通じて、専門領域のキャリア能力を高めることとしている。

2. 教育課程外の実施

教育課程外の実施は、1年次から4年次まで体系的に支援している。（資料2 教育課程と指定規則との対比表）参照。

1年次には、早期に自己理解を深めるため、入学時に「適性検査」（SG式精神作業検査）を実施している。また、社会人としてのコミュニケーションスキルの基礎をなす文書作成能力を早期に獲得するために「論文添削講座」、学外実習準備として1・2年次にマナー講座・現場の先生の話聞く会・ハラスメント講座を実施し、職業人としての準備を支援している。

3年次には、長期実習前の準備として労働法講座、長期臨床実習前後でのキャリアとしての資質・能力を高めるために社会で求められる力を知る講座を実施している。

4年次には、学内にて千葉県内の病院・介護老人保健施設の関係者を招いて「合同就職説明会」を実施している。

また、キャリア支援課では、個別面談、模擬面接対策、履歴書の添削など学生の個別支援を実施することにより、就職活動に必要な準備を進められるようにしている。求人情報は、キャリア支援課・学内での閲覧はもちろん学内専用情報システムに公開し、長期実習中でも学外から求人情報が得られるようにしている。国家試験対策支援としては、模擬試験、外部講師による対策講座の準備・調整を実施している。今回設置するリハビリテーション学科の学生に対しても、これまでと同様の実施・支援を行う。

現状では、教育課程内においては、キャリア形成関係科目「エレメンタリーセミナー」「インターメディエイトセミナー」「アドバンストセミナー」「プロフェッショナルセミナー」の4科目を必修科目として開講し、専任教員が担当している。教育課程外では、キャリア支援課が主体となって、各種講習会を実施したり個別相談に応じたりしている。キャリア支援課の実施する講習会等については、キャリア支援課職員と専任教員とで組織するキャリア支援委員会において、教育課程との関連を考慮して年間計画を立て、実施に移している。実施に当たっては、教員が協力する体制となっている。リハビリテーション学科開設以後においても、現状と同等の体制で実施していくこととしている。

資料目次

資料 1 学校法人植草学園中期計画 (UGPlan2018-2023)

資料 2 教育課程と指定規則との対比表

資料 3 「学校法人植草学園定年規程」「学校法人植草学園大学保健医療学部改組に伴う教員の定年に関する特例規程」「植草学園大学・植草学園短期大学特別教員就業規程」

資料 4 リハビリテーション学科カリキュラム表

資料 5 保健医療学部履修モデル

資料 6 保健医療学部リハビリテーション学科時間割

資料 7 作業療法学専攻図書館資料新規購入リスト (2019 (令和元) 年度)

資料 8 理学療法学専攻実習施設一覧表

資料 9 作業療法学専攻実習施設一覧表

資料 10 実習承諾書

資料 11 実習依頼文書

資料 12 臨床実習に関わる個人情報保護に関する誓約書

資料 13 個人情報保護に関する注意事項

資料 14 個人情報保護に関する注意事項 確認書・報告書

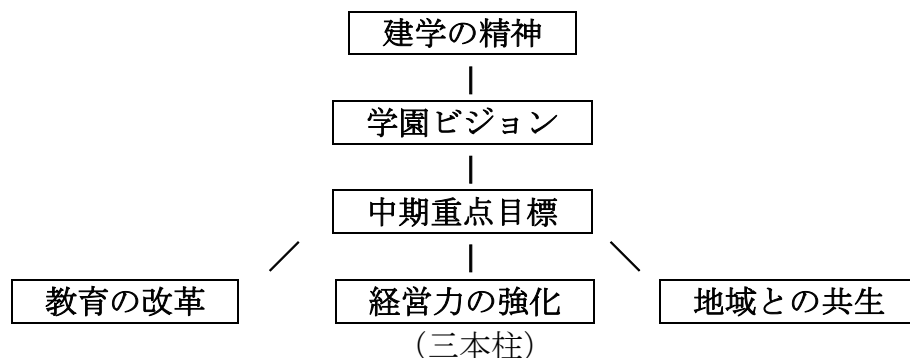
資料 15 2021～2023 年度理学療法学専攻臨床実習一覧表

資料 16 2021～2023 年度作業療法学専攻臨床実習一覧表

資料 17 「植草学園大学点検評価規程」

学校法人植草学園 中期計画

(UGPlan2018－2023)



◎ 中期計画実行プラン 別添

I 建学の精神

徳育を教育の根幹として，国を愛し，心の豊かな，たくましい人間の形成を目指すと共に，誠実で道徳的実践力のある人材を育成する

II 学園ビジョン

○学生，生徒，園児一人ひとりの人間性を大切にした教育を通じて，自立心と思いやりの心を育むことにより誰をも優しく包み込む共生社会を実現する拠点となる。

○地域社会における信頼を確かなものとし，安定的で特色ある教育機関としての地位を確立する。

学園のイメージ

—— インクルーシブを学び実践する学園 ——

※インクルーシブ：全員参加の 分けない 誰も置いていかない

Ⅲ 中期重点目標

① 社会の変化やニーズに応え、植草学園の特色を生かした教育改革を推進する。

人口構造の変化やグローバル化が急速に進むなか、学園ビジョンの実現に向けた教育改革を推進する。特に、社会の多様化に対応し、誰もが活躍できる豊かな社会を支える人材の養成は重要である。これまで培った学園の特色や実績を生かし、主体的に課題解決にあたる教育プログラム等の開発と実践により、社会ニーズに対応していく。

また、教育の質保証体制を確立し、恒常的に教育の質の向上を図る。

② 健全な財務運営の維持と経営力の強化を図る。

学園の安定的な財務運営を確立するため、各部門の経常収支差額が恒常的にプラスとなる対策を強化し、事業活動収支差額比率5%以上を目指す。積極的な学生確保及び外部資金等の獲得を進めるとともに、支出面では教職員の適正配置、事務部門における生産性の向上等による人件費の抑制や各部門の経費削減に努めていく。（中期人事管理方針 2018 及び中期財務基本方針 2018 に基づき推進）

また、学園のマネジメント、ガバナンスの改善、強化を図るため人材の育成に努める。

※事業活動収支差額比率：基本金組入前当年度収支差額の事業活動収入に対する割合

③ 地域との連携を進め、地域から信頼され地域と共生する学園となる。

学園の持つ強みや専門性を生かした地域活動及び地域を支える人材の輩出により、地域から信頼される学園を目指す。また、大学の有する資源を活用し、地域との連携を強化することを通じて存在感を確かなものとする。

特に、千葉市、千葉県との連携を進め、地域における信頼度を高める。

IV **教育の改革**

1. 大学・短期大学

(1) 教育の質の向上に向けた教育体制の強化

<重点事項>

- ・ インクルーシブ教育の理念に基づく教育体制を構築し、共生社会の実現に寄与する。
- ・ 新入生の大学教育への適応を支援し、学修意欲の持続向上に努める。
- ・ カリキュラムポリシーに基づく教育活動を通して、学生の汎用的能力及び専門的能力を高める。
- ・ 学生と教職員とのコミュニケーションの活発化、学修支援方法の改善等によって、学生への個別指導体制を充実させる。
- ・ 地域の自治体等と連携した課題解決型授業を実施し、学生の主体的な学修を促進する。
- ・ F D活動、自己点検評価体制を改善し、継続的に教育の質を向上させる体制を確立し、内部質保証体制を構築する。

(2) 学生支援の強化

<重点事項>

- ・ 学修環境の整備を通して、学修上の利便性を向上させる。
- ・ 学外における実習を支援する体制を強化する。
- ・ 生活上の支援及び各種相談体制を充実させる。
- ・ 学友会、サークル活動等課外活動の支援を促進する。
- ・ 新たな奨学金制度を創設し、経済的困窮学生への支援を強化する。
- ・ 障害のある学生への支援を充実させる。

(3) キャリア教育の充実による就業力の育成

<重点事項>

- ・ 入学早期から専門職への意識、就業への意欲を高める。
- ・ 取得可能な資格等に関する国家試験、採用試験等への支援を充実させる。
- ・ 就職関連機関（教育委員会、幼児教育・保育関係機関、社会福祉関係機関、医療機関等）との協力・連携体制を促進する。
- ・ 卒業生の就職先における就業状況追跡調査を実施する等、卒業生への相談・支援体制を強化する。

(4) 教育研究の高度化と学部学科の充実

<重点事項>

- ・ ICT 機器を活用し、先進的・効果的な授業の開発を推進する。
- ・ 個人研究及び学内共同研究を促進し、研究の高度化を図る。
- ・ 学外あるいは海外の研究者との共同研究を促進し、研究の高度化を図る。

- ・ 文部科学省及び各種機関の研究助成資金を積極的に活用し、研究の高度化を促進する。
- ・ 教育研究業績を評価し、処遇へ反映させることを通して、教育研究の高度化を促進する。
- ・ リカレント教育（社会人の学び直し）プログラムを開発する。
- ・ 学科や専攻の在り方を検証し、社会のニーズや変化に適応した教育組織を構築する。
- ・ こども園等の附属施設との連携を強化し、実践的な学びを推進する。

（５）教育環境の整備充実

＜重点事項＞

- ・ 小倉キャンパス内のバリアフリー化を促進する。
- ・ 小倉キャンパス全域の Wi-Fi 環境を整備し、ICT 化を推進する。
- ・ モバイル機器を活用した学修支援システム、授業の出欠確認システム等の利用を推進する。
- ・ 新たな教育組織（学科等）の設置に必要な施設の整備を行う。
- ・ 弁天キャンパスにおける教育研究拡充のため、必要な施設の整備を進める。
- ・ スポーツ施設・設備の整備を促進する。

（６）国際化への対応強化

＜重点事項＞

- ・ 教育、保育及び保健医療分野の人材養成について、グローバル化に即したプログラムやカリキュラムを開発する。
- ・ 外国語学習を積極的に推進し、外国語の活用能力の向上を図る。
- ・ 海外研修等を通して、国際的な知見や視野を持つ人材を養成する。

（７）学生の確保と広報の充実

＜重点事項＞

- ・ 学内の各種情報を積極的に広報し、社会へのアピール力を強化する。
- ・ 高校生への情報提供を強化する。
- ・ 高校生への大学公開、授業公開等を促進し、高大連携・高大接続体制を強化する。

2. 高校

（１）高校教育改革の推進（教育の質の保証・向上に向けて）

＜重点事項＞

- ・ 高大接続改革や新学習指導要領への対応を進め、個々の生徒を生かす進路指導を徹底していく。
- ・ タイアップクラスを中心として植草学園大学、短期大学との連携により、高大接続教育の一層の充実を図る。

- ・ 海外研修を充実させ英語活用能力の向上を図ると共に，国際理解に関する教育機会の拡大に努めグローバル教育を推進する。
- ・ ICT 教育を進めるため，環境整備などを検討する。
- ・ 入学者選抜や外部指導者の活用などを検討することにより，部活動の振興を図る。

（２）インクルーシブ教育の推進

＜重点事項＞

- ・ 男子生徒，帰国生徒，外国籍の生徒，障害のある生徒など多様な生徒の受け入れ体制を検討する。
- ・ 特別支援教育について，研修等の充実を図る。

（３）教育環境の整備充実

＜重点事項＞

- ・ ICT 教育推進や空調，照明などの教育環境整備を推進する。
- ・ 校舎の建て替え，改修等，老朽施設の改善計画を立てる。

３．幼稚園，保育園，こども園

（１）幼稚園のこども園への移行

＜重点事項＞

- ・ 美浜幼稚園を地域ニーズに基づく幼稚園型認定こども園へ移行する。

（２）教育・保育の質の向上

＜重点事項＞

- ・ インクルーシブ保育を深く理解し，その実践力を高める。
- ・ 評価（教職員，保護者）を教育・保育の向上に繋げる。
- ・ 保育に関する内外の研修に積極的に取り組み，保育教諭及び保育士としての資質の向上を図る。

（３）保育環境の整備

＜重点事項＞

- ・ 遊びを豊かにする遊び場（アトリエ，園庭など）の整備を進める。
- ・ 防犯カメラの設置など安全設備の整備を進める。
- ・ IT を活用した教育・保育の研究や施設運営等を推進する。

（４）学园内施設との連携

＜重点事項＞

- ・ 大学，短期大学，高等学校，子育て支援・教育実践センターとの連携を強化する。

V 経営力の強化

(1) 財政の健全化

<重点事項>

- ・ 中期財務方針を定め、中期財務計画の策定を進める。
(事業活動収支差額比率5%以上を目標とする。)
- ・ 予算の編成及び厳格な執行管理を進める。
- ・ 人件費の抑制と経費の削減を、方針等(人事基本方針)に基づき進める。
- ・ 寄付金、補助金、科学研究費補助金間接経費等の外部資金の獲得拡大を進める。
- ・ 収益事業(千葉県生涯大学校指定管理、千葉医療センターつばき保育園受託事業等)の推進を図る。
- ・ 遊休資産等の活用と処分を検討し、適宜実施していく。

(2) 戦略的な学園経営と運営

<重点事項>

- ・ 業務の生産性を上げ、人事労務(人海戦術や長時間労働等)の改善を図る。
- ・ 学園広報戦略(ブランド化)の確立を図る。
- ・ IRを推進し、経営戦略を立てるための情報の獲得及び分析等を行う。
- ・ 社会の変化やニーズに基づき、新たな教育研究組織(学科等)の設置を検討する。
- ・ 組織強化を目的とした事務組織の改編を検討する。
- ・ 社会人学生の受け入れを推進する。

(3) 人材の育成

<重点事項>

- ・ FD, SD活動を一体的に推進する。
- ・ 事務職員の経営能力、専門性の向上に向けた職員育成制度を開発する。
- ・ 処遇に反映する教職員人事考課制度の確立を目指す。
- ・ 教職協働の推進を図る。

(4) 他の事業運営

<重点事項>

- ・ 情報セキュリティの強化を進める。
- ・ 事業推進におけるPDCAサイクルの見える化を進める。

VI **地域社会との共生**

(1) 地域と共に歩む

<重点事項>

- ・ 地域連携推進センター等の設置を検討する。
- ・ 植草共生の森の整備を推進する。
- ・ 高大連携事業の推進を図る。
- ・ 地域ボランティア(学生、生徒)に対する支援を行う。
- ・ 小倉キャンパスにおける拠点福祉避難所事業を確立する。

(2) 地域振興に関わる研究活動

<重点事項>

- ・ 地域振興に関わる受託研究事業等の獲得を目指す。
- ・ 千葉市及び若葉区との連携事業の推進を図る。
- ・ 千葉県における地域連携事業等の開拓を検討する。
- ・ 地域の問題解決に係る研究や地域を対象とした問題解決型学習（PBL）を推進する。

(3) 地域の学びを支援

<重点事項>

- ・ 公開講座等の拡大を図る。
- ・ 教員免許状更新講習，特別支援学校教諭二種免許法認定講習等の事業を推進する。
- ・ 社会ニーズに対応した研修会や研究会を適宜企画，実施する。
- ・ リメディアル教育プログラムや履修証明プログラムの開発を検討する。

(4) 地域受託事業の継続

<重点事項>

- ・ 千葉県生涯大学校の指定管理業務を継続的に実施する。
- ・ 千葉医療センターつばき保育園の受託事業を継続的に実施する。

教育課程と指定規則との対比表

【資料2】

(理学療法士学校) (植草学園大学 保健医療学部リハビリテーション学科理学療法専攻)

指 定 規 則 の 教 育 内 容						基 分 野	人 間 と 生 活	社 会 の 理 解	専 門 分 野				専 門 分 野					計
教 育 課 程									遠 達 能 及 び 心 身 の 発 達	過 り の 障 害 の 成 因	シ ョ ン の 理 念	保 健 医 療 福 祉 と	基 礎 理 学 療 法 学	理 学 療 法 管 理 学	理 学 療 法 評 価 学	理 学 療 法 治 療 学	地 域 理 学 療 法 学	
区分		配 当 年 次	単 位 数		一単位 当 た り の 時 間 数	履修方法 及び 卒業要件	14	12	14	4	6	2	6	20	3	20	101	
			必修	選択			30				37							
教 養 教 育 科 目	基 礎 科 目	人間と道徳	1前期	2	15	必修 10 単 位 + 選 択 4 単 位	○										14	
		哲学入門(隔年開講)	1・2後期		2		15	○										
		倫理学入門(隔年開講)	1・2後期		2		15	○										
		心理学	1・2前期	2			15	○										
		教育学入門	1・2前期		2		15	○										
		文学の世界	1・2前期		2		15	○										
		音楽の世界	1・2後期		2		15	○										
		歴史学	1・2前期		2		15	○										
		法学入門(隔年開講)	1・2後期		2		15	○										
		日本国憲法	1前期		2		15	○										
		政治学	1・2前期		2		15	○										
		経済学入門	1・2前期		2		15	○										
		社会学入門	1・2前期		2		15	○										
		基礎物理学	1・2前期		2		15	○										
		基礎化学	1・2前期		2		15	○										
		基礎生物学	1・2前期		2		15	○										
		統計学入門	1・2後期	2			15	○										
		人間関係論	1・2前期	2			15	○										
		国際関係論	1・2後期	2			15	○										
		コミュニケーション論	1・2後期	2			15	○										
		環境科学	1・2後期		2		15	○										
		障害インクルージョン論	1・2後期		2		15	○										
	体 育 ・ ス ポ ー ツ 科 目	スポーツ・レクリエーションⅠ(実技)	1後期		1	30	選択 2 単 位	○										2
		スポーツ・レクリエーションⅡ(理論)	1後期		2	15		○										
		スポーツ健康科学基礎理論	1後期		1	15		○										
		体育(ソフトボール)	1・2前期		1	30		○										
		体育(バドミントン)	1・2後期		1	30		○										
		体育(テニス)	1・2前期		1	30		○										
		体育(弓道)	1・2前期		1	30		○										
		体育(ダンス)	1・2後期		1	30		○										
体育(水泳)	1・2前期		1	30	○													
国 際 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 科 目	英語Ⅰ	1前期	2		15	必修 4 単 位 + 選 択 2 単 位	○										6	
	英語Ⅱ	1後期	2		15		○											
	英会話	1・2前・後		2	15		○											
	実践英語	1・2後期		2	15		○											
	中国語入門	1・2前期		2	15		○											
	フランス語入門	1・2前期		2	15		○											
基 礎 目 演 習 科 目	ドイツ語入門	1・2後期		2	15	必修 2 単 位 + 選 択 2 単 位	○										4	
	情報機器演習	1・2前・後		2	15		○											
	文章表現演習	1前期		2	15		○											
	読書技術演習	1・2前・後		2	15		○											
	自然科学基礎演習	1前期	2		15		○											
海外福祉研修		1・2・3・4		1	15	○												
計(履修方法・卒業要件)				16	61	—	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	

指 定 規 則 の 教 育 内 容							基 礎 分 野			専 門 分 野				専 門 分 野						計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
教 育 課 程							科学的思考の基盤	人間の生活	社会の理解	達能及び心身の発	人体の構造と機能の促進	過程の立ち及び回復	疾病と障害の成	リハビリテーションの理念	保健医療福祉と	基礎理学療法学	理学療法管理学	理学療法評価学	理学療法治療学		地域理学療法学	臨床実習																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
区分		配当 年次	単 位 数		一単位 当たりの 時間数	履修方法 及び 卒業要件																	14	12	14	4	6	2	6	20	3	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
								30				37				20	101																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
専 門 教 育 科 目	専 門 基 礎 科 目	解剖学	1前期	2		30	必 修 32 単 位 + 選 択 5 単 位				○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														</

指 定 規 則 の 教 育 内 容							基 礎 分 野	専 門 分 野	専 門 分 野	専 門 分 野					計							
教 育 課 程							科学的思考の基盤	人間の生活	社会の理解	達成及び心身の発	過り及び回復	疾病の障害の成	リハビリテーションの理念	保健医療福祉と		基礎理学療法学	理学療法管理学	理学療法評価学	地域理学療法学	臨床実習		
区分		配当 年次	単 位 数		一単位 当たりの 時間数	履修方法 及び 卒業要件	14	12	14	4	6	2	6	20		3	20	101				
			必修	選択																		
専 門 教 育 科 目	理 学 療 法 学 ・ 作 業 療 法 学 共 通 科 目	リスク管理学	3前期	1	15	必修60単位 + 選択4単位							○									
		リハビリテーション管理学	3前期	1	30								○									
		エレメンタリーセミナー	1前期	1	30								○									
		インターメディアイトセミナー	2前期	1	30								○									
		リハビリテーション研究法	3前期	1	15								○									
		リハビリテーション英文講読	2・3後期		1		30						○									
		アドバンストセミナー	3後期	1	30													○			○	
		福祉工学	3後期		1		15											○				
		リハビリテーションとロボットテクノロジー	3後期	1	30														○			
		医用画像特論	3後期	1	15												○					
		ステップアップ演習	3前期		1		30						○									
		プロフェッショナルセミナー	4通年	1	30													○				
		生活環境学	3後期	1	30															○		
		プロフェッショナルスキル	4通年	1	30														○		○	
	理学療法学・作業療法学 共通科目 小計(14科目)							—	11	3												
	理 学 療 法 学 専 門 科 目	理学療法学概論	1前期	1	30								○									
		高齢者理学療法学	3前期	1	15								○									
		運動療法学	1後期	1	30														○			
		運動療法学実習	2前期	1	45														○			
		基礎理学療法学見学実習	2後期	1	45																○	
		理学療法評価学Ⅰ	1後期	1	30												○					
		理学療法評価学Ⅱ	2後期	1	30												○					
		理学療法評価学実習Ⅰ	2前期	1	45												○					
		理学療法評価学実習Ⅱ	3前期	1	45												○					
		動作分析学	3前期	1	30												○					
		運動器系疾患理学療法学	2後期	1	30														○			
		運動器系疾患理学療法学実習	3前期	1	45														○			
		成人中枢神経系疾患理学療法学	3前期	2	30														○			
		成人中枢神経系疾患理学療法学実習	3後期	1	45														○			
		小児中枢神経系疾患理学療法学	3前期	1	30														○			
		小児中枢神経系疾患理学療法学実習	3後期	1	45														○			
		内部障害系疾患理学療法学	3前期	1	30														○			
		内部障害系疾患理学療法学実習	3後期	1	45														○			
		物理療法学	2前期	1	30														○			
		物理療法学実習	2後期	1	45														○			
		日常生活活動学	2後期	1	30														○			
		日常生活活動学実習	3前期	1	45														○			
		スポーツ理学療法学	4前期		1		15												○			
		高次脳機能障害学	3後期		1		15												○			
		地域理学療法学	3前期	1	30															○		
		地域理学療法学実習	3前期	1	45															○		
		地域理学療法学実習セミナー	3前期	1	30															○		
		義肢学	3前期	1	30														○			
		装具学	3後期	1	30														○			
		理学療法評価学臨床実習	3後期	5	45																○	
		総合臨床実習Ⅰ	4前期	6	45																○	
		総合臨床実習Ⅱ	4後期	6	45																○	
		卒業研究	4通年	4	30														○			
		理学療法学専門科目 小計(33科目)							—	49	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		計(履修方法・卒業要件)							—	60	5	—	64	0	0	0	0	+選択科目4単位			20	64
計							—	92	15	—	101	26	37				64				127	
卒業要件(最低単位数)							—	119	71	—	127	26	37				44				20	127

卒業要件単位数	127	26	(必修) 32	(必修) 40	必修 20	127
			(選択必修) 5	(選択必修) 4	(選択必修) 0	
指定規則に対する増単位数		12	7	7	0	26

注) 1. 「卒業研究」(4単位)は、単位数は「基礎理学療法学」「理学療法評価学」「理学療法治療学」「地域理学療法学」の4領域に各1単位ずつ按分し、計上する。

2. 「アドバンスセミナー」(1単位)は、単位数は「理学療法治療学」「臨床実習」に各0.5単位ずつ按分し、計上する。

3. 「プロフェッショナルスキル」(1単位)は、単位数は「理学療法治療学」「臨床実習」に各0.5単位ずつ按分し、計上する。

教育課程と指定規則との対比表

(作業療法士学校)(植草学園大学 保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻)

指 定 規 則 の 教 育 内 容						基 分 野	基礎 分野	専 門 分 野					計							
教 育 課 程								科学的 人間の 思考の 基盤	社会の 生活の 理解	及人 び体 心の 構造 の発 達と 機能	の立 病及 促進 及び 回復 過程	の理 念と 障害 の成 り		ハビ リテ ーシ ョン	保健 医療 福祉 とリ ンク	基礎 作業 療法 学	作業 療法 管理 学	作業 療法 評価 学	地域 作業 療法 学	臨床 実習
区分			配当 年次	単 位 数 必修 選択	一単 位当 たりの 時間	履修方法 及び 卒業要件	14	12	14	4	5	2	5	19	4	22	101			
教 養 教 育 科 目	基礎 科目	人間と道徳	1前期	2	15	必修 10 単 位 + 選択 4 単位	○													
		哲学入門(隔年開講)	1・2後期		2		15	○												
		倫理学入門(隔年開講)	1・2後期		2		15	○												
		心理学	1・2前期	2	15		○													
		教育学入門	1・2前期		2		15	○												
		文学の世界	1・2前期		2		15	○												
		音楽の世界	1・2後期		2		15	○												
		歴史学	1・2前期		2		15	○												
		法学入門(隔年開講)	1・2後期		2		15	○												
		日本国憲法	1前期		2		15	○												
		政治学	1・2前期		2		15	○												
		経済学入門	1・2前期		2		15	○												
		社会学入門	1・2前期		2		15	○												
		基礎物理学	1・2前期		2		15	○												
		基礎化学	1・2前期		2		15	○												
		基礎生物学	1・2前期		2		15	○												
		統計学入門	1・2後期	2			15	○												
		人間関係論	1・2前期	2			15	○												
		国際関係論	1・2後期		2		15	○												
		コミュニケーション論	1・2後期	2			15	○												
		環境科学	1・2後期		2		15	○												
		障害インクルージョン論	1・2後期		2		15	○												
	体 育 ・ ス ポ ー ツ 科 目	スポーツ・レクリエーションⅠ(実技)	1後期		1	30	選択 2 単位	○												
		スポーツ・レクリエーションⅡ(理論)	1後期		2	15		○												
		スポーツ健康科学基礎理論	1後期		1	15		○												
		体育(ソフトボール)	1・2前期		1	30		○												
		体育(バドミントン)	1・2後期		1	30		○												
		体育(テニス)	1・2前期		1	30		○												
		体育(弓道)	1・2前期		1	30		○												
		体育(ダンス)	1・2後期		1	30		○												
		体育(水泳)	1・2前期		1	30		○												
	国 際 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 科 目	英語Ⅰ	1前期	2		15	必修 + 選 択 4 単位 + 選 択 2 単位	○												
		英語Ⅱ	1後期	2		15		○												
英会話		1・2前・後		2	15	○														
実践英語		1・2後期		2	15	○														
中国語入門		1・2前期		2	15	○														
フランス語入門		1・2前期		2	15	○														
基 礎 演 習 科 目	ドイツ語入門	1・2後期		2	15	必修 + 選 択 2 単位 + 選 択 2 単位	○													
	情報機器演習	1・2前・後		2	15		○													
	文章表現演習	1前期		2	15		○													
	読書技術演習	1・2前・後		2	15		○													
	自然科学基礎演習	1前期	2		15		○													
海外福祉研修		1・2・3・4		1	15	○														
計(履修方法・卒業要件)																			26	

指 定 規 則 の 教 育 内 容						基 礎 分 野		専 門 分 野				専 門 分 野					計								
						科学的思考の基盤	人間の生活	社会の理解	及び心身の発達と機能	の促進	疾病と障害の成り	の理念	保健医療福祉とリハビリテーション	基礎作業療法学	作業療法管理学	作業療法評価学		作業療法治療学	地域作業療法学	臨床実習					
区分		配当 年次	単 位 数		一単位 当たりの 時間	履修方法及び 卒業要件																			
			必修	選択				14		12		14		4		5 2		5 19		4	22	101			
										30						35									
専 門 教 育 科 目	専 門 基 礎 科 目	解剖学	1前期	2	30	必修 32 単位 + 選 択 5 単位				○															
		解剖学実習	1後期	1	45					○															
		生理学	1前期	2	30					○															
		生理学実習	1後期	1	45					○															
		人体機能構造学演習	1前期	1	30					○															
		運動学Ⅰ	1後期	1	30					○															
		運動学Ⅱ	2前期	1	30					○															
		運動学実習	2後期	1	45					○															
		臨床心理学	2前期	1	30							○													
		人間発達学	2後期	1	30							○													
		病理学	2前期	1	30								○												
		一般臨床医学	2前期	1	30								○												
		内科学	2通年	2	30								○												
		整形外科	2通年	2	30								○												
		神経内科学	2通年	2	30								○												
		精神医学	2前期	1	30								○												
		小児科学	2前期	1	15								○												
		薬理学	2・3前期	1	15								○												
		リハビリテーション概論	1前期	1	15										○										
		リハビリテーション医学	2後期	1	30										○										
		チーム医療演習	3後期	1	30										○										
		社会福祉学	1・2前期		2		15								○										
		特別支援教育概論	1.2.3前期		1		15								○										
		障害者・高齢者の福祉	1・2後期		1		15								○										
		障害者・高齢者の心理	1・2後期		1		15								○										
		生命倫理学	2・3前期	1	15										○										
		言語聴覚学概論	2・3前期		2		15								○										
		救命救急医学	2・3前期	1	15										○										
		栄養学	2・3前期	1	15									○											
		予防医学	3前期	1	30										○										
		病原微生物学	2・3後期	1	30										○										
		生化学	2・3前期		2		15							○											
		看護学	2・3後期		1		15								○										
		画像診断学	3前期	1	15										○										
計(履修方法・卒業要件)		—	32	10	—	37	0	0		37		0	0	0	0	0	0	0	0	0	37				

指 定 規 則 の 教 育 内 容							基 分		礎 野		専 礎 分 野		専 門 分 野					計					
							科学的思考の基盤	人間の生活	社会の理解	及び人の心身の発達と健康	の立ち及び回復過程	疾病と障害の成り立ち	保健医療福祉の理念	保健医療福祉とリハビリテーション	基礎作業療法学	作業療法管理学	作業療法評価学		作業療法治療学	地域作業療法学	臨床実習		
教 育 課 程							14	12	14	4	5	2	5	19	4	22	101						
区分	配当年次	単 位 数	一単位当たりの時間	履修方法及び卒業要件	30													35					
		必修	選択																				
専 門 教 育 科 目	理学療法学・作業療法学 共通科目	リスク管理学	3前期	1	15								○										
		リハビリテーション管理学	3前期	1	30								○										
		エレメンタリーセミナー	1前期	1	30								○										
		インターメディエイトセミナー	2前期	1	30								○										
		リハビリテーション研究法	3前期	1	15								○										
		リハビリテーション英文購読	2・3後期		1	30							○										
		アドバンスセミナー	3後期	1	30										○		○						
		福祉工学	3後期		1	15										○							
		リハビリテーションとロボットテクノロジー	3後期	1	30											○							
		医用画像特論	3後期	1	15										○								
		ステップアップ演習	3前期		1	30							○										
		プロフェッショナルセミナー	4通年	1	30											○							
	生活環境学	3後期	1	30											○								
	プロフェッショナルスキル	4通年	1	30											○	○							
	理学療法学・作業療法学 共通科目 小計(14科目)							—	11	3													
	作業療法学専門科目	作業療法学概論	1前期	1	15								○										
		音楽療法概論	1後期		2	15							○										
		作業学	1前期	1	15								○										
		作業学演習Ⅰ：木工	1前期	1	30								○										
		作業学演習Ⅱ：織物・園芸	1前期		1	30							○										
		作業学演習Ⅲ：陶芸・手工芸	1後期		1	30							○										
		作業療法評価学総論	2後期	1	30									○									
		作業療法治療学総論Ⅰ	3前期	1	30											○							
		作業療法治療学総論Ⅱ	3後期	1	30											○							
		身体機能と作業療法評価学	2後期	1	30									○									
		身体機能と作業療法治療学Ⅰ	3前期	1	30											○							
		身体機能と作業療法治療学Ⅱ	3後期	1	30											○							
		精神機能と作業療法評価学	2後期	1	30									○									
		精神機能と作業療法治療学Ⅰ	3前期	1	30											○							
		精神機能と作業療法治療学Ⅱ	3後期	1	30											○							
		認知機能と作業療法評価学	2後期	1	30										○								
		認知機能と作業療法治療学	3前期	1	30											○							
		発達機能と作業療法評価学	2後期	1	30										○								
		発達機能と作業療法治療学	3前期	1	30											○							
		加齢と作業療法学	3前期	1	30											○							
		内部障害と作業療法学	3前期	1	15											○							
		摂食嚥下の作業療法	3前期	1	30											○							
		日常生活活動と作業療法Ⅰ	3前期	1	30											○							
		日常生活活動と作業療法Ⅱ	3後期	1	30											○							
		義肢学・装具学	3後期	1	30											○							
		就労支援と作業療法学	3後期	1	30												○						
		地域作業療法学Ⅰ	2前期	1	30												○						
		地域作業療法学Ⅱ	2後期	1	30												○						
		基礎作業療法学見学実習	2前期	1	45													○					
		地域作業療法学実習	3前期	1	45													○					
		作業療法評価学臨床実習	3後期	4	45													○					
		総合臨床実習Ⅰ	4前期	8	45													○					
		総合臨床実習Ⅱ	4後期	8	45													○					
		卒業研究	4通年	4	30									○		○	○						
	作業療法学専門科目 小計(34科目)							—	51	4	—	—	—	—	—	—	—						
	計(履修方法・卒業要件)							—	62	7	—	64	0	0	0	0	7	2	7	19	4	23	64
	計							—	94	17	—	101	26		37					64			127
	卒業要件(最低単位数)							—	110	78	—	127	26		37					41		23	127
卒業要件(最低単位数)							127	26	(必修) 32				(必修) 39				必修 23						
									(選択必修) 5				(選択必修) 2				(選択必修) 0						
指定規則に対する増単位数							12	7							6		1	26					

注) 1. 「卒業研究」(4単位)は、単位数は「基礎作業療法学」「作業療法評価学」「作業療法治療学」「地域作業療法学」の4領域に各1単位ずつ按分し、計上する。

2. 「アドバンスセミナー」(1単位)は、単位数は「作業療法治療学」「臨床実習」に各0.5単位ずつ按分し、計上する。

3. 「プロフェッショナルスキル」(1単位)は、単位数は「作業療法治療学」「臨床実習」に各0.5単位ずつ按分し、計上する。

学校法人植草学園職員定年規程

〔制 定 平成20年1月26日〕

〔最近改正 平成26年2月28日〕

（目的）

第1条 この規程は、学校法人植草学園職員就業規程に基づき、学校法人植草学園（以下「学園」という。）に常時勤務する専任の職員（以下「職員」という。）の定年に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

（定年）

第2条 職員の定年は、65歳とする。ただし、教授の定年は、67歳とし、学園長の定年は、70歳とする。

（定年の延長）

第3条 学校法人植草学園管理職員選任規程（以下「管理職員選任規程」という。）第2条第1項に規定する管理職員（理事会選任管理職員）のうち、次に掲げる職にある者については、前条に規定する職員としての定年を延長することができるものとする。

定年延長の対象となる職
一 学園長
二 大学の副学長、学部長
三 短期大学の副学長
四 高等学校の校長
五 事務局長

2 定年の延長は、学園又は当該学校等の運営上及びその業務遂行上特に必要があると認められる場合に限るものとし、理事長が理由を付して理事会に提案し、その承認を得て行う。

3 定年の延長年限は、2年以内とする。

4 延長された定年を経過し、なお学校等の運営、業務遂行上に特に必要があると認めるものについては、2年の範囲内で定年延長を繰り返すことができる。この場合においてもその都度理事長が理由を付して理事会に提案し、その承認を得て行う。

5 定年の延長は80歳までを限度とする。

6 理事長は、大学の副学長、学部長及び短期大学の副学長の職にある者にかかる定年の延長にあたっては、あらかじめ当該学長の意見を求めることができる。

（定年延長の通知）

第4条 定年を延長された者には、定年延長通知書（別紙様式）を交付する。

（定年退職の日）

第5条 職員は、定年に達した日（前条の規定に基づき定年を延長され職員にあつては、延長後の定年到達日）以後の最初の3月31日をもって手続きを要せず退職するものとする。

（適用除外）

第6条 大学及び短大の学長には、定年を設けない。

2 大学及び短大の学長は、管理職員選任規程に定める任期満了の日（再任された場合は、その任期満了の日）に定年年齢に達している場合は、その日をもって手続きを要せず退職する。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、理事会の承認を得て理事長が行う。

附 則 (平成20年1月26日理事会承認)

- 1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行の日に植草学園短期大学教授の職にある者の定年は、第2条の規定にかかわらず、70歳とする。
- 3 植草学園大学の教授については、大学設置時の特例として、平成23年度までは、第2条に規定する年齢以上の者を採用することができるものとし、その者に対する第3条の規定の適用については、同条中「定年に達した日以後の最初の3月31日」とあるのは、「平成24年3月31日」と読み替えるものとする。
- 4 前項に該当する者を除き、植草学園大学設置認可時における教員資格審査において、教授として認定されて就任した者の定年は、大学設置時の特例として、第2条の規定にかかわらず、70歳とする。
- 5 植草学園短期大学職員定年規程(平成11年3月30日制定)は、廃止する。

附 則 (平成22年3月26日理事会承認)

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年2月24日理事会承認)

- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第4条の規定にかかわらず、この規程の施行の日の前日に79歳を超えている者については、改正前の第4条の規定を適用する。

附 則 (平成24年5月28日理事会承認)

- 1 この規程は、平成24年5月28日から施行する。
- 2 この規定の施行の日に学園長並びに大学及び短大の学長の職にある者は、改正後の第5条の規定を、大学の副学長の職にある者は、改正後の第3条の規定をそれぞれ適用されたものとみなす。

附 則 (平成25年3月29日理事会承認)

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成26年2月28日理事会承認)

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

定 年 延 長 通 知 書

平成 年 月 日

○ ○ ○ ○ 様
昭和 年 月 日生

学校法人植草学園理事長
○ ○ ○ ○

○○○○ としての 定年（平成 年 月 日）を○年間延長する
（根拠条項：学校法人植草学園職員定年規程第3条 第1項
第4項 ）

定年延長による退職日は平成 年 月 日限りとする
（根拠条項：学校法人植草学園職員定年規程第5条）

植草学園大学保健医療学部改組に伴う教員の定年に関する特例規程

〔制 定 平成30年11月21日〕

（目的）

第1条 この規程は、植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻（以下、「作業療法学専攻」という。）設置（2020年4月1日設置）に伴う、同専攻における教員の定年に関する特例措置について定めることを目的とする。

（特例措置）

第2条 作業療法学専攻設置にあたって、同専攻設置時の特例として、設置初年度は、教育・研究上特に必要ある場合に限り、学校法人植草学園職員定年規程第2条に定める定年年齢（教授67歳、准教授以下65歳）以上の者を雇用することができるものとする。ただし、助手については、特例措置を行わない。

2 前項に規定する特例措置による雇用は、年度当初における年齢が、教授にあつては80歳未満、准教授以下にあつては78歳未満の者とする。

3 第1項に規定する特例措置により雇用する者の雇用期間は、2024年3月31日までとする。

（退職の日）

第3条 前条による特例措置により雇用された者は、2024年3月31日をもって手続きを要せず退職するものとする。

（規程の改廃）

第4条 この規程の改廃は、理事会の承認を得て理事長が行う。

附 則 （平成30年11月21日理事会承認）

1 この規程は、2020年4月1日から施行する。

2 この規定は、2024年3月31日限り廃止する。

植草学園大学・植草学園短期大学特別教員就業規程

〔制 定 平成23年 2月25日〕

〔最近改正 平成28年 3月30日〕

第1章 総則

(目的)

第1条 この規程は、労働基準法（昭和22年法律第49号。以下「労基法」という。）第89条（就業規則の作成・届出の義務）に基づき、植草学園大学（以下「大学」という。）及び植草学園短期大学（以下「短大」という。）に勤務する特別教員の就業に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(特別教員の設置)

第2条 大学及び短大に次の教員を置くことができる。

- 一 特別教授
- 二 特別准教授
- 三 特別講師
- 四 特別助教
- 五 特別助手

2 特別教員は、常勤職員に準ずる職員とする。

3 特別教員の配置は、理事長が理事長の下に置く教員配置会議の意見を聴き、決定する。教員配置会議に関することは、学校法人植草学園教員配置に関する規程に定めるところによる。

4 学長は、理事長に特別教員の配置を要請することができる。

(業務)

第3条 特別教員は、大学及び短大に共通する次の業務又はそのいずれかの業務に従事する。

- 一 教育・研究に関すること。
- 二 学生に対する修学上、生活上の指導・相談に関すること。
- 三 地域社会との連携・交流の推進に関すること。
- 四 学生募集その他大・短の広報に関すること。
- 五 委員会業務に関すること。
- 六 その他教育・研究活動の活性化に関すること。

(資格)

第4条 特別教員は、前条の業務を遂行できる教育・研究関係者及びこれらの経験を有する者であって、大学又は短大の専任の教授、准教授、講師、助教又は助手に相当する資格を有する者とする。

(職位別の資格)

第5条 特別教員の相当職位の判定は、植草学園大学教員選考規程又は植草学園短期大学教員選考規程（以下、これらを「教員選考規程」という。）に規定する人事委員会が行う。

第2章 選考及び雇用等

(選考・採用手続)

第6条 理事長が配置を認めた特別教員の選考及び採用手続は、次のとおりとする。

- 一 次により候補者適任者を当該学長へ推薦する。

	大学に置く特別教員	短大に置く特別教員
① 推薦者	学部長	学科長

② 推薦書類	① 特別教員候補適任者推薦書（別紙様式1） ② 教員個人調書 ③ 教育研究業績書 ④ その他参考資料
	注1 「教員個人調書」及び「教育研究業績書」は、教員選考規程に定める大学及び短大の専任教員の採用等にかかる様式を用いる。 注2 大学及び短大の専任教員であった者を同等の職位の特別教員に採用する場合は①以外の書類は、省略することができる。

二 審査等

特別教員候補適任者について推薦を受けた当該学長は、人事委員会において教育研究業績等必要な事項について審査のうえ、職位の判定を行い、特別教員候補者として理事長に申請する。

- 2 特別教員を大学又は短大以外の他の機関等から求める場合は、教員選考規程による手続を経るものとする。
- 3 特別教員には、人事異動通知書（辞令）を交付する。

（雇用期間）

第7条 特別教員の雇用期間は、学年の年度内とする。ただし、前条第2項の規定に基づき雇用する場合において、特別な事由があると認められるときは、年度を超え、又は年度を定めないこととすることができる。

- 2 前項に規定する特別な事由がある場合は、当該学長が理事長に協議するものとする。

（労働条件の明示）

第8条 特別教員の採用又は雇用の更新（以下「採用等」という。）に際しては、労基法第15条（労働条件の明示）の規定による次に掲げる事項を記載した文書を交付する。

一	雇用契約の期間に関する事項
二	就業の場所及び従事する業務に関する事項
三	勤務時間及び勤務日等に関する事項
四	給与に関する事項
五	退職（解雇の事由を含む。）に関する事項

- 2 雇用管理に関する相談受付窓口を学園事務局法人本部課に置く。
- 3 第1項に規定する文書は、別紙様式2の雇用・労働条件通知書による。

（雇用期間の更新）

第9条 雇用の更新はしない。ただし、大学又は短大が必要とするときは、雇用を1年の範囲内で更新することができるものとし、なお特別な事由がある場合は、更に1年の範囲内で雇用を更新することができる。

- 2 前項に規定する雇用更新後、なお特別な事由がある場合は、更に1年以内の期間を付して必要とする期間の雇用を更新することができる。

3 第6条第2項の規定に基づき雇用した場合において、特別な事由があると認められるときは、本条第1項又は第2項に規定する雇用の更新にあたっては、1年を超え、又は期間を付さないこととすることができる。

4 雇用・労働条件通知書にその契約を更新する場合がある旨を明示した特別教員について、雇用の更新を行わない場合は、雇用期間の終期が到来する日の少なくとも30日前にその旨を通知するものとする。

(雇用期限)

第10条 特別教員の雇用は、平成25年4月1日以後の日を契約期間の初日とする雇用した期間が通算して5年（当該特別教員が学園における他の有期契約雇用職員の期間を含める。）を超えて更新することはできない。ただし、大学又は短大における教育上、特別な理由がある場合に限り、5年を超えて更新することができる。

2 特別教員の雇用期間が満了した日とその次の雇用の初日との間に、契約していない所定の期間（以下「空白期間」という。）があるときは、当該空白期間前に満了した契約期間は、通算契約期間に算入しない。

3 前項に規定する空白期間前に満了した契約期間には、特別教員以外の学園における有期契約職員としての契約期間を含める。

4 第2項に規定する所定の空白期間は、6月以上とする。ただし、当該空白期間前に満了した有期契約職員としての期間（当該空白期間前に満了した有期契約職員としての期間が2以上あるときは通算した期間）が10月以下の場合における空白期間は、次のとおりとする。

有期契約期間	所定の空白期間
2月以下	1月以上
2月超～4月以下	2月以上
4月超～6月以下	3月以上
6月超～8月以下	4月以上
8月超～10月以下	5月以上

(無期雇用契約)

第11条 特別教員が、学園との間で契約された期間の定めのある労働契約（以下「有期労働契約」という。）の通算契約期間が5年を超える者は、文書により申し込むことにより、現在締結している有期労働契約期間の末日の翌日から、期間の定めのない労働契約（以下「無期労働契約」という。）による雇用に転換できる。この申込みがあった場合は、文書により受理したことを通知する。

2 前項に規定する「5年」は、平成26年4月1日以降「10年」と読み替えて適用する。

3 第1項に規定する文書は、次のとおりとする。

申込書	別紙様式3-1 無期労働契約転換申込書
受理通知書	別紙様式3-2 無期労働契約転換申込受理通知書

4 第1項に規定する通算契約期間は、平成25年4月1日以後に開始する有期労働契約期間（空白期間は除く。）とする。

5 無期労働契約へ転換した場合においても、引き続きこの就業規程を適用する。労働条件については、現に契約している有期労働契約の労働条件と同一（労働契約の期間を除く。）とする。ただし、職員の同意を得た場合は、この限りでない。

(年齢制限)

第12条 特別教員（無期労働契約に転換した者を含む。）は、その年度の末日における年齢が学校法人植草学園職員定年規程に定める年齢（特別教授67歳、特別教授以外65歳）を超えないものとする。

2 前項の規定にかかわらず、大学又は短大の専任教員を定年により退職した者を同等の職位の特別教員に雇用する場合にあっては、その年度の末日における年齢が70歳を超えないものとする。ただし、特別な事情があるときは、学長の申し出により理事長が例外措置を認めることができる。

3 前2項の規定にかかわらず、大学又は短大の教員組織上必置の職（教授に限る。）であって、医師等、定年年齢（67歳）未満の者を雇用することが困難な場合は、学長の申し出により理事長は、理事会の承認を得て特別の例外措置をすることができる。

4 前2項の措置は、第2条の規定に基づき、あらかじめ、理事長が同条に規定する教員配置会議の意見を聴いて行うものとする。

第3章 退職等

(退職)

第13条 特別教員は、退職しようとする場合においては、退職を予定する日の30日前までに「退職願」を学長を経て理事長に提出し、承認を得なければならない。

2 特別教員は、「退職願」を提出した後においても、承認があるまでは引き続き勤務しなければならない。

(解雇)

第14条 理事長は、特別教員が次の各号の一に該当する場合には、解雇することができる。ただし、第1号及び第2号に該当する場合は、当該学長の意見を聴いて行うものとする。この場合において、学長は、あらかじめ、人事委員会の意見を聴くことができる。

一 心身の障害その他の事由により、職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えないと認められる場合
二 勤務実績が不良で改善の見込みがないこと。その他兼任教員として必要な適確性を欠く場合
三 成年被後見人又は被保佐人になった場合
四 禁錮以上の刑（執行猶予が付された場合を除く。）に処せられた場合
五 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した場合
六 外国籍を有する兼任教員が、日本国の在留資格を喪失した場合
七 経営又は業務上その他やむを得ない事由により兼任教員の減員が必要な場合

(解雇制限)

第15条 特別教員が、次の各号の一に該当することとなった場合は、当該各号に定める期間は解雇しない。ただし、第1号の場合において労基法第81条の規定により、療養開始後3年を経過しても負傷又は疾病が治らない場合に、平均賃金の1200日分の打切補償を行う場合は、この限りでない。

一 業務上負傷し、又は疾病にかかり療養のため休業する期間及びその後30日間

二 産前産後の特別教員（女性）が休業する期間及びその後30日間

(解雇の予告)

第16条 特別教員を解雇する場合は、少なくとも30日前に解雇予告を行い、又は予告に代えて平均賃金の30日分以上の額を解雇予告手当として支払って行う。ただし、雇用期間が2月以内である特別教員を解雇する場合はこの限りでない。

2 前項の解雇の予告を行った場合に、当該特別教員から退職の日までに労基法第22条第2項の規定に基づき当該解雇の理由についての証明書の交付請求があった場合は、遅滞なくこれを交付する。

(退職等証明書)

第17条 退職した特別教員から労基法第22条等関係法令に規定する退職等証明書の交付の請求があった場合は、遅滞なくこれを交付する。

第4章 給与等

(給与等)

第18条 特別教員の給与は、職位、職務内容、経験年数等を考慮して専任教員に準じて決定し、月給として支給する。

2 特別教員には、専任教員に準じて手当を支給することができる。

(給与の支給方法)

第19条 特別教員の給与の支給方法は、当月1日から末日までの分を21日に支払う。

2 前項の支給日が土曜日、日曜日又は国民の祝日に関する法律に定める休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日前において、その日に最も近い土曜日、日曜日又は休日でない日とする。

3 給与は、通貨で直接本人にその全額を支払う。ただし、法令で定めるものについては、給与から控除して支払う。

4 前項の直接払いは、特別教員との合意に基づき本人の指定する預貯金口座へ振込むことにより、これを支払うことができる。

(社会保険)

第20条 特別教員は、日本私立学校振興・共済事業団の加入者となる。ただし、75歳以上の者は加入できない。

(退職)

第21条 特別教員の退職等に関することは、次による。

退職の理由等	退職の時期等
一 退職を願い出て承認された場合	退職希望日の30日前までに文書（退職願）を提出しなければならない。
二 死亡したとき	遺族からの届けに基づき死亡した日の翌日

2 特別教員には、退職金は支給しない。

第5章 勤務条件等

(勤務条件等)

第22条 前条までに定めるもののほか、特別教員の勤務条件、給与及び休暇等に関する事項は、この規程及び学校法人植草学園特別教員の勤務等取扱要項による。

2 前項に規定するもののほか、特別教員の就業に関することは、学校法人植草学園職員就業規程を適用する。

第6章 懲戒

(懲戒)

第23条 特別教員が次の各号の一に該当する場合には、懲戒することができる。

一	無断欠勤、正当な理由のない遅刻、早退をするなど勤務を怠った場合
二	虚偽の申請、届出及び報告等を行った場合
三	故意又は重大な過失により学園に損害を与えた場合
四	刑法犯に該当する行為があった場合
五	交通法規違反をした場合
六	経歴詐称をした場合
七	ハラスメントに該当する行為があった場合
八	個人情報管理に適正を欠き、学園の社会に対する責任を生じさせた場合
九	その他、第25条に規定する遵守事項等この規程に違反し、又は前各号に準ずる行為があった場合

2 懲戒処分の手続は、大学又は短大それぞれの人事委員会の議を経るほか、学校法人植草学園職員処分手続規程による。

3 懲戒の種類及び内容は、次の表に掲げるとおりとする。

区 分	懲 戒 内 容
一 戒告	始末書を提出させて、戒める。
二 減給	始末書を提出させるほか、労基法第91条（減給の制限）に規定する額を上限として給与を減額する。
三 停職	始末書を提出させるほか、12月を限度として出勤を停止し、職務に従事させずその間の給与は支給しない。
四 懲戒解雇	予告期間を設けることなく、即時に解雇する。

4 第1項に該当する程度が軽微であり、懲戒処分には至らない場合であっても、次に該当する場合は、訓告若しくは嚴重注意を文書又は口頭により行うことができる。

- 一 服務規律を厳正に保持する必要があるとき
- 二 学園の信用を失墜させるおそれがとき

(損害賠償)

第24条 特別教員が、故意又は重大な過失によって本学園に損害を与えた場合は、前条の規定による懲戒処分又は訓告等を行うほか、その損害の全部又は一部を賠償させるものとする。

2 前項の賠償責任は、退職した後といえども免れない。

第7章 服務

(遵守事項)

第25条 特別教員は、次の事項を遵守しなければならない。

- 一 学園の信用又は職員全体の名誉を重んじ、学園外及び勤務時間外においても常に認識して行動すること。
- 二 職務上知ることのできた秘密及び個人情報を漏らさないこと。その職を退いた後も同様とする。
- 三 特定の政党を支持するため又はこれに反対するための政治的教育、その他学園内において政治的集会活動をしないこと。
- 四 学園内において、特定の思想、宗教教育又はその活動をしないこと。
- 五 倫理に反する行為（ハラスメントに関する行為を含む。）をしないこと。
- 六 学園内で、許可なく職務に関係のない集会を開催し、又は印刷物の配布若しくは掲示その他これに準ずる行為をしないこと。
- 七 その他、学園の教育・職場環境の風紀、秩序及び規律を乱す行為をしないこと。

（出勤の証明）

第26条 特別教員は、出退勤システムに記録することにより出勤を証明しなければならない。

第8章 補則

（改廃）

第27条 この就業規程の改廃は、理事会の承認を得て理事長が行う。

（補則）

第28条 この規程に定めるもののほか、特別教員に関し必要な事項は、理事長が大学及び短大の学長の意見を聴いたうえで別に定めることができる。

附 則（平成23年2月25日理事会承認）

- 1 この規程は、平成23年2月25日から施行する。ただし、植草学園大学の特別教員の雇用は、平成24年4月1日以降とする。
- 2 植草学園短期大学特別任用教員規程（平成15年1月14日制定）は、廃止する。

附 則（平成24年5月28日理事会承認）

この規程は、平成24年5月28日から施行し、平成24年4月1日から適用する。

附 則（平成25年11月29日理事会承認）

この規程は、平成25年11月29日から施行し、平成26年4月1日に採用する者にかかる選考から適用する。

附 則（平成26年2月28日理事会承認）

この規程は、平成26年2月28日から施行し、平成25年4月1日から適用する。

附 則（平成27年2月27日理事会承認）

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年4月1日に新たに採用された特別教員は、この規程に定める手続により採用されたものとみなす。

附 則（平成28年3月30日理事会承認）

この規程は、平成28年3月30日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

別紙様式1 特別教員候補適任者推薦書（植草学園大学・植草学園短期大学特別教員規程第6条
関係）

植草学園大学
植草学園短期大学

特別教員候補適任者推薦書

平成 年 月 日

植草学園大学長
植草学園短期大学長

殿

推薦者 植草学園大学〇〇学部長 ⑩
植草学園短期大学福祉学科長 ⑩

下記のとおり特別教員候補適任者を推薦します。

記

特別教員候補者の氏名 及び生年月日(年齢)	昭和 年 月 日生 (歳)
現(元)職所属・職名	
特別教員を置く理由 ※ 年齢制限を超える 場合は、その理由を 合わせて記載する。	
特別教員の職位	特別教授 特別准教授 特別講師 特別助教 特別助手
備 考	

添付書類 (1) 教員個人調書 (2) 教育研究業績書 (3) その他参考資料

(※ 大学及び短大の専任教員であった者を同等の職位の特別教員に採用する場合は、
省略することができる。：植草学園大学・植草学園短期大学特別教員規程第6条)

別紙様式2 雇用・労働条件通知書（植草学園大学・植草学園短期大学特別教員就業規程
第8条関係）

雇用・労働条件通知書

○ ○ ○ ○ 殿		平成 年 月 日 名 称 学校法人植草学園 所在地 千葉市中央区弁天2丁目8番9号 理事長 ○ ○ ○ ○	
契約期間	☐ 期間の定め有り [平成 年 月 日～平成 年 月 日] ☐ 期間の定めなし ☐ 契約の更新をする場合がある。 ☐ 契約の更新はしない。		
就業場所	学校法人植草学園小倉キャンパス（千葉市若葉区小倉町1639番3）		
職種	特別教授 特別准教授 特別講師 特別助教 特別助手		
職務内容	学生の授業及びこれに付随業務		
就業時間	1. 総時間 2. 始業，終業 3. 所定時間外労働	就業規程による。	
休 暇	就業規程による。		
給 与	1. 基本給与 2. 諸 手 当 3. 給与締切日 4. 給与支払日	就業規程による。	
退職に関する 事項	1. 定年 70歳 2. 継続雇用制度 有り 3. 自己都合退職の手続 退職する30日以上前に願い出ること 4. 解雇の事由（普通解雇，懲戒解雇） ※ 詳細は，就業規程を参照		
そ の 他	・ 年金制度加入 ☐ 有 ☐ 無 ・ 健康保険 ☐ 有 ☐ 無 ・ 雇用保険 ☐ 有 ☐ 無 ・ 労災保険 ☐ 有		

別紙様式 3－1 無期労働契約転換申込書（植草学園大学・植草学園短期大学特別教員就業
規程第 11 条関係）

無期労働契約転換申込書

申請日 平成 年 月 日

学校法人植草学園理事長 殿

申込者 所 属

氏 名 印

自署

私は、現在の有期労働契約の契約期間の末日までに通算契約期間が 5 年（平成 26 年 4 月 1 日以降の契約については、10 年）を超えます。

これに伴い労働契約法第 18 条の規定に基づき、当該期間が満了する日の翌日から期間の定めのない労働契約の締結の申込みをします。

有期労働契約の記録

平成〇年〇月〇日 ～ 平成〇年〇月〇日

平成〇年〇月〇日 ～ 平成〇年〇月〇日

平成〇年〇月〇日 ～ 平成〇年〇月〇日

平成〇年〇月〇日 ～ 平成〇年〇月〇日

申込受付 年 月 日

上記申込について受理し、別紙のとおり受理通知書を交付してよろしいか伺います。

理事長	学長	副学長	学部長 学科主任	事務局長		

別紙様式 3－2 無期労働契約転換申込受理通知書（植草学園大学・植草学園短期大学
特別教員就業規程第 11 条関係）

無期労働契約転換申込受理通知書

平成 年 月 日

〇 〇 〇 〇 殿

学校法人植草学園

理事長 〇 〇 〇 〇

印

平成 年 月 日に申込みのあった無期労働契約転換申込書について受理
しましたので、通知します。

受領年月日

リハビリテーション学科カリキュラム（2020（令和2）年度入学生用）						
科目 区分	授業科目の名称	授業 形態	配当年次	単位数		
				必修	選択	
教養教育科目	人間と道徳	講義	1前	2		
	哲学入門	講義	1・2後			2
	倫理学入門	講義	1・2後			2
	心理学	講義	1・2前	2		
	教育学入門	講義	1・2前			2
	文学の世界	講義	1・2前			2
	音楽の世界	講義	1・2後			2
	歴史学	講義	1・2前			2
	法学入門	講義	1・2後			2
	日本国憲法	講義	1前			2
	政治学	講義	1・2前			2
	経済学入門	講義	1・2前		4	2
	社会学入門	講義	1・2前			2
	基礎物理学	講義	1・2前			2
	基礎化学	講義	1・2前			2
	基礎生物学	講義	1・2前			2
	統計学入門	講義	1・2後	2		
	人間関係論	講義	1・2前	2		
	国際関係論	講義	1・2後			2
	コミュニケーション論	講義	1・2後	2		
	環境科学	講義	1・2後			2
	障害インクルージョン論	講義	1・2後			2
	スポーツ・レクリエーションⅠ（実技）	実技	1後			1
	スポーツ・レクリエーションⅡ（理論）	講義	1後			2
	スポーツ健康科学基礎理論	講義	1後			1
	体育（ソフトボール）	実技	1・2前			1
	体育（バドミントン）	実技	1・2後		2	1
	体育（テニス）	実技	1・2前			1
	体育（弓道）	実技	1・2前			1
	体育（ダンス）	実技	1・2後			1
	体育（水泳）	実技	1・2前			1
	英語Ⅰ	演習	1前	2		
	英語Ⅱ	演習	1後	2		
	英会話	演習	1・2前・後			2
	実践英語	演習	1・2後			2
	中国語入門	演習	1・2前		2	2
	フランス語入門	演習	1・2前			2
	ドイツ語入門	演習	1・2後			2
	情報機器演習	演習	1・2前・後			2
	文章表現演習	演習	1前		2	2
	読書技術演習	演習	1・2前・後			2
	自然科学基礎演習	演習	1前	2		
	海外福祉研修	演習	1・2・3・4			1
	教養教育科目 合計(43科目)	—	—	16	10	61

専門 教育 科目	専門 基礎 科目	解剖学	講義	1前	2	
		解剖学実習	実習	1後	1	
		生理学	講義	1前	2	
		生理学実習	実習	1後	1	
		人体機能構造学演習	演習	1前	1	
		運動学Ⅰ	講義	1後	1	
		運動学Ⅱ	講義	2前	1	
		運動学実習	実習	2後	1	
		臨床心理学	講義	2前	1	
		人間発達学	講義	2後	1	
		病理学	講義	2前	1	
		一般臨床医学	講義	2前	1	
		内科学	講義	2通	2	
		整形外科	講義	2通	2	
		神経内科学	講義	2通	2	
		精神医学	講義	2前	1	
		小児科学	講義	2前	1	
		薬理学	講義	2・3前	1	
		リハビリテーション概論	講義	1前	1	
		リハビリテーション医学	講義	2後	1	
		チーム医療演習	演習	3後	1	
		社会福祉学	講義	1・2前		2
		特別支援教育概論	講義	1・2・3前		1
		障害者・高齢者の福祉	講義	1・2後		1
		障害者・高齢者の心理	講義	1・2後		1
		生命倫理学	講義	2・3前	1	
		言語聴覚学概論	講義	2・3前	5	2
		救命救急医学	講義	2・3前	1	
		栄養学	講義	2・3前	1	
		予防医学	講義	3前	1	
		病原微生物学	講義	2・3後	1	
		生化学	講義	2・3前		2
		看護学	講義	2・3後		1
		画像診断学	講義	3前	1	
		専門基礎科目 小計(34科目)	—	—	32	5 10
専門 教育 科目	専門 科目	理学療法学	講義	3前	1	
		リハビリテーション管理学	講義	3前	1	
		エレメンタリーセミナー	演習	1前	1	
		インターメディエイトセミナー	演習	2前	1	
		リハビリテーション研究法	講義	3前	1	
		リハビリテーション英文講読	演習	2・3後		◆*1
		アドバンストセミナー	演習	3後	1	
		福祉工学	講義	3後		◆*1
		リハビリテーションとロボットテクノロジー	講義	3後	1	
		医用画像特論	講義	3後	1	
		ステップアップ演習	演習	3前		◆*1
		プロフェッショナルセミナー	演習	4通	1	
		生活環境学	講義	3後	1	
		プロフェッショナルスキル	演習	4通	1	

専門 教育 科目	専門 科目	理学療法 学専門 科目	理学療法学概論	講義	1前	1		
			高齢者理学療法学	講義	3前	1		
			運動療法学	講義	1後	1		
			運動療法学実習	実習	2前	1		
			基礎理学療法学見学実習	実習	2後	1		
			理学療法評価学Ⅰ	講義	1後	1		
			理学療法評価学Ⅱ	講義	2後	1		
			理学療法評価学実習Ⅰ	実習	2前	1		
			理学療法評価学実習Ⅱ	実習	3前	1		
			動作分析学	講義	3前	1		
			運動器系疾患理学療法学	講義	2後	1		
			運動器系疾患理学療法学実習	実習	3前	1		
			成人中枢神経系疾患理学療法学	講義	3前	2		
			成人中枢神経系疾患理学療法学実習	実習	3後	1		
			小児中枢神経系疾患理学療法学	講義	3前	1		
			小児中枢神経系疾患理学療法学実習	実習	3後	1		
			内部障害系疾患理学療法学	講義	3前	1		
			内部障害系疾患理学療法学実習	実習	3後	1		
			物理療法学	講義	2前	1		
			物理療法学実習	実習	2後	1		
			日常生活活動学	講義	2後	1		
			日常生活活動学実習	実習	3前	1		
			スポーツ理学療法学	講義	4前			◆1
			高次脳機能障害学	講義	3後			◆1
			地域理学療法学	講義	3前	1		
			地域理学療法学実習	実習	3前	1		
			地域理学療法学実習セミナー	演習	3前	1		
			義肢学	講義	3前	1		
			装具学	講義	3後	1		
			理学療法評価学臨床実習	実習	3後	5		
			総合臨床実習Ⅰ	実習	4前	6		
			総合臨床実習Ⅱ	実習	4後	6		
			卒業研究	演習	4通	4		
			理学療法学専門科目 小計(33科目)	—	—	49		2
			専門科目(理学療法学) 小計(47科目)	—	—	60	4	5

専門教育科目	専門科目	作業療法学専門科目	作業療法学概論	講義	1前	1				
			音楽療法概論	講義	1後		*2			
			作業学	講義	1前	1				
			作業学演習Ⅰ:木工	演習	1前	1				
			作業学演習Ⅱ:織物・園芸	演習	1前		*1			
			作業学演習Ⅲ:陶芸・手工芸	演習	1後		*1			
			作業療法評価学総論	講義	2後	1				
			作業療法治療学総論Ⅰ	講義	3前	1				
			作業療法治療学総論Ⅱ	講義	3後	1				
			身体機能と作業療法評価学	講義	2後	1				
			身体機能と作業療法治療学Ⅰ	講義	3前	1				
			身体機能と作業療法治療学Ⅱ	講義	3後	1				
			精神機能と作業療法評価学	講義	2後	1				
			精神機能と作業療法治療学Ⅰ	講義	3前	1				
			精神機能と作業療法治療学Ⅱ	講義	3後	1				
			認知機能と作業療法評価学	講義	2後	1				
			認知機能と作業療法治療学	講義	3前	1				
			発達機能と作業療法評価学	講義	2後	1				
			発達機能と作業療法治療学	講義	3前	1				
			加齢と作業療法学	講義	3前	1				
			内部障害と作業療法学	講義	3前	1				
			摂食嚥下の作業療法	講義	3前	1				
			日常生活活動と作業療法Ⅰ	講義	3前	1				
			日常生活活動と作業療法Ⅱ	講義	3後	1				
			義肢学・装具学	講義	3後	1				
			就労支援と作業療法学	講義	3後	1				
			地域作業療法学Ⅰ	講義	2前	1				
			地域作業療法学Ⅱ	講義	2後	1				
			基礎作業療法学見学実習	実習	2前	1				
			地域作業療法学実習	実習	3前	1				
			作業療法評価学臨床実習	実習	3後	4				
			総合臨床実習Ⅰ	実習	4前	8				
			総合臨床実習Ⅱ	実習	4後	8				
			卒業研究	演習	4通	4				
			作業療法学専門科目 小計(34科目)			—	—	51		4
			専門科目(作業療法学) 小計(48科目)			—	—	62	2	7
			専門教育科目(理学療法学) 合計(81科目)			—	—	92	9	15
			専門教育科目(作業療法学) 合計(82科目)			—	—	94	7	17
合計(理学療法学)(124科目)			—	—	108	19	76			
合計(作業療法学)(125科目)			—	—	110	17	78			

※理学療法学専攻は、「理学療法学・作業療法学共通科目」及び「理学療法学専門科目」の◆印を付した5科目から、計4単位を修得する。
 作業療法学専攻は、「理学療法学・作業療法学共通科目」及び「作業療法学専門科目」の*印を付した6科目から、計2単位を修得する。

保健医療学部の履修モデル (2020 (令和2)年度入学生用)

(1) 理学療法士国家試験受験資格を取得することを目指したモデル

注1 *印を付した科目は、必修科目であることを示す。

注2 括弧内の数字は、履修すべき単位数で、このモデルの履修単位数合計は最低 127 単位である。

科目区分(単位数)		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
【教養教育科目】	基礎科目 (必修 10, 選択 4)	*人間と道徳 *心理学 *人間関係論 *統計学入門 *コミュニケーション論 基礎生物学 環境科学 (14)			
	体育・スポーツ科目 (選択 2)	スポーツ健康科学基礎理論 体育(ソフトボール) (2)			
	国際コミュニケーション科目 (必修 4, 選択 2)	*英語 I *英語 II ドイツ語入門 (6)			
	基礎演習科目 (必修 2, 選択 2)	*自然科学基礎演習 文章表現演習 (4)			
【専門基礎科目】	理学療法基礎科目 (必修 32, 選択 5)	*解剖学 *解剖学実習 *生理学 *生理学実習 *人体機能構造学演習 *運動学 I *リハビリテーション概論 特別支援教育概論 障害者・高齢者の心理 合計(11)	*運動学 II *運動学実習 *臨床心理学 *人間発達学 *病理学 *一般臨床医学 *内科学 *整形外科科学 *神経内科学 *精神医学 *小児科学 *リハビリテーション医学 *病原微生物学 *栄養学 *救命救急医学 *薬理学 言語聴覚学概論 看護学 合計(22)	*チーム医療演習 *生命倫理学 *予防医学 *画像診断学 合計 (4)	
【専門科目】	理学療法科目 (必修 60 ・選択 4)	*エレメンタリーセミナー 合計(1)	*インターメディエイトセミナー 合計(1)	*リスク管理学 *リハビリテーション管理学 *リハビリテーション研究法 *アドバンストセミナー *リハビリテーションと ロボットテクノロジー *医用画像特論 *生活環境学 福祉工学 ステップアップ演習 合計(9)	*プロフェッショナルセミナー *プロフェッショナルスキル 合計(2)
	理学療法 学・作業 療法学共 通科目 (必修 1 1, 選択 2)	*理学療法学概論 *運動療法学 *理学療法評価学 I 合計(3)	*運動療法学実習 *基礎理学療法学見学実習 *理学療法評価学実習 I *理学療法評価学 II *運動器系疾患理学療法学 *物理療法学 *物理療法学実習 *日常生活活動学 合計(8)	*理学療法評価学実習 II *運動器系疾患理学療法学実習 *成人中枢神経系疾患理学療法学 *成人中枢神経系疾患理学療法学実習 *小児中枢神経系疾患理学療法学 *小児中枢神経系疾患理学療法学実習 *内部障害系疾患理学療法学 *内部障害系疾患理学療法学実習 *日常生活活動学実習 *地域理学療法学 *地域理学療法学実習 *地域理学療法学実習セミナー *動作分析学 *義肢学 *装具学 *高齢者理学療法学 *理学療法評価学臨床実習 高次脳機能障害学 合計(23)	*総合臨床実習 I *総合臨床実習 II *卒業研究 スポーツ理学療法学 合計(18)
学年別履修単位数		42	32	34	19
合計単位数		127			

(2) 作業療法士国家試験受験資格を取得することを目指したモデル

注1 *印を付した科目は、必修科目であることを示す。

注2 括弧内の数字は、履修すべき単位数で、このモデルの履修単位数合計は最低 127 単位である。

科目区分(単位数)		第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年
【 教養 教育 科目 】	基礎科目 (必修 10, 選択 4)	* 人間と道德 * 心理学 * 人間関係論 * 統計学入門 * コミュニケーション論 音楽の世界 基礎生物学 (14)			
	体育・スポーツ科目 (選択 2)	スポーツ健康科学基礎理論 体育(ソフトボール) (2)			
	国際コミュニケーション科目 (必修 4, 選択 2)	* 英語 I * 英語 II ドイツ語入門 (6)			
	基礎演習科目 (必修 2, 選択 2)	* 自然科学基礎演習 文章表現演習 (4)			
【 専門 基礎 科目 】	作業療法基礎科目 (必修 32, 選択 5)	* 解剖学 * 解剖学実習 * 生理学 * 生理学実習 * 人体機能構造学演習 * 運動学 I * リハビリテーション概論 特別支援教育概論 障害者・高齢者の心理 合計(11)	* 運動学 II * 運動学実習 * 臨床心理学 * 人間発達学 * 病理学 * 一般臨床医学 * 内科学 * 整形外科学 * 神経内科学 * 精神医学 * 小児科学 * リハビリテーション医学 * 病原微生物学 * 栄養学 * 救命救急医学 * 薬理学 生化学 言語聴覚学概論 (22)	* チーム医療演習 * 生命倫理学 * 予防医学 * 画像診断学 合計(4)	
【 専門 科目 】	作業療法 科目 (必修 62・ 選択 2)	理学療法 学・作業 療法学共 通科目 (必修 1 1)	* エレメンタリーセミナー 合計(1)	* インターメディエイトセミナー 合計(1)	* リスク管理学 * リハビリテーション管理学 * リハビリテーション研究法 * アドバンスドセミナー * リハビリテーションと ロボットテクノロジー * 医用画像特論 * 生活環境学 合計(7)
	作業療法 学専門科 目 (必修 5 1, 選択 2)	* 作業療法学概論 * 作業学 * 作業学演習 I 音楽療法概論 合計(5)	* 作業療法学評価学総論 * 身体機能と作業療法評価学 * 精神機能と作業療法評価学 * 認知機能と作業療法評価学 * 発達機能と作業療法評価学 * 地域作業療法学 I * 地域作業療法学 II * 基礎作業療法見学実習 合計(8)	* 作業療法治療学総論 I * 作業療法治療学総論 II * 身体機能と作業療法治療学 I * 身体機能と作業療法治療学 II * 精神機能と作業療法治療学 I * 精神機能と作業療法治療学 II * 認知機能と作業療法治療学 * 発達機能と作業療法治療学 * 加齢と作業療法学 * 内部障害と作業療法学 * 摂食嚥下の作業療法 * 日常生活活動と作業療法 I * 日常生活活動と作業療法 II * 義肢学・装具学 * 就労支援と作業療法学 * 地域作業療法学実習 * 作業療法評価学臨床実習 合計(20)	* プロフェッショナルセミナー * プロフェッショナルスキル 合計(2)
学年別履修単位数		43	31	31	22
合計単位数		127			

2020(令和2)年度 保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻(前期)授業時間割表(案)

植草学園大学

期別	専攻	学 年	1 (9:20～10:50)			2 (11:00～12:30)			3 (13:20～14:50)			4 (15:00～16:30)			5 (16:40～18:10)						
			科 目	教員	教室	科 目	教員	教室	科 目	教員	教室	科 目	教員	教室	科 目	教員	教室				
月	前期	理学療法学専攻	1	心理学（教養 必修）	安藤	さくらホール	経済学入門 文章表現演習(b)	小柏 戸丸	講12 大講義室	社会福祉学（専門 基礎 選択）	大部	講19	生理学（専門 基礎 必修）			桑名	多目演1				
			2	運動学Ⅱ（専門 基礎 必修）	三浦	講21・22	一般臨床医学（専門 基礎 必修）	前田	講21・22	神経内科学(通年)（専門 基礎 必修）	前田	さくらホール	理学療法評価学実習Ⅰ			千葉	治療室				
			3	運動器系疾患理学療法学実習				植草	運動療法室 講18	日常生活活動学実習				角(正)	運動療法室	画像診断学(8コマ)（専門 基礎 必修）	阿部 布施、石森	レクシア			
			4	プロフェッショナル+C10+F8				上倉 他	講17	卒 業 研 究 ①											
										プロフェッショナルスキル								上倉 他	講17		
火	前期	理学療法学専攻	1	基礎物理学 英会話（教養 選択） 中国語入門	堀米 マーク 陳	講12 基医実習室 講15 講14	英語Ⅰ 英語Ⅰ 英語Ⅰ	荒金 北條 長谷川	レクシア 講13 講19	理学療法学概論	水江	講10・11	解剖学（専門 基礎 必修）			山本	PC室				
			2	物理療法学	植草	講19	生化学（専門 基礎 選択）	芦野(洋)	講20	臨床心理学（専門 基礎 必修）	原	講10・11	リスク管理学	武島	講21・22	救命救急医学（専門 基礎 必修）	大賀	講21・22			
			3	義肢学	水江	義肢装具室 講18	予防医学（専門 基礎 必修）	中野	中講義室	地域理学療法学	角(正)	講18・19	画像診断学(8コマ)（専門 基礎 必修） リハビリテーション研究法(上記日程以外8コマ)	阿部 布施、石森 角(正) 他	講18・19 講18・19						
			4	プロフェッショナルセミナー				上倉 他	講17	卒 業 研 究 ②											
										プロフェッショナルスキル								上倉 他	講17		
水	前期	理学療法学専攻	1	自然科学基礎演習（教養 必修）	山本 小池・千葉	レクシア	特別支援教育概論（8コマ）（専門 基礎 選択）	我妻	講19	人体機能構造学演習（専門 基礎 必修）	角(友)	講10・11	社会学入門 文学の世界（教養 選択）	石川 酒井	講18 講15						
			2			薬理学（8コマ）（専門 基礎 必修） 栄養学（上記日程以外8コマ）（専門 基礎 必修）	有富 有富	講20 講20				病理学（専門 基礎 必修）	馬場(健)	レクシア	内科学(通年)（専門 基礎 必修）	湯口	レクシア				
			3	臨床運動学	三浦	大講義室	小児中枢神経系疾患理学療法学	水江	治療室												
			4							卒 業 研 究 ③											
										プロフェッショナルスキル								上倉 他	講17		
木	前期	理学療法学専攻	1	歴史学 体育(ソフトボール) 体育(ダンス)	倉橋 中島(亮) 西山	講15 グラウンド 体育館 Eスタ	政治学 基礎化学(初回講義室14) 体育(テニス) 体育(弓道)	倉橋 岡野 田村(尚) 猿田	講15 基礎医学実習室 講14 テニスコート Eスタ 弓道場 講12	リハビリテーション概論（専門 基礎 必修）	三浦	大講義室	人間と道徳（教養 必修）	村上(悦)	さくらホール	エレメンタリーセミナー(キャリアⅠ・施設見学)	桑名 他	さくらホール			
			2	運動療法学実習				上倉	運動療法室				整形外科(通年)（専門 基礎 必修）	勝呂	レクシア	インターメディエイトセミナー	倉山・大塚	レクシア			
			3	成人中枢神経系疾患理学療法学				倉山	講18	リハビリテーション管理学	三浦・大平	講21・22	動作分析学	三浦	講20	ステップアップ演習	山本 他	講21・22			
			4	プロフェッショナルスキル				上倉 他	講17	卒 業 研 究 ④											
										プロフェッショナルスキル								上倉 他	講17		
金	前期	理学療法学専攻	1	人間関係論（教養 必修） フランス語入門（教養 選択）	安藤 小川(亮)	さくらホール 講13	情報機器演習（教養 選択）	川口	PC室	日本国憲法(a)（教養 選択）	金津	講10・11	日本国憲法(b)（教養 選択）	金津	講10・11	法学入門（教養 選択）	金津	講10・11			
			2	小児科学（専門 基礎 必修）	前田	講21・22	言語聴覚学概論（専門 基礎 選択）	井関	講21・22	生命倫理学（専門 基礎 必修）	出雲	レクシア	病理学（専門 基礎 必修）	山口	レクシア	精神医学（専門 基礎 必修）	荒木	レクシア			
			3						内部障害系疾患理学療法学	水江・松岡	治療室	運動器系疾患理学療法学実習				上倉	運動療法室 講20				
			4	プロフェッショナルスキル				上倉 他	講17	卒 業 研 究 ⑤											
										プロフェッショナルスキル								上倉 他	講17		
土	前期	理学療法学専攻	1																		
			2																		
			3																		
			4																		
集中講義			1																		
			2	体育(水泳)（初回ガイダンス及び実技日程はUナビでお知らせします。）	馬場	プール 中講義室	(4年次)総合臨床実習Ⅰ(8週)、Ⅱ(8週) (4年次)スポーツ理学療法学 5月下旬 2～5限:運動療法室、 8月上旬 2～5限:運動療法室														
			3																		

●教室名の表示について
○講1→講義室1（講義室1～22まで同様の表示）
○レクシア→レクチャーシアター

●教室棟
○音楽室 A棟 3F

●(※)の科目は、理学療法学科の必修科目と重なっている学年では履修できません。

●教室名の表示について

○講1→講義室1(講義室1～22まで同様の表示)
○多目演1→多目的演習室
○Eスタ→Eスタジオ

○レクシア→レクチャーシアター
○保技演→保育技術演習室
○ADL→日常動作訓練室

●教室棟

○音楽室 A棟 3F
○大講義室 A棟 3F
○被服工芸室 B棟 2F
○調理実習室 F棟

●(※)の科目は、理学療法学科の必修科目と重なっている学年では履修できません。

2020(令和2)年度 保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻(後期)授業時間割表(案)

植草学園大学

曜日	期別	専攻	学年	1(9:20～10:50)			2(11:00～12:30)			3(13:20～14:50)			4(15:00～16:30)			5(16:40～18:10)			
				科目	教員	教室	科目	教員	教室	科目	教員	教室	科目	教員	教室	科目	教員	教室	
月	後期	理学療法学専攻	1	コミュニケーション論（教養 必修）	安藤	レクシア	運動学Ⅰ（専門 基礎 必修）	三浦・池田	講21.22	基礎生物学（教養 選択） 音楽の世界（教養 選択）	早川 川端	基医実習室 Mスタ	生理学実習（専門 基礎 必修）			桑名	基医実習室		
			2				リハビリテーション概論（専門 基礎 必修）	角(正)	講20 運動療教室	リハビリテーション医学（専門 基礎 必修）	前田	レクシア	理学療法評価学Ⅱ	角(正)	講20 治療室	人間発達学（専門 基礎 必修）	安藤	さくらホール	
			3	成人中枢神経系理学療法学実習					倉山	運動療教室 講18	チーム医療演習（専門 基礎 必修）	大塚・角(正)	講10・11	福祉工学	倉山	サイエンス			
			4	プロフェッショナルスキル・プロフェッショナルセミナー														上倉 他	講17
火	後期	理学療法学専攻	1	中国語入門 スポーツ健康科学基礎理論（教養 選択） 英会話	陳 遠藤 マーク	講14 レクシア 講10・11	英語Ⅱ 英語Ⅱ	長谷川 荒金	講14 講18	理学療法評価学Ⅰ （情報機器演習 ※）	角(正) 川口	治療室 PC室	読書技術演習（教養 選択）	戸丸	講12				
			2	運動学実習（専門 基礎 必修）					池田 三浦	運動療教室	病原微生物学（専門 基礎 必修）	森	講21・22	物理療法学実習			植草	治療室 水治室	
			3	アドバンストセミナー					倉山 他	大講義室				生活環境学	千田 角(正)	大講義室			
			4	プロフェッショナルスキル・プロフェッショナルセミナー														上倉 他	講17
水	後期	理学療法学専攻	1	スポーツ・レクリエーションⅡ(理論)（教養 選択） 統計学入門（教養 必修）	中島 岡田	講10・11 PC室	スポーツ・レクリエーションⅠ(実技)（教養 選択） 統計学入門（教養 必修）	中島 岡田	体育館 グラウンド PC室				障害インクルージョン論（教養 選択）			野澤	レクシア		
			2				リハビリテーション英文講読	荒金	講20	看護学（専門 基礎 選択）	林	講18							
			3	アドバンストセミナー					池田 他	運動療教室	医用画像特論	宮崎(泰)	治療室 運動療教室						
			4	プロフェッショナルスキル・プロフェッショナルセミナー														上倉 他	講17
木	後期	理学療法学専攻	1	実践英語（教養 選択）	荒金	講20				国際関係論 環境科学	倉橋 吉澤	講21・22 講12	解剖学実習（専門 基礎 必修）			山本	基医実習室		
			2	運動器系疾患理学療法学	上倉	運動療教室	内科学(通年)（専門 基礎 必修）	前田	大講義室	神経内科学(通年)（専門 基礎 必修）	前田	大講義室	整形外科(通年)（専門 基礎 必修）	勝呂	レクシア				
			3	装具学					水江・松岡	義肢装具室	動作分析学	三浦	運動療教室	リハビリテーションとロボットテクノロジー	池田・倉山	サイエンス	高齢者理学療法学	角(正)	講20
			4	プロフェッショナルスキル・プロフェッショナルセミナー														上倉 他	講17
金	後期	理学療法学専攻	1	理学療法評価学Ⅰ	千葉	治療室	体育(バドミントン)（教養 選択） 障害者・高齢者の心理(前半8コマ)（専門 基礎 選択） 障害者・高齢者の福祉(後半8コマ)（専門 基礎 選択）	遠藤 佐々木	体育館 講19	倫理学入門 ドイツ語入門	川口 カレンベルク	講12 講14	運動療法学	松岡	講18				
			2						日常生活活動学	角(正)	講20 運動療教室								
			3	内部障害系疾患理学療法学実習					水江・松岡	運動療教室 講20	高次脳機能障害学	渡辺(学)	講18	小児中枢神経系疾患理学療法学実習			水江	治療室 運動療教室	
			4	プロフェッショナルスキル・プロフェッショナルセミナー														上倉 他	講17
土	後期	理学療法学専攻	1																
			2																
			3																
			4																

(3年次)地域理学療法学実習 実習報告会 9月下旬
(3年次)アドバンストセミナー OSCE 12月中旬
(3年次)臨床実習指導者(SV)会議 12月～1月で1日
(3年次)プロフェッショナルセミナーⅠ 3月中旬

(4年次)総合臨床実習Ⅰ(8週)、Ⅱ(8週)□
(3年次)理学療法評価学臨床実習 2月上旬～3月上旬(4週)
(1～4年次)海外福祉研修 9月上旬、または3月上旬予定

●教室名の表示について

○講1→講義室1(講義室1～22まで同様の表示)
○多目演1→多目的演習室
○Eスタ→Eスタジオ
○Mスタ→Mスタジオ

○レクシア→レクチャーシアター
○保技演→保育技術演習室
○ADL→日常動作訓練室

●教室棟

○音楽室 B棟 3F
○大講義室 A棟 3F
○被服工業室 B棟 2F
○調理実習室 F棟

●(※)の科目は、理学療法学科の必修科目と重なっている学年では履修できません。

2020(令和2)年度 保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻(前期)授業時間割表(案)

植草学園大学

曜 日	期 別	専 攻	学 年	1(9:20～10:50)			2(11:00～12:30)			3(13:20～14:50)			4(15:00～16:30)			5(16:40～18:10)		
				科 目	教員	教室	科 目	教員	教室	科 目	教員	教室	科 目	教員	教室	科 目	教員	教室
月	前期	作業療法学専攻																
			1	心理学（教養 必修）	安藤	さくらホール	経済学入門 文章表現演習(b) 作業学	小柏 戸丸 鷲田	講12 大講義室 講19	社会福祉学（専門 基礎 選択）	大部	講19	解剖学（専門 基礎 必修）			山本	PC室	
			2	運動学Ⅱ（専門 基礎 必修）	三浦	講21・22	一般臨床医学（専門 基礎 必修）	前田	講21・22	神経内科学(通年)（専門 基礎 必修）	前田	さくらホール						
			3	作業療法治療学総論Ⅰ	大平	講19	摂食嚥下の作業療法	百田・布施	保技演	身体機能と作業療法治療学Ⅰ	大平	サイエンス				画像診断学(8コマ)（専門 基礎 必修）	阿部 布施、石森	レクシア
			4	プロフェッショナルセミナー				大平 他	講16	卒業研究① プロフェッショナルスキル								館岡 他
火	前期	作業療法学専攻																
			1	基礎物理学 英会話 中国語入門	堀米 マーク 陳	講12 基礎実習室 講15 講14	英語Ⅰ 英語Ⅰ 英語Ⅰ	荒金 北條 長谷川	レクシア 講13 講19	教育学入門 文章表現演習(a)	高野 芦野(眞)	講10・11 講15	作業療法学概論	鷲田	講19	作業学演習Ⅱ:織物・園芸	鷲田 武田 表	多目演1
			2				生化学（専門 基礎 選択）	芦野(洋)	講20	臨床心理学（専門 基礎 必修）	原	レクシア	リスク管理学	武島	講21・22	救命救急医学（専門 基礎 選択）	大賀	講20
			3				予防医学（専門 基礎 必修）	中野	中講義室				画像診断学(8コマ)（専門 基礎 必修） リハビリテーション研究法(上記日程以外8コマ)	阿部 布施、石森 角(正) 他	講18・19 講18・19			
			4	プロフェッショナルセミナー				大平 他	講16	卒業研究② プロフェッショナルスキル								館岡 他
水	前期	作業療法学専攻																
			1	自然科学基礎演習（教養 必修）	山本 小池・千葉	レクシア	特別支援教育概論（8コマ）（専門 基礎 選択）	我妻	講19	人体機能構造学演習（専門 基礎 必修）	角(友)	講10・11	社会学入門 文学の世界	石川 酒井	講18 講15	作業学演習Ⅰ:木工	小松・岡田	木工
			2				薬理学(8コマ)（専門 基礎 必修） 栄養学(上記日程以外8コマ)（専門 基礎 必修）	有富 有富	講21・22 講21・22				病理学	馬場(健)	レクシア	内科学(通年)（専門 基礎 必修）	湯口	レクシア
			3	精神機能と作業療法治療学Ⅰ	千田・角(正)	講21・22												
			4							卒業研究③ プロフェッショナルスキル								館岡 他
木	前期	作業療法学専攻																
			1	歴史学 体育(ソフトボール) 体育(ダンス)	倉橋 中島(亮) 西山	講15 グラウンド 体育館 Eスタ	政治学 基礎化学(初回講義室14) 体育(テニス) 体育(弓道)	倉橋 岡野 田村(尚) 猿田	講15 基礎医学実習室 講14 テニスコート Eスタ 弓道場 講12	リハビリテーション概論（専門 基礎 必修）	三浦・大平	大講義室	人間と道徳（教養 必修）	村上(悦)	さくらホール	エレメンタリーセミナー（キャリアⅠ・施設見学）	桑名 他	さくらホール
			2				地域作業療法学Ⅰ	百田	サイエンス				整形外科(通年)（専門 基礎 必修）	勝呂	レクシア	インターメディエイトセミナー	倉山・大塚	レクシア
			3				発達機能と作業療法治療学	大塚	アート	リハビリテーション管理学	三浦・大平	講21・22	認知機能と作業療法治療学	大平	アート	ステップアップ演習	山本 他	講21・22
			4	プロフェッショナルスキル				館岡 他	講16	卒業研究④ プロフェッショナルスキル								館岡 他
金	前期	作業療法学専攻																
			1	人間関係論 フランス語入門	安藤 小川(亮)	さくらホール 講13	情報機器演習（教養 選択）	川口	PC室	日本国憲法（教養 選択）	金津	講10・11	生理学（専門 基礎 必修）			桑名	多目演1	
			2	小児科学（専門 基礎 必修）	前田	講21・22	言語聴覚学概論（専門 基礎 選択）	井関	講14	生命倫理学（専門 基礎 必修）	出雲	レクシア	病理学（専門 基礎 必修）	山口	レクシア	精神医学（専門 基礎 必修）	荒木	レクシア
			3	加齢と作業療法学	百田・福澤	講19	日常生活活動と作業療法Ⅰ	千田	ADL室	内部障害と作業療法学	百田	治療室						
			4	プロフェッショナルスキル				館岡 他	講16	卒業研究⑤ プロフェッショナルスキル								館岡 他
土	前期	作業療法学専攻																
			2															
			3															
			4															
集中講義			1 2 3	体育(水泳)（初回ガイダンス及び実技日程はUナビでお知らせします。）	馬場	プール 中講義室	●教室名の表示について ○講1→講義室1（講義室1～22まで同様の表示） ○レクシア→レクチャーシアター ●教室棟 ○音楽室 A棟 3F ●(※)の科目は、理学療法学科の必修科目と重なっている学年では履修できません。											

2020(令和2)年度 保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻(後期)授業時間割表(案)

植草学園大学

専攻 学年				1 (9:20～10:50)			2 (11:00～12:30)			3 (13:20～14:50)			4 (15:00～16:30)			5 (16:40～18:10)		
曜日	期別	専攻	学年	科 目	教員	教室	科 目	教員	教室	科 目	教員	教室	科 目	教員	教室	科 目	教員	教室
月	後期	作業療法学専攻	1	コミュニケーション論（教養 必修）	安藤	レクシア	運動学Ⅰ（専門 基礎 必修）	池田三浦	多目演1	音楽の世界（教養 選択） 基礎生物学	川端早川	Mスタ 基医実習室	解剖学実習（専門 基礎 必修）			山本	基医実習室	
			2	作業療法評価学総論	千田	講19	リハビリテーション概論（専門 基礎 必修）	角(正)	講20 運動療法室	リハビリテーション医学（専門 基礎 必修）	前田	レクシア	身体機能と作業療法評価学	千田	講20	人間発達学（専門 基礎 必修）	安藤	さくらホール
			3				就労支援と作業療法学	百田・高橋	講19	チーム医療演習（専門 基礎 必修）	大塚・角(正)	講10・11	福祉工学	倉山	サイエンス			
			4	プロフェッショナルスキル・プロフェッショナルセミナー													大平 他	講16
火	後期	作業療法学専攻	1	中国語入門 スポーツ健康科学基礎理論（教養 選択） 英会話	陳遠藤 マーク	講14 レクシア 講10・11	英語Ⅱ（教養 必修） 英語Ⅱ	長谷川荒金	講14 講18	作業学演習Ⅲ：陶芸・手工芸 （ 情報機器演習 ※ ）	吉野(泰) 川口	陶芸 PC室	読書技術演習（教養 選択）	戸丸	講12			
			2							病原微生物学（専門 基礎 必修）	森	講21・22	精神機能と作業療法評価学	山崎	講20	認知機能と作業療法評価学	大平	講20
			3	日常生活活動と作業療法Ⅱ	千田	講18	義肢学・装具学	松岡吉野(智)	義肢装具室	音楽療法概論	山崎	講19	生活環境学	千田角(正)	大講義室			
			4	プロフェッショナルスキル・プロフェッショナルセミナー													館岡 他	講16
水	後期	作業療法学専攻	1	スポーツ・レクリエーションⅡ（理論）（教養 選択） 統計学入門（教養 必修）	中島岡田	講10・11 PC室	スポーツ・レクリエーションⅠ（実技）（教養 選択） 統計学入門（教養 必修）	中島岡田	体育館グラウンド PC室				障害インクルージョン論（教養 選択）			野澤	レクシア	
			2	発達機能と作業療法評価学	鷺田	講19	リハビリテーション英文講読	荒金	講20	看護学（専門 基礎 選択）	林	講18	地域作業療法学Ⅱ	百田・芝井	講19			
			3	精神機能と作業療法治療学Ⅱ	山崎	講18	作業療法治療学総論Ⅱ	池田	講19	医用画像特論	宮崎(泰)	治療室 運動療法室						
			4	プロフェッショナルスキル・プロフェッショナルセミナー													大平 他	講16
木	後期	作業療法学専攻	1	実践英語（教養 選択）	荒金	レクシア				国際関係論（教養 選択） 環境科学	倉橋吉澤	講21・22 講12	生理学実習（専門 基礎 必修）			桑名	基医実習室	
			2				内科学(通年)（専門 基礎 必修）	前田	大講義室	神経内科学(通年)（専門 基礎 必修）	前田	大講義室	整形外科(通年)（専門 基礎 必修）	勝呂	レクシア			
			3	アドバンストセミナー				池田 他	治療室	リハビリテーションとロボットテクノロジー			池田・倉山	サイエンス				
			4	プロフェッショナルスキル・プロフェッショナルセミナー													館岡 他	講16
金	後期	作業療法学専攻	1				体育(バドミントン)（教養 選択） 障害者・高齢者の心理(前半8コマ)（専門 基礎 選択） 障害者・高齢者の福祉(後半8コマ)（専門 基礎 選択）	遠藤佐々木	体育館 講19	倫理学入門（教養 選択） ドイツ語入門	川口カレンベルク	講12 講14						
			2	運動学実習（専門 基礎 必修）				池田・三浦	運動療法室									
			3	アドバンストセミナー				池田 他	ADL室	身体機能と作業療法治療学Ⅱ	池田・福澤	講18						
			4	プロフェッショナルスキル・プロフェッショナルセミナー													大平 他	講16
土	後期	作業療法学専攻	1															
			2															
			3															
			4															

(3年次)地域作業療法学実習 実習報告会 9月下旬
(3年次)アドバンストセミナー OSCE 12月中旬
(3年次)臨床実習指導者(SV)会議 平成30年12月～平成31年1月で1日
(3年次)プロフェッショナルセミナー 3月中旬

(4年次)総合臨床実習Ⅰ(8週)、Ⅱ(8週)□
(3年次)作業療法評価学臨床実習 2月上旬～3月上旬(4週)
(1-4年次)海外福祉研修 9月上旬、または3月上旬予定

●教室名の表示について
○講1→講義室1(講義室1～22まで同様の表示)
○多目演1→多目的演習室
○Eスタ→Eスタジオ
○Mスタ→Mスタジオ

○レクシア→レクチャーシアター
○演技演→演習技術演習室
○ADL→日常動作訓練室

●教室棟
○音楽室 B棟 3F
○大講義室 A棟 3F
○被服工芸室 B棟 2F
○調理実習室 F棟

●(※)の科目は、理学療法学科の必修科目と重なっている学年では履修できません。

作業療法学専攻 図書館資料新規購入リスト 2019(令和元)年度				
	資料区分	点数	金額	税込金額
1	国内図書	243	700,008	756,009
2	外国図書	40	300,126	324,136
3	国内雑誌	4	55,000	59,400
4	視聴覚資料	10	320,000	345,600
5	電子資料	1	480,000	518,400
	合計	298	1,855,134	2,003,545

*外国雑誌に関しては、現在契約中の電子ジャーナルProQuest Centralで対応する。

国内図書リスト									
	著者名	書名	ISBN	版次	シリーズ名	出版社	出版年月	冊数	本体価格
1	スー・フォスタティ・ヤング、ロバート・J. ウィルソン	「主体的学び」につなげる評価と学習方法:カナダで実践されるICEモデル	9784798901756		主体的学びシリーズ	東信堂	201305	1	1,000
2	吉川ひろみ	「作業」って何だろう:作業科学入門	9784263216675	第2版		医歯薬出版	201707	1	2,800
3	森岡周	コミュニケーションを学ぶ:ひとの共生の生物学	9784763910837			協同医書出版社	201805	1	3,400
4	川喜田二郎	創造性とは何か	9784396112134		祥伝社新書	祥伝社	201009	1	760
5	川喜田二郎	発想法:創造性開発のために	9784121801364	改版	中公新書	中央公論新社	201706	1	720
6	大田仁史、浜村明徳	地域リハビリテーション論	9784895906272	Ver.7		三輪書店	201806	1	2,600
7	日本臨床救急医学会	PEECガイドブック:救急現場における精神的問題の初期対応	9784892699504	改訂第2版		へるす出版	201805	1	3,200
8	松崎朝樹	精神診療プラチナマニュアル	9784815701154			メディカル・サイエンス・インターナショナル	201803	1	2,000
9	成田善弘、渡邊素子	事例検討会から学ぶ:ケースカンファランスをつくる5つのエッセンス	9784772416269			金剛出版	201806	1	2,800
10	市川宏伸	発達障害の早期発見と支援へつなげるアプローチ	9784772416184			金剛出版	201804	1	2,800
11	内海健、神庭重信	「うつ」の舞台	9784335651779			弘文堂	201807	1	3,200
12	鐘幹八郎、名島潤慈	心理臨床家の手引	9784414416435	第4版		誠信書房	201806	1	3,300
13	矢永由里子、成田善弘	心理臨床実践:身体科医療を中心とした心理職のためのガイドブック	9784414416299			誠信書房	201708	1	2,700
14	山本力	事例研究の考え方と戦略:心理臨床実践の省察的アプローチ	9784422116839			創元社	201809	1	2,200
15	日本集団精神療法学会編集委員会、藤信子	集団精神療法の実践事例30:グループ臨床の多様な展開	9784422116624			創元社	201704	1	2,800
16	堀田英樹	統合失調症・うつ病の作業療法の進め方	9784521746067			中山書店	201808	1	3,600
17	村上伸治	現場から考える精神療法:うつ、統合失調症、そして発達障害	9784535984578			日本評論社	201709	1	2,500
18	香山明美、菊山和生	セラピストのための認知症者家族支援マニュアル	9784830645686			文光堂	201806	1	2,700
19	ポール・ワツラウィック、ジョン・H. ウィークランド	変化の原理:問題の形成と解決	9784588182150	改装版		法政大学出版局	201805	1	2,900
20	竹林崇	上肢運動障害の作業療法:麻痺手に対する作業運動学と作業治療学の実践	9784830645716			文光堂	201810	1	3,800
21	藤田佳男、澤田辰徳	作業療法とドライブマネジメント	9784830645709			文光堂	201809	1	3,800
22	糸田昌隆、松尾善美	PT・OTのための嚥下・栄養マネジメント:明日から役立つ臨床の要点	9784830645617			文光堂	201709	1	3,500
23	金谷さとみ	認知症の標準的解釈とリハビリテーション介入	9784830645556			文光堂	201705	1	3,000
24	宮脇裕、百田功	精神科リハビリテーションの流儀:援助者必携デイリーケアのエッセンス	9784830643798			文光堂	201206	1	1,800
25	長倉裕二、大塚裕一	はじめよう 音楽リハビリテーション 3:大機能のための50の音楽ゲーム集	9784904437179			あおぞら音楽社	201609	1	2,100
26	能村昭子	歌あそび・歌体操:介護予防+認知症予防プログラム12カ月80種	9784904437155			あおぞら音楽社	201402	1	1,600
27	春畑セロリ	白菜教授のミッドナイト音楽大学	9784904437087			あおぞら音楽社	201207	1	1,800
28	吉田豊	開放弦でできる実践ギター・セラピー:かんたんギター奏で始めよう	9784904437070			あおぞら音楽社	201109	1	1,700
29	馬淵明彦、杉本明	これからはじめる即興演奏:豊かな音楽表現のために	9784799801666	新装版		スタイルノート	201803	1	3,000
30	仁科エミ、河合徳枝	音楽・情報・脳	9784595140938	改訂版	放送大学大学院教材	放送大学教育振興会	201703	1	2,700
31	風間忠道	四本足のあしながおじさん:難病患者に対する支持的作業療法の経験	9784763921420			協同医書出版社	201704	1	1,600
32	三浦綾子、星野富弘	銀色のあしあと	9784264033905		Forest Books	いのちのことば社	201702	1	1,200
33	星野富弘、星野昌子	星野富弘ことばの雫	9784264033868	新版	Forest Books	いのちのことば社	201611	1	1,100
34	星野富弘	星野富弘NOTE	9784264030867			いのちのことば社	201303	1	648
35	星野富弘、なかにしあかね	風の旅:星野富弘の詩画による	9784760933204			カワイ出版	201608	1	1,100
36	星野富弘	星野富弘詩画とともに生きる:たくさんの愛につつまれて	9784054061668			学研パブリッシング	201508	1	1,400
37	星野富弘	足で歩いた頃のこゝろ:花の詩画集	9784039639509			偕成社	201706	1	1,600
38	ドナ・ウィリアムズ、河野万里子	毎日が天国:自閉症だったわたしへ	9784750341187			明石書店	201501	1	2,000
39	中村裕	俳人合点帖:25の肖像	9784394902997			春陽堂書店	201304	1	1,500
40	花田春兆	まほろば:ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者を讃えて	9784907078188			書肆アルス	201612	1	1,000
41	上村敦洋	頰損晩夏:創りつけた頰損損傷35年の生活の記録	9784908083228			シービーアール	201711	1	1,800
42	スティーヴン・ウィリアム・ホーキング、池田秋	ホーキング、自らを語る	9784751527511			あすなろ書房	201404	1	1,400
43	ポール・パーソンズ、ゲイル・ディクソン	3分でわかるホーキング	9784767814605			エクスナレッジ	201303	1	2,200
44	ヘレン・ケラー、今西祐行	ヘレン・ケラー 自伝:わたしの生涯	9784061499232	新装版	講談社火の鳥伝記文庫	講談社	201710	1	740
45	東多江子、椎名優	ヘレン・ケラー 物語	9784062856393		講談社青い鳥文庫	講談社	201706	1	650
46	海野そら太、登坂恵里香	ヘレン・ケラー:世界に希望の光をあたたえた奇跡の人	9784082400668		集英社版・学習まんが世界の伝記NEXT	集英社	201511	1	980
47	小山内美智子	おしゃべりな足指:障がい母さんのラブレター	9784805854709			中央法規出版	201702	1	1,500
48	水木しげる、荒俣宏	戦争と読書:水木しげる出征前手記	9784040820491		角川新書	KADOKAWA	201509	1	800
49	NHKスペシャル取材班	人生の終い方:自分と大切な人のためにできること	9784062206143			講談社	201705	1	1,400
50	横田弘、立岩真也	われらは愛と正義を否定する:脳性マヒ者横田弘と「青い芝」	9784865000535			生活書院	201603	1	2,200
51	市川拓司	私小説	9784022515407			朝日新聞出版	201803	1	1,300
52	市川拓司	ぼくが発達障害だからできたこと	9784022736680		朝日新書	朝日新聞出版	201606	1	780
53	東田直樹	自閉症のうた	9784044002831			KADOKAWA	201705	1	1,300

54	東田直樹	自閉症の僕の七転び八起き	9784046533463			KADOKAWA	201506	1	1,300
55	東田直樹	あるがままに自閉症です：東田直樹の見つめる世界	9784900851733			エスコアール	201312	1	1000
56	中村三夫、宮本省三	認知とは何か	9784763910820			協同医学出版社	201703	1	1,500
57	山根寛	ひとと集団・場：治療や援助、支援における場と集団のちがいの方	9784895906159	新版		三輪書店	201801	1	3,500
58	日本作業療法士協会	作業療法士まるごとガイド：資格のとおり方・しごとのすべて	9784623067589	第3版	まるごとガイドシリーズ	ミネルヴァ書房	201309	1	1,500
59	長崎重信	作業療法学概論	9784758316705	改訂第2版	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト	メジカルビュー社	201502	1	4,200
60	長崎重信	作業学	9784758316712	改訂第2版	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト	メジカルビュー社	201507	1	4,700
61	長崎重信	作業療法評価学	9784758316736	改訂第2版	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト	メジカルビュー社	201509	1	5,600
62	長崎重信	身体障害作業療法学	9784758316750	改訂第2版	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト	メジカルビュー社	201509	1	5,400
63	長崎重信	高次脳機能障害作業療法学	9784758316767	改訂第2版	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト	メジカルビュー社	201603	1	4,200
64	長崎重信	精神障害作業療法学	9784758316729	改訂第2版	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト	メジカルビュー社	201509	1	4,200
65	長崎重信	発達障害作業療法学	9784758316743	改訂第2版	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト	メジカルビュー社	201602	1	4,600
66	長崎重信	老年期作業療法学	9784758316774		作業療法学ゴールド・マスター・テキスト	メジカルビュー社	201701	1	4,000
67	長崎重信	地域作業療法学	9784758316781		作業療法学ゴールド・マスター・テキスト	メジカルビュー社	201610	1	4,000
68	長崎重信	日常生活活動学(ADL)	9784758316798		作業療法学ゴールド・マスター・テキスト	メジカルビュー社	201602	1	4,000
69	長崎重信	福祉用具学	9784758316804		作業療法学ゴールド・マスター・テキスト	メジカルビュー社	201512	1	4,000
70	能登真一、能登真一	標準作業療法学：専門分野、高次脳機能作業療法学	9784260013901		Standard textbook	医学書院	201201	1	3,800
71	松房利憲、新井健五	標準作業療法学：専門分野、高齢期作業療法学	9784260024402	第3版	Standard textbook	医学書院	201512	1	4,000
72	二木淑子、能登真一	標準作業療法学：専門分野、作業療法学概論	9784260025355	第3版	Standard textbook	医学書院	201612	1	4,000
73	山田孝、山田孝	標準作業療法学：専門分野、作業療法研究法	9784260014830	第2版	Standard textbook	医学書院	201208	1	3,800
74	市川和子、矢谷令子	標準作業療法学：専門分野、作業療法臨床実習とケーススタディ	9784260011426	第2版	Standard textbook	医学書院	201103	1	4,200
75	山口昇、玉垣努	標準作業療法学：専門分野、身体機能作業療法学	9784260024440	第3版	Standard textbook	医学書院	201611	1	5,000
76	小林夏子、小林夏子	標準作業療法学：専門分野、精神機能作業療法学	9784260019422	第2版	Standard textbook	医学書院	201410	1	3,800
77	濱口豊太、濱口豊太	標準作業療法学：専門分野、日常生活活動・社会生活行為学	9784260020381		Standard textbook	医学書院	201412	1	4,200
78	福田恵美子	標準作業療法学：専門分野、発達過程作業療法学	9784260017589	第2版	Standard textbook	医学書院	201401	1	4,200
79	奈良勲、鎌倉矩子	標準理学療法学・作業療法学：専門基礎分野	9784260032032	第4版	Standard textbook	医学書院	201711	1	3,600
80	奈良勲、鎌倉矩子	標準理学療法学・作業療法学：専門基礎分野	9784260032643	第2版	Standard textbook	医学書院	201712	1	5,200
81	奈良勲、鎌倉矩子	標準理学療法学・作業療法学：専門基礎分野	9784260034340	第5版	Standard textbook	医学書院	201801	1	4,200
82	鈴木孝治	高次脳機能障害領域の作業療法：プログラム立案のポイント	9784805853238		クリニカル作業療法シリーズ	中央法規出版	201709	1	3,600
83	小林法一、竹原敦	高齢期領域の作業療法：プログラム立案のポイント	9784805853207	第2版	クリニカル作業療法シリーズ	中央法規出版	201602	1	3,800
84	大嶋伸雄	身体領域の作業療法：プログラム立案のポイント	9784805853221	第2版	クリニカル作業療法シリーズ	中央法規出版	201609	1	5,000
85	石井良和、京極真	精神領域の作業療法：プログラム立案のポイント	9784805853214	第2版	クリニカル作業療法シリーズ	中央法規出版	201602	1	4,400
86	藤井浩美、小山内隆生	日常生活活動の作業療法	9784805850664		クリニカル作業療法シリーズ	中央法規出版	201409	1	4,000
87	浅井憲義、大熊明	認知症のある人への作業療法	9784805838723		クリニカル作業療法シリーズ	中央法規出版	201308	1	3,800
88	長谷龍太郎	発達障害領域の作業療法	9784805832837		クリニカル作業療法シリーズ	中央法規出版	201103	1	4,000
89	玉垣努、渡邊慎一	福祉用具・住環境整備の作業療法	9784805838921		クリニカル作業療法シリーズ	中央法規出版	201309	1	3,800
90	藤縄理、赤坂清和	運動学テキスト	9784524265480	改訂第2版	シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ	南江堂	201511	1	4,800
91	五味敏昭、浅井友詞	運動器系解剖学テキスト	9784524262038		シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ	南江堂	201503	1	6,000
92	植松光俊、大川裕行	運動療法学テキスト	9784524266081	改訂第2版	シンプル理学療法学シリーズ	南江堂	201503	1	4,800
93	植松光俊、中川法一	人間発達学テキスト	9784524268672		シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ	南江堂	201406	1	3,800
94	村田伸、岡本加奈子	生活環境学テキスト	9784524258222		シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ	南江堂	201604	1	3,800
95	河元岩男、坂口勇人	日常生活活動学テキスト	9784524266098	改訂第2版	シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ	南江堂	201412	1	4,000
96	福田恵美子	人間発達学	9784498076778	4版	コメディカルのための専門基礎分野テキスト	中外医学社	201709	1	2,600
97	玉置龍也	膝関節疾患のリハビリテーションの科学的基礎	9784905168447		Sports physical therapy seminar series 10	ナッブ	201609	1	4,300
98	蒲田和芳	足関節疾患のリハビリテーションの科学的基礎	9784905168461		Sports physical therapy seminar series 11	ナッブ	201703	1	3,000
99	蒲田和芳	脊柱疾患のリハビリテーションの科学的基礎	9784905168492		Sports physical therapy seminar series 12	ナッブ	201709	1	3,000
100	中島雅美	理学療法士・作業療法士PT・OT基礎から学ぶ生理学ノート	9784263265512	第3版		医歯薬出版	201801	1	4,000
101	中島雅美、島原智美	理学療法士・作業療法士PT・OT基礎から学ぶ病理学ノート	9784263265581	第2版		医歯薬出版	201803	1	3,200
102	安保雅博、渡邊修	リハビリテーション医学	9784758102315		PT・OTビジュアルテキスト 専門基礎	羊土社	201809	1	5,500
103	小柳磨毅、中江徳彦	運動器の運動療法：局所と全身からアプローチする	9784758102223		PT・OTビジュアルテキスト	羊土社	201709	1	5,000
104	畠中泰彦、臨床歩行分析研究会	姿勢・動作・歩行分析	9784758107969		PT・OTビジュアルテキスト	羊土社	201509	1	5,000
105	鈴木康之、舟橋満寿子	写真でわかる重症心身障害児(者)のケアアドバンス：人としての尊厳を守る療育の実践のために DVD B	9784899963639			インターメディア	201703	1	4,800
106	アニタ・アトウォール、アン・マツキンタイア	エビデンスに基づく高齢者の作業療法：ICF(国際生活機能分類)の適応と活用	9784882829317			ガイアブックス	201411	1	3,600
107	池田史志	重度・重複障害児の造形活動：QOLを高める指導理論	9784863714519			ジアース教育新社	201802	1	3,000
108	吉川ひろみ	カナダモデルで読み解く作業療法	9784908083365			シービーアール	201809	1	2,200
109	高木統一、福山真樹	リハビリテーション職種のマネジメント	9784908083372			シービーアール	201809	1	2,800

110	鈴木憲雄	人間作業モデルで読み解く作業療法	9784908083211			シービーアール	201709	1	2,200
111	樋口貴広、和泉謙二	知覚に根ざしたリハビリテーション:実践と理論	9784908083174			シービーアール	201705	1	4,000
112	聖マリアンナ医科大学病院	疾患別リハビリテーションリスク管理マニュアル	9784908933110			ヒューマン・プレス	201804	1	4,800
113	浅倉次男	重症心身障害児のトータルケア:新しい発達支援の方向性を求めて	9784892699344	改訂第2版		へるす出版	201709	1	4,800
114	三木貴弘、今本大地	PT・OTが書いたリハビリテーション英会話	9784758309653			メジカルビュー社	201803	1	2,400
115	塩野寛大、瀧田勇二	リハで読むべき運動器画像	9784758319201			メジカルビュー社	201712	1	4,800
116	大村優慈、酒向正春	リハに役立つ脳画像:コツさえわかればあなたも読める	9784758316934			メジカルビュー社	201603	1	3,500
117	金谷さとみ、高橋仁美	リハビリテーション管理・運営実践ガイドブック	9784758319317			メジカルビュー社	201809	1	4,000
118	高橋章郎、早坂友成	精神科作業療法運動プログラム実践ガイドブック	9784758317238			メジカルビュー社	201701	1	4,200
119	美津島隆、山内克哉	内部障害リハのための胸部・腹部画像読影のすすめ	9784758319027			メジカルビュー社	201709	1	4,200
120	小西紀一	発達障害領域の作業療法アプローチ:子どもの能力から考える	9784758319324	改訂第2版		メジカルビュー社	201810	1	5,500
121	佐藤雅昭	流れがわかる学会発表・論文作成How To:症例報告、何をどうやって準備する?	9784779206801	改訂版		メディカルレビュー社	201103	1	2,800
122	箕岡真子、藤島一郎	摂食嚥下障害の倫理	9784863510753			ワールドプランニング	201406	1	1,800
123	青木省三	こころの病を診るということ:私の伝えたい精神科診療の基本	9784260030205			医学書院	201704	1	3,000
124	日本リハビリテーション医学会、久保俊一	リハビリテーション医学・医療コアテキスト	9784260034609			医学書院	201804	1	3,600
125	小山珠美	口から食べる幸せをサポートする包括的スキル:KTTバランスチャートの活用と支援	9784260032247	第2版		医学書院	201707	1	2,800
126	本田哲三、武田克彦	高次脳機能障害のリハビリテーション:実践的アプローチ	9784260024778	第3版		医学書院	201605	1	4,200
127	伊藤絵美	認知行動療法入門:ケアする人も楽になる Book 1	9784260012454			医学書院	201101	1	2,000
128	伊藤絵美	認知行動療法入門:ケアする人も楽になる Book 2	9784260012461			医学書院	201101	1	2,200
129	出江紳一	リハスタッフのためのコーチング活用ガイド:患者支援から多職種協働までのヒューマンスキル	9784263265703	第2版		医歯薬出版	201809	1	3,400
130	高橋仁美、金子奈央	リハビリテーション・ADLトレーニング写真:患者さんに渡せる姿勢・動作指導71	9784263215760			医歯薬出版	201705	1	3,600
131	稻下淳、若林秀隆	リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎	9784263265536	第2版		医歯薬出版	201803	1	3,800
132	志波直人	リハ研究の進め方・まとめ方	9784263218754			医歯薬出版	201705	1	2,900
133	植森良二	学生のためのリハビリテーション医学概論	9784263214947	第2版		医歯薬出版	201501	1	2,600
134	大庭潤平	作業療法管理学入門	9784263265680			医歯薬出版	201808	1	3,000
135	竹田徳則、大浦智子	作業療法研究法	9784263216767			医歯薬出版	201710	1	3,200
136	日本摂食・嚥下リハビリテーション学会	摂食・嚥下障害患者の栄養	9784263448908	Ver.2	日本摂食・嚥下リハビリテーション学会eラーニング対応	医歯薬出版	201511	1	2,900
137	日本摂食・嚥下リハビリテーション学会	摂食嚥下リハビリテーションの前提	9784263448861	Ver.2	日本摂食・嚥下リハビリテーション学会eラーニング対応	医歯薬出版	201506	1	2,900
138	市川繁之	イラストでわかる寝たきりにさせないPNF介助術:家庭でできるリハビリテーション	9784752931140			医道の日本社	201511	1	1,800
139	デイビッド・J. リンデン、岩坂彰	触れることの科学:なぜ感じるのかどう感じるのか	9784309253534			河出書房新社	201609	1	1,800
140	福川利光、落合慈之	リハビリテーションビジュアルブック	9784780911930	第2版		学研メディカル秀潤社	201609	1	3,400
141	福川利光	リハビリの心と力:かかわりがあなたを変える生活を変える	9784780911664	新版		学研メディカル秀潤社	201412	1	1,700
142	黒木保博、中嶋和夫	世界の子どもへの貧困対策と福祉関連QOL:日本、韓国、イギリス、アメリカ、ドイツ	9784762028045			学文社	201803	1	3,200
143	繁岡秀俊	見てわかるリハビリ:「活動」と「参加」につなげるコツ	9784774188164		ポケット介護	技術評論社	201703	1	1,480
144	藤田貴史	「認知運動療法」日記:リハビリテーション・レポート	9784763940117			協同医書出版社	201604	1	1,500
145	大嶋伸雄	はじめてのIP:連携を学びはじめる人のためのIP入門	9784763960313		ラーニングシリーズIPインタープロフェッショナル保健・医療	協同医書出版社	201803	1	2,600
146	眞鍋克博、榎宏朗	ICFとEBPIに支えられた新しい生活モデル実践:地域・在宅リハビリテーションのパラダイム転換を目指す	9784876478590			桐書房	201510	1	800
147	千野直一、椿原彰夫	現代リハビリテーション医学	9784307750523	改訂第4版		金原出版	201707	1	6,200
148	福原俊一	臨床研究の道標:7つのステップで学ぶ研究デザイン. 上巻	9784903803265	第2版		健康医療評価研究機構	201707	1	3,800
149	福原俊一	臨床研究の道標:7つのステップで学ぶ研究デザイン. 下巻	9784903803272	第2版		健康医療評価研究機構	201707	1	3,800
150	三好正堂	間違えだらけのリハビリテーション:「起立一着席運動」のすすめ	9784774516608	新版		現代書林	201710	1	1,300
151	田島明子	「存在を肯定する」作業療法へのまなざし:なぜ「作業は人を元気にする!」のか	9784895904735			三輪書店	201406	1	2,800
152	葉山靖明	だから、作業療法が大好きです!	9784895904117			三輪書店	201206	1	2,000
153	日本言語聴覚士協会	プロフェッショナル! 言語聴覚士の仕事:伝える支える心をつなぐ	9784895904247			三輪書店	201212	1	1,000
154	谷川正浩、一宮慎美	リハと看護の協働:22のコツ	9784895903974			三輪書店	201202	1	2,000
155	守口恭子	高齢期における認知症のある人の生活と作業療法	9784895906104	第2版		三輪書店	201711	1	3,300
156	岡田貴富、松本政悦	発達分野のコンサルテーションスキル:地域で働く作業療法士に役立つ	9784895906333			三輪書店	201808	1	2,800
157	浅海奈津美、守口恭子	老年期の作業療法	9784895906388	改訂第3版		三輪書店	201808	1	3,500
158	矢口拓宇	患者さんがみるみる元気になるリハビリ現場の会話術	9784798051017			秀和システム	201711	1	1,400
159	鈴木大介	脳が壊れた	9784106106736		新潮新書	新潮社	201606	1	780
160	椿原彰夫	PT・OT・ST・ナースを目指す人のためのリハビリテーション総論:要点整理と用語解説	9784787823458	改訂第3版		診断と治療社	201712	1	3,600
161	椿原彰夫、井上桂子	PT・OTのための臨床実習で役立つリハビリテーション基本実技 OT版	9784787822321			診断と治療社	201612	1	2,500
162	宇田薫	女性作業療法士の子育て・介護・仕事:アクティブ・ワークライフバランスの方法	9784902249927			青海社	201809	1	2,400
163	南雲直二	今日の心のケア:リハビリテーション心理学からのアプローチ	9784915878992			荘道社	201406	1	550
164	南雲直二	誰でもできる心のケア:リハビリテーション心理学からのアプローチ	9784908167010			荘道社	201502	1	800

165	アナット・バニエル、伊藤夏子	限界を超える子どもたち:脳・身体・障害への新たなアプローチ	9784811808307			太田次郎社	201808	1	2,200
166	橋詰直孝、丸山仁司	リハビリテーション基礎からナビゲーション:リハビリテーション関連医療職をめざすあなたに	9784804113753			第一出版	201711	1	2,300
167	夏目重厚	リハビリの思考力を高める100の知識:吉田病院のリハビリ運営指針と療法士の能力開発ブログ	9784809679056			東洋出版	201805	1	1,800
168	山崎裕司(理学療法)	理学療法士・作業療法士のためのできる!ADL練習	9784524265794			南江堂	201606	1	3,800
169	R・リンジー・バークマン、園山繁樹	場面緘黙の子どもの治療マニュアル:統合的行動アプローチ	9784861080821			二瓶社	201807	1	1,800
170	日本転倒予防学会、武藤芳照	認知症者の転倒予防とリスクマネジメント:病院・施設・在宅でのケア	9784784961795	第3版		日本医事新報社	201710	1	4,800
171	ヘルスケア総合政策研究所	国民の栄養白書 2018年版	9784864395908			日本医療企画	201710	1	4,000
172	日本集中治療医学会	集中治療における早期リハビリテーション:根拠に基づくエキスパートコンセンサス ダイジェスト	9784263217450			日本集中治療医学会	201703	1	1,700
173	藤澤宏幸	データに基づく臨床動作分析	9784830645433			文光堂	201605	1	2,600
174	岡田岳、長谷川明洋	OT症例レポート赤ペン添削ビフォー&アフター	9784758102322			羊土社	201809	1	3,600
175	高橋多喜子	初等音楽科教育法:~音楽療法的視点からインクルーシブ教育に向かって~	9784866050652			オンキョウパブリッシング	201703	1	2,500
176	向後善之	パワーオブダンス:統合セラピーの地図	9784434250873			コスモス・ライブラリー	201808	1	1,800
177	日本音響学会	音声分析合成	9784339011371		音響テクノロジーシリーズ	コロナ社	201808	1	4,000
178	濱中直子、山根寛	言葉の力、作業の力:自己を対象とした事例研究を読み解く	9784908083297			シービーアール	201805	1	2,500
179	松井紀和、手束邦洋	いろは歌習多で説くカウンセラー・心理療法家の心得	9784899841555			はる書房	201511	1	1,500
180	藤本昌樹	心の傷を消す音楽CDブック:聴くだけで不安・心配・悲観がなくなる	9784837672760			マキノ出版	201806	1	1,500
181	カール・グスタフ・ユング、横山博	心理療法の実践	9784622087045			みずす書房	201808	1	3,400
182	和合治久	聞くだけ!最恐ストレスからあなたの自律神経を守りぬくCDブック	9784847095528			ワニブックス	201702	1	1,200
183	アリシア・アン・クレア、ジェニー・メモット	高齢者のための療法的音楽活用	9784863251014	第2版		一麦出版社	201706	1	4,000
184	ウィリアム・B. デイビス、ケイト・E. グフェラー	音楽療法入門:理論と実践 1	9784863250789	第3版		一麦出版社	201504	1	2,800
185	ウィリアム・B. デイビス、ケイト・E. グフェラー	音楽療法入門:理論と実践 2	9784863250819	第3版		一麦出版社	201509	1	3,800
186	ウィリアム・B. デイビス、ケイト・E. グフェラー	音楽療法入門:理論と実践 3	9784863250895	第3版		一麦出版社	201605	1	4,000
187	古賀幹敏、江口奈々子	基礎から学ぶ音楽療法	9784866560236	増補改訂版		海鳥社	201804	1	2,000
188	ジョン・G・ガンダーソン、黒田章史	境界性パーソナリティ障害治療ハンドブック:「有害な治療」に陥らないための技術	9784753311316			岩崎学術出版社	201803	1	3,800
189	芝田寿美男	臨床行動分析のすすめ方:ふだんづかいの認知行動療法	9784753311231			岩崎学術出版社	201709	1	2,800
190	本多佐保美、中嶋俊夫	小学校音楽科教育法	9784316804569	新版		教育出版	201803	1	2,400
191	高橋多喜子	音楽療法	9784765317085	第3版	補完・代替医療	金芳堂	201703	1	2,100
192	亀井勉、木村慧心	「未病改善」のススメ:ドイツは自然療法へと舵を切った!	9784909542120			五月書房新社	201808	1	1,600
193	小林隆児	関係の病としてのおとなの発達障害	9784335651786			弘文堂	201807	1	3,200
194	ジョバンニ・A. ファヴァ、堀越勝	ウェルビーイング療法:治療マニュアルと事例に合わせた使い方	9784791109852			星和書店	201808	1	2,300
195	末武康弘	心理学的支援法:カウンセリングと心理療法の基礎	9784414416404			誠信書房	201804	1	2,200
196	馬場存	音楽に癒され、音楽で癒す:音楽療法と精神医学/音楽創造	9784498229068			中外医学社	201806	1	2,400
197	グラルト・ラングナー、根本幾	ピッチと和声の神経コード:心は脳の音楽	9784501555207			東京電機大学出版局	201702	1	3,500
198	ロバート・L. ケーゲル、リンカーン・ケーゲル	発達障がい児のための新しいABA療育PRT:Pivotal Response Treatment	9784861080777			二瓶社	201609	1	2,200
199	関則雄	臨床アートセラピー:理論と実践	9784535984455			日本評論社	201609	1	2,800
200	田中和代、加藤昌美	イスや車イスに座ってできる転倒防止と寝たきり予防の音楽体操	9784654076451			黎明書房	201602	1	2,200
201	中山健夫	健康・医療の情報を読み解く 第2版	9784621087329		京大人気講義シリーズ	丸善出版	201404	1	2,000
202	飯島史朗、石川さと子	生命科学・医療系のための情報リテラシー 第3版	9784621302934			丸善出版	201805	1	3,000
203	対馬栄輝	医療系研究論文の読み方・まとめ方:論文のPECOから正しい統計的判断まで	9784489020735			東京図書	201005	1	3,000
204	富田真佐子	パソコンで進めるやさしい看護研究	9784274215186	第2版		オーム社	201403	1	2,500
205	松原茂樹	論文作成ABCうまいケースレポート作成のコツ	9784885632303			東京医学社	201402	1	3,000
206	山川みやえ、牧本清子	よくわかる看護研究論文のクリティーク:研究手法別のチェックシートで学ぶ	9784818018495		essentials of EBP	日本看護協会出版会	201406	1	2,800
207	大木秀一	文献レビューのきほん:看護研究・看護実践の質を高める	9784263235812			医歯薬出版	201308	1	2,600
208	gene	訪問リハビリテーション完全マニュアル:制度から実務まで徹底コンプリート	9784905241799	改訂第2版		gene	201806	1	4,000
209	大塚裕一	これで解決! PT・OT・ST臨床実習まるごとガイド	9784765317108			金芳堂	201703	1	2,600
210	藤井博之	IPの基本と原則	9784763960290		ラーニングシリーズIPインタープロフェッショナル保健・医療	協同医書出版社	201803	1	2,000
211	矢谷令子	教育現場でIPを実践し学ぶ	9784763960306		ラーニングシリーズIPインタープロフェッショナル保健・医療	協同医書出版社	201803	1	2,800
212	藤井博之	臨床現場でIPを実践し学ぶ	9784763960320		ラーニングシリーズIPインタープロフェッショナル保健・医療	協同医書出版社	201803	1	2,800
213	吉浦輪	地域における連携・協働事例集:対人援助の臨床から学ぶIP	9784763960337		ラーニングシリーズIPインタープロフェッショナル保健・医療	協同医書出版社	201803	1	2,400
214	青山朋樹、高橋紀代	訪問リハビリテーションアドバイスブック	9784758319140			メジカルビュー社	201804	1	4,200
215	結城俊也	リアル脳卒中:患者200人の生の声	9784816927089			日外アソシエーツ	201803	1	2,700
216	高谷修	PT・OT学生の文章力を育てる!レポートの書き方:一正しく学ぼう「書く基本」「文章の組み立て」	9784765317047			金芳堂	201612	1	2,000
217	木野仁、谷口忠大	イラストで学ぶロボット工学	9784061538344		KS情報科学専門書	講談社	201711	1	2,600
218	高田洋吾	入門ロボット工学	9784627625211			森北出版	201710	1	2,100

219	武原格、一杉正仁	脳卒中後の自動車運転再開の手引き	9784263218761			医歯薬出版	201710	1	2,400
220	一杉正仁、武原格	臨床医のための疾病と自動車運転	9784895906180			三輪書店	201803	1	3,800
221	高齢者住環境研究所、バリアフリーデザイン研究会	バリアフリー住宅読本：必携事例でわかる福祉住環境	9784862511904	改訂新版		三和書籍	201601	1	2,500
222	石光俊介、佐藤秀紀	人間工学の基礎	9784842505695			養賢堂	201808	1	2,200
223	角田美穂子、工藤俊亮	ロボットと生きる社会：法はAIとどう付き合う？	9784335357183			弘文堂	201801	1	3,200
224	矢野真、棟近雅彦	医療安全と業務改善を成功させる病院の文書管理実践マニュアル：ISO9001、病院機能評価、JCILに対応！	9784840461795			メディカ出版	201707	1	3,400
225	知念洋美	言語聴覚士のためのAAC入門	9784763930545			協同医学出版社	201801	1	4,000
226	シルバーサービス振興会	新訂福祉用具専門相談員研修テキスト	9784805856925	第2版		中央法規出版	201805	1	3,500
227	渡辺光子(人材育成)	福祉住環境コーディネーター2級短期合格テキスト18-19年版	9784820726654			日本能率協会マネジメントセンター	201806	1	2,200
228		訪問リハビリテーション完全マニュアル：制度から実務まで徹底コンプリート	9784905241973			gene	201705	1	3,600
229	日本運動器科学会、日本臨床整形外科学会	運動器リハビリテーションシラバス：セラピストのための実践マニュアル	9784524241781	改訂第4版		南江堂	201806	1	3,500
230	松浦常夫	高齢ドライバーの安全心理学	9784130133098			東京大学出版会	201703	1	2,400
231		高齢ドライバーと家族のための車の運転脳強化90日ドリル	9784907400477		わかさ夢ムック 脳活道場スペシャル	わかさ出版	201709	1	920
232	浦上克哉	運転を続けるための認知症予防：2017年改正道交法対応	9784788623897	第2版		JAFメディアワークス	201805	1	2,300
233	日本健康心理学会、島井哲志	健康心理学の測定法・アセスメント	9784779512933		保健と健康の心理学標準テキスト	ナカニシヤ出版	201807	1	3,200
234	宮本聡介、宇井美代子	質問紙調査と心理測定尺度：計画から実施・解析まで	9784781913414			サイエンス社	201407	1	2,300
235	高次脳機能障害支援ネット	高次脳機能障害ファシリテーター養成講座	9784895904872			三輪書店	201409	1	2,800
236	ジョン・W. クレスウェル、抱井尚子	早わかり混合研究法	9784779511929			ナカニシヤ出版	201709	1	2,400
237	眞嶋俊造、奥田太郎	人文・社会科学のための研究倫理ガイドブック	9784766422559			慶応義塾大学出版会	201510	1	2,700
238	五十嵐中、佐藤麻里	わかってきたかも「医療統計」…だけど論文読めません！！	9784489022432			東京図書	201607	1	2,800
239	三浦麻子、佐藤寛	なるほど！ 心理学観察法	9784762830143		心理学ベーシック	北大路書房	201804	1	2,200
240	岡田涼、小野寺孝義	実践的メタ分析入門：戦略的・包括的理解のために	9784779512551			ナカニシヤ出版	201807	1	2,800
241	酒井聡樹	これから学会発表する若者のために：ポスターと口頭のプレゼン技術	9784320006102	第2版		共立出版	201807	1	2,700
242	西尾正輝	コメディカルスタッフのための論文の書き方：初心者から上級者まで	9784900637559			インテルナ出版	201807	1	3,200
243	ウェリン・C. ブース、グレゴリー・G. コロンブ	リサーチの技法	9784802611527			ソシム	201807	1	2,600
							合計	243	700,008

外国図書リスト									
	著者名	書名	ISBN	版次	出版社	出版国	出版年月	冊数	本体価格
1	Taylor, Renee R	Kielhofner's Model of Human Occupation : Theory and Application	9781451190342	5th ed	Lippincott Williams & Wilkins	US	201704	1	12,178
2	Taylor, Renee R	Kielhofner's Research in Occupational Therapy : Methods of Inquiry for Enhancing Practice	9780803640375		F a Davis Co	US	201701	1	13,153
3	Schell, Barbara/ Gillen, Glen	Willard and Spackman's Occupational Therapy	9781975106584	13th ed	Lippincott Williams & Wilkins	US	201810	1	15,118
4	Beck, Judith S./ Beck, Aaron T	Cognitive Therapy for Challenging Problems : What to Do When the Basics Don't Work	9781609189907		Guilford Pubn	US	201107	1	4,200
5	Meichenbaum, Donald	The Evolution of Cognitive Behavior Therapy : A Personal and Professional Journey with Don Meichenbaum	9781138812222		Routledge	GB	201702	1	7,213
6	Schneider, Susan (EDT)/ Velmans, Max (EDT)	The Blackwell Companion to Consciousness	9780470674079	2nd ed	Wiley-Blackwell	US	201705	1	9,793
7	Pellegrini, Anthony D. (EDT)	The Oxford Handbook of the Development of Play (Oxford Library of Psychology)	9780190247041		Oxford Univ Pr	GB	201503	1	8,323
8	Jones, Lynette A	Haptics (Mit Press Essential Knowledge)	9780262535809		Mit Pr	US	201809	1	2,233
9	Carter, Russell E./ Lubinsky, Jay, Ph.D.	Rehabilitation Research : Principles and Applications	9781455759798	5th ed	W B Saunders Co	US	201507	1	11,053
10	O'brien, Jane Clifford/ Hussey, Susan M	Introduction to Occupational Therapy	9780323444484	5th ed	Mosby Inc	US	201702	1	9,793
11	Curtin, Michael (EDT)	Occupational Therapy for People Experiencing Illness, Injury or Impairment : Promoting Occupation and Participation (Occupational Therapy Essentials)	9780702054464	7th ed	Elsevier Science Health Science	GB	201702	1	9,803
12	Tubbs, Carol Crellin/ Drake, Margaret	Crafts and Creative Media in Therapy	9781630911096	5th ed	Slack Inc	US	201610	1	9,653
13	Atchison, Ben J., Ph.D./ Drette, Diane Powers, Ph.D.	Conditions in Occupational Therapy : Effect on Occupational Performance	9781496332219	5th ed	Lippincott Williams & Wilkins	US	201609	1	11,618
14	Jacobs, Karen (EDT)/ Simon, Laela (EDT)	Quick Reference Dictionary for Occupational Therapy	9781617116469	6th ed	Slack Inc	US	201407	1	7,413
15	Spaulding, William D/ Silverstein, Steven M/ Menditto, Anthony A	The Schizophrenia Spectrum (Advances in Psychotherapy Evidence-based Practice)	9780889375048	2nd ed	Hogrefe & Huber Pub	US	201701	1	4,172
16	Bowins, Brad	Mental Illness Defined : Continuums, Regulation, and Defense	9781138200609		Routledge	GB	201611	1	6,658
17	Corrigan, Patrick W/ Mueser, Kim T	Principles and Practice of Psychiatric Rehabilitation : An Empirical Approach	9781462526215	2 Reprint	Guilford Pubn	US	201605	1	7,700
18	Dryden, Windy	Rationality and Pluralism : The Selected Works of Windy Dryden	9780415813778		Routledge	GB	201510	1	6,288
19	Cayoun, Bruno A./ Francis, Sarah E./ Shires, Alice	The Clinical Handbook of Mindfulness-Integrated Cognitive Behavior Therapy : A Step-by-Step Guide for Therapists	9781119389637		Wiley-Blackwell	US	201810	1	8,400
20	Sperry, Jon/ Sperry, Len	Cognitive Behavior Therapy in Counseling Practice	9781138648678		Routledge	GB	201711	1	5,548
21	Crane, Rebecca	Mindfulness-Based Cognitive Therapy : Distinctive Features (Obt Distinctive Features)	9781138643222	2nd ed	Routledge	GB	201703	1	2,958
22	Kennerley, Helen/ Kirk, Joan/ Westbrook, David	Introduction to Cognitive Behaviour Therapy : Skills and Applications	9781473962583	3rd ed	Sage	GB	201611	1	5,548
23	Tarrier, Nicholas (EDT)	Case Formulation in Cognitive Behaviour Therapy : The Treatment of Challenging and Complex Cases	9780415741798	2nd ed	Routledge	GB	201507	1	6,473
24	Levenson, Hanna	Brief Dynamic Therapy (Theories of Psychotherapy)	9781433827761	2nd ed	Amer Psychological Assn	US	201706	1	4,893
25	Cole, Marilyn B	Group Dynamics in Occupational Therapy : The Theoretical Basis and Practice Application of Group Intervention	9781630913670	5th ed	Slack Inc	US	201707	1	10,913
26	Celani, David P.	Fairbairn's Object Relations Theory in the Clinical Setting	9780231149075		Columbia Univ Pr	US	201004	1	5,600
27	Gil, Eliana	Posttraumatic Play in Children : What Clinicians Need to Know	9781462528820		Guilford Pubn	US	201702	1	3,500
28	Leggett, Elsa Soto (EDT)	Directive Play Therapy : Theories and Techniques	9780826130655		Springer Pub Co	US	201610	1	9,100
29	Le Vay, David (EDT)	Challenges in the Theory and Practice of Play Therapy	9780415736459		Routledge	GB	201601	1	4,808
30	Pendleton, Heidi Mchugh/ Schultz-Krohn, Winifred	Pedretti's Occupational Therapy : Practice Skills for Physical Dysfunction --- Hardback	9780323569088	8 Revised	Elsevier - Health Sciences Division	GB	201705	1	13,318
31	Bruscia, Kenneth E	Defining Music Therapy	9781937440572	3rd ed	Barcelona Pub	US	201406	1	5,880
32	Knoblauch, Steven H	The Musical Edge of Therapeutic Dialogue	9781138005464		Routledge	GB	201408	1	6,843
33	Edwards, Jane	Oxford Handbook of Music Therapy (Oxford Library of Psychology) --- Paperback / softback	9780198817147		Oxford University Press	GB	201710	1	7,400
34	Yinger, Olivia Swedberg	Music Therapy : Research and Evidence-Based Practice	9780323485609		Elsevier Science Health Science	US	201709	1	13,998
35	Davies, Alison/ Richards, Eleanor/ Barwick, Nick	Group Music Therapy : A Group Analytic Approach	9780415665940		Routledge	GB	201410	1	4,808
36	Kirkland, Kevin (EDT)	International Dictionary of Music Therapy	9780415809412		Routledge	GB	201307	1	5,363
37	Wheeler, Barbara L (EDT)	Music Therapy Handbook (Creative Arts and Play Therapy)	9781462529728		Guilford Pubn	US	201611	1	6,300
38	Thaut, Michael H (EDT)	Handbook of Neurologic Music Therapy	9780198792611		Oxford Univ Pr	GB	201610	1	5,825
39	McNiff, Shaun (EDT)	Art as Research : Opportunities and Challenges	9781783200016		Intellect L & D E F A E	US	201310	1	2,590
40	Denora, Tia	Music Asylums : Wellbeing through Music in Everyday Life (Music and Change: Ecological Perspectives)	9781472455987		Ashgate Pub Co	GB	201502	1	3,698
							合計	40	300,126

国内雑誌リスト						
	雑誌名	ISSN	発行頻度	出版社	本体価格	備考
1	高次脳機能研究	1348-4818	季刊	日本高次脳機能障害学会	8,000	2003-2017オープンアクセスあり
2	作業療法ジャーナル（含増刊）	0915-1354	月刊	三輪書店	26,000	
3	訪問リハビリテーション	2185-7911	隔月刊	gene	12,000	
4	臨床作業療法	1881-6339	隔月刊	青海社	9,000	
				合計	55,000	

視聴覚資料リスト							
	タイトル	製作者・監修者	出版社	出版年	点数	本体価格	備考
1	人体の構造と機能 1巻 解剖生理学総論	山内豊明監修・指導	放送大学教育振興会	2016	1	32,000	
2	人体の構造と機能 2巻 生命活動と恒常性 1	山内豊明監修・指導	放送大学教育振興会	2016	1	32,000	
3	人体の構造と機能 3巻 生命活動と恒常性 2	山内豊明監修・指導	放送大学教育振興会	2016	1	32,000	
4	人体の構造と機能 4巻 皮膚と粘膜	山内豊明監修・指導	放送大学教育振興会	2016	1	32,000	
5	人体の構造と機能 5巻 生体の防御機構	山内豊明監修・指導	放送大学教育振興会	2016	1	32,000	
6	人体の構造と機能 6巻 血液	山内豊明監修・指導	放送大学教育振興会	2016	1	32,000	
7	人体の構造と機能 7巻 循環系 1	山内豊明監修・指導	放送大学教育振興会	2016	1	32,000	
8	人体の構造と機能 8巻 循環系 2	山内豊明監修・指導	放送大学教育振興会	2016	1	32,000	
9	人体の構造と機能 9巻 呼吸器系 1	山内豊明監修・指導	放送大学教育振興会	2017	1	32,000	
10	人体の構造と機能 10巻 呼吸器系 2	山内豊明監修・指導	放送大学教育振興会	2017	1	32,000	
				合計	10	320,000	2019(令和元年度)は全15巻中10巻購入

電子資料リスト（年間契約 価格は規模・契約条件等による）

	種類	名称	提供	価格	収載数	URL
1	電子ジャーナル	MedicalFinder リハプラン	医学書院	480,000	雑誌11誌	https://www.islib.jp/medf0002.html

* MedicalFinder リハプランの収載雑誌は、下記の通り。

	雑誌名	収載年
1	総合リハビリテーション	1973+
2	理学療法ジャーナル	1967+
3	BRAIN and NERVE	2013+
4	臨床整形外科	2000+
5	作業療法ジャーナル	2013+
6	脊椎脊髄ジャーナル	2015+
7	地域リハビリテーション	2015+
8	Cancer Board Square	2015+
9	言語聴覚研究	2004+
10	リハビリテーション医学	2008+
11	作業療法	1983+

実習施設一覧 理学療法学専攻

数字は人数

区分	No.	法人名	施設名	〒	所在県	所在地	TEL	臨床実習				
								見学	地域	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
病院	1	医療法人社団 普照会	井上記念病院	260-0027	千葉県	千葉県千葉市中央区新田町1-16	043-245-8800	2				
	2	医療法人社団 豊流会	ツチダクリニック	260-0045	千葉県	千葉県千葉市中央区弁天1-17-10	043-309-1114	1				
	3	医療法人社団 誠馨会	千葉メディカルセンター	260-0842	千葉県	千葉県千葉市中央区南町1-7-1	043-261-5111					1
	4	医療法人グリーンエッセンス	中村古峽記念病院	260-0844	千葉県	千葉県千葉市中央区千葉寺町188	043-261-3336	1				
	5	独立行政法人 国立病院機構	千葉医療センター	260-8606	千葉県	千葉県千葉市中央区椿森4-1-2	043-251-5311	1				
	6	医療法人 柏葉会	柏戸病院	260-8656	千葉県	千葉県千葉市中央区長洲2-21-8	043-227-8366	1				
	7		千葉大学医学部附属病院	260-8677	千葉県	千葉県千葉市中央区玄鼻1-8-1	043-222-7171	1				
	8	独立行政法人地域医療機能推進機構	千葉病院	260-8710	千葉県	千葉県千葉市中央区仁戸名町682	043-261-2211	1				
	9	医療法人社団三水会	北千葉整形外科美浜クリニック	261-0005	千葉県	千葉県千葉市美浜区稲毛海岸3-1-43	043-216-3300	1				
	10	社会医療法人社団 千葉県勤労者医療協会	千葉健生病院	262-0032	千葉県	千葉県千葉市花見川区幕張町5-392-4	043-272-1211	1			1	
	11	医療法人社団 三水会	北千葉整形外科幕張クリニック	262-0032	千葉県	千葉県千葉市花見川区幕張町1-7689-1	043-350-1100					1
	12	社会医療法人社団 健誠会	千葉脳神経外科病院	263-0001	千葉県	千葉県千葉市稲毛区長沼原町408	043-250-1228					
	13	医療法人社団 ふけ会	富家千葉病院	263-0001	千葉県	千葉県千葉市稲毛区長沼原町277-1	043-250-3110			1	1	
	14	医療法人社団 翠明会	山王病院	263-0002	千葉県	千葉県千葉市稲毛区山王町166-2	043-421-2221			1		1
	15	医療法人社団翠明会	山王整形クリニック	263-0002	千葉県	千葉県千葉市稲毛区山王町160-1	043-422-1011			1	1	
	16	医療法人社団三水会	北千葉整形外科	263-0051	千葉県	千葉県千葉市稲毛区園生町166-1	043-207-6600			1		1
	17	医療法人社団 誠馨会	総泉病院	265-0073	千葉県	千葉県千葉市若葉区更科町2592	043-237-5001				1	
	18	医療法人社団 紫雲会	千葉南病院	266-0003	千葉県	千葉県千葉市緑区高田町401-5	043-292-5111	1		1	1	
	19	社会福祉法人 千葉県身体障害者福祉事業団	千葉県千葉リハビリテーションセンター	266-0005	千葉県	千葉県千葉市緑区蒼田町1-45-2	043-291-1831			1	1	
	20	医療法人社団 緑昌会	みどりのほ葉記念病院	266-0026	千葉県	千葉県千葉市緑区古市場町902-4	043-209-8911			1	1	
	21	医療法人 緑昌会	千葉こどもとおとなの整形外科	266-0033	千葉県	千葉県千葉市緑区おゆみ野南3-24-2	043-293-4111	1		1		1
	22	医療法人社団 愛友会	千葉愛友会記念病院	270-0161	千葉県	千葉県流山市曙ヶ崎1-1	04-7159-1611	1		1		
	23	医療法人社団 真療会	野田病院	270-0237	千葉県	千葉県野田市中市1554-1	04-7129-8155			1		1
	24	医療法人 平成博愛会	印西総合病院	270-1339	千葉県	千葉県印西市牧の台1-1-1	0476-33-3530	1		1	1	
	25	社会医療法人社団 木下会	千葉西総合病院	270-2251	千葉県	千葉県松戸市金ヶ作107-1	047-384-8111					1
	26	医療法人社団 青嶺会	松戸整形外科病院	271-0043	千葉県	千葉県松戸市旭町1-161	047-344-3171	1				
	27	医療法人社団 柳整会	船橋整形外科 市川クリニック	272-0033	千葉県	千葉県市川市市川南1丁目8-6、101	047-329-4192				1	
	28	医療法人社団 緑友会	らいおんハート整形外科リハビリクリニック	272-0133	千葉県	千葉県市川市行徳駅前2-16-1	047-306-7778				1	
	29	医療法人社団 嵐川	大野中央病院	272-0821	千葉県	千葉県市川市下貝塚3-20-3	047-374-0011	1		1		
	30	医療法人社団 一心会	初富保健病院	273-0121	千葉県	千葉県鎌ヶ谷市初富114	047-442-0811			1		1
	31	医療法人社団ますお会	第2北総病院	273-0121	千葉県	千葉県鎌ヶ谷市初富803	047-445-5552					1
	32	医療法人社団 協友会	船橋総合病院	273-0864	千葉県	千葉県船橋市北本町1-13-1	047-425-1151	2				
	33	医療法人社団輝生会	船橋市立リハビリテーション病院	273-0866	千葉県	千葉県船橋市夏見台4-26-1	047-439-1200				1	1
	34	医療法人社団 誠馨会	セコムディック病院	274-0053	千葉県	千葉県船橋市豊富町696-1	047-457-8729					1
	35	医療法人社団 千葉秀心会	東船橋病院	274-0065	千葉県	千葉県船橋市高根台4-29-1	047-468-0011	1				
	36	医療法人吉栄会	下総病院	274-0075	千葉県	千葉県船橋市滝台町94-22	047-464-8111				1	1
	37	医療法人 沖縄徳洲会	千葉徳洲会病院	274-8503	千葉県	千葉県船橋市高根台2-11-1	047-466-7111	1				
	38	社会医療法人社団 千葉県勤労者医療協会	船橋二和病院	274-8506	千葉県	千葉県船橋市二和東5-1-1	047-448-7111	1		1		
	39	医療法人社団 保健会	東京湾岸リハビリテーション病院	275-0026	千葉県	千葉県習志野市谷津4-1-1	047-453-9000	1		1		
	40	医療法人社団 心和我	新八千代病院	276-0015	千葉県	千葉県八千代市米本2167	047-488-3251			1		
	41	医療法人社団 恵仁会	セントマーガレット病院	276-0022	千葉県	千葉県八千代市上高野450	047-485-5111	2				
	42	公益財団法人 柏市医療公社	柏市立柏病院	277-0825	千葉県	千葉県柏市布施1-3	04-7134-2000	1				
	43	医療法人社団 協友会	柏厚生総合病院	277-8551	千葉県	千葉県柏市篠籠田617	04-7140-0300	2				
	44	医療法人社団 誠誠会	東金整形外科	283-0068	千葉県	千葉県東金市東岩崎2-26-14	0475-55-8002				1	
	45	医療法人 静和会	浅井病院	283-8650	千葉県	千葉県東金市家徳38-1	0475-58-5000	1	2			
	46	医療法人社団 道友会	そはら整形外科	284-0003	千葉県	千葉県四街道市鹿渡1109	043-432-7300			1	1	
	47	医療法人社団 威風会	栗山中央病院	284-0027	千葉県	千葉県四街道市栗山906-1	043-421-0007					1
	48	医療法人 沖縄徳洲会	四街道徳洲会病院	284-0032	千葉県	千葉県四街道市吉岡1830-1	043-214-0111	1		1	1	
	49	社会福祉法人 聖隷福祉事業団	聖隷佐倉市民病院	285-8765	千葉県	千葉県佐倉市江原台2-36-2	043-486-1151	1			1	
	50	医療法人社団 心和我	成田リハビリテーション病院	286-0113	千葉県	千葉県成田市南三塚宮園18-1	0476-37-4111				1	
	51	医療法人社団郷愛会	湯山整形外科	286-0221	千葉県	千葉県富里市七栄674-19	0476-91-2412					1
	52	医療法人社団 明芳会	イムス佐原リハビリテーション病院	287-0001	千葉県	千葉県香取市佐原口2121-1	0478-55-1113	1			1	1
	53	一般財団法人 銚子市医療公社	銚子市立病院	288-0031	千葉県	千葉県銚子市前宿町597番地	0479-23-0561			1	1	
	54	医療法人 芳仁会	海村医院分院	288-0048	千葉県	千葉県銚子市双葉町6-3	0479-25-1711				1	1
	55	医療法人財団みさき会	たむら記念病院	288-0815	千葉県	千葉県銚子市三崎町2-2609-1	0479-25-1611					1
	56	医療法人社団 誠和会	長谷川病院	289-1103	千葉県	千葉県八街市八街に85	043-444-0137			1		1
	57	医療法人 甲辰会	海保病院	289-1115	千葉県	千葉県八街市八街ほ386	043-443-1101			1		
	58	医療法人社団 誠誠会	姫島クリニック	289-1327	千葉県	千葉県山武市姫島268-1	0475-80-1752					1
	59	社会福祉法人 旭十九里ホーム	旭十九里ホーム病院	289-2147	千葉県	千葉県匝瑳市飯倉21番地	0479-72-1131	1				
	60	地方独立行政法人	総合病院 国保旭中央病院	289-2511	千葉県	千葉県旭市イの1326番地	0479-63-8111					1
	61	医療法人社団 白金会	リハビリテーション病院さらしな	290-0050	千葉県	千葉県市原市更級1-5-3	0436-25-2345	1			1	1
	62	医療法人 美春会	五井病院	290-0056	千葉県	千葉県市原市五井5155番地	0436-25-2950					1
	63	医療法人社団 白金会	白金整形外科病院	290-0059	千葉県	千葉県市原市白金町1-75-1	0436-22-2748			1		
	64	医療法人社団 鶴会	高名清養病院	292-0054	千葉県	千葉県木更津市長須賀1239	0438-22-6262			1	1	
	65	医療法人互生会	アクアリハビリテーション病院	292-0812	千葉県	千葉県木更津市矢那4490-5	0438-53-8800			1	1	
	66	社会福祉法人 太陽会	安房地域医療センター	294-0014	千葉県	千葉県館山市山本1155番地	0470-25-5111				1	
	67	医療法人社団慶勝会	赤門整形外科内科	294-0034	千葉県	千葉県館山市沼1619	0470-22-0008			1		1
	68	社会医療法人社団 木下会	館山病院	294-0037	千葉県	千葉県館山市市長須賀196	0470-25-3334				1	
	69	医療法人社団 志高会	たてやま整形外科クリニック	294-0043	千葉県	千葉県館山市安布里229	0470-24-7778	1			1	1
	70	医療法人 鉄華会	亀田ファミリークリニック館山	294-0051	千葉県	千葉県館山市正木4304-9	0470-20-5527					
	71	医療法人社団 寿会	小林病院	294-0056	千葉県	千葉県館山市船形909番地	0470-27-3811	1	1			
	72	医療法人 鉄華会	亀田クリニック	296-0041	千葉県	千葉県鴨川市東町 1344 番地	04-7099-2211				1	
	73	医療法人 鉄華会	亀田リハビリテーション病院	296-0041	千葉県	千葉県鴨川市東町975-2	04-7093-1400					1
	74	医療法人 鉄華会	亀田総合病院(メディカルセンター)	296-8602	千葉県	千葉県鴨川市東町929番地	04-7099-2336				1	
	75	医療法人社団 天徳会	茂原機能クリニック	297-0012	千葉県	千葉県茂原市六ツ野1834-1	0475-22-1834				1	1
	76	医療法人社団 上総会	山之内病院	297-0022	千葉県	千葉県茂原市町保3	0475-25-1131	1			1	1
	77	医療法人社団 東光会	茂原中央病院	297-0035	千葉県	千葉県茂原市下永吉796	0475-24-1191				1	1
	78	医療法人SHODA	塩田記念病院	297-0203	千葉県	千葉県長生郡長柄町国府里550-1	0475-35-0099					1
	79	社会医療法人社団さつき会	袖ヶ浦さつき台病院	299-0246	千葉県	千葉県袖ヶ浦市長浦駅前5-21	0438-62-1113	1			1	1
	80	医療法人社団 恵見会	しらさ整形外科	299-3202	千葉県	千葉県大網白里市南今泉75-1	0475-70-5855				1	
	81	医療法人社団 誠誠会	季美の森リハビリテーション病院	299-3241	千葉県	千葉県大網白里市季美の森南1丁目30-1	0475-71-3366				1	
	82	医療法人社団 誠誠会	季美の森整形外科	299-3241	千葉県	千葉県大網白里市季美の森南1-30-5	0475-70-8951				1	

区分	No.	法人名	施設名	〒	所在県	所在地	TEL	臨床実習				
								見学	地域	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
	83	医療法人社団 青洲会	神立病院	300-0011	茨城県	茨城県土浦市神立中央5-11-2	029-831-9711			1		
	84	医療法人盡誠会	宮本病院	300-0605	茨城県	茨城県稲敷市幸田1247	0299-79-2114	1			1	
	85	医療法人社団筑波記念会	筑波記念病院	300-2622	茨城県	茨城県つくば市要1187-299	029-864-1212				1	1
	86	医療法人健佑会	いちばら病院	300-3295	茨城県	茨城県つくば市大曾根3681	029-864-0303			1		
	87	医療法人 竜仁会	牛尾病院	301-0007	茨城県	茨城県龍ヶ崎市馴染町1-15-1	0297-66-6111			1		
	88	一般財団法人筑波龍仁会	筑波学園病院	305-0854	茨城県	茨城県つくば市上横場2573-1	029-836-1355					1
	89		筑波大学附属病院	305-8576	茨城県	茨城県つくば市天久保2-1-1	029-853-3523					1
	90	公益財団法人	鹿島病院	314-0012	茨城県	茨城県鹿嶋市平井1129-2	0299-82-1271				1	
	91	医療法人 壽内会	山王台病院	315-0037	茨城県	茨城県石岡市東石岡4-1-38	0299-26-3130					1
	92	医療法人 博仁会	志村大宮病院	319-2261	茨城県	茨城県常陸大宮市上町313	0295-53-8883					1
	93	医療法人社団 苑田会	苑田第一病院	121-0813	東京都	東京都足立区竹の塚4-1-12	03-3850-5721					1
	94	社会医療法人社団光仁会	第一病院	125-0041	東京都	東京都葛飾区東金町4-2-10	03-3607-0008				1	
	95	医療法人社団 成煌会	端江整形外科	132-0011	東京都	東京都江戸川区端江4-45-1	03-5636-0788					1
	96	医療法人社団メビュー	東京ちどり病院	146-0083	東京都	東京都大田区千鳥2-39-10	03-3758-2671			1		
	97	社会医療法人 河北リハビリテーション病院		166-0013	東京都	東京都杉並区堀ノ内1丁目9番27号	03-5307-5151			1		
	98	社会医療法人社団 大成会	長汐病院	170-0014	東京都	東京都豊島区池袋1-5-8	03-3984-6161			1		
	99	宗教法人 救世軍	救世軍清瀬病院	204-0023	東京都	東京都清瀬市竹丘1-17-9	042-491-1411					1
	100	独立行政法人地域医療機能推進機構	埼玉メディカルセンター	330-0074	埼玉県	埼玉県さいたま市浦和区北浦和4-9-3	048-832-4951					1
	101	医療法人社団 協友会	八潮中央総合病院	340-0814	埼玉県	埼玉県八潮市南川崎845番地	048-996-1650					1
	102	医療法人社団 青葉会	狭山神経内科病院	350-1314	埼玉県	埼玉県狭山市加佐志65	04-2950-0500			1		
	103	医療法人社団 青葉会	新座病院	352-0023	埼玉県	埼玉県新座市堀ノ内3-14-30	048-481-1611				1	
	104	医療法人 徳昌会	あきやま医院	239-0807	神奈川県	神奈川県横須賀市根岸町1-9-9	046-833-0558			1		
	105	社会医療法人博愛会	菅間記念病院	325-0046	栃木県	栃木県那須塩原市大黒町2-5	0287-62-0733			1		
	106	医療法人景雲会	春日居サイバーナイフ・リハビリ病院	406-0014	山梨県	山梨県笛吹市春日居町国府436	0553-26-4126			1		
施設	107	社会福祉法人 千葉市社会福祉事業団	千葉市障害者福祉センター	260-0844	千葉県	千葉県千葉市中央区千葉寺町1208-2	043-209-8779	1				
	108	医療法人社団 鳳雄会	介護老人保健施設ほづのうの杜	262-0013	千葉県	千葉市花見川区横橋町1105	043-215-0330		2			
	109	医療法人社団 晴山会	介護老人保健施設 晴山会ケアセンター	262-0043	千葉県	千葉県千葉市花見川区天戸町1483-4	043-257-0055		2			
	110	社会福祉法人 双樹会	介護老人保健施設 ダンディライオン	263-0002	千葉県	千葉県千葉市稲毛区山王町174	043-304-2881		3			
	111	医療法人社団 誠馨会	介護老人保健施設 秀眉園	264-0017	千葉県	千葉県千葉市若葉区加曽利町1803-1	043-234-5900		2			
	112	有限会社 リハビリ健康社	訪問看護ステーションあすか	264-0023	千葉県	千葉県千葉市若葉区貝塚町1065-1 都-アソコト貝塚B101	043-233-7818		2			
	113	社会福祉法人 霞つらつの里	介護老人保健施設はつらつリハビリセンター	265-0046	千葉県	千葉県千葉市若葉区小間子町3-132	043-239-8282		2			
	114	医療法人社団 総和会	介護老人保健施設 総和苑	266-0003	千葉県	千葉県千葉市緑区高田町1084番地	043-291-8211		2			
	115	医療法人社団 淳英会	介護老人保健施設 おゆみの	266-0014	千葉県	千葉県千葉市緑区大金沢町364-1	043-293-5151		3			
	116	医療法人社団江陽会	江陽台通所リハビリテーション	270-0107	千葉県	千葉県流山市西深井393	04-7140-5035	1				
	117	医療法人社団 晴山会	介護老人保健施設げらの里	276-0004	千葉県	千葉県八千代市島田台字大東台764-2	047-480-0105		2			
	118	医療法人 静和会	介護老人保健施設老人ケアセンター浅井	283-0062	千葉県	千葉県東金市家徳157-1	0475-58-6781		2			
	119	医療法人社団 威風会	介護老人保健施設 栗の郷	284-0027	千葉県	千葉県四街道市栗山906-1	043-421-6881		2			
	120	社会福祉法人 団ザリオの聖母会	医療型障害児入所施設・療養介護 聖母療育園	289-2513	千葉県	千葉県旭市野中3831	0479-60-0602		2			
	121	医療法人社団 得心会	介護老人保健施設 クレイン	290-0511	千葉県	千葉県市原市石川1078番地	0436-88-4500		2			
	122	社会福祉法人 太陽会	介護老人保健施設 たいよう	296-0043	千葉県	千葉県鴨川市西町1011-1	04-7093-7711		2			
	123	国保国吉病院組合	介護老人保健施設 シルバーハビネス	298-0123	千葉県	千葉県いすみ市荻谷1177	0470-86-5551		2			
	124	医療法人社団 健老会	介護老人保健施設 姉ヶ崎ケアセンター	299-0118	千葉県	千葉県市原市椎津2545-1	0436-66-8867		2			
	125	医療法人健佑会	介護老人保健施設つくばリハビリテーションセンター	300-3295	茨城県	茨城県つくば市大曾根3681	029-864-0303			1		
	126	医療法人社団 明芳会	介護老人保健施設 葛飾ロイヤルケアセンター	124-0006	東京都	東京都葛飾区堀切2丁目66番17号	03-3697-7100		3			
計								40	40	40	40	40

* 実習受け入れ人数は、過去の実績をもとに想定したものである。

見学 : 基礎理学療法学見学実習
 地域 : 地域理学療法学実習
 評価 : 理学療法評価学臨床実習
 総合Ⅰ : 総合臨床実習Ⅰ
 総合Ⅱ : 総合臨床実習Ⅱ

作業療法学専攻実習施設一覧表

区分	No	法人名	施設名	通所型、	訪問型、	〒		所在地	代表番号	臨床実習指導員	臨床実習				
											見学	地域	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
身体障害	1	社会福祉法人 千葉県身体障害者福祉事業団	千葉県千葉リハビリテーションセンター			266-0011	千葉県	千葉県千葉市緑区誉田町1丁目4 5 番 2	043-291-1831	5	4			1	
	2	医療法人グリーンエミネス	中村古峽記念病院		○	260-0844	千葉県	千葉県千葉市中央区千葉寺町188	043-261-3336	3	4		1		
	3	医療法人社団 誠馨会	千葉メディカルセンター			260-0842	千葉県	千葉県千葉市中央区南町 1 - 7 - 1	043-261-5111	3	4		1		
	4	医療法人財団 明理会	新松戸中央総合病院	○	○	270-0034	千葉県	千葉県松戸市新松戸1-380	047-345-1111	8				1	
	5	医療法人社団 創造会	平和台病院	○	○	270-1101	千葉県	千葉県我孫子市布佐834-28	04-7189-1265	5				1	
	6	医療法人 思誠会	勝田台病院	○	○	276-0024	千葉県	千葉県八千代市勝田622-2	047-482-3020	5				1	
	7	医療法人社団 恵仁会	セントマーガレット病院			276-0022	千葉県	千葉県八千代市上高野450	047-485-5111	2			1		
	8	医療法人 沖縄徳洲会	四街道徳洲会病院	○		284-0032	千葉県	千葉県四街道市吉岡1830-1	043-214-0264	3			1		
	9	医療法人社団 慶翔会	川島整形外科			286-0048	千葉県	千葉県成田市公津の杜1-24-7	0476-28-1211	1			1		
	10	社会福祉法人 九十九里ホーム	九十九里ホーム病院	○		289-2147	千葉県	千葉県匝瑳市飯倉21番地	0479-72-1131	3			1		
	11	医療法人社団 東光会	茂原中央病院	○	○	297-0035	千葉県	千葉県茂原市下永吉796	0475-24-1191	5				1	
	12		松戸市立総合医療センター			270-2296	千葉県	千葉県松戸市千駄堀993番地の1	047-712-2511	3			1		
	13	医療法人 三愛会	埼玉みさと総合リハビリテーション病院	○	○	341-0034	埼玉県	埼玉県三郷市新和5丁目207番	048-953-1211	5				1	
	14	医療法人社団 明芳会	イムス板橋リハビリテーション病院	○	○	174-0051	東京都	東京都板橋区小豆沢3丁目1 1 - 1	03-3967-1183	4					1
	15	医療法人社団 苑田会	苑田第一病院			121-0813	東京都	東京都足立区竹の塚4-1-12	03-3850-5721	3			1		
	16	医療法人社団 東光会	東所沢病院		○	359-0013	埼玉県	埼玉県所沢市城435-1	04-2944-2390	1			1		
	17	医療法人社団 玉栄会	東京天使病院	○		193-0811	東京都	東京都八王子市上壱分方町50-1	042-651-5331	3			1		
	18	医療法人社団 協友会	横浜なみきリハビリテーション病院	○	○	236-0005	神奈川県	神奈川県横浜市金沢区並木2-8-1	045-370-7823	5				1	
	19	医療法人社団 協友会	八潮中央総合病院	○	○	340-0814	埼玉県	埼玉県八潮市南川崎845番地	048-996-1650	15				1	1
	20		千葉大学医学部附属病院			260-8677	千葉県	千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1	043-222-7171	5				1	
	21	医療法人社団 紫雲会	千葉南病院	○	○	266-0003	千葉県	千葉県千葉市緑区高田町401-5	043-292-5111	1	4		1		
	22	社会福祉法人 聖隷福祉事業団	聖隷佐倉市民病院			285-8765	千葉県	千葉県佐倉市江原台2丁目36番2	043-486-1151	4					1
	23	社会医療法人社団さつき会	袖ヶ浦さつき台病院	○	○	299-0246	千葉県	千葉県袖ヶ浦市長浦駅前5丁目21番地	0438-62-1113	15				1	1
	24	医療法人社団 志高会	たてやま整形外科クリニック			294-0043	千葉県	千葉県館山市安布里229	0470-25-1114	1			1		
	25	医療法人 幕内会	山王台病院			315-0037	茨城県	茨城県石岡市東石岡4-1-38	0299-28-3020	5				1	
	26	医療法人社団 青葉会	新座病院	○	○	352-0023	埼玉県	埼玉県新座市堀ノ内3丁目14番30号	048-481-1611	5				1	
	27	医療法人社団 威風会	栗山中央病院	○	○	284-0027	千葉県	千葉県四街道市栗山906-1	043-421-0007	2			1		
	28	医療法人和会	武蔵台病院	○	○	350-1254	埼玉県	埼玉県日高市久保278-12	042-982-2222	3			1		
	29	公益財団法人	鹿島病院			314-0012	茨城県	茨城県鹿嶋市平井1129-2	0299-82-9552	3			1		
	30	医療法人社団筑波記念会	筑波記念病院	○		300-2622	茨城県	茨城県つくば市要1187-299	029-864-1212	34				1	1
	31		筑波大学附属病院			305-8576	茨城県	茨城県つくば市天久保2丁目1番地1	029-853-3900	3			1		
	32	医療法人社団 青洲会	神立病院	○		300-0011	茨城県	茨城県土浦市神立中央5-11-2	029-831-9711	12				1	1
	33	社会医療法人 若竹会	つくばセントラル病院	○	○	300-1211	茨城県	茨城県牛久市柏田町1589-3	029-872-1771	5				1	
	34	医療法人社団輝生会	船橋市立リハビリテーション病院	○	○	273-0866	千葉県	千葉県船橋市夏見台4-26-1	047-439-1200	2			1		
	35	医療法人財団みさき会	たむら記念病院	○		288-0815	千葉県	千葉県銚子市三崎町2丁目2609番1号	0479-25-1800	1			1		
	36	医療法人互生会	アクアリハビリテーション病院			292-0812	千葉県	千葉県木更津市矢那4490-5	0438-53-8800	3			1		
	37	地方独立行政法人	総合病院 国保旭中央病院	○	○	289-2511	千葉県	千葉県旭市イの1326番地	0479-63-8111	5				1	
	38	独立行政法人地域医療機能推進機構	千葉病院			260-8710	千葉県	千葉県千葉市中央区仁戸名町682番地	043-261-2211	1	4		2		
	39	医療法人社団 豊流会	ツチダクリニック			260-0045	千葉県	千葉県千葉市中央区弁天1-17-10	043-263-6233	3			1		
	40	公益社団法人地域医療振興協会	東京ベイ・浦安市川医療センター			279-0001	千葉県	千葉県浦安市当代島3-4-32	047-351-3101	3			1		
	41	医療法人社団 上総会	山之内病院	○	○	297-0022	千葉県	千葉県茂原市町保3番地	0475-25-1131	6				1	
	42	医療法人 鉄蕉会	亀田総合病院（メディカルセンター）			296-8602	千葉県	千葉県鴨川市東町929番地	04-7099-2211	5					1
	43	医療法人 鉄蕉会	亀田クリニック			296-0041	千葉県	千葉県鴨川市東町 1344 番地	04-7099-2211	2			1		
	44	医療法人 鉄蕉会	亀田リハビリテーション病院			296-0041	千葉県	千葉県鴨川市東町975-2	04-7093-1400	4					1
	45	医療法人 鉄蕉会	亀田ファミリークリニック 館山			294-0051	千葉県	千葉県館山市正木4304番地9	0470-20-5527	3			1		
	46	医療法人社団 ふけ会	富家千葉病院			263-0001	千葉県	千葉県千葉市稲毛区長沼原町277-1	043-250-3110	2	4		1		
	47	茨城県厚生農業協同組合連合会	土浦協同病院なめがた地域医療センター			311-3516	茨城県	茨城県行方市井上藤井98番地8	0299-56-0600	4					
	48	医療法人SHIODA	塩田記念病院	○		297-0203	千葉県	千葉県長生郡長柄町国府里550-1	0475-35-0099	2			1		
	49	社会福祉法人 太陽会	安房地域医療センター			294-0014	千葉県	千葉県館山市山本1155番地	0470-25-5111	3			1		
	50	医療法人社団 誠馨会	新東京病院	○		270-2232	千葉県	千葉県松戸市和名ヶ谷1271番	047-711-8700	4					
	51	医療法人社団 誠馨会	セコメディック病院	○	○	274-0053	千葉県	千葉県船橋市豊富町696-1	047-457-9900	3			1		
	52	医療法人社団 保健会	東京湾岸リハビリテーション病院	○	○	275-0026	千葉県	千葉県習志野市谷津4-1-1	047-453-9000	5				1	
	53	医療法人 竜仁会	牛尾病院	○	○	301-0007	茨城県	茨城県龍ヶ崎市馴染町1-15-1	0297-66-6111	4					1
	54	医療法人社団 誠和会	長谷川病院	○	○	289-1103	千葉県	千葉県八街市八街に85	043-444-0137	5				1	
	55	医療法人社団 白金会	リハビリテーション病院さらしな	○	○	290-0050	千葉県	千葉県市原市更級1-5-3	0436-25-2345	5					1
	56	医療法人社団 青嶺会	松戸整形外科病院			271-0043	千葉県	千葉県松戸市旭町1-161	047-344-3171	1			1		
	57	医療法人 沖縄徳州会	千葉徳州会病院	○	○	274-8503	千葉県	千葉県船橋市高根台2-11-1	047-774-0391	3			1		
	58	医療法人社団 協友会	船橋総合病院		○	273-0864	千葉県	千葉県船橋市北本町1-13-1	047-425-1151	9					1

区分	No	法人名	施設名	通所型、	訪問型、	〒		所在地	代表番号	臨床実習指導員	臨床実習				
											見学	地域	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
	59	医療法人 芙蓉会	五井病院	○		290-0056	千葉県	千葉県市原市五井5155番地	0436-25-5151	7					1
	60	医療法人社団 メドビュー	東京ちどり病院		○	146-0083	東京都	東京都大田区千鳥2丁目39番10号	03-3758-2671	2			1		
	61	社会医療法人社団 千葉県勤労者医療協会	千葉健生病院			262-0032	千葉県	千葉県千葉市花見川区幕張町5-392-4	043-272-1211	5					1
	62	医療法人社団 成煌会	瑞江整形外科			132-0011	東京都	東京都江戸川区瑞江4-45-1	03-5636-0788	2			1		
	63	一般財団法人筑波麗仁会	筑波学園病院			305-0854	茨城県	茨城県つくば市上横場2573-1	029-836-1355	3			1		
	64	医療法人社団 真療会	野田病院	○	○	270-0237	千葉県	千葉県野田市中里1554-1	04-7129-8155	1			1		
	65	医療法人社団 弥生会	旭神経内科リハビリテーション病院			270-0022	千葉県	千葉県松戸市栗ヶ沢789-1	047-385-5566	3			1		
	66	医療法人社団 心会和	新八千代病院	○	○	276-0015	千葉県	千葉県八千代市米本2167	047-488-3251	5					1
	67	社会医療法人社団 木下会	館山病院	○	○	294-0037	千葉県	千葉県館山市長須賀196	0470-25-3334	7					1
	68	医療法人 博仁会	志村大宮病院		○	319-2261	茨城県	茨城県常陸大宮市上町313	0295-53-1111	17				1	1
	69	医療法人社団 青葉会	狭山神経内科病院	○	○	350-1314	埼玉県	埼玉県狭山市加佐志65番地	04-2950-0500	5					1
	70	医療法人社団 福生会	斎藤労災病院			260-0005	千葉県	千葉県千葉市中央区道場南1-12-7	043-227-7437	4					1
	71	医療法人社団 千葉光徳会	中沢病院		○	286-0222	千葉県	千葉県富里市中沢1596-5	0476-94-1111	3			1		
	72	医療法人社団 白金会	白金整形外科病院			290-0059	千葉県	千葉県市原市白金町1-75-1	0436-22-1435	2			1		
	73	独立行政法人 国立病院機構	千葉医療センター			260-8606	千葉県	千葉県千葉市中央区椿森4-1-2	043-251-5311	4	4				1
	74	医療法人 柏葉会	柏戸病院	○	○	260-8656	千葉県	千葉県千葉市中央区長洲 2丁目21番8号	043-227-8366	2	4		1		
	75	社会福祉法人	障害者支援施設ディアフレンズ美浜			261-0012	千葉県	千葉県千葉市美浜区磯辺2丁目21番1号	043-303-0581	1	4		1		
	76	医療法人社団 淳英会	おゆみの中央病院	○	○	266-0033	千葉県	千葉県千葉市緑区おゆみ野南6丁目49番地9	043-300-3355	4	4				1
	77	医療法人社団 東光会	北総白井病院	○	○	270-1431	千葉県	千葉県白井市根 3 2 5 - 2 - 1	047-492-1001	3					
	78	医療法人社団 誠馨会	千葉中央メディカルセンター			264-0017	千葉県	千葉県千葉市若葉区加曾利町1835-1	043-232-3691	9					
精神障害	79	社会医療法人社団 千葉県勤労者医療協会	船橋二和病院			274-8506	千葉県	千葉県船橋市二和東5-1-1	047-448-7111	5				1	
	80	医療法人学而会	木村病院	○		260-0004	千葉県	千葉県千葉市中央区東本町6番19号	043-227-0547	5				1	
	81	医療法人社団青草会	篠崎病院			264-0021	千葉県	千葉県千葉市若葉区若松町2120番地	043-231-7631	2	4		1		
	82	独立行政法人国立病院機構	下総精神医療センター			266-0007	千葉県	千葉県千葉市緑区辺田町578	043-291-1221	5	4			1	
	83	医療法人清和会	浅井病院	○	○	283-8650	千葉県	千葉県東金市家徳38-1	0475-58-5000	3			1		
	84	社会医療法人	あさかホスピタル			063-0198	福島県	福島県郡山市安積町笹川経坦45	024-945-1701	5				1	
	85		茨城県立こころの医療センター			309-1717	茨城県	茨城県笠間市旭町654	0296-77-1151	5				1	
	86	医療法人精光会	みやざきホスピタル			301-0902	茨城県	茨城県稲敷市上根本3474	0297-87-3321	9				1	
	87	医療法人大社会	久喜すずのき病院			346-0024	埼玉県	埼玉県久喜市北青柳1366-1	0480-23-6540	5				1	
	88	医療法人社団大和会	大内病院	○	○	123-0841	東京都	東京都足立区西新井5-41-1	03-3890-1306	5				1	
	89		東京都立松沢病院	○		156-0057	東京都	東京都世田谷区上北沢2-1-1	03-3303-7211	5				1	
	90	医療法人社団和康会	三橋病院	○		275-0002	千葉県	千葉県習志野市実籾2-21-1	047-472-8121	3			1		
	91	医療法人社団心和会	八千代病院	○		276-0021	千葉県	千葉県八千代市下高野549	047-488-1511	5					1
	92	医療法人梨香会	秋元病院	○		273-0121	千葉県	千葉県鎌ヶ谷市初富808-54	047-446-8100	4					1
	93	公益財団法人復光会	総武病院	○		273-8540	千葉県	千葉県船橋市市場3-3-1	047-422-2171	13				1	1
	94	医療法人同和会	千葉病院			274-0822	千葉県	千葉県船橋市飯山満町2-508	047-466-2176	9				1	1
	95	医療法人静和会	中山病院	○		272-0813	千葉県	千葉県市川市中山2-10-2	047-334-3480	6				1	
	96	医療法人鳳生会	成田病院	○		286-0845	千葉県	千葉県成田市押畑896番地	0476-22-1500	6					1
	97	社会福祉法人ロザリオの聖母会	海上療養所			289-2513	千葉県	千葉県旭市野中4017	0479-60-0601	3			1		
	98	医療法人白百合会	大多喜病院	○		298-0223	千葉県	千葉県夷隅郡大多喜町上原786	0470-82-2714	1			1		
	99	医療法人光洋会	三芳病院	○		294-0822	千葉県	千葉県南房総市本織47番地	0470-36-2311	5					1
	100	医療法人社団直樹会	磯ヶ谷病院	○		290-0204	千葉県	千葉県市原市磯ヶ谷35	0436-36-1121	2			1		
	101	医療法人白百合会	市原鶴岡病院			290-0206	千葉県	千葉県市原市新堀955	0436-36-1511	4					1
	102	医療法人社団桐和会	川口さくら病院	○		333-0832	埼玉県	埼玉県川口市神戸258-1	048-283-1200	3			1		
	103	医療法人高仁会	戸田病院	○		335-0026	埼玉県	埼玉県戸田市新曽南3-4-25	048-442-3824	1			1		
	104	医療法人社団和康会	ほしかわクリニックデイケア			275-0002	千葉県	千葉県習志野市実籾2-15-23	047-472-8121	2			1		
	105	公益財団法人 報恩会	石崎病院	○		311-3122	茨城県	茨城県東茨城郡茨城町上石崎4698	029-293-7155	1			1		
	106	医療法人 新生会	豊後荘病院			315-0112	茨城県	茨城県石岡市部原760	0299-44-3211	4					1
	107	医療法人 碧水会	汐ヶ崎病院	○		311-1115	茨城県	茨城県水戸市大串町715番地	029-269-2226	1			1		
	108	医療法人社団 有朋会	栗田病院	○		311-0117	茨城県	茨城県那珂市豊嶺505	029-298-0175	15				1	1
	109	医療法人 直志会	袋田病院	○		319-3521	茨城県	茨城県久慈郡大子町北田気76	0295-72-2371	2			1		
	110	医療法人社団 恵和会	朝田病院	○		300-0333	茨城県	茨城県稲敷郡阿見町若栗2584番地	029-887-0310	4					1
	111	医療法人 主愛会	日立梅ヶ丘病院	○		316-0012	茨城県	茨城県日立市大久保町2409-3	0294-34-2103	4					1
	112	医療法人社団 つくば健仁会	とよさと病院	○		300-2615	茨城県	茨城県つくば市田倉4725	029-847-2631	6					
	113	医療法人 仁愛会	水海道厚生病院	○		303-0043	茨城県	茨城県常総市内守谷町3770-7	0297-27-0721	3			1		
	114	医療法人 清風会	ホスピタル坂東			306-0515	茨城県	茨城県坂東市畜掛411	0297-44-2000	5					1
	115	医療法人 それいゆ会	高萩それいゆ病院			318-0004	茨城県	茨城県高萩市上手綱赤塚268	0293-24-0770	1			1		
	116	医療法人社団 総合会	武蔵野中央病院			184-8585	東京都	東京都小金井市東町1-44-26	0422-31-1231	2					
	117	医療法人社団 翠会	成増厚生病院			175-0091	東京都	東京都板橋区三園1-19-1	03-3939-1191	8					1
	118	社会医療法人栗山会	飯田病院			395-8505	長野県	長野県飯田市大通1丁目15番地	0265-22-5150	5					

区分	No	法人名	施設名	通所Ⅱ、	訪問Ⅱ、	〒		所在地	代表番号	臨床実習指導員	臨床実習				
											見学	地域	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
発達障害	119	社会福祉法人 千葉市社会福祉事業団	千葉県障害者福祉センター			260-0844	千葉県	千葉県千葉市中央区千葉寺町1208番地2	043-209-8779	1	4		1		
	120	医療法人社団ますお会	第2北総病院			273-0121	千葉県	千葉県鎌ヶ谷市初富803	047-445-5552	3			1		
	121	医療法人社団ますお会	第2北総病院附属 小児リハビリテーション事業所 かざぐるま			273-0121	千葉県	千葉県鎌ヶ谷市初富803番地12	047-402-6665	1			1		
	122		我孫子市こども発達センター			270-1112	千葉県	千葉県我孫子市新木1637番地	04-7188-0472	1			1		
	123		市原市発達支援センター			290-0207	千葉県	千葉県市原市海土有木1336-1	0436-36-6097	1			1		
	124		柏市こども発達センター キッズルームひまわり・こすもす			277-0004	千葉県	千葉県柏市柏下65-1	04-7128-2223	2			1		
	125	社会福祉法人千葉市社会福祉事業団	千葉市療育センター 療育相談所			261-0003	千葉県	千葉県千葉市美浜区高浜4-8-3	043-279-1141	2	4		1		
	126	社会福祉法人千葉市社会福祉事業団	千葉市療育センター すぎのこルーム			261-0003	千葉県	千葉県千葉市美浜区高浜4-8-4	043-216-2409	1			1		
	127		心身障害児総合医療 療育センター			173-0037	東京都	東京都板橋区小茂根1-1-10	03-3974-2146	4					
	128	社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会	東京都立東大和療育センター			207-0022	東京都	東京都東大和市桜が丘3丁目44番地の10	042-567-0222	3			1		
	129	社会福祉法人 愛正会	愛正会記念 茨城福祉医療センター			310-0836	茨城県	茨城県水戸市元吉田町1872番地1	029-353-7171	7				1	1
	130	特定医療法人 仁寿会	総和中央病院 児童発達支援事業所はなもも			306-0221	茨城県	茨城県古河市駒羽根825-1	0280-92-7055	2			1		
	131	社会福祉法人 桐友学園	障害児入所施設 桐友学園 児童発達支援事業			277-0921	千葉県	千葉県柏市大津ヶ丘2-19-5	04-7191-5277	1			1		
	132	白井市	こども発達センター			270-1492	千葉県	千葉県白井市復1123番地	047-497-3489	2			1		
老年期障害	133	社会福祉法人 ひまわり福祉会	介護老人保健施設港南あおぞら	○		234-0056	神奈川県	神奈川県横浜市港南区野庭町2187番地1	045-844-6661	4					1
	134	医療法人 慈厚会	介護老人保健施設 えがお	○		300-0850	茨城県	茨城県土浦市中村東2-21-1	029-869-9020	1			1		
	135	独立行政法人 地域医療機能推進機構	千葉病院付属介護老人保健施設			260-0801	千葉県	千葉県千葉市中央区仁戸名町682番地	043-268-1022	1			1		
	136	医療法人 静和会	介護老人保健施設老人ケアセンター浅井	○		283-0062	千葉県	千葉県東金市家徳157-1	0475-58-6781	2		2	1		
	137	医療法人社団 誠馨会	介護老人保健施設 秀眉園	○	○	264-0017	千葉県	千葉県千葉市若葉区加曾利町1803-1	043-234-5900	1	4	2			
	138	有限会社 リハビリ健康社	訪問看護ステーションあすか			264-0023	千葉県	千葉県千葉市若葉区貝塚町1065-1 ガーデンコート貝塚B101号	043-233-7818	1			1		
	139	医療法人社団 総和会	介護老人保健施設 総和苑	○	○	266-0003	千葉県	千葉県千葉市緑区高田町1084	043-291-8211	2	4	2			
	140	医療法人社団 得心会	介護老人保健施設 クレイン	○		290-0511	千葉県	千葉県市原市石川1078番地	0436-88-4500	4		2	1		1
	141	医療法人社団 協友会	介護老人保健施設 ケアセンター八潮	○	○	340-0802	埼玉県	埼玉県八潮市鶴ヶ曽根1184番地4	048-998-2220	5				1	
	142	医療法人社団 明芳会	介護老人保健施設 葛飾ロイヤルケアセンター	○		124-0006	東京都	東京都葛飾区堀切2-66-17	03-3697-7100	2			1		
	143	医療法人社団 鳳雄会	介護老人保健施設ほうゆうの杜	○		262-0013	千葉県	千葉県千葉市花見川区横橋町1105番地	043-215-0330	1		2	1		
	144	医療法人社団 淳英会	介護老人保健施設 おゆみの	○		266-0014	千葉県	千葉県千葉市緑区大金沢町364-1	043-293-5151	1		2	1		
	145	医療法人社団 晴山会	介護老人保健施設ばらの里	○		276-0004	千葉県	千葉県八千代市島田台字大東台764-2	047-480-0105	2		2	1		
	146	公益財団法人 復光会	介護老人保健施設やすらぎ	○		273-8540	千葉県	千葉県船橋市市場3丁目3番1号	047-426-5715	4			1		1
	147	医療法人 幕内会	介護老人保健施設 あいあい	○		315-0037	茨城県	茨城県石岡市東石岡4-1-38	0299-28-3020	5		2	1		
	148	医療法人 黒潮会	介護老人保健施設 すこやかリハビリケアセンター	○		289-2516	千葉県	千葉県旭市口の818-3	0479-62-4600	1		2			
	149	社会医療法人社団木下会	介護老人保健施設 シルバーケア鎌ヶ谷	○		273-0121	千葉県	千葉県鎌ヶ谷市初富125-1	047-441-2005	1		2			
	150	医療法人社団 双和会	介護老人保健施設 エクセレントケア志津	○		286-0846	千葉県	千葉県佐倉市上志津1316-1	043-461-1110	1		2			
	151	医療法人社団晩会	介護老人保健施設 のぞみ	○	○	284-0001	千葉県	千葉県四街道市大日1685-10	043-421-6868	4		2			1
	152	社会福祉法人 千葉シニア	特別養護老人ホーム まごころ館四街道			284-0037	千葉県	千葉県四街道市中台498-1	043-312-5556	2			1		
	153	医療法人グリーンエミネス	介護老人保健施設 うらら	○		261-0004	千葉県	千葉県千葉市中央区千葉寺町188	043-261-3169	3	4	2			
	154	医療法人社団 葵会	介護老人保健施設 葵の園・はまの	○		260-0824	千葉県	千葉県千葉市中央区浜野町423-1	043-209-7117	3	4	2			
	155	社会福祉法人晴山会	特別養護老人ホーム 晴山苑			262-0042	千葉県	千葉県千葉市花見川区花島町149番地1	043-250-7351	1					
	156	医療法人社団 青草会	介護老人保健施設 若松ケアセンター	○		264-0021	千葉県	千葉県千葉市若葉区若松町2121	043-233-6801	1	4	2			
	157	医療法人社団 葵会	介護老人保健施設 葵の園・緑区	○		260-0003	千葉県	千葉県千葉市緑区高田町2381-2	043-293-6611	2	4	2			
	158	医療法人社団紺整会	介護老人保健施設 フェルマータ船橋	○	○	274-0822	千葉県	千葉県船橋市飯山満町1-822	047-425-5581	4					1
	159	医療法人社団寿光会	介護老人保健施設 エスホワール市川	○	○	272-0013	千葉県	千葉県市川市高谷3丁目1-20	047-329-6087	5				1	
	160	医療法人哺育会	介護老人保健施設 ハートケア市川	○	○	272-0803	千葉県	千葉県市川市奉免町59-2	047-303-8222	4				1	
	161	医療法人社団愛友会	介護老人保健施設 ケアセンター習志野	○		275-0025	千葉県	千葉県習志野市秋津3-5-2	047-453-5111	5				1	
	162	医療法人社団 畜心会	介護老人保健施設 偕楽園	○		271-0047	千葉県	千葉県松戸市西馬橋幸町23	047-340-1300	1		2			
	163	社会福祉法人九十九里ホーム	老人保健施設 ミス・ヘンテ記念ケアセンター	○		289-2147	千葉県	千葉県匝瑳市飯倉20番地	0479-73-2115	2		2			
	164	匝瑳市	介護老人保健施設 そうさぬくもりの郷	○		289-2153	千葉県	千葉県匝瑳市中台305番地	0479-79-1766	1		2			
	165	医療法人社団 健勝会	介護老人保健施設 睦沢の里	○	○	299-4423	千葉県	千葉県長生郡睦沢町大上1150番地	0475-43-1222	1		2			
	166	社会福祉法人林声会	特別養護老人ホームゆかり八街西林			289-1144	千葉県	千葉県八街市八街ろ113番地3	043-308-6355	1					
	167	社会福祉法人 翠燦会	高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台			276-0034	千葉県	千葉県八千代市八千代台西7-2-69	047-480-2777	1					
	168	医療法人京友会	介護老人保健施設 つくも苑	○		297-0012	千葉県	千葉県千葉市茂原市六ツ野1841	0475-25-5335	2					
	169	株式会社祥ファクトリ	さかいリハ訪問看護ステーション・船橋	○	○	274-0077	千葉県	千葉県船橋市薬円台5-6-6 2F	047-461-6303	4					1
	170	株式会社祥ファクトリ	さかいリハ訪問看護ステーション・船橋 西船橋支所	○	○	273-0024	千葉県	千葉県海神町南1-1742-1	047-404-5276	1			1		
	171	株式会社祥ファクトリ	さかいリハ訪問看護ステーション・千葉	○	○	263-0023	千葉県	千葉県千葉市稲毛区緑町1-23-12 図画イリビング巻番館101号室	043-241-1016	7				1	
	172	株式会社祥ファクトリ	さかいリハ訪問看護ステーション・千葉 蘇我支所	○	○	260-0805	千葉県	千葉県千葉市中央区宮崎町776-22 BIGアームズ1F	043-308-3771	2			1		
	173	株式会社祥ファクトリ	さかいリハ訪問看護ステーション・八千代 四街道支所	○	○	276-0045	千葉県	千葉県八千代市大和田474-7-101	047-406-5932	5				1	
	174	株式会社祥ファクトリ	さかいリハ訪問看護ステーション・八千代 四街道支所	○	○	284-0005	千葉県	千葉県四街道市四街道1-3-7	043-312-3171	1					
	175	株式会社祥ファクトリ	さかいリハ訪問看護ステーション・松戸	○	○	270-2225	千葉県	千葉県松戸市東松戸1-3-8 東和ビル505号	047-710-6816	2					
	176	株式会社祥ファクトリ	さかいリハ訪問看護ステーション・松戸 逆井支所	○	○	277-0042	千葉県	千葉県柏市逆井1-1-21 染谷ビル2階	04-7193-8186	1					

承 諾 書

植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻における2000年度の「〇〇〇〇臨床実習」を当施設で、下記のとおり実施することを承諾します。

記

1 実習時期（期間）

2000年〇〇月〇〇日（月）～〇〇月〇〇日（土）（〇週間）

2 実習学生数

_____名

2000年〇〇月〇〇日

法人名
施設名

住所〒

電話

承諾者の職名・氏名

印

植草学園大学

学 長 中 澤 潤 殿

承 諾 書

植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻における２０〇〇年度の「〇〇〇〇臨床実習」を当施設で、下記のとおり実施することを承諾します。

記

1 実習時期（期間）

２０〇〇年〇〇月〇〇日（月）～〇〇月〇〇日（土）（〇週間）

2 実習学生数

_____名

２０〇〇年〇〇月〇〇日

法人名
施設名

住所〒

電話

承諾者の職名・氏名

印

植草学園大学

学 長 中 澤 潤 殿

植 大 実 第〇〇〇号
2 0 〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日

医療法人 〇〇〇会
〇〇リハビリテーション病院
理事長 様

植草学園大学
学 長 中 澤 潤

植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻の
『2 0 〇 〇 年度 〇 〇 〇 〇 臨床実習』について(お願い)

時下益々御隆盛のこととお喜び申し上げます。

平素、植草学園大学の教育に、御理解と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

標記の「〇〇〇〇臨床実習」は、理学療法士養成教育課程の中で重要な授業科目となっております。貴施設で是非とも御指導賜りたく、業務繁忙の折り、誠に勝手なこととは存じますが、何卒御承諾くださいますよう、よろしくお願いいたします。

本学より依頼いたします実習時期、期間、及び学生数等は、下記のとおりです。

記

1 2 0 〇 〇 年度 〇 〇 〇 〇 臨床実習

(1) 実習時期(期間)

2 0 〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日(月)～〇〇月〇〇日(土)(〇週間)

(2) 実習学生及び人数

保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻 〇年次生 〇名

なお、御承諾の上は、お手数ですが別添「承諾書」を御記入の上、同封の封筒にて御返送いただきたく、お願い申し上げます。

また、具体的な実習学生氏名、実習実施の細部等につきましては、御承諾をいただいてから改めて、御連絡・御相談させていただきたいと存じます。

末筆ながら、貴施設の益々の御発展を心より祈念申し上げます。

植 大 実 第〇〇〇号
2 0 〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日

医療法人 〇〇〇会
〇〇リハビリテーション病院
理事長 様

植草学園大学
学 長 中 澤 潤

植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻の
『2 0 〇 〇 年度 〇 〇 〇 〇 臨床実習』について(お願い)

時下益々御隆盛のこととお喜び申し上げます。

平素、植草学園大学の教育に、御理解と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

標記の「〇〇〇〇臨床実習」は、作業療法士養成教育課程の中で重要な授業科目となっております。貴施設で是非とも御指導賜りたく、業務繁忙の折り、誠に勝手なこととは存じますが、何卒御承諾くださいますよう、よろしくお願いいたします。

本学より依頼いたします実習時期、期間、及び学生数等は、下記のとおりです。

記

1 2 0 〇 〇 年度 〇 〇 〇 〇 臨床実習

(1) 実習時期(期間)

2 0 〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日(月)～〇〇月〇〇日(土)(〇週間)

(2) 実習学生及び人数

保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻 〇年次生 〇名

なお、御承諾の上は、お手数ですが別添「承諾書」を御記入の上、同封の封筒にて御返送いただきたく、お願い申し上げます。

また、具体的な実習学生氏名、実習実施の細部等につきましては、御承諾をいただいってから改めて、御連絡・御相談させていただきたいと存じます。

末筆ながら、貴施設の益々の御発展を心より祈念申し上げます。

臨床実習に関わる個人情報保護に関する誓約書

様

私は、貴施設での臨床実習中に知り得た患者様及び貴施設関係者の個人情報、貴施設及び貴施設取引業者の情報など、実習中はもちろん実習終了後においても第三者に故意または過失による漏洩及び情報提供や情報の無断使用を行わないことを誓約いたします。

記

実習期間 年 月 日 ～ 月 日

以上

年 月 日

植草学園大学 保健医療学部

リハビリテーション学科

理学療法学専攻 年

学生氏名

印

臨床実習に関わる個人情報保護に関する誓約書

様

私は、貴施設での臨床実習中に知り得た患者様及び貴施設関係者の個人情報、貴施設及び貴施設取引業者の情報など、実習中はもちろん実習終了後においても第三者に故意または過失による漏洩及び情報提供や情報の無断使用を行わないことを誓約いたします。

記

実習期間 年 月 日 ～ 年 月 日

以上

年 月 日

植草学園大学 保健医療学部

リハビリテーション学科

作業療法学専攻 年

学生氏名

印

個人情報保護に関する注意事項

1. 情報収集について

- 1) カルテの情報は必要な事項のみを書き写す。
- 2) 生年月日ではなく、年齢のみを〇〇代と書き写す。
- 3) 住所は治療上必要がなければ書き写さない。住所や出身県を書き写す場合は、県名までにする。
- 4) 勤務先は書き写さない。ただし、治療上必要な場合は「〇〇関係の仕事で社長（あるいは管理職）」といった記載にする。
- 5) 性別の記録は、「M・F」で記入する。
- 6) 知られると不都合だと思われる診断名は、略語や外国語（英語やドイツ語）を使う。
- 7) 続柄・家族構成・所得などは、治療上必要がなければ記載しない。
- 8) カルテをコピー機やスキャナーで複写することやカメラで写すことは厳禁。
- 9) メモ書き等で個人が特定できるものは、持ち帰ってはならない。また用件終了後はシュレッダーなどで処分する。

2. 情報の持ち出しについて

- 1) カルテやレントゲン写真などはできるだけ部外に持ち出しをしない。院外持ち出しは厳禁である。
- 2) 患者情報が記録されたパソコンあるいは記録メディアは、パスワードを設定し、また、盗難・漏洩のないよう管理を徹底する。

3. 実習報告書やレポート作成・症例発表の際の注意事項

- 1) 患者評価データや治療内容を用いてケーススタディやケースレポートを学習資料として作成する場合は、以下のように個人情報の保護に十分配慮する。
 - ・ケースレポートには実習施設名や実習期間および指導者氏名は記載しない。
 - ・患者氏名は匿名（Aさん・Bさん）とする。
 - ・性別の記録は「M・F」で記入する。
 - ・生年月日ではなく、〇〇代と記載する。
 - ・住所は治療上で必要がなければ記載しない。住所や出身県を記載する場合は、県名までにする。
 - ・勤務先と肩書きや連絡先などの個人を特定できる事項は原則書き写さない。ただし、治療上必要な場合は勤務先名称ではなく「〇〇関係の仕事で社長（あるいは管理職）」といった記載にする。ケースレポートに受傷場所など記載する場合、居住地が特定できる書き方はしない。
 - ・続柄・家族構成・所得などは、直接関係がなければ記載しない。

4. その他

- 1) 患者本人・家族・知人（第三者）からカルテの開示や病状の説明を求められた時は、臨床実習指導者に求められたことを報告する。
- 2) 所属する機関や施設以外の関係者で、例えば関連施設の職員であっても、患者の個人情報に関する問い合わせがあったときは、臨床実習指導者に報告をする。
- 3) パソコンは、ウイルス対策ソフトをインストールし使用すること。
- 4) 実習終了後、パソコン内・記録メディアに記録された患者情報はすべて削除する。

臨床実習指導者へのお願い

- ① 実習施設・機関で独自の個人情報保護についての遵守事項がある場合は実習開始時に実習生に提示し、説明をお願いいたします。
なおその際、誓約書等の文書を取り交わす場合は、大学へその旨お知らせください。
- ② 学生には臨床実習における個人情報保護の指導をしておりますが、実習施設におけるコンプライアンス・プログラムに準じてご指導をお願いいたします。
- ③ 臨床実習指導者から患者の施設内における医学的情報の利用について、患者への了解を得て、学生へのご指導をお願いいたします。
- ④ 本学から実習施設部門に送付している実習生に関する「個人資料」は、実習中は十分な情報の管理をお願いいたします。また、この「学生紹介書」は臨床実習終了後に学生に返却願います。

【資料 14】

個人情報保護に関する注意事項 確認書・報告書

植草学園大学保健医療学部

リハビリテーション学科主任 殿

臨床実習（実習名： ）にあたり、下記の 1～6 を遵守します。

病院・施設名：

期間： 年 月 日（ ） ～ 年 月 日（ ）

実習開始前

- ☐ 1. カルテをコピー機やスキャナーで複写することやカメラで写すことはしない。
- ☐ 2. 書き写したもの、メモ書きは自宅に持ち帰らず、用件終了後はシュレッダーなどで処分する。
- ☐ 3. 患者情報が記録されたパソコンあるいは記録メディアは、パスワードを設定し、
また、盗難・漏洩のないよう管理を徹底する。
- ☐ 4. パソコンは、ウイルス対策ソフトをインストールし使用する。
- ☐ 5. ケースレポートには実習施設名や実習期間および指導者氏名は記載しない。
- ☐ 6. 実習終了後、パソコン内・記録メディアに記録された患者情報はすべて削除する。

上記 1～6 の確認後にサインして下さい。

報告日 年 月 日

学籍番号 氏名

実習終了後

- ☐ 1. カルテをコピー機やスキャナーで複写することやカメラで写すことはなかった。
- ☐ 2. 書き写したもの、メモ書きは持ち帰らず、用件終了後はシュレッダーなどで処分した。
- ☐ 3. 患者情報が記録されたパソコンあるいは記録メディアは、パスワードを設定した。
- ☐ 4. パソコンは、ウイルス対策ソフトをインストールし使用した。
- ☐ 5. ケースレポートには実習施設名や実習期間および指導者氏名は記載しなかった。
- ☐ 6. 実習終了後、パソコン内・記録メディアに記録された患者情報はすべて削除した。

上記 1～6 の確認後にサインして下さい。

報告日 年 月 日

学籍番号 氏名

2021年度の理学療法学専攻臨床実習一覧表

実習種別		総合臨床実習Ⅰ（４年次）＊	人数	総合臨床実習Ⅱ（４年次）＊	人数	基礎理学療法学見学実習（２年次）	人数	地域理学療法学実習（３年次）＊	人数	理学療法評価学臨床実習（３年次）＊	人数
実習期間		2021年4月12日（月）～9月11日（土） 6週間（Ⅰ）、6週間（Ⅱ）			2021年9月6日（月）～11日（土）			2021年9月13日（月）～18日（土）		2022年1月31日（月）～3月5日（土）	
巡回担当教員	水江年城	東金整形外科	1	千葉メディカルセンター	1	千葉病院	1	浅井病院	2	山王病院	1
		山王整形クリニック	1	千葉脳神経外科病院	1	中村古峽記念病院	1	小林病院	1	山王整形クリニック	1
		富家千葉病院	1	山王病院	1	千葉医療センター	1	介護老人保健施設はつらつリハビリセンター	2	富家千葉病院	1
		総泉病院	1	湯山整形外科	1	千葉健生病院	1			北千葉整形外科	1
		千葉健生病院	1	北千葉整形外科	1	千葉大学医学部附属病院	1			みどりのほ葉記念病院	1
	三浦達浩	みどりのほ葉記念病院	1	北千葉整形外科幕張クリニック	1	千葉南病院	1	訪問看護ステーションあすか	2	千葉南病院	1
		千葉南病院	1	千葉こどもとおとなの整形外科	1	千葉こどもとおとなの整形外科	1	介護老人保健施設 秀眉園	2	千葉県千葉リハビリテーションセンター	1
		千葉県千葉リハビリテーションセンター	1	セコメディック病院	1	船橋二和病院	1	介護老人保健施設 総和苑	2	千葉こどもとおとなの整形外科	1
		亀田クリニック	1	船橋市立リハビリテーション病院	1	千葉徳洲会病院	1			下総病院	1
		下総病院	1	山之内病院	1	柏戸病院	1			船橋二和病院	1
	倉山太一	船橋市立リハビリテーション病院	1	亀田リハビリテーション病院	1	聖隷佐倉市民病院	1	介護老人保健施設ほうゆうの杜	2	白金整形外科病院	1
		聖隷佐倉市民病院	1	イムス佐原リハビリテーション病院	1	山之内病院	1	介護老人保健施設 晴山会ケアセンター	2	高名清養病院	1
		高名清養病院	1	初富保健病院	1	印西総合病院	1	介護老人保健施設 たいよう	2	アクアリハビリテーション病院	1
		山之内病院	1	姫島クリニック	1	柏厚生総合病院	2			印西総合病院	1
		アクアリハビリテーション病院	1	たてやま整形外科クリニック	1	ツチダクリニック	1			初富保健病院	1
	上倉將太	印西総合病院	1	赤門整形外科内科	1	イムス佐原リハビリテーション病院	1	介護老人保健施設 おゆみの	3	赤門整形外科内科	1
		しらさと整形外科	1	塩田記念病院	1	たてやま整形外科クリニック	1	介護老人保健施設 クレイン	2	塩田記念病院	1
		イムス佐原リハビリテーション病院	1	野田病院	1	浅井病院	1			千葉愛友会記念病院	1
		たてやま整形外科クリニック	1	千葉西総合病院	1	千葉愛友会記念病院	1			東京湾岸リハビリテーション病院	1
		成田リハビリテーション病院	1	茂原中央病院	1	北千葉整形外科美浜クリニック	1			野田病院	1
	角正美	亀田ファミリークリニック館山	1	茂原機能クリニック	1	東京湾岸リハビリテーション病院	1	介護老人保健施設 シルバーハピネス	2	新八千代病院	1
		茂原中央病院	1	栗山中央病院	1	松戸整形外科病院	1	介護老人保健施設 姉ヶ崎ケアセンター	2	そはら整形外科	1
		茂原機能クリニック	1	たむら記念病院	1	セントマーガレット病院	2			四街道徳洲会病院	1
		そはら整形外科	1	リハビリテーション病院さらしな	1	四街道徳洲会病院	1			亀田総合病院（メディカルセンター）	1
		四街道徳洲会病院	1	袖ヶ浦さつき台病院	1	東船橋病院	1			五井病院	1
	松岡瑞雄	リハビリテーション病院さらしな	1	総合病院 国保旭中央病院	1	リハビリテーション病院さらしな	1	介護老人保健施設 栗の郷	2	大野中央病院	1
		らいおんハート整形外科リハビリクリニック	1	第２北総病院	1	袖ヶ浦さつき台病院	1	介護老人保健施設老人ケアセンター浅井	2	銚子市立病院	1
		袖ヶ浦さつき台病院	1	五井病院	1	船橋総合病院	2			長谷川病院	1
		安房地域医療センター	1	海村医院分院	1	小林病院	1			いちほら病院	1
		館山病院	1	長谷川病院	1					神立病院	1
	千葉諭	船橋整形外科 市川クリニック	1	筑波記念病院	1	大野中央病院	1	介護老人保健施設 ばらの里	2	牛尾病院	1
		季美の森整形外科	1	筑波大学附属病院	1	井上記念病院	2	医療型障害児入所施設・療養介護 聖母療育園	2	長汐病院	1
		季美の森リハビリテーション病院	1	筑波学園病院	1	九十九里ホーム病院	1			海保病院	1
		銚子市立病院	1	山王台病院	1	柏市立柏病院	1			河北リハビリテーション病院	1
		海村医院分院	1	志村大宮病院	1					東京ちどり病院	1
	植草泰憲	筑波記念病院	1	苑田第一病院	1	宮本病院	1	介護老人保健施設 ダンディライオン	3	狭山神経内科病院	1
		宮本病院	1	瑞江整形外科	1	千葉市障害者福祉センター	1	介護老人保健施設 葛飾ロイヤルケアセンター	3	あきやま医院	1
		第一病院	1	埼玉メディカルセンター	1	江陽台通所リハビリテーション	1			菅間記念病院	1
		新座病院	1	八潮中央総合病院	1					春日居サイバーナイフ・リハビリ病院	1
		鹿島病院	1	救世軍清瀬病院	1					介護老人保健施設つくばリハビリテーションセンター	1
合計		40			40			40		40	
＊旧カリキュラム （保健医療学部 理学療法学科）		＊旧カリキュラム （保健医療学部 理学療法学科）			＊旧カリキュラム （保健医療学部 理学療法学科）			＊旧カリキュラム （保健医療学部 理学療法学科）		＊旧カリキュラム （保健医療学部 理学療法学科）	

2022年度の理学療法学専攻臨床実習一覧表

実習種別		総合臨床実習Ⅰ（4年次）＊	人数	総合臨床実習Ⅱ（4年次）＊	人数	基礎理学療法学見学実習（2年次）	人数	地域理学療法学実習（3年次）	人数	理学療法評価学臨床実習（3年次）	人数
実習期間		2022年4月11日（月）～9月10日（土） 6週間（Ⅰ）、6週間（Ⅱ）			2022年9月5日（月）～10日（土）			2022年9月12日（月）～17日（土）		2023年1月30日（月）～3月4日（土）	
巡回担当教員	水江年城	東金整形外科	1	千葉メディカルセンター	1	千葉病院	1	浅井病院	2	山王病院	1
		山王整形クリニック	1	千葉脳神経外科病院	1	中村古峽記念病院	1	小林病院	1	山王整形クリニック	1
		富家千葉病院	1	山王病院	1	千葉医療センター	1	介護老人保健施設はつらつリハビリセンター	2	富家千葉病院	1
		総泉病院	1	湯山整形外科	1	千葉健生病院	1			北千葉整形外科	1
		千葉健生病院	1	北千葉整形外科	1	千葉大学医学部附属病院	1			みどりのほ葉記念病院	1
	三浦達浩	みどりのほ葉記念病院	1	北千葉整形外科幕張クリニック	1	千葉南病院	1	訪問看護ステーションあすか	2	千葉南病院	1
		千葉南病院	1	千葉こどもとおとなの整形外科	1	千葉こどもとおとなの整形外科	1	介護老人保健施設 秀眉園	2	千葉県千葉リハビリテーションセンター	1
		千葉県千葉リハビリテーションセンター	1	セコメディック病院	1	船橋二和病院	1	介護老人保健施設 総和苑	2	千葉こどもとおとなの整形外科	1
		亀田クリニック	1	船橋市立リハビリテーション病院	1	千葉徳洲会病院	1			下総病院	1
		下総病院	1	山之内病院	1	柏戸病院	1			船橋二和病院	1
	倉山太一	船橋市立リハビリテーション病院	1	亀田リハビリテーション病院	1	聖隷佐倉市民病院	1	介護老人保健施設ほうゆうの杜	2	白金整形外科病院	1
		聖隷佐倉市民病院	1	イムス佐原リハビリテーション病院	1	山之内病院	1	介護老人保健施設 晴山会ケアセンター	2	高名清養病院	1
		高名清養病院	1	初富保健病院	1	印西総合病院	1	介護老人保健施設 たいよう	2	アクアリハビリテーション病院	1
		山之内病院	1	姫島クリニック	1	柏厚生総合病院	2			印西総合病院	1
		アクアリハビリテーション病院	1	たてやま整形外科クリニック	1	ツチダクリニック	1			初富保健病院	1
	上倉將太	印西総合病院	1	赤門整形外科内科	1	イムス佐原リハビリテーション病院	1	介護老人保健施設 おゆみの	3	赤門整形外科内科	1
		しらさと整形外科	1	塩田記念病院	1	たてやま整形外科クリニック	1	介護老人保健施設 クレイン	2	塩田記念病院	1
		イムス佐原リハビリテーション病院	1	野田病院	1	浅井病院	1			千葉愛友会記念病院	1
		たてやま整形外科クリニック	1	千葉西総合病院	1	千葉愛友会記念病院	1			東京湾岸リハビリテーション病院	1
		成田リハビリテーション病院	1	茂原中央病院	1	北千葉整形外科美浜クリニック	1			野田病院	1
	角正美	亀田ファミリークリニック館山	1	茂原機能クリニック	1	東京湾岸リハビリテーション病院	1	介護老人保健施設 シルバーハビネス	2	新八千代病院	1
		茂原中央病院	1	栗山中央病院	1	松戸整形外科病院	1	介護老人保健施設 姉ヶ崎ケアセンター	2	そはら整形外科	1
		茂原機能クリニック	1	たむら記念病院	1	セントマーガレット病院	2			四街道徳洲会病院	1
		そはら整形外科	1	リハビリテーション病院さらしな	1	四街道徳洲会病院	1			亀田総合病院（メディカルセンター）	1
		四街道徳洲会病院	1	袖ヶ浦さつき台病院	1	東船橋病院	1			五井病院	1
	松岡瑞雄	リハビリテーション病院さらしな	1	総合病院 国保旭中央病院	1	リハビリテーション病院さらしな	1	介護老人保健施設 栗の郷	2	大野中央病院	1
		らいおんハート整形外科リハビリクリニック	1	第2北総病院	1	袖ヶ浦さつき台病院	1	介護老人保健施設老人ケアセンター浅井	2	銚子市立病院	1
		袖ヶ浦さつき台病院	1	五井病院	1	船橋総合病院	2			長谷川病院	1
		安房地域医療センター	1	海村医院分院	1	小林病院	1			いちほら病院	1
		館山病院	1	長谷川病院	1					神立病院	1
	千葉諭	船橋整形外科 市川クリニック	1	筑波記念病院	1	大野中央病院	1	介護老人保健施設 ばらの里	2	牛尾病院	1
		季美の森整形外科	1	筑波大学附属病院	1	井上記念病院	2	医療型障害児入所施設・療養介護 聖母療育園	2	長汐病院	1
		季美の森リハビリテーション病院	1	筑波学園病院	1	九十九里ホーム病院	1			海保病院	1
		銚子市立病院	1	山王台病院	1	柏市立柏病院	1			河北リハビリテーション病院	1
		海村医院分院	1	志村大宮病院	1					東京ちどり病院	1
	植草泰憲	筑波記念病院	1	苑田第一病院	1	宮本病院	1	介護老人保健施設 ダンディライオン	3	狭山神経内科病院	1
		宮本病院	1	瑞江整形外科	1	千葉市障害者福祉センター	1	介護老人保健施設 葛飾ロイヤルケアセンター	3	あきやま医院	1
		第一病院	1	埼玉メディカルセンター	1	江陽台通所リハビリテーション	1			菅間記念病院	1
		新座病院	1	八潮中央総合病院	1					春日居サイバーナイフ・リハビリ病院	1
		鹿島病院	1	救世軍清瀬病院	1					介護老人保健施設つくばリハビリテーションセンター	1
合計		40			40			40		40	

＊旧カリキュラム
（保健医療学部 理学療法学科）

＊旧カリキュラム
（保健医療学部 理学療法学科）

2023年度の理学療法学専攻臨床実習一覧表

実習種別		総合臨床実習Ⅰ（4年次）	人数	総合臨床実習Ⅱ（4年次）	人数	基礎理学療法学見学実習（2年次）	人数	地域理学療法学実習（3年次）	人数	理学療法評価学臨床実習（3年次）	人数
実習期間		2023年4月10日（月）～9月9日（土） 6週間（Ⅰ）、6週間（Ⅱ）				2023年9月4日（月）～9日（土）		2023年9月11日（月）～16日（土）		2024年1月29日（月）～3月2日（土）	
巡回担当教員	水江年城	東金整形外科	1	千葉メディカルセンター	1	千葉病院	1	浅井病院	2	山王病院	1
		山王整形クリニック	1	千葉脳神経外科病院	1	中村古峽記念病院	1	小林病院	1	山王整形クリニック	1
		富家千葉病院	1	山王病院	1	千葉医療センター	1	介護老人保健施設はつらつりハビリセンター	2	富家千葉病院	1
		総泉病院	1	湯山整形外科	1	千葉健生病院	1			北千葉整形外科	1
		千葉健生病院	1	北千葉整形外科	1	千葉大学医学部附属病院	1			みどりの葉記念病院	1
	三浦達浩	みどりの葉記念病院	1	北千葉整形外科幕張クリニック	1	千葉南病院	1	訪問看護ステーションあすか	2	千葉南病院	1
		千葉南病院	1	千葉こどもとおとなの整形外科	1	千葉こどもとおとなの整形外科	1	介護老人保健施設 秀眉園	2	千葉県千葉リハビリテーションセンター	1
		千葉県千葉リハビリテーションセンター	1	セコメディック病院	1	船橋二和病院	1	介護老人保健施設 総和苑	2	千葉こどもとおとなの整形外科	1
		亀田クリニック	1	船橋市立リハビリテーション病院	1	千葉徳洲会病院	1			下総病院	1
		下総病院	1	山之内病院	1	柏戸病院	1			船橋二和病院	1
	倉山太一	船橋市立リハビリテーション病院	1	亀田リハビリテーション病院	1	聖隷佐倉市民病院	1	介護老人保健施設ほうゆうの杜	2	白金整形外科病院	1
		聖隷佐倉市民病院	1	イムス佐原リハビリテーション病院	1	山之内病院	1	介護老人保健施設 晴山会ケアセンター	2	高名清養病院	1
		高名清養病院	1	初富保健病院	1	印西総合病院	1	介護老人保健施設 たいよう	2	アクアリハビリテーション病院	1
		山之内病院	1	姫島クリニック	1	柏厚生総合病院	2			印西総合病院	1
		アクアリハビリテーション病院	1	たてやま整形外科クリニック	1	ツチダクリニック	1			初富保健病院	1
	上倉將太	印西総合病院	1	赤門整形外科内科	1	イムス佐原リハビリテーション病院	1	介護老人保健施設 おゆみの	3	赤門整形外科内科	1
		しらさと整形外科	1	塩田記念病院	1	たてやま整形外科クリニック	1	介護老人保健施設 クレイン	2	塩田記念病院	1
		イムス佐原リハビリテーション病院	1	野田病院	1	浅井病院	1			千葉愛友会記念病院	1
		たてやま整形外科クリニック	1	千葉西総合病院	1	千葉愛友会記念病院	1			東京湾岸リハビリテーション病院	1
		成田リハビリテーション病院	1	茂原中央病院	1	北千葉整形外科美浜クリニック	1			野田病院	1
	角正美	亀田ファミリークリニック館山	1	茂原機能クリニック	1	東京湾岸リハビリテーション病院	1	介護老人保健施設 シルバーハピネス	2	新八千代病院	1
		茂原中央病院	1	栗山中央病院	1	松戸整形外科病院	1	介護老人保健施設 姉ヶ崎ケアセンター	2	そはら整形外科	1
		茂原機能クリニック	1	たむら記念病院	1	セントマーガレット病院	2			四街道徳洲会病院	1
		そはら整形外科	1	リハビリテーション病院さらしな	1	四街道徳洲会病院	1			亀田総合病院（メディカルセンター）	1
		四街道徳洲会病院	1	袖ヶ浦さつき台病院	1	東船橋病院	1			五井病院	1
	松岡瑞雄	リハビリテーション病院さらしな	1	総合病院 国保旭中央病院	1	リハビリテーション病院さらしな	1	介護老人保健施設 栗の郷	2	大野中央病院	1
		らいおんハート整形外科リハビリクリニック	1	第2北総病院	1	袖ヶ浦さつき台病院	1	介護老人保健施設老人ケアセンター浅井	2	銚子市立病院	1
		袖ヶ浦さつき台病院	1	五井病院	1	船橋総合病院	2			長谷川病院	1
		安房地域医療センター	1	海村医院分院	1	小林病院	1			いちほら病院	1
		館山病院	1	長谷川病院	1					神立病院	1
	千葉諭	船橋整形外科 市川クリニック	1	筑波記念病院	1	大野中央病院	1	介護老人保健施設 ばらの里	2	牛尾病院	1
		季美の森整形外科	1	筑波大学附属病院	1	井上記念病院	2	医療型障害児入所施設・療養介護 聖母療育園	2	長汐病院	1
		季美の森リハビリテーション病院	1	筑波学園病院	1	九十九里ホーム病院	1			海保病院	1
		銚子市立病院	1	山王台病院	1	柏市立柏病院	1			河北リハビリテーション病院	1
		海村医院分院	1	志村大宮病院	1					東京ちどり病院	1
	植草泰憲	筑波記念病院	1	苑田第一病院	1	宮本病院	1	介護老人保健施設 ダンディライオン	3	狭山神経内科病院	1
		宮本病院	1	瑞江整形外科	1	千葉市障害者福祉センター	1	介護老人保健施設 葛飾ロイヤルケアセンター	3	あきやま医院	1
		第一病院	1	埼玉メディカルセンター	1	江陽台通所リハビリテーション	1			菅間記念病院	1
		新座病院	1	八潮中央総合病院	1					春日居サイバーナイフ・リハビリ病院	1
		鹿島病院	1	救世軍清瀬病院	1					介護老人保健施設つくばリハビリテーションセンター	1
合計		40		40		40		40		40	

2021年度の作業療法学専攻臨床実習一覧表

実習種別	基礎作業療法学見学実習（2年次）	人数	地域作業療法学実習（3年次）	人数	作業療法評価学臨床実習（3年次）	人数	作業療法評価学臨床実習（3年次）	人数	総合臨床実習Ⅰ（4年次）	人数	総合臨床実習Ⅱ（4年次）	人数
実習期間	2021年9月6日（月）～11日（土）		対象となる在籍者なし		対象となる在籍者なし		対象となる在籍者なし		対象となる在籍者なし		対象となる在籍者なし	
巡回担当教員	鷲田孝保	千葉県千葉リハビリテーションセンター 中村古峽記念病院 千葉メディカルセンター 千葉病院 富家千葉病院										
	山崎郁子	千葉医療センター 柏戸病院 障害者支援施設デアフレンズ美浜 あゆもの中央病院 千葉南病院 篠崎病院										
	池田恭敏	千葉精神医療センター 千葉市障害者福祉センター 千葉市療育センター療育相談所 介護老人保健施設秀眉園 介護老人保健施設総和苑										
	百田貴洋	介護老人保健施設うらら 介護老人保健施設葵の園・はまの 介護老人保健施設若松ケアセンター 介護老人保健施設葵の園・緑区										
	千田直人	<註> 身体障害領域、精神障害領域、発達障害領域、老年期障害領域の4領域のうち、1人2領域の施設で実習を行う。 教員はそれぞれ3～4領域を担当する。										
	大塚栄子											
	大平雅弘											
	館岡周平											

2022年度の作業療法学専攻臨床実習一覧表

実習種別		基礎作業療法学見学実習（2年次）	人数	地域作業療法学実習（3年次）	人数	作業療法評価学臨床実習（3年次）	人数	作業療法評価学臨床実習（3年次）	人数	総合臨床実習Ⅰ（4年次）	人数	総合臨床実習Ⅱ（4年次）	人数
実習期間		2022年9月5日（月）～10日（土）		2022年9月12日（月）～17日（土）		2023年1月30日（月）～3月4日（土）①2週間、②2週間				対象となる在籍者なし		対象となる在籍者なし	
巡回担当教員	鷲田孝保	千葉県千葉リハビリテーションセンター 中村古峽記念病院 千葉メディカルセンター 千葉病院 富家千葉病院	介護老人保健施設葵の園・緑区	2	第2北総病院	1	東京都立東大和療育センター	1					
			介護老人保健施設偕楽園	2	第2北総病院付属 小児リハビリテーション事業所 かざぐるま① 篠崎病院 海上療養所 武蔵野中央病院	1 1 1 1	総和中央病院 児童発達施設 桐友学園 筑波学園病院 石崎病院	1 1 1 1					
	山崎郁子	千葉医療センター 柏戸病院 障害者支援施設デアフレンズ美浜 あゆもの中央病院 千葉南病院 篠崎病院	介護老人保健施設そうさぬくもりの郷	2	大多喜病院	1	戸田病院	1					
			介護老人保健施設睦沢の里	2	磯ヶ谷病院 川口さくら病院 三橋病院 浅井病院	1 1 1 1	袋田病院 ほしかわクリニックデイケア 汐ヶ崎病院 海道道厚生病院	1 1 1 1					
	池田恭敏	千葉精神医療センター 千葉市障害者福祉センター 千葉市療育センター療育相談所 介護老人保健施設秀眉園 介護老人保健施設総和苑	介護老人保健施設あゆみの	2	千葉メディカルセンター	1	旭神経内科リハビリテーション病院	1					
			介護老人保健施設ばらの里	2	たむら記念病院 船橋市立リハビリテーション病院 中村古峽記念病院 苑田第一病院	1 1 1 1	中沢病院 松戸整形外科病院 障害者支援施設デアフレンズ美浜 野田病院	1 1 1 1					
	百田貴洋	介護老人保健施設うらら 介護老人保健施設葵の園・はまの 介護老人保健施設若松ケアセンター 介護老人保健施設葵の園・緑区	介護老人保健施設老人ケアセンター浅井	2	介護老人保健施設えがお	1	介護老人保健施設ほうゆうの杜	1					
			介護老人保健施設秀眉園	2	千葉病院付属介護老人保健施設 介護老人保健施設老人ケアセンター浅井 訪問看護ステーションあすか 介護老人保健施設クレイン	1 1 1 1	介護老人保健施設あゆみの 介護老人保健施設ばらの里 介護老人保健施設やすらぎ 特別養護老人ホームまごころ館四街道	1 1 1 1					
千田直人	<註> 身体障害領域、精神障害領域、発達障害領域、老年障害領域の4領域のうち、1人2領域の施設で実習を行う。 教員はそれぞれ3～4領域を担当する。	介護老人保健施設エクセレントケア志津	2	東所沢病院	1	東京ベイ・浦安市川医療センター	1						
		介護老人保健施設のぞみ	2	東京天使病院	1	塩田記念病院	1						
大塚栄子		介護老人保健施設ほうゆうの杜	2	聖隷佐倉市民病院 川島整形外科 たてやま整形外科クリニック	1 1 1	亀田クリニック 白金整形外科病院 東京ちどり病院	1 1 1						
		介護老人保健施設あいあい	2	千葉市障害者福祉センター	1	千葉市療育センター 療育相談所	1						
大平雅弘		介護老人保健施設すこやかリハビリケアセンター	2	我孫子しこども発達センター	1	千葉市療育センター すぎのこルーム	1						
		介護老人保健施設クレイン	2	市原市発達支援センター 柏市子ども発達支援センター 心身障害児総合医療・療育センター	1 1 1	白井市子ども発達センター 高萩それいゆ病院 武蔵野中央病院	1 1 1						
舘岡周平		老人保健施設ミズ・ヘンテ記念ケアセンター	2	栗山中央病院	1	瑞江整形外科	1						
		介護老人保健施設うらら	2	武蔵台病院	1	安房地域医療センター	1						
		介護老人保健施設総和苑	2	鹿島病院 アクアリハビリテーション病院 千葉病院	1 1 1	富家千葉病院 亀田ファミリークリニック館山 千葉徳洲会病院	1 1 1						
		介護老人保健施設シルバーケア鎌ヶ谷	2	松戸市立総合医療センター	1	セコメック病院	1						
		介護老人保健施設葵の園・はまの	2	九十九里ホーム病院	1	千葉病院	1						
		介護老人保健施設若松ケアセンター	2	四街道徳洲会病院 セントマーガレット病院 武蔵野中央病院	1 1 1	ツチダクリニック 柏戸病院 土浦協同病院なめかた地域医療センター	1 1 1						

2023年度の作業療法学専攻臨床実習一覧表

実習種別	総合臨床実習Ⅰ（4年次）	人数	総合臨床実習Ⅱ（4年次）	人数	基礎作業療法学見学実習（2年次）	人数	地域作業療法学実習（3年次）	人数	作業療法評価学臨床実習（3年次）	人数	作業療法評価学臨床実習（3年次）	人数
実習期間	2023年4月10日（月）～9月30日（土）		8週間（Ⅰ）、8週間（Ⅱ）		2023年9月4日（月）～9日（土）		2023年9月11日（月）～16日（土）		2024年1月29日（月）～3月2日（土） ①2週間、②2週間			
巡回担当教員	驚田孝保	愛正会記念 茨城福祉医療センター 1 栗田病院 1 志村大宮病院 1 筑波記念病院 1 神立病院 1	愛正会記念 茨城福祉医療センター 1 ホスピ氏坂東 1 日立梅ヶ丘病院 1 筑波記念病院 1 神立病院 1	1 1 1 1 1	千葉県千葉リハビリテーションセンター 中村古峽記念病院 千葉メディカルセンター 千葉病院 富家千葉病院	2 2	介護老人保健施設葵の園・緑区 介護老人保健施設偕楽園	2 2	第2北総病院 第2北総病院付属 小児リハビリテーション事業所 かぎぐるま① 篠崎病院 海上療養所 武蔵野中央病院	1 1 1 1 1	東京都立東大和療育センター 総和中央病院 児童発達施設 桐友学園 筑波学園病院 石崎病院	1 1 1 1 1
	山崎郁子	船橋二和病院 1 木村病院 1 下総精神医療センター 1 あさかホスピタル 1 茨城県立 ころの医療センター 1	八千代病院 1 秋元病院 1 総武病院 1 千葉病院 1 成田病院 1	1 1 1 1 1	千葉医療センター 柏戸病院 障害者支援施設ディアフレンズ美浜 あゆもの中央病院 千葉南病院	2 2	介護老人保健施設そうさぬくもりの郷 介護老人保健施設陸沢の里	2 2	大多喜病院 磯ヶ谷病院 川口さくら病院 三橋病院 浅井病院	1 1 1 1 1	戸田病院 袋田病院 ほしかわクリニックデイケア 汐ヶ崎病院 北海道厚生病院	1 1 1 1 1
	池田恭敏	千葉県千葉リハビリテーションセンター 1 袖ヶ浦さつき台病院 1 新松戸中央総合病院 1 平和台病院 1 勝田台病院 1	袖ヶ浦さつき台病院 1 狭山神経内科病院 1 志村大宮病院 1 新八千代病院 1 館山病院 1	1 1 1 1 1	千葉精神医療センター 千葉市障害者福祉センター 千葉市療育センター療育相談所 介護老人保健施設秀眉園 介護老人保健施設総和苑	2 2	介護老人保健施設あゆみの 介護老人保健施設ばらの里	2 2	千葉メディカルセンター たむら記念病院 船橋市立リハビリテーション病院 中村古峽記念病院 苑田第一病院	1 1 1 1 1	旭神経内科リハビリテーション病院 中沢病院 松戸整形外科病院 障害者支援施設ディアフレンズ美浜 野田病院	1 1 1 1 1
	百田貴洋	介護老人保健施設ケアセンター 八潮 1 介護老人保健施設エスポワール市川 1 介護老人保健施設ハートケア市川 1 介護老人保健施設ケアセンター習志野 1 さかいリハ訪問看護ステーション・千葉 1	介護老人保健施設港南おおぞら 1 介護老人保健施設クレイン 1 介護老人保健施設やすらぎ 1 介護老人保健施設のぞみ 1 介護老人保健施設フェルマータ船橋 1	1 1 1 1 1	介護老人保健施設うらら 1 介護老人保健施設葵の園・はまの 1 介護老人保健施設若松ケアセンター 1 介護老人保健施設葵の園・緑区 1	2 2	介護老人保健施設老人ケアセンター浅井 介護老人保健施設秀眉園	2 2	介護老人保健施設えがお 千葉病院付属介護老人保健施設 介護老人保健施設老人ケアセンター浅井 訪問看護ステーションあすか 介護老人保健施設クレイン	1 1 1 1 1	介護老人保健施設ほうゆうの杜 介護老人保健施設あゆみの 介護老人保健施設ばらの里 介護老人保健施設やすらぎ 特別養護老人ホームまごころ館四街道	1 1 1 1 1
	千田直人	北総白井病院 1 八潮中央総合病院 1 総合病院 国保旭中央病院 1 山之内病院 1 千葉大学医学部付属病院 1	八潮中央総合病院 1 イムス板橋リハビリテーション病院 1 聖隷佐倉市民病院 1 亀田総合病院（メディカルセンター） 1 船橋総合病院 1	1 1 1 1 1	<註> 身体障害領域、精神障害領域、発達障害領域、老年期障害領域の4領域のうち、1人2領域の施設で実習を行う。 教員はそれぞれ3～4領域を担当する。	2 2 2	介護老人保健施設エクセレントケア志津 介護老人保健施設のぞみ 介護老人保健施設ほうゆうの杜	2 2 2	東所沢病院 東京天使病院 聖隷佐倉市民病院 川島整形外科 たてやま整形外科クリニック	1 1 1 1 1	東京ベイ・浦安市川医療センター 塩田記念病院 亀田クリニック 白金整形外科病院 東京ちどり病院	1 1 1 1 1
	大塚栄子	東京湾岸リハビリテーション病院 1 つくばセントラル病院 1 久喜すずのき病院 1 みやざきホスピタル 1 大内病院 1	千葉医療センター 1 亀田リハビリテーション病院 1 リハビリテーション病院さらしな 1 三芳病院 1 市原鶴岡病院 1	1 1 1 1 1	介護老人保健施設あいあい 介護老人保健施設すこやかリハビリケアセンター 介護老人保健施設クレイン	2 2 2	千葉市障害者福祉センター 我孫子しこども発達センター 市原市発達支援センター 柏市子ども発達支援センター 心身障害児総合医療・療育センター	1 1 1 1 1	千葉市療育センター 療育相談所 千葉市療育センター すぎのこルーム 白井市子ども発達センター 高萩それいゆ病院 武蔵野中央病院	1 1 1 1 1	千葉市療育センター 療育相談所 千葉市療育センター すぎのこルーム 白井市子ども発達センター 高萩それいゆ病院 武蔵野中央病院	1 1 1 1 1
	大平雅弘	横浜なみきリハビリテーション病院 1 埼玉みさと総合リハビリテーション病院 1 茂原中央病院 1 新座病院 1 山王台病院 1	五井病院 1 斎藤労災病院 1 千葉健生病院 1 牛尾病院 1 おゆみの中央病院 1	1 1 1 1 1	老人保健施設ミズ・ヘンテ記念ケアセンター 介護老人保健施設うらら 介護老人保健施設総和苑	2 2 2	栗山中央病院 武蔵台病院 鹿島病院 アクアリハビリテーション病院 千葉病院	1 1 1 1 1	瑞江整形外科 安房地域医療センター 富家千葉病院 亀田ファミリークリニック館山 千葉徳洲会病院	1 1 1 1 1	瑞江整形外科 安房地域医療センター 富家千葉病院 亀田ファミリークリニック館山 千葉徳洲会病院	1 1 1 1 1
	館岡周平	東京都立松沢病院 1 総武病院 1 千葉病院 1 中山病院 1 とよさと病院 1	豊後荘病院 1 朝田病院 1 成増厚生病院 1 栗田病院 1 さかいリハ訪問看護ステーション・船橋 1	1 1 1 1 1	介護老人保健施設シルバーケア鎌ヶ谷 介護老人保健施設葵の園・はまの 介護老人保健施設若松ケアセンター	2 2 2	松戸市立総合医療センター 九十九里ホーム病院 四街道徳洲会病院 セントマーガレット病院 武蔵野中央病院	1 1 1 1 1	セコメデック病院 千葉病院 ツチダクリニック 柏戸病院 土浦協同病院なめかた地域医療センター	1 1 1 1 1	セコメデック病院 千葉病院 ツチダクリニック 柏戸病院 土浦協同病院なめかた地域医療センター	1 1 1 1 1

植草学園大学点検評価規程

[制 定 平成29年 4月26日]

(目的)

第1条 この規程は、植草学園大学学則第3条第3項の規定に基づき、植草学園大学（以下「本学」という。）における自ら行う点検及び評価（以下「自己点検評価」という。）及び外部評価並びに認証評価（以下これらを総称するときは「点検評価」という。）に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(評価の方針等)

第2条 本学においては、教育研究活動及び管理運営等の状況について自ら点検評価を行い、内部質保証を確保し、本学の目的及び社会的使命の達成に努めるものとする。

2 自己点検評価の結果について客観性・公平性を担保し、教育研究活動及び管理運営等の水準向上に資するため、学外者による外部評価を行う。

3 認証評価機関が行う機関別認証評価を受けるにあたっては、前項に定める点検評価の結果に基づいて行う。

(点検評価の範囲等)

第3条 点検評価は、全学的な事項（図書館、子育て支援・教育実践センター及び特別支援教育研究センターに関する事項を含む。以下同じ。）及び各学部に関する事項について行う。

(自己点検評価委員会)

第4条 点検評価を行うため、自己点検評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(審議事項)

第5条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 自己点検評価の基本方針に関する事項
- 二 自己点検評価の実施計画に関する事項
- 三 自己点検評価項目に関する事項
- 四 認証評価に関する事項
- 五 学外者による評価（認証評価を除く。以下「外部評価」という。）に関する事項
- 六 自己点検評価及び外部評価の結果並びに認証評価により改善が必要と認められる事項の整理及びその結果の活用等に関する事項
- 七 自己点検評価の結果の公表に関する事項
- 八 その他自己点検評価に関し必要な事項

2 前項各号に掲げる事項のうち、他の委員会等の所掌に関するものについては、必要に応じ、当該事項に関連する委員会等と連携を図りつつ審議を進めるものとする。

(組織)

第6条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 副学長
- 二 各学部長
- 三 図書館長
- 四 各学部の学科主任

- 五 全学の学生委員会及び入試委員会の長
- 六 各学部の教務委員会及びキャリア支援委員会の長
- 七 学園事務局長
- 八 大学事務局長
- 九 学園事務局及び大学事務局の各課・室の長
- 十 学長が指名した者

(任期)

第7条 前条に掲げる委員の任期は、2年を超えない範囲で学長がその都度定める。

(委員長及び副委員長)

第8条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、学長が指名する者をもって充て、副委員長は、委員長が指名した者をもって充てる。

(会議)

第9条 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(会議の成立等)

第10条 委員会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開くことができない。

- 2 議決を要する事項については、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(専門部会)

第11条 委員会に、必要に応じて専門部会を置くことができる。

- 2 専門部会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(外部評価委員会)

第12条 委員会に外部評価委員会を置く

- 2 外部評価委員会は、委員会が委嘱する学外の有識者若干名をもって構成する。
- 3 委員会は自己点検評価の結果を付して、外部評価委員会に評価作業を付託する。

(点検評価事項)

第13条 委員会は、次に掲げる事項について点検評価を行う。

- 一 大学（学部）のあり方及び教育研究上の目的に関する事項
- 二 学生の受入れに関する事項
- 三 教育活動に関する事項
- 四 研究活動に関する事項
- 五 学生支援に関する事項
- 六 管理運営、組織及び機構に関する事項
- 七 教員組織に関する事項
- 八 国際交流に関する事項
- 九 社会との連携及び社会への貢献に関する事項
- 十 施設設備及び環境に関する事項
- 十一 図書及び学術情報に関する事項
- 十二 その他委員会が必要と認める事項

2 前項に定める事項に関する具体的点検評価項目については、各年度毎に委員会が別に定める。

(点検評価の取りまとめ)

第14条 委員会は、各年度毎に、点検評価の結果を取りまとめ、学長に報告するとともに、その要旨を公表するものとする。

(点検評価の結果への対応)

第15条 学長は、委員会及び外部評価委員会の点検評価の結果に基づき、改善が必要と認められるものについては、適切な措置をとるよう努めるものとする。

(庶務)

第16条 点検評価に関する庶務は、企画・情報管理室において処理する。

(規程の改廃)

第17条 この規程の改廃は、学長が自己点検評価委員会の意見を聴いて行う。

(補則)

第18条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則（平成29年4月26日学長決定）

- 1 この規程は、平成29年4月26日から施行し、4月1日から適用する。
- 2 植草学園大学自己点検評価に関する規程（平成20年4月1日制定）は、廃止する。

〔制定事由〕

自己点検評価に際し、学外者の参画を得て客観的視点を取り入れることとし、外部評価を実施するため、植草学園大学点検評価規程を制定する。

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

- (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況・・・・・・・・・・P.1
 - ① 学生の確保の見通し・・・・・・・・・・P.1
 - ② 学生確保に向けた具体的な取組状況・・・・・・・・・・P.5
- (2) 人材需要の動向等社会の要請・・・・・・・・・・P.8
 - ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）・・・・・・・・P.8
 - ② 上記①が社会的，地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠・・・・・・・・・・P.8
 - ③ 採用ニーズ調査・・・・・・・・・・P.9

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

1. 定員設定の考え方

植草学園大学保健医療学部は、現行の理学療法学科を改組し、平成 32 年度からリハビリテーション学科理学療法学専攻と作業療法学専攻の 2 専攻体制とする。

理学療法学専攻の入学定員は、現行の理学療法学科の入学定員 40 名を変更しない。40 名の定員は「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則」に則ったものである。

新設する作業療法学専攻については、指定規則に則り入学定員を 40 名に設定した。千葉県内の作業療法士養成大学の定員をみると、国際医療福祉大学成田保健医療学部作業療法学科は 40 名、帝京平成大学健康医療スポーツ学部作業療法学科は 40 名である。また、東北・関東信越地区の作業療法士養成大学 30 校の入学定員も 30 名が 2 校で、50 名以上が 3 校、40 名が 18 校ある。近隣の他大学の状況(表 1 参照)、質問紙によるニーズ調査結果及び教育効果を考慮し、定員を 40 名に設定した。

また、平成 32 年度から「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則」が一部改正され、専任教員の要件、臨床実習の拡充、教育内容等が変更されるが、両専攻ともそれぞれ 40 名の定員で対応可能である。

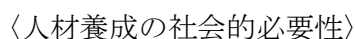
(表 1) 千葉県内の養成施設(大学)の定員

理学療法士養成校			作業療法士養成校		
養成校名 (開設年)	定員	所在地	養成校名 (開設年)	定員	所在地
帝京平成大学 健康医療スポーツ学部理学療法学科 2008年 *2012年3月1期生卒業	80	市原市 うるいど	帝京平成大学 健康医療スポーツ学部作業療法学科 2008年 *2012年3月1期生卒業	40	市原市 うるいど
了徳寺大学 健康科学部理学療法学科 2006年 *2011年3月1期生卒業	80	浦安市 明海	国際医療福祉大学 成田保健医療学部作業療法学科 2016年 *2020年3月1期生卒業	40	成田市
国際医療福祉大学 成田保健医療学部理学療法学科 2016年 *2020年3月1期生卒業	80	成田市			
城西国際大学 福祉総合学部理学療法学科 2016年 *2020年3月1期生卒業	80	東金市			

2. 学生確保の見通し

平成 30 年度の本学全体(発達教育学部と保健医療学部)の受験数 330 人中、千葉県内出

(図1) 平成30年度入試 県別志願者数



厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会 第2回 理学療法士・作業療法士需給分科会」の報告によると、千葉県の人口10万人当たりの理学療法士・作業療法士数は近隣の東京都、神奈川県、埼玉県とともに全国平均より低くなっている。特に作業療法士数は、約30人と全国ワースト5位である。(資料2 人口10万人あたりの理学療法士・作業療法士数(平成26年度))したがって、千葉県保健医療計画では、地域リハビリテーション支援体制の整備、総合リハビリテーションセンター機能の確保、高次脳機能障害支援体制の整備を重点項目に挙げており、リハビリテーションスタッフを含む医療従事者の安定した

確保と定着化を目指している。人材養成の社会的必要性はますます大きくなっている。

〈他大学の志願者数等〉

千葉県及び東京都にある理学療法士、作業療法士養成課程のある5私立大学の志願者数は(表2)の通りであり、理学療法士、作業療法士の志願者数は入学定員を大きく上回っており、進学ニーズがある。

(表2) 平成30年度 近隣大学における関連学科の志願者数

	養成校名	学部	学科	専攻	定員	志願者数	所在地
千葉	帝京平成大学□	健康医療スポーツ学部	作業療法学科		40	127	市原市 うりいど
			理学療法学科		80	367	
	国際医療福祉大学	成田保健医療学部	作業療法学科		40	169	成田市
			理学療法学科		80	457	
東京	杏林大学□	保健学部	作業療法学科		54	352	三鷹市
			理学療法学科		40	1017	八王子市
	東京工科大学□	医療保健学部	作業療法学科		40	599	大田区 蒲田
			理学療法学科		80	1175	
	東京医療学院大学□	保健医療学部	リハビリテーション学科	作業療法専攻	30	65	多摩市
			リハビリテーション学科	理学療法専攻	70	217	

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

定員増となる新設の作業療法学専攻については、設置構想を検討するにあたり、第三者機関によるニーズ調査を実施した。

【第三者機関による外部調査結果の概要】

- ①調査目的：新設のリハビリテーション学科作業療法学専攻の学生確保の見通しを、外部の公正な第三者機関によるアンケートを用いて図ることを目的とした。
- ②調査期間：平成30年7月～9月
- ③調査対象：千葉県全域の高校190校に通う高校2年生（内実施校40校）
- ④有効件数：6,719件
- ⑤有効件数率：99.97%
- ⑥調査実施機関：株式会社高等教育総合研究所
- ⑦実施校数：アンケート実施校数は(表3)の通りである。
(資料3 高校生アンケート調査報告書)

(表 3) アンケート実施校

所在地	設置者	高校数	割合
千葉県	県立	21	52.5%
	私立	17	42.5%
	市立	2	5.0%
	合計	40	100.0%

- ⑧回答者の男女比：男性 46.5%，女性 53.5%とほぼ半々であるが，やや女性が多い。
 ⑨回答者の卒業後の希望進路：回答者の約 67%が大学進学を希望している。（表 4 参照）

(表 4) 卒業後の希望進路

選 択 項 目	回答数	構成比
大学	4,496	66.9%
短期大学	570	8.5%
専門学校	1,775	26.4%
就職	872	13.0%
その他	141	2.1%
無回答		0.3%

- ⑩本学リハビリテーション学科作業療法学専攻への 進学希望者は，「合格した場合入学したい」との回答数は 100 名，「併願の結果によっては入学したい」が，183 名であった。（表 5 参照）これは入学定員の 40 名を大きく上回る希望者数であり，定員は十分に確保できると判断した。

(表 5) 居住地別入学意欲集計表

選択項目		入学したい		併願先の結果によっては入学したい		合計	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	千葉県	99	99.0%	178	97.3%	277	97.9%
2	茨城県	0	0.0%	4	2.2%	4	1.4%
3	埼玉県	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4	東京都	1	1.0%	1	0.5%	2	0.7%
5	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計		100	100.0%	183	100.0%	283	100.0%

- ⑪本学を受験したい理由について

本学を受験したい理由は「資格取得（作業療法士）」が 35.6 %と高い。さらに，「本学の教育内容に興味・関心がある。」32.2%，「障害のある人の役に立ちたいから」が，23.8%と高い割合にある。（表 6 参照）

新設するリハビリテーション学科の教育目的は、本学の教育理念に基づき、共生社会を意識し、その実現に向けて寄与する力を持つ理学療法士、作業療法士を養成することである。このことに受験希望理由があることは、本学がリハビリテーション学科を新設する妥当性があり、志願者を確保できるといえる。

(表 6) 受験したい理由

	選択項目	回答数	構成比
1	希望する資格(作業療法士)が取得できるから	106	35.6%
2	障害のある人の役に立ちたいから	71	23.8%
3	教育内容に興味・関心があるから	96	32.2%
4	リハビリテーションに関心があり、希望する職業に近づけるから	75	25.2%
5	養成する人材像や特色に共感できるから	21	7.0%
6	リハビリロボットに興味があるから	14	4.7%
7	植草学園大に良好なイメージを持っているから	31	10.4%
8	自宅からの通学が便利だから	16	5.4%
9	音楽療法士の資格がとれるから	19	6.4%
10	おもちゃインストラクターの資格がとれるから	16	5.4%
11	その他	4	1.3%
	無回答	7	2.3%

ウ 学生納付金の設定の考え方

理学療法士及び作業療法士を養成する北海道、東北、関東圏の私立大学 31 校の初年度納入金を参考に、教育の質を担保するために適切な金額を検討し、設定した。他大学の初年度納付金は、資料 4 理学療法士、作業療法士養成私立大学初年度納入金のとおりである。

他大学の初年度納入金は、概ね 160 万～200 万の範囲である。本学は、リハビリテーションに必須の臨床実習等の費用を教育充実費として含み別途徴収していない。このことから他大学と比較しても妥当な金額である。

初年度納付金 1, 870, 000 円

内訳

入学金 270, 000 円, 授業料 850, 000 円, 施設費 480, 000 円,
教育充実費 270, 000 円

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

既設学部の広報活動に加え、新設予定のリハビリテーション学科について広く周知し、学生確保に向け広報活動を展開する予定である。

その際、文部科学省の「平成 31 年度大学設置等に係る提出書類の作成の手引き」の「認可又は届出前の PR 活動及び学生募集について」を遵守して行う。

1. 高等学校教員・進路媒体業者対象説明会

千葉県及び近隣都県の高等学校の教員及び進路媒体業者を対象とした説明会を開催する。各高等学校等における進路指導担当及び進路媒体業者に向け、本学新設のリハビリテーション学科について、教育活動、教育内容、養成する人材等を周知する。

平成 30 年度は平成 31 年 1 月 15 日に本学において開催した。

2. オープンキャンパス

現理学療法学科教員及び新設の作業療法学専攻教員予定者（設置準備のため学術顧問として既に就任）によるリハビリテーション学科の紹介及び授業体験（ミニ授業）等を実施する。

2020(令和 2)年度新カリキュラム用備品等を早期に準備し、改正される理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に対応したカリキュラム内容と、本学の特色を広く周知する。体験授業、建設予定のリハビリテーション学科専用棟の紹介等を積極的に行う。

(資料 5 オープンキャンパス日程：平成 30 年度，31 年度)

3. 学外進路相談会

千葉県及び近隣都県で開催される進路相談会に参加し、新設リハビリテーション学科の特色等を周知する。

4. 高等学校への訪問による広報

過去に本学への入学者がいる高等学校を中心として千葉県内及び近隣都県の高等学校に直接訪問し、生徒及び教員に教育活動、施設設備環境等を周知し、リハビリテーション学科の認知度を高める。(資料 6 平成 28 年度～平成 30 年度高校訪問回数)

5. 新 3 年生向け大学紹介冊子の配布及び進学情報誌、ホームページへの掲載

新 3 年生向けにリハビリテーション学科の内容や特色を紹介する冊子を作成し、ダイレクトメールを 7,500 冊発送する。進学情報誌へ増設企画ページにて新学科を広報する。また、ホームページへの掲載等広報活動を強化する。

6. 高大連携授業における広報

本学では現在、本学と高大連携協定を締結している高等学校(20 校)を中心に、高校生が大学の授業を体験する体験授業を実施している。実際に大学生活を体験する機会を設け、本学の教育分野に直接触れ、進路選択の一助となるよう平成 30 年度は 4 回実施した。(表 7 及び資料 7 高大連携授業)

既存の理学療法学科の授業は、毎回好評を得ている。

参加者のアンケートでは、「理学療法士がどういう活動をしているのかを具体的に知ることができた。」「理学療法士になるうえで、心がけることを学べた。」などの好意的な意見を得られた。リハビリテーション学科についても専攻別に、体験授業を複数回実施する。

(表 7) 平成 30 年度 高大連携授業 理学療法学科授業科目 参加状況

回数	日付	科目名	参加者
第 1 回	6月15日	理学療法士が行う測定器なしで筋力を測定する方法 * 高大連携特別授業	7 名
		運動療法学実習	7 名
第 2 回	7月16日	運動器系疾患理学療法学実習	17 名
		生理学	13 名
第 3 回	9月24日	基礎生物学	22 名
		中枢神経系理学療法	13 名
第 4 回	2月12日	理学療法士が行う測定器なしで筋力を測定する方法 * 高大連携特別授業	2 名
		スポーツ理学療法学	4 名

7. 多様な入学試験

一般入試の他、AO入試、推薦入試、大学センター試験利用入試、社会人特別選抜試験、帰国生徒特別選抜試験、外国人留学生特別選抜等、多様な入学試験を実施している。(表 8 参照)

(表 8) 植草学園大学 保健医療学部理学療法学科 平成 31 年度入試方法

試験方法		募集人員	選考方法
A0入試		8 名	面接(15分程度)・基礎学力試験(小論文)・書類審査
推薦入試	指定校制	6 名	指定校制：面接(10分)
	公募制		公募制：面接(10分)・基礎学力試験(小論文) 評定平均値3.3以上の者
植草学園大学附属高等学校特別選抜試験		若干名	面接(10分)・書類審査
一般入試		18 名	国語(近代以降の文章)、英語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ)、数学(数学Ⅰ・数学A)、理科(生物基礎)から2教科・面接(10分) (注)受験する教科は出願時に選択
大学入試センター試験利用入試		7 名	国語(近代以降の文章)、数学(数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会・情報)・理科(物理基礎、物理、化学基礎、化学、生物基礎、生物、地学基礎、地学)・外国語(英、独、仏)から2教科・2科目
社会人特別選抜試験		若干名	小論文・面接(10分)・書類審査

8. スカラシップ制度・学費等納付金の減免措置

成績優秀者に対し、入学金や授業料を減免する制度(スカラシップ制度)、

震災等の被災者へ学費等納付金の減免措置等を実施し、植草学園大学で学びたい学生へのサポート体制を設けている。(資料 8 植草学園大学 スカラシップ制度・学費等納付金の減免措置一覧参照)

9. 同窓会組織による広報活動

明治 37 年の創設以来 110 余年、植草学園さくら会（連合同窓会）の組織を持つ。同窓会報、毎年の学園祭への参加、総会の開催等活発な活動を展開している。

この同窓会の会報に新設学科紹介を掲載し、また発送の際、パンフレットを同封し、周知する。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

平成 24 年度、中教審の「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」（答申）では少子高齢化社会等の中で、誰もが必要な医療・介護・保育等を安心して受けられる社会システムの構築と維持、そのために必要な人材の育成などの必要性が提言された。

本学においては、リハビリテーション領域を対象として、これまで身体的な自立を中心に支援を行う理学療法士の養成を行ってきた。リハビリテーションの社会的ニーズの多様性に対応するため、理学療法士に加えて、応用的作業や社会適応能力改善の任務をもつ作業療法士の養成が必要である。これにより身体的、精神的、社会的側面から自立生活の支援および QOL の向上を支援するリハビリテーションの向上に貢献できる人材の育成の幅を広げることができる。新設する学科では、平成 30 年 3 月 8 日中教審「第 3 期教育振興基本計画について（答申）」を踏まえ、以下のような人材を養成する。

1. 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を持つ理学療法士・作業療法士を養成する。
2. 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を持つ理学療法士・作業療法士を育成する。
3. 共生社会を意識し、その実現に向けて寄与する力を持つ理学療法士・作業療法士を養成する。
4. 高度化、多様化するリハビリテーションの業務に対応可能であり、現場において医療・福祉関係職員との適切な連携がとれ、リハビリテーションに関して指導的役割を果たせる理学療法士・作業療法士を養成する。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

(ア) 労働需要から見た医療福祉関連業務の拡大の見通し

現在起こりつつある AI、ロボット、IoT 等の第 4 次産業革命は、経済社会に大きなインパクトで産業構造の変化をもたらすことが予想されている。2030(令和 12)年における産業別就業者数は多くの業種で縮小するが、情報通信業や医療・福祉関連の業種では拡大すること

が予想されている。(資料9 独立行政法人労働政策研究・研修機構「平成27年労働力需給の推計」)

特に、リハビリテーションを含む医療・福祉関連の業種においては、人が直接対応することが質の向上につながる高付加で質的なサービス業であり、すべてを自動化することは不可能である。今後進む高齢化社会において、個々の障害だけでなく生活全般にわたり支援を行う理学療法士・作業療法士の役割はますます大きくなっていく。また、医療・福祉分野では高等教育修了者の割合が高く、大学におけるリハビリテーション専門家養成の必要性がある。

(イ) 千葉県における理学療法士・作業療法士の需給見通し

千葉県の75歳以上の人口は、平成27年には約70万人であったが、今後の10年間で約110万人(平成27年の約1.5倍)に増加し、その後しばらくはその人口が継続すると予想されている(資料10 千葉県保健医療計画(平成30年))。

前述のように、厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会 第2回 理学療法士・作業療法士需給分科会」の報告によると、千葉県の人口10万人当たりの理学療法士・作業療法士数は近隣の東京都、神奈川県、埼玉県とともに全国平均より低くなっている。(資料2 人口10万人当たりの理学療法士・作業療法士数(平成26年度)) 特に作業療法士数は約30人と全国ワースト5位である。

そのため、千葉県保健医療計画(平成30年度～平成35年度)では、地域リハビリテーション支援体制の整備、総合リハビリテーションセンター機能の確保、高次脳機能障害支援体制の整備を重点項目に挙げており、リハビリテーションスタッフを含む医療従事者の安定した確保と定着化を目指している。

平成30年8月時点で、千葉県内には、理学療法士を養成する4年制大学が6校、専門学校が5校ある。入学定員は合わせて、685人である。作業療法士を養成する4年制大学が3校、専門学校が3校ある。入学定員は合わせて、215人である(資料11 千葉県内理学療法士、作業療法士養成校一覧)。本学における平成29年度の理学療法士の求人数は700施設にのぼり、開学以来、新規卒業生の就職率は100%を維持している(資料12 保健医療学部就職状況)。

作業療法士については、養成施設および卒業生が少ないために理学療法士以上に需要が見込まれている。また、本学の県内就職率は75%と近隣の大学に比較して高くなっている(ちば産学官連携プラットフォーム構築会議)(資料13 千葉市内大学の地元就職率)。このことは、本学の卒業生が地域に定着していることを示すものである。したがって、本学リハビリテーション学科は地域リハビリテーションの構築に貢献できる人材養成施設と成り得る。

③ 採用ニーズ調査

前述のように、これまでの本学保健医療学部理学療法学科における卒業生の求人数は定員の20倍もあり、就職率はほぼ100%を維持している。また、千葉県の人口10万人当たりの理学療法士数は近隣の東京都、神奈川県、埼玉県とともに全国平均より低くなっ

ているため、改組されたリハビリテーション学科理学療法学専攻の卒業生の就職先は今後も確保できる見通しである。

新設の作業療法学専攻の卒業予定者に対する採用ニーズ調査を第三者機関においてアンケート調査を行った。調査の概要と調査結果（資料 14 採用意向アンケート調査報告書）の要点は以下の通りである。

調査目的：2020（令和 2）年 4 月に開設を計画している植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻に関して、医療機関・施設が期待する教育内容、採用意向等を大学の的確に把握し、今後の計画推進のための参考資料とすることを目的とした。

調査対象：千葉県を中心に茨城県、東京都、埼玉県、神奈川県に所在する医療機関・施設およびこれまでの理学療法学専攻の実習受け入れ先の合計 693 事業所を対象に、アンケート調査を実施した。

実施時期：平成 30 年 7 月から 9 月に実施。

調査委託先：調査の客観性を担保する観点から、第三者機関の「株式会社高等教育総合研究所」に委託した。

結 果：植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻の卒業生に対して、60 件が「採用したい」、63 件が「採用を検討したい」と回答し、合計で 6 割以上に当たる 123 件の医療機関・施設から採用意欲を示す結果を得た。業種別で見ると、「採用したい」「採用を検討したい」と回答したものが、病院が一番多く 62 件、2 番目は介護老人保健施設で 36 件となった。

採用意欲を示した 123 件に採用可能人数を質問し、件数と採用人数をまとめたのが表 9 採用可能人数の合計である。「採用可能であると思われる人数」に 109 名、「採用を検討したい」と回答した医療機関・施設が 71 名で、合計 180 名が採用可能であるとの結果が得られた。入学定員の 40 名を大きく上回る採用意欲が示されたことで、卒業後の進路は十分に確保できると判断した。

（表 9） 採用可能人数の合計

選択項目	採用したい		採用を検討したい		回答数	合計人数
	回答数	合計人数	回答数	合計人数		
1名	16	16名	20	20名	36	36名
2名	10	20名	6	12名	16	32名
3名	10	30名	1	3名	11	33名
4名	0	0名	0	0名	0	0名
5名以上	5	25名	0	0名	0	25名
人数は未確定	18	18名	36	36名	54	54名
無回答	1	0名	0	0名	1	0名
合計	60	109名	63	71名	118	180名
※「人数は未確定」は1回答につき1人として集計した。						
※※「5名以上」は最低である5名として集計した。						

資料目次

資料 1 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士需給調査

資料 2 人口 10 万人あたりの理学療法士・作業療法士数（平成 26 年度）

資料 3 高校生アンケート調査報告書

資料 4 理学療法士，作業療法士養成私立大学初年度納入金

資料 5 オープンキャンパス日程：平成 30 年度，31 年度

資料 6 平成 28 年度～平成 30 年度高校訪問回数

資料 7 高大連携授業

資料 8 植草学園大学 スカラシップ制度・学費等納付金の減免措置一覧

資料 9 独立行政法人労働政策研究・研修機構「平成 27 年 労働力需給の推計」

資料 10 千葉県保健医療計画（平成 30 年）

資料 11 千葉県内理学療法士，作業療法士養成校一覧

資料 12 保健医療学部就職状況

資料 13 千葉市内大学の地元就職率

資料 14 採用意向アンケート調査報告書

2-3. 現在、貴院において数は充足していますか。

(1) 理学療法士

※1：採算上（経営上必要な人員数）
※2：運営上（患者の状況に応じた必要な人員）

	基準上		採算上 ※1		運営上※2	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
はい	834	89.6%	561	60.4%	424	45.6%
いいえ	36	3.9%	170	18.3%	345	37.1%
どちらともいえない	61	6.6%	198	21.3%	161	17.3%
合計	931	100.0%	929	100.0%	930	100.0%



基準上は、ほぼすべての施設が充足しているが（89.6%）、採算上充足しているについては、60.4%、運営上は、45.6%と減少し、充足していないと答えた割合が増加した。基準上の充足はしているが、経営上必要とする人員が不足し、患者に対し十分なリハビリが提供できていない施設があることがわかる。※P.26自由記載参照

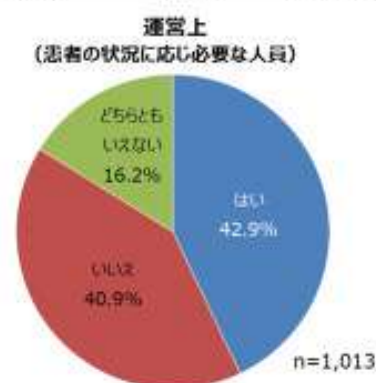
四病院団体協議会

2-3. 現在、貴院において数は充足していますか。

(2) 作業療法士

※1：採算上（経営上必要な人員数）
※2：運営上（患者の状況に応じた必要な人員）

	基準上		採算上 ※1		運営上 ※2	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
はい	920	90.6%	598	59.0%	435	42.9%
いいえ	57	5.6%	224	22.1%	414	40.9%
どちらともいえない	38	3.7%	191	18.9%	164	16.2%
合計	1,015	100.0%	1,013	100.0%	1,013	100.0%

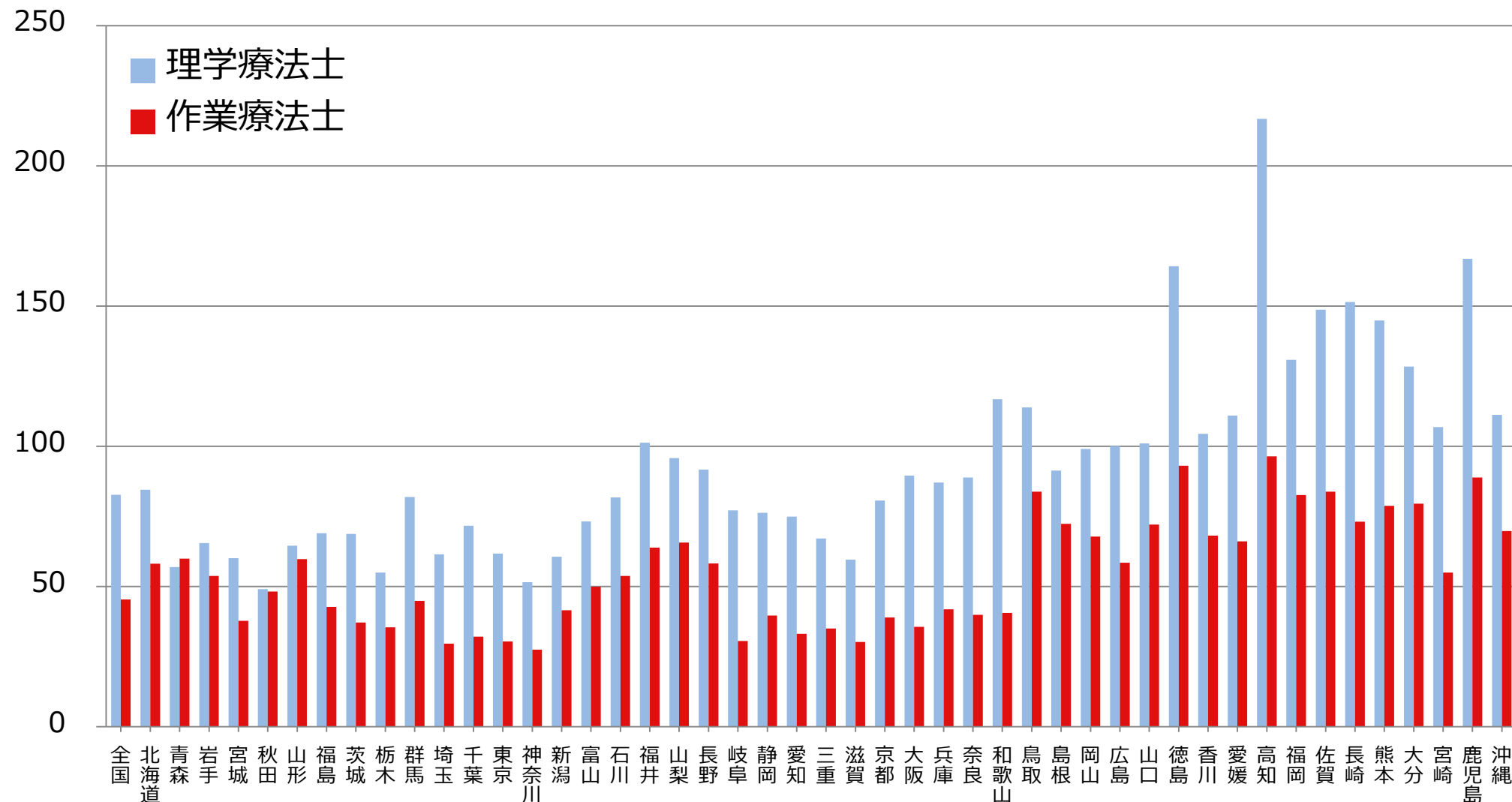


基準上は、ほぼすべての施設が充足しているが（90.6%）、採算上充足しているについては、59.0%、運営上は、42.9%となり減少し、充足していないと答えた割合が増加した。基準上の充足はしているが、経営上必要とする人員が不足し、患者に対し十分なリハビリが提供できていない施設があることがわかる。※P.26自由記載参照

四病院団体協議会

【資料2】

(人) 平成26年度 人口10万対理学療法士・作業療法士数（常勤換算従事者数）



出典：「平成26年医療施設調査・病院報告」、「平成26年介護サービス施設・事業所調査」、「人口推計（平成26年10月1日現在）」

出典：厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会 第2回 理学療法士・作業療法士需給分科会」
https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000122252_3.pdf

植草学園大学
保健医療学部
「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」
設置構想に係るニーズアセスメント調査
【高校生アンケート調査】
報告書

平成 30 年 11 月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1	調査の概要	1
2	全質問項目の集計結果	3
3	集計結果のポイント	7

添付資料

「植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）についての高校生アンケート調査」用紙

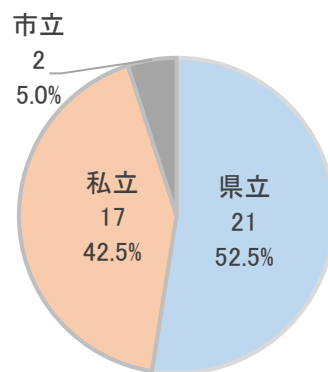
1 調査の概要

- ◆ 調査目的 : 本調査は、植草学園大学が平成 32（2020）年 4 月に設置を構想中の「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」の学生確保の見通しを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。
- ◆ 調査期間 : 平成 30 年 7 月～9 月
- ◆ 調査対象 : 植草学園大学（千葉県千葉市）のキャンパスへの自宅通学が現実的である千葉県全域の高校 190 校に通う生徒で、平成 32 年度の大学入試を受験する可能性が最も高い、平成 30 年度の高校 2 年生を対象とした。
- ◆ 調査方法 : 上記 190 校の高校に郵送でアンケート実施を依頼し、実施協力への承認が得られた 40 校にアンケートを送付した。各校の教員が調査対象である高校 2 年生にアンケート用紙を配布し、回答終了後その場で回収した。
- ◆ 調査内容 : アンケート項目は全 9 問で、全て選択肢式とした。
主な質問内容は以下の通りである。
『回答者の基本情報（性別・居住地）について』
『回答者の高校卒業後の希望進路について』
『植草学園大学保健医療学部「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」への受験・入学意欲について』
- ◆ 実施校 : 40 校（実施率 21.1％／依頼数 190 校）
- ◆ 有効件数 : 6,719 件（回収件数 6,721 件／有効件数率 99.97％）
※問 1（性別）と問 2（居住地）いずれかに無回答であった回答 2 件を無効回答とした。
- ◆ 実施高校 : 本アンケートにご協力いただいた 40 校の詳細は次の通り。

1. 実施高校数

所在地	設置者	高校数	割合
千葉県	県立	21	52.5%
	私立	17	42.5%
	市立	2	5.0%
	合計	40	100.0%

2. 設置者別実施高校数の割合



※以上、パーセンテージは、小数点第二位以下四捨五入

2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%) はいずれも、少数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

3～6 ページは、アンケートで回答を得た 6,719 件の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	男性	3,127	46.5%
2	女性	3,592	53.5%
合計		6,719	100.0%

問2 あなたが住んでいる都道府県をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	千葉県	6,635	98.7%
2	茨城県	38	0.6%
3	埼玉県	8	0.1%
4	東京都	30	0.4%
5	その他	8	0.1%
合計		6,719	100.0%

問3 高校卒業後の希望進路についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※複数回答項目のため、回答数は延べ。

※構成比は、回答者 6,719 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目		回答数	構成比
1	大学	4,496	66.9%
2	短期大学	570	8.5%
3	専門学校	1,775	26.4%
4	就職	872	13.0%
5	その他	141	2.1%
	無回答	21	0.3%

問4 あなたが将来希望する進路をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	一般企業	1,226	18.2%
2	公務員・団体職員	750	11.2%
3	教員	349	5.2%
4	専門職(資格をいかす職業)	1,873	27.9%
5	起業・会社経営	76	1.1%
6	まだ決めていない	2,250	33.5%
7	その他	163	2.4%
	無回答	32	0.5%
合計		6,719	100.0%

問5 あなたは“作業療法士”という国家資格を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	仕事内容などを知っている	591	8.8%
2	名前は聞いたことがある	2,279	33.9%
3	知らなかった	3,832	57.0%
	無回答	17	0.3%
合計		6,719	100.0%

問6 あなたは、植草学園大学のリハビリテーション学科作業療法学専攻(仮称)を受験したいと思
いますか。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	受験したい	298	4.4%
2	受験しない	6,317	94.0%
	無回答	104	1.5%
合計		6,719	100.0%

問7、問8は問6で「1. 受験したい」と回答した298人が回答対象である。

問7 植草学園大学のリハビリテーション学科作業療法学専攻(仮称)を受験したい理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※複数回答項目のため、回答数は延べ。

※構成比は、回答者298人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目		回答数	構成比
1	希望する資格(作業療法士)が取得できるから	106	35.6%
2	障害のある人の役に立ちたいから	71	23.8%
3	教育内容に興味・関心があるから	96	32.2%
4	リハビリテーションに関心があり、希望する職業に近づけるから	75	25.2%
5	養成する人材像や特色に共感できるから	21	7.0%
6	リハビリロボットに興味があるから	14	4.7%
7	植草学園大学に良好なイメージを持っているから	31	10.4%
8	自宅からの通学が便利だから	16	5.4%
9	音楽療法士の資格がとれるから	19	6.4%
10	おもちゃインストラクターの資格がとれるから	16	5.4%
11	その他	4	1.3%
	無回答	7	2.3%

問8 あなたは植草学園大学のリハビリテーション学科作業療法学専攻(仮称)に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	100	33.6%
2	合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	183	61.4%
	無回答	15	5.0%
合計		298	100.0%

問 9 は問 6 で「2. 受験しない」と回答した 6,317 人が回答対象である。

問9 あなたが植草学園大学のリハビリテーション学科作業療法学専攻(仮称)を「受験しない」とされた理由をお答えください。(あてはまるものすべてに ○)

※複数回答項目のため、回答数は延べ。

※構成比は、回答者 6,317 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目		回答数	構成比
1	興味・関心のある分野ではないから	4,930	78.0%
2	興味・関心のある分野だが、他大学への進学を希望しているから	586	9.3%
3	興味・関心のある分野だが、新設学部へ進学するのは不安だから	88	1.4%
4	興味・関心のある分野だが、更に詳細を知った上で検討したいから	317	5.0%
5	卒業後の進路として、大学への進学を考えていないから	574	9.1%
6	通学が不便そうだから	230	3.6%
7	学費が高いから	446	7.1%
8	その他	129	2.0%
	無回答	100	1.6%

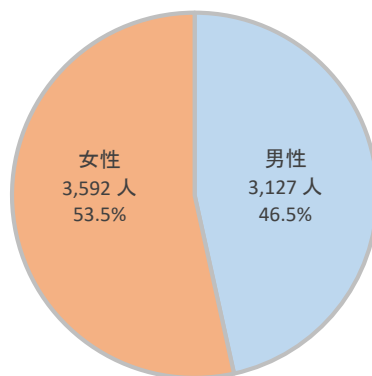
3 集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、少数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

● 回答者の男女比はほぼ 5 割ずつ

回答者 6,719 人中、男性は 3,127 人 (46.5%)、女性は 3,592 人 (53.5%) であった。

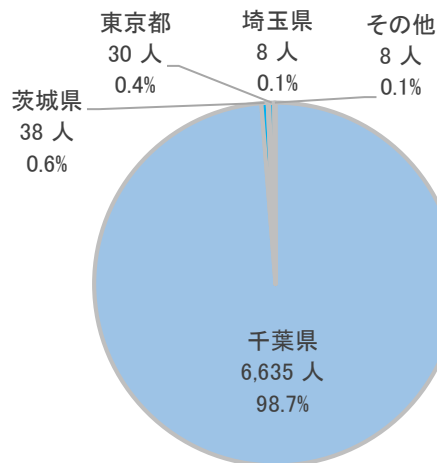
グラフ 回答者の性別(「問1」結果より)



● 回答者の約 9 割以上が千葉県に居住

回答者 6,719 人のうち、千葉県に 6,635 人 (98.7%)、茨城県に 38 人 (0.6%)、東京都に 30 人 (0.4%)、埼玉県に 8 人 (0.1%)、その他の県に 8 人 (0.1%) が居住していると回答した。植草学園大学の所在地である千葉県千葉市にアクセスが良く、自宅からの通学の利便性の高い千葉県に居住している回答者の合計は 6,635 人 (98.7%) であり、実際の募集を想定した地域で実施していることから、調査結果の適性は十分に担保している。

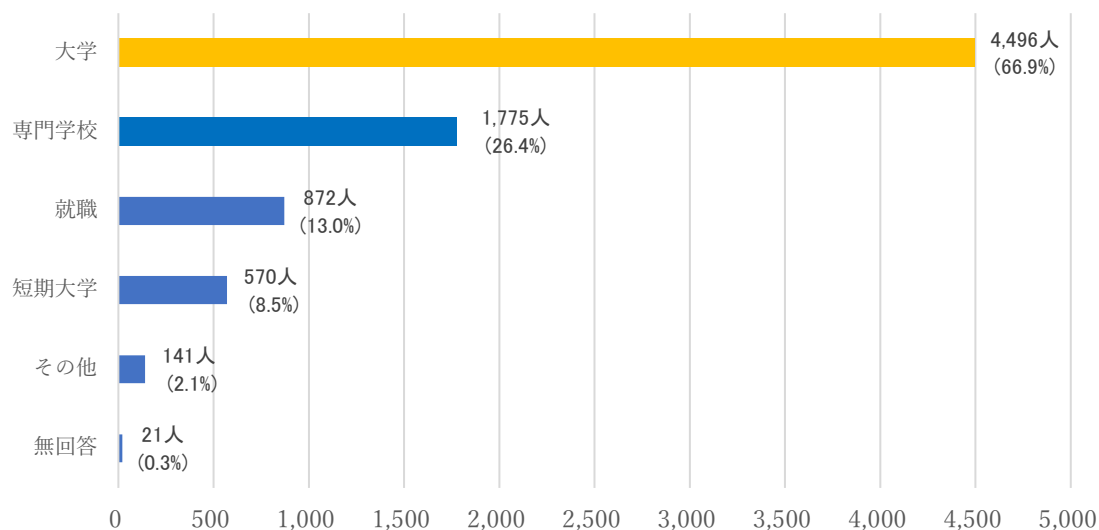
グラフ 回答者の居住地(「問2」結果より)



● 回答者の約7割が、高校卒業後の進路として大学進学を検討

回答を得た高校生 6,719 人のうち、66.9%にあたる 4,496 人が高校卒業後の進路として「大学」を選択しており、他の選択肢と比較して多い回答数となった（複数回答の結果）。

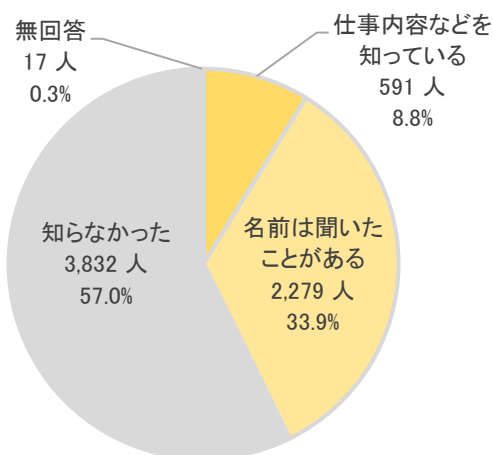
グラフ 卒業後の希望進路（「問3」結果より）



● 2,870 人が「作業療法士」という国家資格を認知している

回答を得た高校生 6,719 人のうち、全体の 8.8%にあたる 591 人が「作業療法士」の「仕事内容を知っている」、と回答し、33.9%にあたる 2,279 人が「名前は聞いたことがある」と回答し、併せて 42.7%にあたる 2,870 人が「作業療法士」を認知していた。また、「知らなかった」と回答したのは、全体の 57.0%にあたる 3,832 人であった。

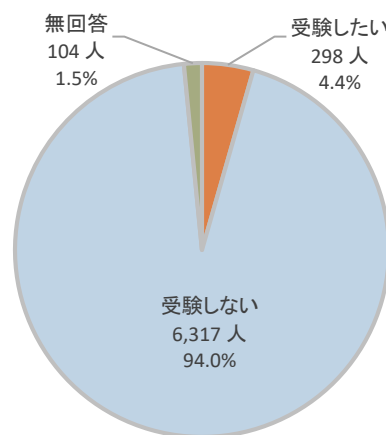
グラフ “作業療法士”という資格を知っていますか（「問5」結果より）



● 298 人が「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」を「受験したい」と回答

回答者 6,719 人のうち、4.4%にあたる 298 人が、植草学園大学の「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」を「受験したい」と回答した。

グラフ 植草学園大学のリハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）への受験意欲（「問6」結果より）

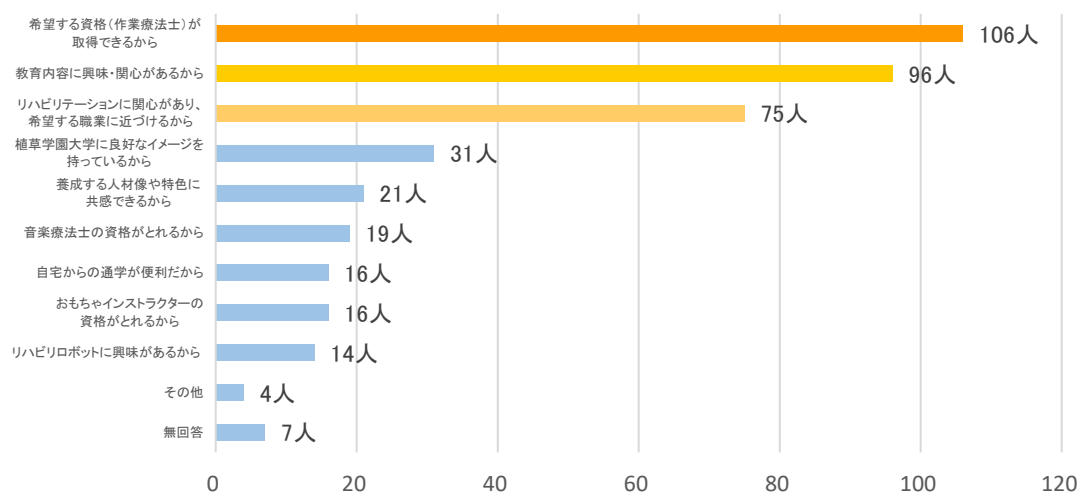


以下は、問 6 で「1. 受験したい」と回答した 298 人を対象とした分析である。

● 受験意欲を示した理由として、「希望する資格（作業療法士）が取得できる」が多数

植草学園大学の「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」を「受験したい」と受験意欲を示した 298 人に受験したいと思った理由を聞いたところ、回答の多い順に「希望する資格（作業療法士）が取得できるから」106 人、「教育内容に興味・関心があるから」96 人、「リハビリテーションに関心があり、希望する職業に近づけるから」75 人であった（複数回答、回答人数は延べ）。

グラフ リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）を受験したい理由（「問7」結果より）



● 100 人が、合格した場合は「入学したい」と回答

問 6 で「受験したい」と回答した 298 人に、植草学園大学の「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」に合格した場合の入学意欲について質問したところ、100 人（33.6％）が「入学したい」、183 人（61.4％）が「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した。

この入学意欲の回答を地域別に見ると、キャンパスのある千葉県では、「入学したい」が 99 人、「併願大学の結果によっては入学したい」が 178 人で、合計 277 人となった。通学が容易な千葉県内の回答者が入学に意欲を示す結果となった。

グラフ 「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」への入学意欲（「問8」結果より）

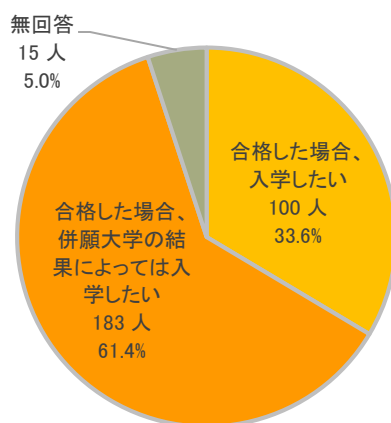


表 地域別に見た「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」への入学意欲

選択項目	入学したい		併願先の結果によっては入学したい		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
千葉県	99 人	99.0%	178 人	97.3%	277 人	97.9%
茨城県	0 人	0.0%	4 人	2.2%	4 人	1.4%
埼玉県	0 人	0.0%	0 人	0.0%	0 人	0.0%
東京都	1 人	1.0%	1 人	0.5%	2 人	0.7%
その他	0 人	0.0%	0 人	0.0%	0 人	0.0%
合計	100 人	100.0%	183 人	100.0%	283 人	100.0%

以上の結果より、植草学園大学が平成 32 年 4 月に設置を構想している保健医療学部「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」に対して、入学定員を上回る“入学意欲”を得られたため、学生確保は十分可能であると判断できる。

添付資料

「植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）
設置構想に係る高校生アンケート調査」用紙

リハビリテーション学科
作業療法学専攻

設置構想に係る高校生アンケート調査

(対象：平成30(2018)年度の高校2年生)

植草学園大学は、平成32（2020）年に、作業療法士の養成を行う「作業療法学専攻（仮称）」の設置を構想しています。

本学では皆様の進路やキャリアについての率直な考えをお聞きし、今回の構想に反映させていきたいと考えています。なお、このアンケートの回答は、設置構想にあたっての統計資料ならびに文部科学省への提出資料としてのみ活用するものであり、個人を特定することや他の目的に使用することは一切ありません。

以上の趣旨を踏まえ、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は植草学園大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

あなたについて、以下の質問にお答えください。

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 男性 2. 女性

問2 あなたが住んでいる都道府県をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 千葉県 2. 茨城県 3. 埼玉県
4. 東京都 5. その他（ ）

問3 高校卒業後の希望進路についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 大学 2. 短期大学 3. 専門学校
4. 就職 5. その他（ ）

問4 あなたが将来、希望する進路をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1. 一般企業 2. 公務員・団体職員 3. 教員
4. 専門職（資格をいかす職業） 5. 起業・会社経営 6. まだ決めていない
7. その他（ ）

問5 あなたは“作業療法士”という国家資格を知っていますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 仕事内容などを知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らなかった

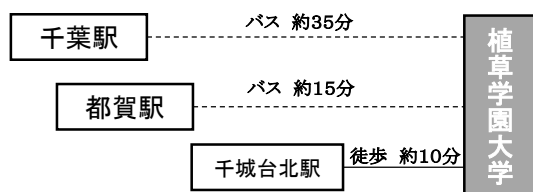
作業療法学専攻

(仮称・設置構想中)

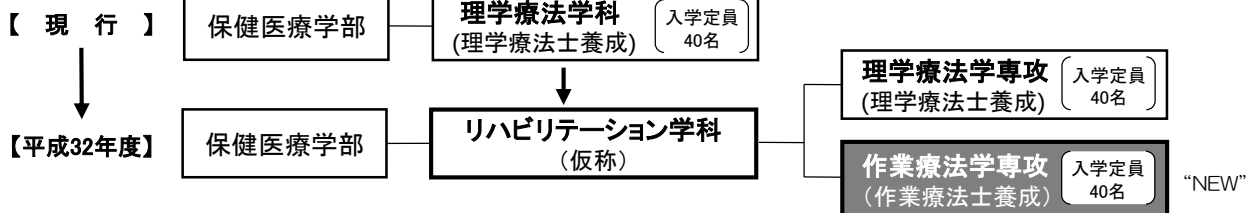
概要

開設時期：平成32(2020)年
開設場所：千葉県千葉市若葉区小倉町1639番3
修業年限：4年
入学定員：40名
取得学位：学士(作業療法学)

アクセス



改組内容



本学では、平成32(2020)年度より理学療法学科を、リハビリテーション学科(仮称)に改組します。リハビリテーション学科(仮称)は、理学療法学専攻と作業療法学専攻の2専攻となります。

【リハビリテーション学科(仮称)の特色】

理学療法学専攻、作業療法学専攻それぞれ共通の科目が多いため、お互いの職種の特徴を理解しながら、それぞれの専門性を深められるため、リハビリテーション医療におけるチーム医療の精神を学ぶことができる。さらに、最新のリハビリテーション工学(リハロボット等)を学ぶことができる。

作業療法学専攻(仮称)

入学定員 40名(予定)

《作業療法学専攻(仮称)では、以下のような人材を養成します》

専門性、人間性にすぐれ、主体的に問題解決にあたることのできる作業療法士

- ① 医療職としての倫理観をもち、判断し、行動する
- ② 多職種間で連携し、共通の目標に向かって協調して行動する
- ③ 地域包括ケアシステムに積極的に寄与する
- ④ 『生活行為向上マネジメント』を理解し、作業療法の臨床に使える

特色と資格

【作業療法学専攻(仮称)の特色】

- ① 実務経験豊富な教員を配置するため、安心して授業や実習指導を受けられる。
- ② 病院や施設などへの実習前には、学内で実技試験を行うため、自信をもって実習に参加できる。
- ③ これまでの、患者を正しく治療するための評価や治療に加え、アートとしての音楽・ダンスやおもちゃに関連した評価法や治療法を学べる。

【取得できる資格】

- ① 作業療法士(国家試験受験資格)
 - ② 音楽療法士(全国音楽療法士養成協議会認定資格)
 - ③ おもちゃインストラクター(芸術と遊び創造協会認定資格)
- ※②③については、所定の科目を履修することで取得可能です。

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

作業療法学専攻（仮称）の学費が以下の通りです。

初年度納付金

大学名・学部名・学科名 所在地	入学金	授業料	実験実習費・ 設備拡充費等	その他	初年度納入金
本学 リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称） 千葉県千葉市若葉区	270,000円	850,000円	750,000円		1,870,000円
国際医療福祉大学 成田保健医療学部作業療法学科 千葉県成田市	300,000円	900,000円	350,000円		1,550,000円
帝京平成大学 健康医療スポーツ学部作業療法学科 千葉県市原市	300,000円	840,000円	523,000円	3,300円	1,666,300円
杏林大学 保健学部作業療法学科 東京都三鷹市	250,000円	1,150,000円	500,000円	88,370円	1,988,370円
東京工科大学 医療保健学部リハビリテーション学科 東京都多摩市	340,000円	1,560,000円		23,300円	1,923,300円

◆植草学園大学の施設・教育充実費には、臨床実習等で宿泊を伴う場合の宿泊費・交通費が含まれています。

（※大学によっては、臨床実習に係る費用等が別途必要です。）

◆植草学園大学の学費について ※上記の金額は予定です。変更となる場合があります。

◆その他の大学について

・他の大学の学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます（2018年6月時点）。

・各大学とも、その他に諸会費が必要な場合があります。

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

作業療法士の役割・お仕事について

① 作業療法士は、“リハビリテーション”を支える国家資格です

◇ “リハビリテーション”とは、身体や精神などに障害をもつ人々を、最大限に回復するように働きかけ、改善を図ることです。

◇ 医療や介護などで行われる“リハビリテーション”には、理学療法、作業療法、言語聴覚療法の3種類があります。

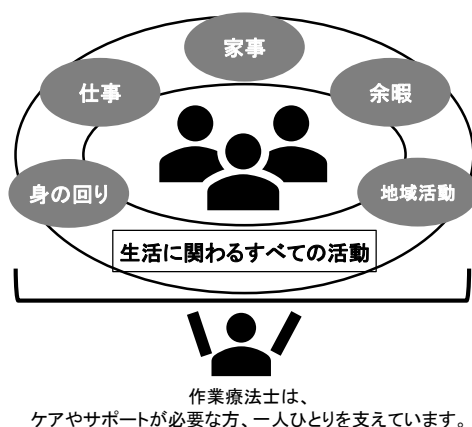
◇ 作業療法士は、“リハビリテーション”を支える**重要な国家資格**です。

② “作業療法士”の役割とは

◇ 「作業」とは、食事や更衣、趣味や仕事など、人の生活に関わるすべての諸活動のことを呼んでいます。

◇ 病気や怪我、生まれながらに障害がある人々に対し、「作業」を通じて、生活に不安なく適応できる身体や精神の回復をサポートすることを、「作業療法」といいます。

◇ “作業療法士”は、身体機能の回復だけではなく、精神的、心理的なサポートを行うリハビリテーションの専門家です。



『生きる力』を支える作業療法

作業療法士は、その人その人の笑顔あふれる今と未来を作ることができるやりがいのある仕事です。

【卒業後の進路】

作業療法士は、病院や診療所などの『医療分野』、高齢者介護施設などの『福祉分野』、地域包括支援センターなどの『保健分野』、特別支援学校などの『教育分野』で活躍しています。

高齢社会となり、医療や福祉をはじめとして、幅広い分野で今後さらに求められます。

問6 あなたは、植草学園大学のリハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 受験したい → 【問7】・【問8】にお答えください。
2. 受験しない → 【問9】にお答えください。

以下の問7・問8は、問6で「1」と回答した方がお答えください。

問7 植草学園大学のリハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）を受験したい理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 希望する資格（作業療法士）が取得できるから
2. 障害のある人の役に立ちたいから
3. 教育内容に興味・関心があるから
4. リハビリテーションに関心があり、希望する職業に近づけるから
5. 養成する人材像や特色に共感できるから
6. リハビリロボットに興味があるから
7. 植草学園大学に良好なイメージを持っているから
8. 自宅からの通学が便利だから
9. 音楽療法士の資格がとれるから
10. おもちゃインストラクターの資格がとれるから
11. その他（ ）

問8 あなたは植草学園大学のリハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）に合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 合格した場合、入学したい
2. 合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい

以下の問9は、問6で「2」と回答した方がお答えください。

問9 あなたが植草学園大学のリハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）を「受験しない」とされた理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 興味・関心のある分野ではないから
2. 興味・関心のある分野だが、他大学への進学を希望しているから
3. 興味・関心のある分野だが、新設学部へ進学するのは不安だから
4. 興味・関心のある分野だが、更に詳細を知った上で検討したいから
5. 卒業後の進路として、大学への進学を考えていないから
6. 通学が不便そうだから
7. 学費が高いから
8. その他（ ）

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。

理学療法士，作業療法士養成私立大学初年度納入金

※対象：北海道，東北，関東圏

【理学療法士養成校】

都道府県	養成校名	定員	所在地	初年度納入金
北海道	北海道千歳リハビリテーション大学 健康科学部リハビリテーション学科 理学療法学専攻	80	千歳市	160万
	北海道文教大学 人間科学部理学療法学科	80	恵庭市	163万
	北海道医療大学 リハビリテーション科学部 理学療法学科	80	石狩郡 当別町	142万
	北海道科学大学 保健医療学部 理学療法学科	40	札幌市	161万
	日本医療大学 保健医療学部リハビリテーション学科 理学療法学専攻	40	恵庭市	167万
宮城県	東北文化学園大学 医療福祉学部リハビリテーション学科	78	仙台市	200万
	東北福祉大学 健康科学部リハビリテーション学科	40	仙台市	184万
	仙台青葉学院短期大学 リハビリテーション学科理学療法学専攻	90	仙台市	192万
群馬県	群馬パース大学 保健科学部理学療法学科	50	高崎市	165万 入学金 10万
	高崎健康福祉大学 保健医療学部理学療法学科	40	高崎市	161万
	群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部 リハビリテーション学科	35	前橋市	180万
新潟県	新潟医療福祉大学 医療技術学部理学療法学科	120	新潟市	185万
	新潟リハビリテーション大学 医療学部リハビリテーション学科	40	村上市	175万
静岡県	聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部理学療法学科	30	浜松市	170万
	常葉大学 保健医療学部理学療法学科	40	浜松市	162万
	常葉大学 健康科学部静岡理学療法学科	60	静岡市	162万
山梨県	健康科学大学 健康科学部理学療法学科	80	富士 河口湖町	160万
	帝京科学大学 医療科学部理学療法学科	80	上野原市	191万
千葉県	帝京平成大学 健康医療スポーツ学部理学療法学科	80	市原市 うるい戸	167万
	了徳寺大学 健康科学部理学療法学科	80	浦安市 明海	180万
	国際医療福祉大学 成田保健医療学部理学療法学科	80	成田市	155万
	城西国際大学 福祉総合学部理学療法学科	80	東金市	165万

都道府県	養成校名	定員	所在地	初年度納入金
茨城県	つくば国際大学 医療保健学部理学療法学科	80	土浦市	194万
東京都	帝京平成大学 健康マネジメント学部理学療法学科	80	豊島区 池袋	189万
	杏林大学 保健学部理学療法学科	40	八王子市	199万
	帝京科学大学 医療科学部 東京理学療法学科	80	足立区 千住	199万
	東京工科大学 医療保健学部理学療法学科	80	大田区 蒲田	190万
神奈川県	東京医療学院大学 保健医療学部リハビリテーション学科	70	多摩市	185万
	北里大学 医療衛生学部リハビリテーション学科	45	相模原市	180万
	昭和大学 保健医療学部理学療法学科	30	横浜市	162万
埼玉県	国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 理学療法学科	40	小田原市	173万
	湘南医療大学 保健医療学部リハビリテーション学科 理学療法学専攻	40	横浜市	176万
埼玉県	目白大学 保健医療学部理学療法学科	80	さいたま市 岩槻区	175万
	文京学院大学 保健医療技術学部 理学療法学科	80	ふじみ野市	187万
	埼玉医科大学 保健医療学部理学療法学科	50	入間郡	185万
	日本医療科学大学 保健医療学部リハビリテーション学科	80	入間郡 毛呂山町	212万
埼玉県	人間総合科学大学 保健医療学部リハビリテーション学科	40	さいたま市 岩槻区	170万
	東京家政大学 健康科学部リハビリテーション学科 理学療法学専攻	40	狭山市	183万
栃木県	国際医療福祉大学 保健医療学部理学療法学科	80	大田原市	173万

【作業療法士養成校】

都道府県	養成校名	定員	所在地	初年度納入金
北海道	北海道千歳リハビリテーション大学 健康科学部リハビリテーション学科 作業療法学専攻	30	千歳市	160万
	北海道文教大学 人間科学部作業療法学科	40	恵庭市	163万
	北海道医療大学 リハビリテーション科学部作業療法学科	40	石狩郡 当別町	138万
	日本医療大学 保健医療学部リハビリテーション学科 作業療法学専攻	40	恵庭市	167万
宮城県	東北文化学園大学 医療福祉学部リハビリテーション学科 作業療法学専攻	60	仙台市	200万
	東北福祉大学 健康科学部リハビリテーション学科 作業療法学専攻	40	仙台市	184万
	仙台青葉学院短期大学 リハビリテーション学科作業療法学専攻	40	仙台市	189万
青森県	弘前医療福祉大学 保健学部作業療法学科	40	弘前市	169万
群馬県	群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法専攻	35	前橋市	180万
新潟県	新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科	50	新潟市	185万
	新潟リハビリテーション大学 医療学部リハビリテーション学科 作業療法学専攻	40	村上市	175万
長野県	長野保健医療大学 保健科学部作業療法学科	40	長野市	160万
静岡県	聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部作業療法学科	30	浜松市	170万
	常葉大学 保健医療学部作業療法学科	40	浜松市	175万
山梨県	健康科学大学 健康科学部作業療法学科	80	富士 河口湖町	160万
	帝京科学大学 医療科学部作業療法学科	40	上野原市	180万
千葉県	帝京平成大学 健康医療スポーツ学部作業療法学科	40	市原市 うるい戸	167万
	国際医療福祉大学 成田保健医療学部作業療法学科	40	成田市	160万

都道府県	養成校名	定員	所在地	初年度納入金
東京都	帝京平成大学 健康リハビリタル学部作業療法学科	60	豊島区 池袋	187万
	杏林大学 保健学部作業療法学科	54	三鷹市	199万
	東京工科大学 医療保健学部作業療法学科	40	大田区 蒲田	192万
神奈川県	東京医療学院大学 保健医療学部リハビリテーション学科 作業療法専攻	30	多摩市	185万
	北里大学 医療衛生学部リハビリテーション学科	40	相模原市	180万
	昭和大学 保健医療学部作業療法学科	30	横浜市 ※1年次は 富士吉田 キャンパス	155万
	国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科	40	小田原市	160万
	湘南医療大学 保健医療学部リハビリテーション学科 作業療法学専攻	40	横浜市	176万
埼玉県	目白大学 保健医療学部作業療法学科	60	さいたま市 岩槻区	175万
	文京学院大学 保健医療技術学部 理学療法学科	40	ふじみ野市	191万
	日本医療科学大学 保健医療学部リハビリテーション学科 作業療法学専攻	40	入間郡 毛呂山町	189万
	東京家政大学 健康科学部リハビリテーション学科 作業療法学専攻	40	狭山市	183万
栃木県	国際医療福祉大学 保健医療学部作業療法学科	80	大田原市	163万

2018年度（2019年度入試）オープンキャンパス日程

●オープンキャンパス	開催時間 10:00～14:00
5/20（日）、6/3（日）、6/16（土）、7/15（日）、7/29（日）、8/11（土）、8/25（土）	
●入試説明会	開催時間 10:00～12:00
9/22（土）、10/20（土）	
●個別相談会（学園祭同時開催）	開催時間 10:00～14:00
11/10（土）、11/11（日）	
●春のオープンキャンパス	開催時間 10:00～14:00
3/23（土）	

2019年度（2020年度入試）オープンキャンパス日程(予定)

●オープンキャンパス	開催時間 10:00～14:00
4/27（土）、5/25（土）、6/8（土）、7/6（土）、7/28（日）、8/10（土）、8/24（土）	
●入試説明会	開催時間 10:00～12:00
9/15（土）、10/19（土）	
●個別相談会（学園祭同時開催）	開催時間 10:00～14:00
11/9（土）、11/10（日）	
●春のオープンキャンパス	開催時間 10:00～14:00
3/21（土）	

平成28年度～平成30年度 高校訪問回数（ガイダンス含む）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
北海道	11	0	0
青森県	25	13	8
岩手県	6	9	20
秋田県	17	13	0
山形県	3	0	1
宮城県	4	10	6
福島県	64	83	54
栃木県	9	10	5
群馬県	6	0	8
埼玉県	2	2	0
東京都	15	17	36
千葉県	734	610	794
茨城県	414	95	150
神奈川県	1	2	5
新潟県	30	24	28
山梨県	0	0	8
富山県	0	7	0
長野県	79	53	23
静岡県	45	52	47
広島県	0	0	2
三重県	0	2	2
兵庫県	0	0	1
愛媛県	0	1	2
沖縄県	13	5	4
計	1478	1008	1204

※本学集計データ（延べ数）

平成 30 年度第 1 回高大連携授業を行いました

6 月 15 日（金・千葉県民の日）、平成 30 年度第 1 回高大連携授業を行いました。

植草学園大学・短期大学との連携校の生徒さんをはじめ千葉県内の高校生 41 名が、学生と共に 2 限と 3 限の授業を受講しました。

<2 限 11:00～12:30>



小学校課程専攻「図画工作科指導法」



幼保課程専攻「インクルーシブ保育Ⅰ」



理学療法「理学療法士が行う測定器なしで筋力を測定する方法」



介護福祉(障害)「障害の理解Ⅱ」



保育＋特別支援「障害児保育Ⅱ」

<お昼休み 12:30~13:20>

お昼休みにはチアダンスサークル Welfares のパフォーマンスが行われました。



<3 限 13:20~14:50>



幼保課程専攻「保育内容演習Ⅰ・音楽」



特別支援教育課程専攻「LD・ADHD等教育総論」



理学療法学専門基礎「運動療法学実習」



介護福祉 “視覚に障害がある方の移動支援”



保育＋特別支援 “障害のある子どもを含むインクルーシブ保育を考える！”

平成 30 年度第 2 回高大連携授業を行いました

7 月 16 日（月・海の日）、平成 30 年度第 2 回高大連携授業を行い、約 80 名の高校生が学生と共に 2 限と 3 限の授業を受講しました。

<2 限 11:00~12:30>



教養課程「英語 I」



幼児保育「保育原理」



理学療法「運動器系疾患理学療法学実習」



介護福祉「生活支援技術（着替え）」



保育「子どもにとっての絵本や紙芝居について」



<お昼休み 12:30~13:20>



本日のMENU	
チキンカツニンニク味噌だれ定食	370 円
肉じゃが（牛肉）定食	370 円
豚肉とキムチクッパ丼	330 円
ビーフカレー	290 円
ラーメン	250 円
ワンタン麺	310 円
各種日替わり副菜 80 円	サラダ 100 円など

<3 限 13:20~14:50>



教養課程「専門ゼミナールⅠ」

特別支援教育「専門ゼミナールⅠ」



幼児保育「専門ゼミナールⅠ」

医療「生理学」



介護福祉「介護の基本Ⅰ（介護福祉論）」



保育「遊びと子どもの世界」

平成 30 年度第 3 回高大連携授業を行いました

9 月 24 日（月）、平成 30 年度第 3 回高大連携授業を行い、約 100 名の高校生が学生と共に 2 限と 3 限の授業を受講しました。

<2 限 11:00～12:30>



小学校課程「国語科指導法」



障害福祉「発見！バリアフリー」



理学療法・教養課程「基礎生物学」



介護福祉「認知症ケア」



幼児・保育過程「幼児教育相談の基礎」

<お昼休み 12:30～13:20>



<3 限 13:20～14:50>



小学校課程「専門ゼミナールⅠ」



教養課程「心理・療育（音楽が心に与える影響）」



理学療法「中枢神経系理学療法治療学」



介護福祉「発達と老化の理解Ⅱ」



保育・特別支援教育「インクルーシブ保育Ⅱ-障害のある子どももたのしく参加できる保育-」



平成 30 年度第 4 回高大連携授業を行いました

2 月 12 日（火）、平成 30 年度第 4 回高大連携授業を行い、高校生が 2 限と 3 限の特別授業を受講しました。

<2 限 11:00～12:30>



初等家庭科教育通論



理学療法士が行う測定器なしで筋力を測定する方法



子どもの発達と作業療法（2・3 限）



保育って楽しい！パネルシアター入門編 1

<お昼休み 12:30～13:20>



<3 限 13:20～14:50>



メディアリテラシー



スポーツ理学療法学

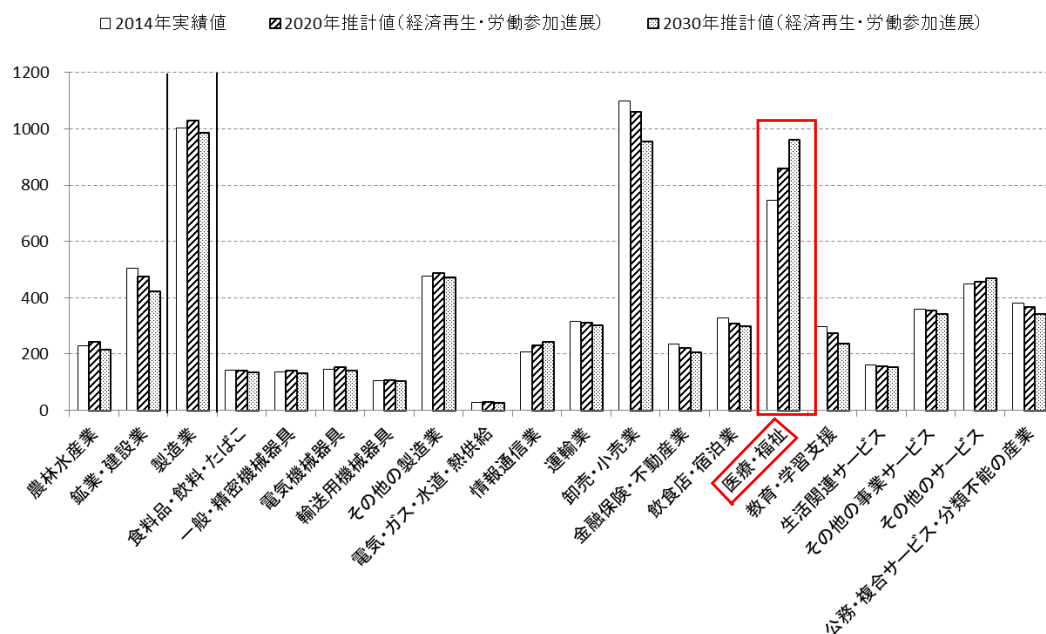


保育って楽しい！パネルシアター入門編2

植草学園大学 スカラシップ制度・学費等納付金の減免措置一覧

奨学金の名称	給付・減免の別	要 件	減免措置額又は奨学金の給付額
新入学生対象スカラシップ制度	減免	(1) 大学入試センター試験利用入試A日程における合格者で、その成績が学部毎に上位10%以内の者	(1) 入学金の全額及び1年次の授業料全額 (2) 2～4年次の授業料全額(ただし、各学年の成績が上位20%以内であること。)
		(2) 大学入試センター試験利用入試A日程における合格者で、その成績が学部毎に上位20%以内の者	(1) 入学金の全額及び1年次の授業料半額 (2) 2～4年次の授業料半額(ただし、各学年の成績が上位20%以内であること。)
		(3) 次の入試に合格し、入学手続を完了した者で大学入試センター試験利用入試A日程を再受験したものについても(1)及び(2)と同様とする。 ① AO入試 ② 推薦入試(公募制, 指定校制) ③ 植草学園大学附属高等学校特別選抜試験	
在学学生対象スカラシップ制度	減免	次の要件を満たす者 ① 1年次～3年次における成績(両学年におけるGrade Point Averageの平均値による。)が学部毎に上位5%以内であること ② 学生生活全般を通じての態度行動が良好であること。 ③ 新入学生スカラシップ制度対象者でないこと。	奨学金20万円
植草こう特別教育資金制度	給付	①植草学園大学2年次在籍者 ②植草学園大学、植草学園短期大学の最終学年次在籍者で当該年度末に卒業見込みの者 経済的理由により修学困難な者のうち、次のいずれかに該当する者。 ①特に成績優秀な者で、各大学の長より推薦された者 ②課外活動等において、特に功績があった者で、各大学の長より推薦された者	150,000円(限度額)
植草学園授業料減免	減免	経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合。	収入基準額による全額または半額の授業料減免
植草学園授業料等減免特例措置	減免	東日本大震災により被災し、学生等納付金の納入が困難となった方を対象。	震災等の災害による全額または半額の授業料免除
植草学園奨学金	給付	家計急変により経済的に修学が困難であるとともに学業に熱意を持つ者。ただし、家計急変の事由により、授業料の減額又は免除を受けられる学生は対象者としない。	300,000円(限度額)の範囲で状況を勘案して決定

産業別就業者数の推移（経済再生・労働参加進展シナリオ、単位：万人）



注) 1. 2014 年実績値は総務省統計局「労働力調査」（労働力需給推計の表章産業分類に合うように組み替え）、2020 年及び 2030 年は労働政策研究・研修機構による推計値。

2. 経済再生・労働参加進展シナリオ：経済成長、及び若者、女性、高齢者などの労働市場参加が進むシナリオ

3. 「その他の製造業」は、ここで明示している製造業以外のものを指しており、日本標準産業分類のその他の製造業に加え、窯業・土石、鉄鋼、金属製品などの素材産業も含んでいる。

4. 労働力需給推計では、派遣労働者は、派遣元の産業である「その他の事業サービス」に分類されており、他の産業には派遣労働者は含まれていないことに留意。なお、「労働力調査」においては、2012 年まで労働者派遣事業所の派遣労働者は、派遣先の産業ではなく、派遣元の産業に分類されていたが、2013 年からは派遣先の産業に分類されるようになった。

出典：独立行政法人労働政策研究・研修機構「平成 27 年労働力需給の推計」

<https://www.jil.go.jp/press/documents/20151216.pdf>

第2節 千葉県における現状と将来の医療需要

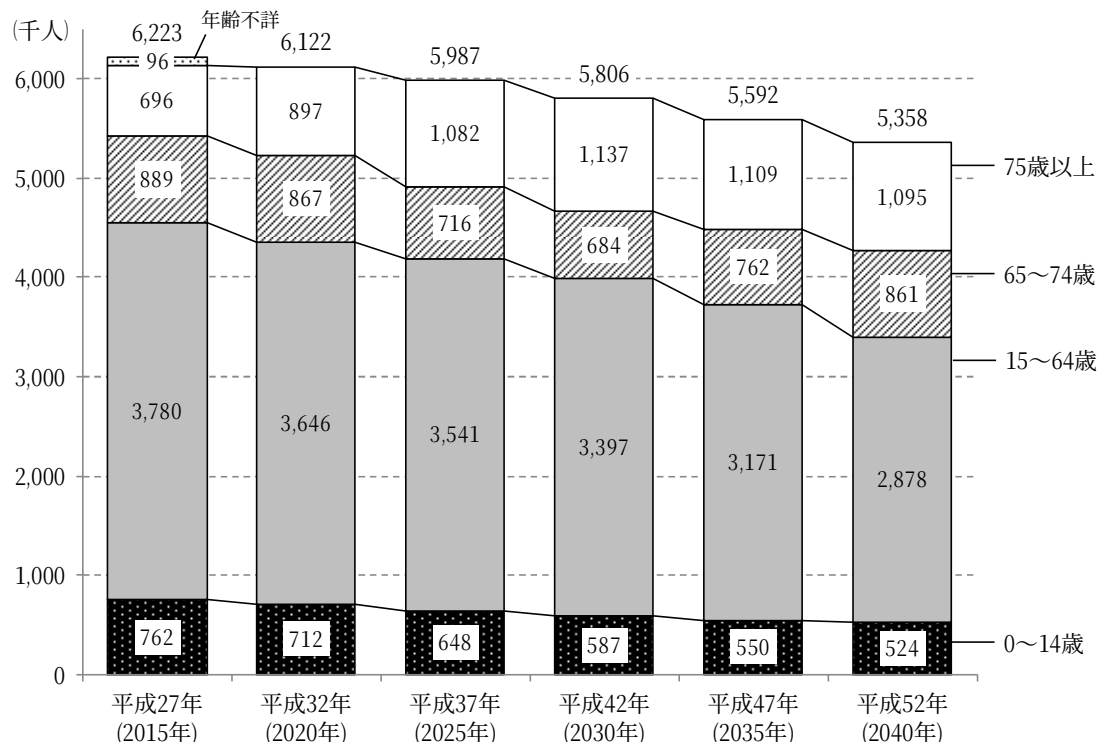
1 人口等の状況

千葉県の平成27年時点での総人口は6,222,666人でしたが、今後は、総人口は緩やかに減少し、平成37年には5,987,027人、平成52年には5,358,191人まで減少する見込みです。

年齢構成別にみると、平成27年時点の0歳から15歳までの年少人口は762,112人、15歳から64歳までの生産年齢人口は3,779,812人でしたが、平成37年には、それぞれ648,271人（平成27年の85%）、3,540,991人（同94%）に、平成52年には、それぞれ523,847人（同69%）、2,877,866人（76%）へと減少する見込みです。

一方、75歳以上の人口は平成27年時点では695,819人でしたが、平成37年には1,082,206人（平成27年の156%）、平成42年には1,137,288人（同163%）と増加し、その後減少に転じ、平成52年には1,095,361人（同157%）になると見込まれています。

図表 1-4-2-1-1 千葉県の将来推計人口



資料：「平成27年国勢調査」（総務省）、「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）をもとに作成

千葉県内理学療法士，作業療法士養成校一覧

(平成30年度8月時点)

【理学療法士養成校】

都道府県	養成校名 (開設年)	定員	所在地
千葉県	●千葉県立保健医療大学 健康科学部リハビリテーション学科 (理学・作業 50) 2009年 *2013年3月1期生卒業	25	千葉市 中央区 仁戸名町
	●帝京平成大学 健康医療スポーツ学部理学療法学科 2008年 *2012年3月1期生卒業	80	市原市 うるいど
	●了徳寺大学 健康科学部理学療法学科 2006年 *2011年3月1期生卒業	80	浦安市 明海
	●植草学園大学 保健医療学部理学療法学科 2008年 *2012年3月1期生卒業	40	千葉市 若葉区
	●国際医療福祉大学 成田保健医療学部理学療法学科 2016年 *2020年3月1期生卒業	80	成田市
	●城西国際大学 福祉総合学部理学療法学科 2016年 *2020年3月1期生卒業	80	東金市
	●専門学校 千葉・柏リハビリテーション学院 2001年・4年制	80	柏市
	●専門学校 藤リハビリテーション学院 1992年・4年制	30	成田市
	●千葉医療福祉専門学校 1998年・4年制	30	君津市
	●国際医療福祉専門学校 2004年・3年制	40	千葉市 中央区
	●専門学校 八千代リハビリテーション学院 2004年・3年制	80 夜40	八千代市
合計		685	

【作業療法士養成校】

都道府県	養成校名 (開設年)	定員	所在地
千葉県	●千葉県立保健医療大学 健康科学部リハビリテーション学科 作業療法専攻 2009年 *2013年3月1期生卒業	25	千葉市 中央区 仁戸名町
	●帝京平成大学 健康医療スポーツ学部作業療法学科 2008年 *2012年3月1期生卒業	40	市原市 うるいど
	●国際医療福祉大学 成田保健医療学部作業療法学科 2016年 *2020年3月1期生卒業	40	成田市
	●専門学校 千葉・柏リハビリテーション学院 2001年・3年制	40	柏市
	●千葉医療福祉専門学校 1998年・4年制	30	君津市
	●専門学校 八千代リハビリテーション学院 2004年・3年制	40	八千代市
	合計	215	

保健医療学部 就職状況（開学（平成20年度）～平成29年度）

学部	学科	平成20年度					平成21年度					平成22年度				
		卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数
保健医療 学部	理学療法 学科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
保健医療学部計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

学部	学科	平成23年度(完成年度)					平成24年度					平成25年度				
		卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数
保健医療 学部	理学療法 学科	27	20	20	100.0%	597	31	20	20	100.0%	749	41	34	34	100.0%	559
保健医療学部計		27	20	20	100.0%	597	31	20	20	100.0%	749	41	34	34	100.0%	559

学部	学科	平成26年度					平成27年度					平成28年度				
		卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数
保健医療 学部	理学療法 学科	51	42	42	100.0%	749	28	21	21	100.0%	746	41	38	38	100.0%	714
保健医療学部計		51	42	42	100.0%	749	28	21	21	100.0%	746	41	38	38	100.0%	715

学部	学科	平成29年度				
		卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数
保健医療 学部	理学療法 学科	36	32	32	100.0%	737
保健医療学部計		36	32	32	100.0%	737

1 （書類等の題名）

千葉市内大学の地元就職率（【資料13】1ページ）

2 （出典）

ちば産学官連携プラットフォーム

「高等教育の現状及び課題について」

3 （引用範囲）

<https://www.chiba-pf.org/>基本方針/高等教育の現状及び課題について分析/

4 （その他の説明）

本学の県内就職率を示すため、図「地元就職率（含帝京平成大学、除千葉大学）」を抜粋した。

植草学園大学
保健医療学部
「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」
設置構想に係るニーズアセスメント調査
【採用意向アンケート調査】
報告書

平成 30 年 11 月
株式会社高等教育総合研究所

目次

1	調査の概要	1
2	全質問項目の集計結果	2
3	集計結果のポイント	9

添付資料

「植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）設置構想に係る
採用意向アンケート調査」用紙

1 調査の概要

- ◆ 調査目的：本調査は、植草学園大学が平成32年4月に設置を構想している保健医療学部「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」の卒業生の就職におけるニーズを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。
- ◆ 調査期間：平成30年7月～9月
- ◆ 調査対象：平成32年4月に設置を構想中の保健医療学部「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」の卒業生の採用が期待される千葉県内の医療機関・施設と、当該学科の実習受け入れ先等、693件にアンケート用紙を送付し、協力を依頼した。
依頼対象とした医療機関・施設は次の通りである。

	茨城県	千葉県	東京都	埼玉県	神奈川県	計
病院	14	278	15	9	1	317
診療所・クリニック	0	103	0	0	0	103
介護老人保健施設	3	160	1	1	1	166
特別養護老人ホーム	0	46	0	0	0	46
生活介護	0	37	0	0	0	37
自立訓練	0	24	0	0	0	24
計	17	648	16	10	2	693

- ◆ 調査方法：調査対象とした上記693件の採用担当者宛てに、植草学園大学が平成32年4月に開設を構想している保健医療学部「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」の説明が入ったアンケート用紙を送付し、回答・返信を求めた。
- ◆ 調査内容：アンケート項目は全11問で、10問を選択肢式、1問を記述式とした。
主な質問内容は、以下の通りである。
『医療機関・施設の基本情報』
『医療機関・施設が新卒生を採用する際に重視する点について』
『植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）の卒業生の採用見込みについて』
- ◆ 回収件数：185件（配布件数 693件／回収率 26.7%）

2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%) はいずれも、少数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

2～8 ページは、アンケートで回答を得た 185 件の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

問1 貴機関・貴施設の業種をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	病院	75	40.5%
2	診療所・クリニック	12	6.5%
3	介護老人保健施設	53	28.6%
4	特別養護老人ホーム	22	11.9%
5	生活介護施設	10	5.4%
6	自立訓練施設	1	0.5%
7	その他	12	6.5%
合計		185	100.0%

問2 貴機関・貴施設の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	千葉県(千葉市内)	72	38.9%
2	千葉県(千葉市以外)	94	50.8%
3	茨城県	9	4.9%
4	東京都	5	2.7%
5	その他	5	2.7%
合計		185	100.0%

問3 貴機関・貴施設に所属している作業療法士(常勤)の規模をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	1～2 人	45	24.3%
2	3～5 人	42	22.7%
3	6～10 人	22	11.9%
4	11～20 人	8	4.3%
5	21 人～	14	7.6%
6	現在、作業療法士はいない	52	28.1%
	無回答	2	1.1%
合計		185	100.0%

**問4 貴機関・貴施設が過去1年間に採用した大卒の作業療法士の人数をお答えください。
(あてはまるもの1つに○)**

番号	選択項目	回答数	構成比
1	1～2 人	45	24.3%
2	3～5 人	13	7.0%
3	6～10 人	3	1.6%
4	11～20 人	2	1.1%
5	21 人～	0	0.0%
6	大卒の作業療法士は採用していない	122	65.9%
合計		185	100.0%

問5 貴機関・貴施設において、大卒の作業療法士を採用する際に、重視する能力・体験等をお答えください。(特にあてはまるもの5つまでを、枠内に記入)

※回答者数は、185 件。

※構成比は回答のあった 185 件のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	コミュニケーション能力	162	87.6%
2	基礎的な学力	88	47.6%
3	専門的な知識	96	51.9%
4	語学力	1	0.5%
5	創造的思考力	44	23.8%
6	主体性・自律性	91	49.2%
7	目的達成志向	38	20.5%
8	適応力	115	62.2%
9	インターンシップ経験	4	2.2%
10	ボランティア経験	4	2.2%
11	忍耐力	40	21.6%
12	理解力	54	29.2%
13	論理力	7	3.8%
14	取得資格・免許(見込含)	43	23.2%
15	IT スキル	2	1.1%
16	倫理観・道徳性	62	33.5%
17	その他	8	4.3%
	無回答	6	3.2%

問6 貴機関・貴施設における、作業療法士の充足状況についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	大きく不足している	38	20.5%
2	やや不足している	62	33.5%
3	適度に充足している	47	25.4%
4	過剰である	0	0.0%
5	わからない	32	17.3%
	無回答	6	3.2%
合計		185	100.0%

問7 貴機関・貴施設における、大卒の作業療法士の今後の採用方針についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	積極的に採用していきたい	73	39.5%
2	採用枠に余裕があれば採用したい	78	42.2%
3	大卒の作業療法士は採用しない	8	4.3%
4	わからない	22	11.9%
	無回答	4	2.2%
合計		185	100.0%

問8 植草学園大学が構想中のリハビリテーション学科作業療法学専攻(仮称)が養成する人材に対して、どれくらい興味がありますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	かなり興味がある	54	29.2%
2	やや興味がある	100	54.1%
3	あまり興味が無い	18	9.7%
4	興味が無い	9	4.9%
	無回答	4	2.2%
合計		185	100.0%

問9 植草学園大学が構想中のリハビリテーション学科作業療法学専攻(仮称)を卒業する学生を、将来作業療法士として採用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	採用したい	60	32.4%
2	採用を検討したい	63	34.1%
3	どちらとも言えない	51	27.6%
4	採用しない	8	4.3%
	無回答	3	1.6%
合計		185	100.0%

以下は「1. 採用したい」「2. 採用を検討したい」と回答した 123 件が回答対象である。

問 10 問 9 で「採用したい」「採用を検討したい」と回答した方は、採用可能であると思われる人数をお答えください。(あてはまるもの 1 つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	1 名	36	19.5%
2	2 名	16	8.6%
3	3 名	11	5.9%
4	4 名	0	0.0%
5	5 名以上	5	2.7%
6	人数は未確定	54	29.2%
	無回答	63	34.1%
合計		185	100.0%

問 11 植草学園大学および構想中のリハビリテーション学科作業療法学専攻(仮称)に対して、期待される点やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

業種	記述内容
病院	貴校は特別支援学級などにも力を注がれており、当院のリハビリテーション科も発達障がいを抱えるお子様方を支援することが多くあるため、とても興味があります。ぜひ貴校の取り組みられることを共に学ばせて頂きながら社会貢献が行えればと考えております。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。
	・チームで協力し合える協調性。 ・作業療法士は個性的な方が多く職場づくりに苦労しています。
	当院から近いところでOT科が開校されるということで大変うれしく思います。実習や採用等協力していければと思います。よろしくお願いします。
	都市部以外は老人が多くOT, PTさんを必要としているが希望者が本当に少ない。そういった需要を学生さんたちにお話ししていただけると大変うれしく思います。
	就職説明会などありましたら積極的に参加を致したいと思います。今後とも宜しくお願い致します。
	積極性のある方でやさしい方 みんなと話し合いのできる方。
	作業療法学専攻が設置された場合には実習生の受け入れも可能ですのでお声がけいただければと思います。
	定員割れをせず優秀なOT学生を集めていただければぜひ採用を検討したいと思います。
	専門職としての向上心を持って患者のために仕事ができる人材輩出。
	自分で考えて動ける能力を身に着けた学生教育をお願いします。
	精神科作業療法に興味のある方はぜひお越しください。見学も随時受け付けています。
	入職後教えてもらうという姿勢ではなく自主的に取り組み、専門職としてのスキルアップを図れるような人材になって頂きたいと思います。
	PT学科もそうですが立地的な条件で当院の就職に繋げづらいと聞いています。当院の就職につながって頂ければと思います。

病院	千葉県は医療介護分野ともにスタッフ養成が遅れている。貴学のような歴史と実績のある大学がこの分野に新しい光を掲げてくださるとのこの意味は大きいと思う。
	職場内で協調し、働ける方 明るい性格で臨機応変に対応できる方 患者さんと良好な関係が築ける方。
	当院は急性期の病院ですのでリスク管理や状況の変化に対しての適応力等、経験を積みつつ、学べる人材を期待します。また、自ら積極的に学ぶ姿勢のある方を期待します。
	実習前に実技練習をしてほしい（PTSとOTSの差がありすぎる）。
	医療職、専門職としての知識や技術だけでなく社会人としての姿勢やコミュニケーション能力を備えた作業療法士の育成をお願いいたします。
	回復期や急性期のみでなく維持期においても必要である、維持期におけるOTの役割をぜひ学生には伝えてほしい。
	慢性期医療に対する知識を高めていただきたい。地域包括ケアシステムが今後とも推進されるなか、急性期、回復期、慢性期の役割がセラピストとしては認識されるべきであり、学生本人がどの道を選択するのかを支援することが必要かと思います。現状から申し上げますと治療手技に偏った教育が主であり、終末期リハに対する教育も充実していただけますと慢性期医療でも活躍できるセラピストとなるかと思います。
	理学療法も当然そうですが作業療法のアイデンティティが問われているとよく耳にします。そのあたりの医療人教育というものがどこまで実現されるのか期待したいと存じます。
	同じ千葉県内ということもあり積極的に採用を行いたいと思っております。卒業生も当院におりますので今後ともよろしくをお願いいたします。
	コミュニケーション能力を磨き、自分で考え行動できる学生の養成を期待します。
	自分で考え行動できる人材、「患者さん利用者さんのために」を中心に考えられるセラピストの養成を目指していただければと期待します。
	問題5、7～11は本部採用で人員が配属されてくるため無記入としました。
	OTの採用を予定していなく、アンケート内容が少なく申し訳ございません。
	OTとしての知識・技術もそうですが、社会人基礎力を高められることを期待します。
	作業に焦点を当てた実践、理論に根差したOT、トップダウンアプローチとボトムアップアプローチの利点欠点を理解する授業。
診療所・クリニック	超高齢社会の伸長に伴い、これからますますニーズが高まるものと思います。期待したいと思います。まず第一に高齢者や障害者に優しい人材を育成していただきたいと思います。
	作業療法士の資格を取得するための最低限の知識や常識は必要だと思います。加えて患者さん、利用者さん、家族連携するスタッフを含めて相手の心の中を想像して根拠を持って行動にうつすことができるスキルも必要と考えています。ITや音楽療法など幅広く勉強することと、学生のうちにしか経験できない交流やサークル等もOTとしての引き出しが増えると思います。新卒として学ぶことは多いと存じますが、新人らしく積極的に学びを深め行動できる人であれば現場にも対象者の方にも歓迎されると思います。
	生活動作に密着した指導が患者様へ必要となりますので、生活動作をイメージできる力が必要と考えます。
老人介護 保険施設	利用者の在宅復帰を目標にした作業療法はとてもやりがいがあると思います。利用者に自信を付けさせ、精神面で支え等今後のリハビリの主となることと思います。作業療法士はまだ不足しています。学校の開設をお願いします。
	採用の基本は病院等の急性措置を経験したものを多く採用しております。今後は直接入職でもいいのでは（作業療法士）と考えております。これからも期待しております。
	期待しております。OTとともに新卒者の紹介をお願いいたします。

老人介護 保険施設	コミュニケーション能力や礼儀など学生のうちにフォローアップしてほしい。（患者様、利用者様、人生の先輩であることがわからない学生が多い。）
	利用者や患者に寄り添い、その気持ちを汲めること。そして専門的な視点で議題（ニーズ）やリハビリのかかわりができる臨床家が育つことを期待します。
	作業療法士として学んでいく過程で植草学園の福祉学の知識、実習力もカリキュラムに加えることができると介護施設としては採用時のポイントとして高くなるかと思います。
	他職種とのコミュニケーション能力を持っている人材を希望します。
	専門職としての向上心を持って患者のために仕事ができる人材輩出。
	今後とも大学とは実習や交流を踏まえてよい関係を継続していきたいと思っています よろしくをお願いします。
	在宅復帰超強化型老健として自宅で安心安全に暮らすためのスキルを身につけていただくための知識と技術。本人の真の希望を叶えることを目的に家族と地域を説得することができるコミュニケーション能力（一般常識 倫理観それぞれの立場の人を共感できなくとも理解できること、伝える力）、利用者を一番大切に思う心。
	コミュニケーション能力 基礎的な知識 専門的な知識はもちろんのこと在宅、生活といった実用的なところをイメージしながらプログラムを立てることができる、考えて自ら行動に移すことを状況に応じてできる、といったことのできる作業療法士を養成していただきたい。
	患者様、御利用者様と思える、言えるような教育をしてほしい。実習は人と人とのかかわり方ができればまずはOK。知識、技術は二の次である。この延長に資格がある。この気持ちを何年、何十年も忘れないような方を頼みます。
	自発性の高い人材育成を望みます。言われてません、教わってませんと平気で言う人材には困ります。学校教育は一部分であり、ほかの多くは自ら学ぶものであることを理解している学生が輩出されることを期待します。
	同県内に学校ができると弊社でも応募してくれる方がいるかもしれないので好ましいです。
	応援協力をさせていただきます。
	実習の受け入れも行いたい。
	タフで主体性のある卒業生が来ることを期待しています。
特別養護 老人 ホーム	OTが少ないため大卒のOTを採用していきたい。
	いつも大変お世話になっております。今後ともよろしくお願いいたします。
	貴校の校風がとてもいいと思っていますので貴校で育ったOTさんには期待します。
	社会人としての対応を獲得してほしい。
特別養護 老人 ホーム	ご本人様、ご家族様の希望をしっかり把握し、きちんと実践できる人材を期待します。
	作業療法を行うことでADL、認知レベル防止が行えるようになればいいとおもいます。なかなか介護スタッフのみではリハビリを行う時間がなく専門の方がいてくれたら有難いと思います。
	専門的な知識をもったOTの先生を採用したいのでよろしくお願いします。
	就職後のバックアップや人脈作りをご支援願いたい。

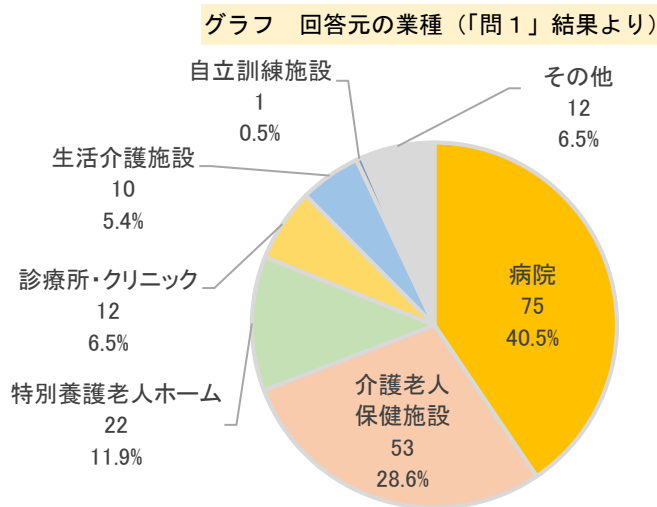
特別養護老人ホーム	基礎知識と基本的なコミュニケーションが取れる人材の育成をしてほしいです。
	法人内の老健で実習の受け入れを行いたい。
	高齢者福祉の現状からリハビリテーション学科の新設に関しては大きく期待ができます。理学療法士は医療機関での採用が期待大であると思われる。作業療法士に関しても同様と思われる。特別養護老人ホームの現状からすると採用段階では経費的に踏み切れない現状がある。特化したデイサービス等での採用が期待できると思います。
	通所介護を休止しておりますので、現在のところに上記の内容となっております。通所が再開すればまた違った内容となると思います。在宅生活を継続するうえで作業療法士のスキルは利用者に必ず利益となりますので活躍を期待しております。
	法人内の老健で実習の受け入れを行いたい。
	特別養護老人ホームでは現状大きな法人を除いて、直接雇用している法人はさほど多くないと思います。
	私どもの事業所は特養ですので介護という部分とリハビリの部分が連動するような立ち位置での専門職が必要だと思っています。
	当法人では理学療法士を採用しているが作業療法士の必要性も感じている。それは競争（施設を選んでもらうためのPRとして）の中で職員では叶わない部分として。
生活介護施設	生活介護において作業を教えることの難しさを感じております。工程を整えたり、組み立てて提供できれば利用者さんも安定して活動できると思うのでそのために専門性を学んだ人による取組ができればいいと思っています。わが施設は支援区分が重く、収益を得るのは難しいですが、個々の得意を見極め、それを生かせる作業ができれば利用者さんの生きがいにもつながると思います。期待します。
	児童の分野、また入所の分野で作業療法の方がいてくださると専門的なアドバイスをしていただければ深みのある支援ができるな…と思っています。いくつかの学校さんの就職フェアにも出向いているのですが採用が難しいです。今までお付き合いのある植草大学の学生さんとまた保育を通してよい形で一緒に進めていけると嬉しいです。
	障がい者を対象とした事業所として障がい者を有する方への支援教育に力を注いでおられる植草学園さんには好感と期待を持っています。インクルーシブ教育システムの推進などにおいてもそのノウハウと専門性を生かして今後も様々な取り組みを応援しております。最後に卒業生も多く働いていただいております。優秀な人材を育てておられることに感謝しています。
	病院での需要があると思います。
その他	コミュニケーション能力の高いホスピタリティあふれるOTさんの育成をぜひご期待申し上げます。
	社会人としての基礎を育てられる学生を希望します。
	法人内の老健で実習の受け入れを行いたい。
	身体障がいに合わせて知的の方への対応ができる職人の誕生を期待しております。
	当事業団の採用活動としては退職者が出た時点で随時募集となるため定期的な積極採用ができないのが現状です。
	障害に対する理解のある方を希望します。
	従来にはなかった音楽療法士やおもちゃインストラクターの資格取得に関しては大変興味があります。地域に貢献できる作業療法士の育成に期待します。

3 集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、少数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

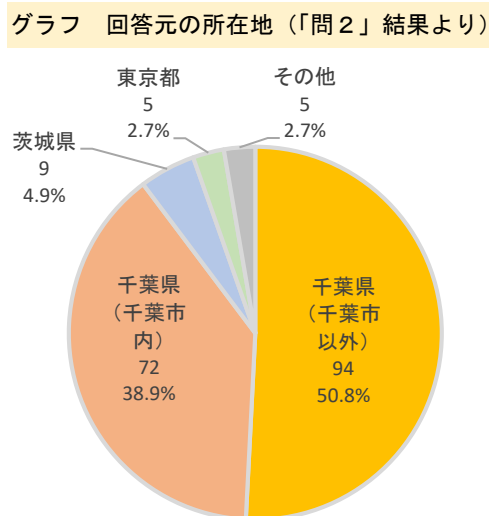
● 全回答のうち、「病院」が 40.5%、「老人保健施設」が 28.6%

回答元の業種を問う質問に対して、回答を得た 185 件のうち、「病院」が 75 件 (40.5%) と約 4 割であった。以降回答数の多い順に、「介護老人保健施設」53 件 (28.6%)、「特別養護老人ホーム」22 件 (11.9%)、「診療所・クリニック」12 件 (6.5%)、「生活介護施設」10 件 (5.4%)、「自立訓練施設」1 件 (0.5%)、「その他」12 件 (6.5%) となっており、作業療法士の職場となる主な業種からの回答を得た。



● 約 9 割が、千葉県内に所在する医療機関・施設

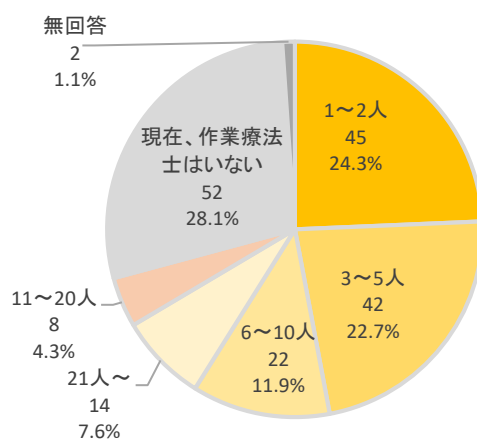
回答を得た 185 件中 94 件 (50.8%) が千葉県 (千葉市以外)、72 件 (38.9%) が千葉市 (千葉市内) であり、合計 166 件 (89.7%) が植草学園大学のキャンパスのある千葉県内に所在する医療機関・施設であった。



● 様々な作業療法士（常勤）の規模の医療機関・施設からの回答

作業療法士（常勤）の規模の質問には、回答元 185 件中、52 件（28.1%）の「現在、作業療法士はいない」が最も多かった。以降回答の多い順に「1～2 人」が 45 件（24.3%）、「3～5 人」が 42 件（22.7%）、「6～10 人」が 22 件（11.9%）、「21 人～」が 14 人（7.6%）、「11～20 人」が 8 件（4.3%）であった。

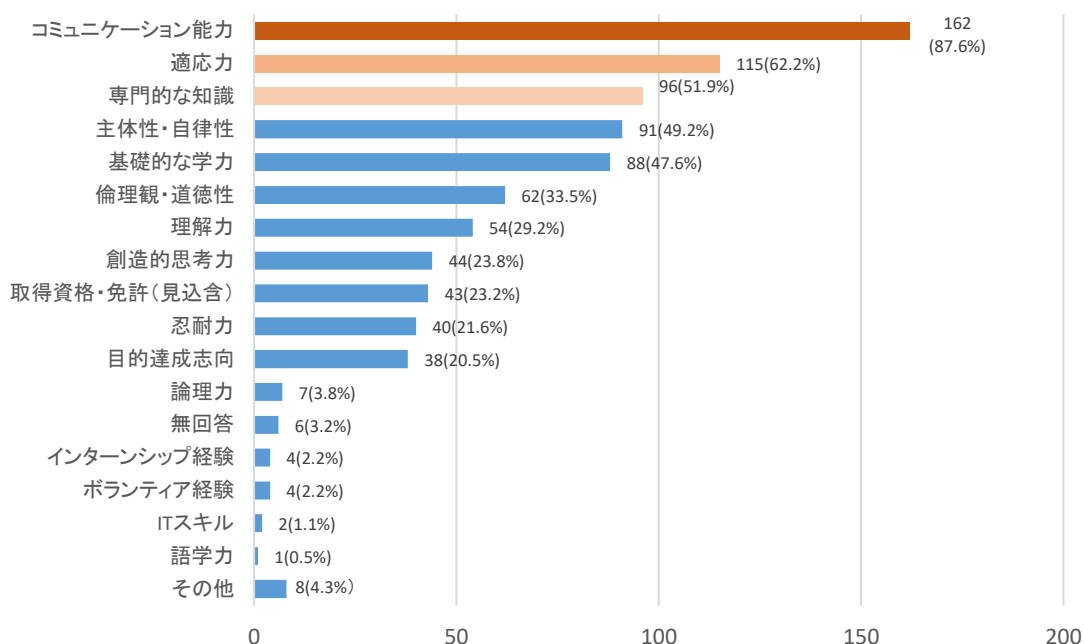
グラフ 回答元の従業員規模（「問3」結果より）



● 採用時には、「コミュニケーション能力」、「適応力」、「専門的な知識」を重視

作業療法士を採用する際に、重視する能力・体験として、大半の医療機関・施設が「コミュニケーション能力」と回答した（162 件、87.6%）。また他にも、半数以上が「適応力」（115 件、62.2%）、「専門的な知識」（96 件、51.9%）を選択しており、複数の能力や知識等を求める傾向が見られた（複数回答の結果）。

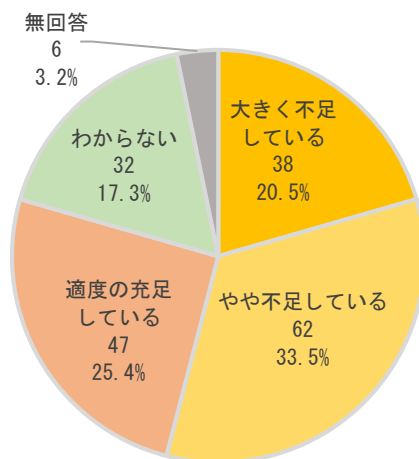
グラフ 採用する際に重視する能力・体験等（「問5」結果より）



● 5割以上の医療機関・施設で、作業療法士が不足

作業療法士の充足状況について質問したところ、回答元 185 件中、「大きく不足している」が 38 件（20.5%）、「やや不足している」が 62 件（33.5%）に上り、合計で 100 件（54.0%）が不足していると回答した。

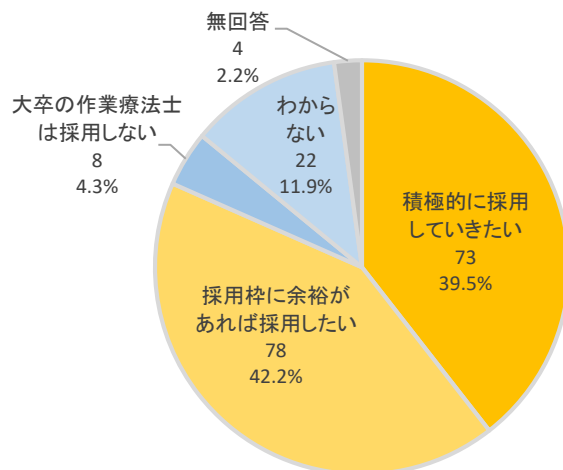
グラフ 作業療法士の充足状況（「問6」結果より）



● 約8割が大卒の作業療法士を採用の方針

今後、大卒の作業療法士の採用方針について質問したところ、回答元 185 件中、「積極的に採用していきたい」が 73 件（39.5%）、「採用枠に余裕があれば採用したい」が 78 件（42.2%）、合計で 151 件（81.7%）が採用する方針を示した。

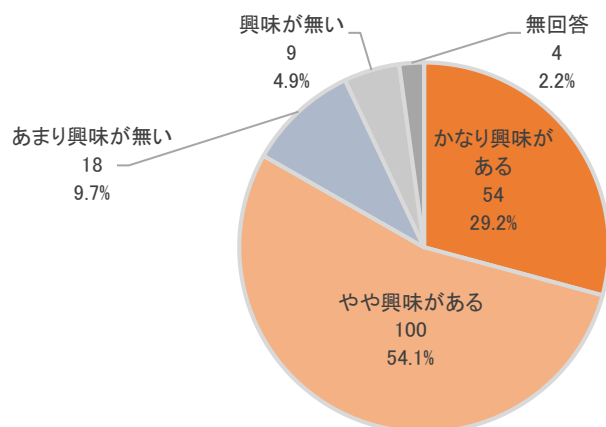
グラフ 大卒の作業療法士の採用方針（「問7」より）



● 9割以上の医療機関・施設が養成する人材に興味を示す

植草学園大学が構想中の「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」が養成する人材に対して、回答元 185 件中、54 件（29.2%）が「かなり興味がある」と回答した。「やや興味がある」と回答した 100 件（54.1%）と合計すると、154 件（83.3%）が興味を示した。また、「興味がない」と回答した医療機関・施設は 9 件（4.9%）であった。

グラフ 「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」の養成する人材への興味（「問 8」の結果より）



● 6割以上の医療機関・施設が養成する人材に採用意欲を示す

植草学園大学の「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」の卒業生に対して、60 件（32.4%）が「採用したい」、63 件（34.1%）が「採用を検討したい」と回答し、合計で 6 割以上に当たる 123 件（66.5%）の医療機関・施設から採用意欲を示す結果を得た。また、「採用しない」と回答した医療機関・施設は 8 件（4.3%）であった。

業種別で見ると、「病院」では、「採用したい」33 件（17.8%）、「採用を検討したい」29 件（15.7%）であり、合計で 62 件（33.5%）と、最も高い採用意欲を示した。次に高い採用意欲を示したのは「老人健康保険施設」で、「採用したい」16 件（8.6%）、「採用を検討したい」20 件（10.8%）であり、合計で 36 件（19.5%）であった。

採用意欲を示した 123 件に採用可能人数を質問したところ、「採用したい」と回答した医療機関・施設が合計 60 件、109 名、「採用を検討したい」と回答した医療機関・施設は合計 63 件、71 名で、合計で 123 件、180 名が採用可能との結果が得られた。

グラフ 医療機関・施設の採用意向（「問 9」の結果より）

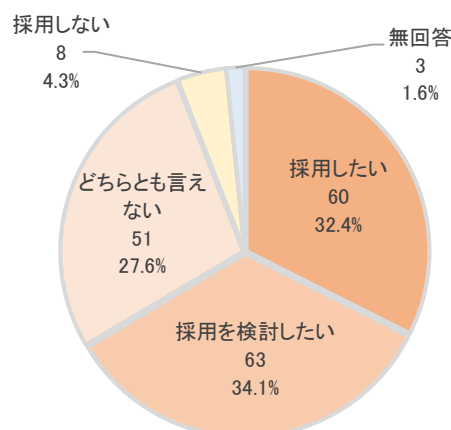


表 業種別採用意欲

業種	採用したい		採用を検討したい		どちらとも言えない		採用しない		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
病院	33	17.8%	29	15.7%	10	5.4%	2	1.1%	1	0.5%	75	40.5%
診療所・クリニック	3	1.6%	3	1.6%	2	1.1%	3	1.6%	1	0.5%	12	6.5%
介護老人保健施設	16	8.6%	20	10.8%	17	9.2%	0	0.0%	0	0.0%	53	28.6%
特別養護老人ホーム	5	2.7%	6	3.2%	10	5.4%	3	1.6%	1	0.5%	25	13.5%
生活介護施設	1	0.5%	1	0.5%	5	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	7	3.8%
自立訓練施設	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
その他	2	1.1%	4	2.2%	6	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	12	6.5%
合計	60	32.4%	63	34.1%	51	27.6%	8	4.3%	3	1.6%	185	100.0%

表 採用可能人数

選択項目	採用したい		採用を検討したい		回答数	合計人数
	回答数	合計人数	回答数	合計人数		
1名	16	16人	20	20人	36	36人
2名	10	20人	6	12人	16	32人
3名	10	30人	1	3人	11	33人
4名	0	0人	0	0人	0	0人
5名以上	5	25人	0	0人	0	25人
人数は未確定	18	18人	36	36人	54	54人
無回答	1	0人	0	0人	1	0人
合計	60	109人	63	71人	118	180人

※「人数は未確定」は1回答につき1人として集計した。

※「5名以上」は、最低である5名として集計。

以上の結果より、植草学園大学が平成32年4月に設置を構想している保健医療学部「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」が養成する人材について、入学定員を大きく上回る採用意欲が示される結果を得た。したがって、就職にあたって問題なしと判断できる。

添付資料

「植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻(仮称)
設置構想に係る採用意向アンケート調査」用紙

植草学園大学

保健医療学部

リハビリテーション学科
作業療法学専攻（仮称）

設置構想に係る採用意向アンケート調査

植草学園大学は、平成32（2020）年に、作業療法士の養成を行う「作業療法士学専攻（仮称）」の設置を構想しています。

本学ではこのアンケート調査を通して、将来新たな専攻の卒業生の採用をご検討いただく皆様からご意見を賜り、広く社会に貢献できる人材輩出を行ってまいりたいと考えております。

なお、このアンケートの回答は、設置構想にあたっての統計資料ならびに文部科学省への提出資料としてのみ活用するものであり、個人を特定することや他の目的に使用することは一切ありません。

以上の趣旨を踏まえ、何卒ご協力のほど、謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は植草学園大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

貴機関・貴施設名

質問数：11問（所要時間は5～10分程度です）

問1 貴機関・貴施設の業種をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. 病院 | 2. 診療所・クリニック | 3. 介護老人保健施設 |
| 4. 特別養護老人ホーム | 5. 生活介護施設 | 6. 自立訓練施設 |
| 7. その他（ ） | | |

問2 貴機関・貴施設の所在地をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|--------------|---------------|--------|
| 1. 千葉県（千葉市内） | 2. 千葉県（千葉市以外） | 3. 茨城県 |
| 4. 東京都 | 5. その他（ ） | |

問3 貴機関・貴施設に所属している作業療法士（常勤）の規模をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|-----------|---------|-----------------|
| 1. 1～2人 | 2. 3～5人 | 3. 6～10人 |
| 4. 11～20人 | 5. 21人～ | 6. 現在、作業療法士はいない |

問4 貴機関・貴施設が過去1年間で採用した大卒の作業療法士の人数をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|-----------|---------|---------------------|
| 1. 1～2人 | 2. 3～5人 | 3. 6～10人 |
| 4. 11～20人 | 5. 21人～ | 6. 大卒の作業療法士は採用していない |

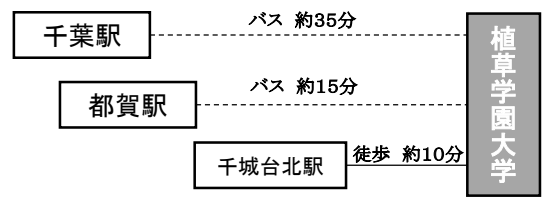
作業療法学専攻

(仮称・設置構想中)

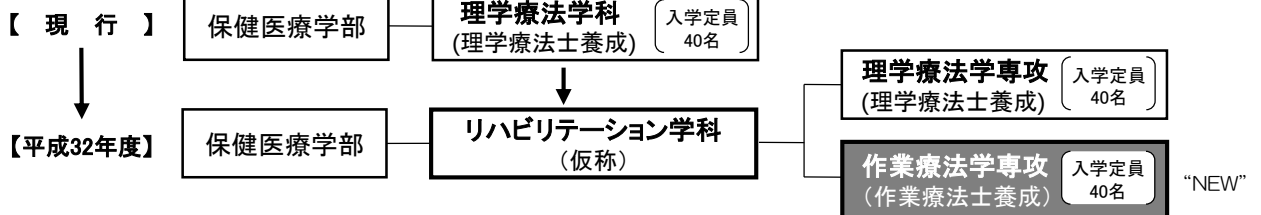
概要

開設時期：平成32(2020)年
開設場所：千葉県千葉市若葉区小倉町1639番3
修業年限：4年
入学定員：40人
取得学位：学士(作業療法学)

アクセス



改組の内容



本学では、平成32(2020)年度より理学療法学科を、リハビリテーション学科(仮称)に改組します。リハビリテーション学科(仮称)は、理学療法学専攻と作業療法学専攻の2専攻となります。

【リハビリテーション学科(仮称)の特色】

理学療法学専攻、作業療法学専攻それぞれ共通の科目が多いため、お互いの職種の特徴を理解しながら、それぞれの専門性を深められるため、リハビリテーション医療におけるチーム医療の精神を学ぶことができる。さらに、最新のリハビリテーション工学(リハロボット等)を学ぶことができる。

作業療法学専攻(仮称)

入学定員 40名(予定)

《作業療法学専攻(仮称)では、以下のような人材を養成します》

専門性、人間性にすぐれ、主体的に問題解決にあたることのできる作業療法士

- ① 医療職としての倫理観をもち、判断し、行動する
- ② 多職種間で連携し、共通の目標に向かって協調して行動する
- ③ 地域包括ケアシステムに積極的に寄与する
- ④ 『生活行為向上マネジメント』を理解し、作業療法の臨床に使える

特色と資格

【作業療法学専攻(仮称)の特色】

- ① 実務経験豊富な教員を配置するため、安心して授業や実習指導を受けられる。
- ② 病院や施設などへの実習前には、学内で実技試験を行うため、自信をもって実習に参加できる。
- ③ これまでの、患者を正しく治療するための評価や治療に加え、アートとしての音楽・ダンスやおもちゃに関連した評価法や治療法を学べる。

【取得できる資格】

- ① 作業療法士(国家試験受験資格)
- ② 音楽療法士(全国音楽療法士養成協議会認定資格)
- ③ おもちゃインストラクター(芸術と遊び創造協会認定資格)

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

問5 貴機関・貴施設において、大学の作業療法士を採用する際に、重視する能力・体験等をお答えください。
(特にあてはまるもの5つまでを、枠内に記入)

- | | | |
|----------------|------------------|---------------|
| 1. コミュニケーション能力 | 2. 基礎的な学力 | 3. 専門的な知識 |
| 4. 語学力 | 5. 創造的思考力 | 6. 主体性・自律性 |
| 7. 目的達成志向 | 8. 適応力 | 9. インターンシップ経験 |
| 10. ボランティア経験 | 11. 忍耐力 | 12. 理解力 |
| 13. 論理力 | 14. 取得資格・免許(見込含) | 15. ITスキル |
| 16. 倫理観・道徳性 | 17. その他() | |

番号を記入					
-------	--	--	--	--	--

問6 貴機関・貴施設における、作業療法士の充足状況についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 大きく不足している
2. やや不足している
3. 適度に充足している
4. 過剰である
5. わからない

問7 貴機関・貴施設における、大卒の作業療法士の今後の採用方針についてお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

1. 積極的に採用していきたい
2. 採用枠に余裕があれば採用したい
3. 大卒の作業療法士は採用しない
4. わからない

問8以降は、2ページ「作業療法学専攻(仮称)の概要」をご覧ください。お答えください。

問8 植草学園大学が構想中のリハビリテーション学科作業療法学専攻(仮称)が養成する人材に対して、どれくらい興味がありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. かなり興味がある
2. やや興味がある
3. あまり興味がない
4. 興味がない

問9

植草学園大学が構想中のリハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）を卒業する学生を、将来作業療法士として採用したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 採用したい
2. 採用を検討したい
3. どちらとも言えない
4. 採用しない

問10

問9で「採用したい」「採用を検討したい」と回答した方は、採用可能であると思われる人数をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1. 1名
2. 2名
3. 3名
4. 4名
5. 5名以上
6. 人数は未確定

問11

植草学園大学および構想中のリハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）に対して、期待される点やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。